

令和5年度

予算執行実績報告書

（主要施策の成果及び基金の運用状況について）

豊田市

令和5年度における主要施策の成果及び基金の運用状況について

令和5年度豊田市一般会計及び特別会計の決算を議会の認定に付するに当たり、地方自治法第233条第5項の規定により、主要な施策の成果を提出します。あわせて、同法第241条第5項の規定により、基金の運用状況について提出します。

令和6年8月30日提出

豊田市長 太田 稔彦

目 次

I 総 括

1	令和5年度の財政運営・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	第1表 財政指数年次別比較表・・・・・・・・	2
2	一般会計・特別会計の決算状況・・・・・・・・	4
	第2表 一般会計・特別会計歳入歳出決算額一覧表・・・・・・・・	4

II 一般会計

1	一般会計の収支状況・・・・・・・・	7
2	一般会計予算の編成状況・・・・・・・・	12
	第3表 一般会計予算の編成状況等・・・・・・・・	12
3	一般会計歳入決算額の概要・・・・・・・・	16
	第4表 一般会計歳入決算額年次別比較表・・・・・・・・	26
	第5表 一般会計年次別財源内訳表・・・・・・・・	26
	第6表 市税決算額前年度比較表・・・・・・・・	28
	第7表 市税徴収実績表・・・・・・・・	30
	第8表 市債の状況・・・・・・・・	32
4	一般会計歳出決算額の概要・・・・・・・・	34
	第9表 一般会計歳出決算額年次別比較表・・・・・・・・	40
	第10表 一般会計性質別決算額年次別比較表・・・・・・・・	42
	第11表 一般会計歳出決算額節別集計表・・・・・・・・	44
	第12表 一般会計普通建設事業費の状況・・・・・・・・	46
	第13表 一般会計目別歳出決算額の概要・・・・・・・・	48
	第14表 主要工事实績表・・・・・・・・	330
	第15表 土地取得実績表（補償費を除く。）・・・・・・・・	344

Ⅲ 特別会計

国民健康保険特別会計	347
都市計画事業土地区画整理特別会計	350
分譲住宅建設事業特別会計	354
卸売市場特別会計	356
水道水源保全事業特別会計	358
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	359
介護保険事業特別会計	360
財産区特別会計	362
後期高齢者医療特別会計	364
産業用地造成事業特別会計	366

Ⅳ 基金の運用状況

豊田市土地開発基金運用状況に関する調書	367
豊田市都心整備基金運用状況に関する調書	374
豊田市産業振興基金運用状況に関する調書	377

Ⅴ 資 料

令和5年度当初予算編成方針	379
地方債現在高の状況	382
基金残高の状況	384

(注) 各表の金額等の数値については、表内の整合性を保つため、適宜調整してあります。

I 総括

1 令和5年度の財政運営

1 令和5年度の国の予算編成

(1) 予算編成についての考え方

令和4年度第2次補正予算と合わせ、足元の物価高を克服しつつ、経済再生の実現に向け、経済を持続可能で一段高い成長経路に乗せるための予算編成を行います。

<主なポイント>

- ・新たな国家安全保障戦略等を策定し、43兆円の防衛力整備計画を実施
- ・こども家庭庁を創設し、こども・子育て支援を強化
- ・リーマンショック後最高となる地方交付税交付金18.4兆円の確保
- ・自治体のデジタル実装の加速化及びデジタル活用による観光・農林水産業の振興等の地方創生の取組支援
- ・民間のGX投資及びカーボンニュートラル目標達成に向けた技術開発等の支援
- ・「骨太方針」で定めた歳出改革の取組を継続し、メリハリの効いた予算を編成

(2) 一般会計予算

ア 予算規模 114兆3,812億円（対前年度 6兆7,848億円の増）

イ 一般歳出（国債費及び地方交付税交付金等を除いたもの）
72兆7,317億円（対前年度 5兆3,571億円の増）

2 令和5年度の地方財政計画

(1) 歳入歳出規模 92兆 350億円（対前年度 1兆4,432億円の増）

(2) 主な内訳

（歳入）

- ・地方税 42兆8,751億円（対前年度 1兆6,446億円の増）
- ・地方交付税 18兆3,611億円（対前年度 3,073億円の増）
- ・国庫支出金 15兆 85億円（対前年度 1,259億円の増）
- ・地方債 6兆8,163億円（対前年度 7,914億円の減）

（歳出）

- ・給与関係経費 19兆9,053億円（対前年度 591億円の減）
- ・投資的経費 11兆9,731億円（対前年度 54億円の減）
- ・公債費 11兆2,614億円（対前年度 1,645億円の減）

3 令和5年度の本市の財政運営

(1) 当初予算編成方針

ポストコロナ社会を見据えた上で、新たな希望や可能性に向けて変わる社会・変えるミライへ挑戦するため、市民、地域、企業それぞれの主体が、更なる活気に溢れ、安全・安心な生活をおくることができるよう、元気で明るいまちづくりを目指し、以下の4点を基本として予算編成を行います。

- ① ポストコロナ社会を見据えた「第8次総合計画後期実践計画」の着実な推進
- ② 市民生活の「安全・安心」を高める取組
- ③ 将来を見据えた「まちづくりへの投資・人への投資」
- ④ 歳入の積極的な確保及び歳出の適正化による「財務体質の強化」

(2) 重点的に取り組む施策

ア 第8次総合計画後期実践計画 重点施策事業

イ 社会保障等に係る経費、自然災害や感染症への対応、公共施設の保全など市民生活の「安全・安心」のために必要な施策

ウ FIA 世界ラリー選手権の開催に関する施策及び山村地域の活性化、交通安全の推進、産業振興を図るための施策

エ カーボンニュートラル、デジタル化など市民、企業等と連携して重点的に取り組むことで社会課題解決を図る施策

オ 子どものための施策や、誰もがより一層活躍できるための学びへの支援・環境整備など、変化する社会を見据えて人への投資を行う施策

(3) 当初予算

令和5年度の本市の一般会計歳入歳出予算額は、1,883億円(対前年度82億円の増)としました。

歳入面では、個人市民税は対前年度14億7,800万円の増、法人市民税は対前年度92億2,600万円の減、固定資産税は対前年度17億9,208万円の増と見込み、市税全体では、前年度に対し56億1,882万円減の1,045億7,291万円を見込みました。国庫支出金は、社会資本整備総合交付金の増などにより、前年度に対し5億2,908万円増の251億7,159万円を見込みました。財産収入は、財団法人高橋記念美術文化振興財団の償還金などにより、前年度に対し15億7,770万円増の19億3,583万円を見込みました。繰入金は、前年度に対し45億4,183万円増の78億8,007万円とし、財政調整基金、公共施設安全安心基金などから繰り入れることとしました。市債は、前年度に対し40億円増の70億円とし、投資的事業等の財源とすることとしました。

歳出面では、ポストコロナ社会を見据えた第8次総合計画後期実践計画の推進を柱とした上で、子ども・若者支援、生涯活躍の応援、安全・安心の確保、カーボンニュートラル、デジタル化、ラリーを生かしたまちづくりを積極的に進めるための予算を確保しました。将来のまちづくりに必要なハード整備を計画的に推進するため、普通建設事業費を始めとする投資的経費の規模は、当初予算で363億8,580万円、一般会計予算全体に占める割合は19.3%(前年度17.5%)としました。

第1表 財 政 指 数

区分 年度	基準財政需要額	基準財政収入額	単年度 財政力指数	3年平均 財政力指数	標準財政規模
R元	64,385,377	98,994,926	1.54	1.47	131,208,145
R2	66,889,629	96,550,359	1.44	1.39	126,223,605
R3	68,825,312	87,807,964	1.28	1.42	113,569,332
R4	67,825,446	81,951,553	1.21	1.31	105,453,981
R5	68,614,914	105,703,252	1.54	1.34	137,173,488

注：各比率は令和6年7月31日現在のものです。

標準財政規模は、臨時財政対策債発行可能額を含みます。

経常収支比率は、普通会計ベースの数値です。

健全化判断比率各欄の「－」表記は、「比率なし」となったものであり、括弧内に参考

(4) 補正予算

国の施策による新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に関連し、49 億 3,190 万円の歳入・歳出補正を行いました。また、6 月 2 日豪雨への災害対応として、9 億 1,910 万円の歳入・歳出補正を行いました。そのほかに、歳入補正では法人市民税 108 億の増額補正を行い、歳出補正では、小学校保全改修事業など国の補正予算（第 1 号）による国庫支出金を活用した補正予算を編成しました。最終の予算額は、将来の財政運営に資するため財政調整基金の積立てなどを行い、当初予算から 164 億 600 万円を増額した 2,047 億 600 万円としました。

(5) 決算

歳入決算額は 2,170 億 2,991 万円（対前年度 3 億 31 万円の増）となり、前年度決算額と比べ、同水準の決算となりました。このうち、市税は 1,168 億 1,795 万円（対前年度 44 億 8,818 万円の減）となりました。

主な増減の内訳は、繰入金 77 億 7,813 万円（対前年度 40 億 8,690 万円の増）、繰越金 167 億 6,150 万円（対前年度 25 億 3,598 万円の増）、財産収入 25 億 9,121 万円（対前年度 21 億 7,556 万円の増）、市債 38 億 3,410 万円（対前年度 5 億 8,870 万円の減）、法人事業税交付金 17 億 9,753 万円（対前年度 12 億 9,325 万円の減）、県支出金 120 億 8,716 万円（対前年度 26 億 3,524 万円の減）、法人市民税 241 億 475 万円（対前年度 65 億 877 万円の減）が挙げられます。

歳出決算額は、1,999 億 4,292 万円（対前年度 4,079 万円の減）となり、前年度決算額と比べ、同水準の決算となりました。このうち、普通建設事業費を始めとする投資的経費は 416 億 7,403 万円（対前年度 98 億 7,919 万円の増）となりました。

主な増減の内訳は、扶助費 390 億 3,710 万円（対前年度 17 億 2,378 万円の増）、繰出金 135 億 7,285 万円（対前年度 15 億 8,532 万円の増）、補助費等 214 億 2,546 万円（対前年度 14 億 1,301 万円の減）、物件費 359 億 5,245 万円（対前年度 18 億 6,445 万円の減）、積立金 67 億 3,490 万円（対前年度 95 億 7,169 万円の減）が挙げられます。

令和 5 年度の主な財政指数は第 1 表のとおりです。財政の健全性を示す指数は、経常収支比率 75.1%、自主財源比率 71.0%です。市債差額（償還一借入）は、37 億 871 万円の黒字となりました。健全化判断比率の各比率は、健全性の高いものとなっており、依然として健全な財政構造を保持している状況といえます。

年 次 別 比 較 表

（単位：千円、％）

経常収支 比率	自主財源 比率	市債差額 (償還一借入)	健全化判断比率			
			実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
69.7	72.8	△493,504	－ (△5.62)	－ (△18.29)	2.8	－ (△67.1)
77.1	58.6	△271,304	－ (△5.86)	－ (△21.41)	2.3	－ (△61.3)
83.5	65.0	592,357	－ (△7.85)	－ (△25.35)	1.6	－ (△62.3)
71.1	68.8	3,235,934	－ (△5.75)	－ (△20.41)	1.3	－ (△81.7)
75.1	71.0	3,708,715	－ (△7.08)	－ (△18.41)	1.2	－ (△62.1)

値としてその値を併記しています。

2 一般会計・特別会計の決算状況

第2表 一般会計・特別会計

会 計 名			歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 額
一 般 会 計			217,029,909	199,942,922	17,086,987
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		36,697,401	36,109,965	587,436
	都 市 計 画 事 業 土 地 区 画 整 理	土 橋	731,363	462,327	269,036
		花 園	2,765,413	2,136,637	628,776
	分 譲 住 宅 建 設 事 業		15,068	12,872	2,196
	卸 売 市 場		241,762	209,649	32,113
	水 道 水 源 保 全 事 業		76,486	75,018	1,468
	母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業		31,936	21,421	10,515
	介 護 保 険 事 業		26,822,728	26,424,659	398,069
	財 産 区	盛 岡	5,040	4,765	275
		賀 茂	28,370	21,719	6,651
	後 期 高 齢 者 医 療		6,788,808	6,715,241	73,567
	産 業 用 地 造 成 事 業		27,112	26,947	165
	小 計		74,231,487	72,221,220	2,010,267
合 計			291,261,396	272,164,142	19,097,254

歳入歳出決算額一覧表

(単位：千円)

翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支 (A)	単年度収支 (A)－(B)	4年度 実質収支 (B)
継続費繰越し	明許費繰越し	事故繰越し			
2,382,103	4,992,240	0	9,712,644	3,652,078	6,060,566
0	0	0	587,436	37,278	550,158
267,172	0	0	1,864	△ 3,029	4,893
624,132	0	0	4,644	386	4,258
0	868	0	1,328	267	1,061
0	0	0	32,113	13,165	18,948
0	0	0	1,468	△ 2,855	4,323
0	0	0	10,515	△ 9,603	20,118
0	0	0	398,069	△ 118,492	516,561
0	0	0	275	△ 111	386
0	0	0	6,651	6,400	251
0	0	0	73,567	7,285	66,282
0	0	0	165	△ 12,143	12,308
891,304	868	0	1,118,095	△ 81,452	1,199,547
3,273,407	4,993,108	0	10,830,739	3,570,626	7,260,113

Ⅱ 一般会計

1 一般会計の収支状況

令和5年度の本市の一般会計決算における歳入総額は、2,170億2,991万円（対前年度3億31万円の増）で、歳出総額は、1,999億4,292万円（対前年度4,079万円の減）となりました。

歳入歳出差引額は、170億8,699万円（対前年度3億4,110万円の増）となりました。この歳入歳出差引額のうち、翌年度へ繰り越すべき財源は、73億7,434万円（対前年度33億1,098万円の減）で、その内訳は、継続費通次繰越額23億8,210万円、繰越明許費繰越額49億9,224万円です。

この結果、実質収支は、97億1,264万円（対前年度36億5,208万円の増）となりました。

（単位：千円、％）

区 分	5年度決算額	4年度決算額	増 減 額	伸 率
歳 入 総 額 (A)	217,029,909	216,729,599	300,310	0.1
歳 出 総 額 (B)	199,942,922	199,983,711	△ 40,789	0.0
歳入歳出差引額 (C) = (A) - (B)	17,086,987	16,745,888	341,099	2.0
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	7,374,343	10,685,322	△ 3,310,979	△ 31.0
実 質 収 支 額 (E) = (C) - (D)	9,712,644	6,060,566	3,652,078	60.3
基 金 繰 入 額 (F)	0	0	0	-
翌 年 度 繰 越 額 (G) = (E) - (F)	9,712,644	6,060,566	3,652,078	60.3

※ 基金繰入額は、地方自治法第233条の2の規定による実質収支額からの繰入額をいう。

○継続費通次繰越額

(単位：千円)

事業名	翌年度 通次繰越額	左 の 財 源 内 訳			
		繰越金	特 定 財 源		
			国県支出金	地方債	その他
渡刈クリーンセンター 設備改修事業	196,181	196,181			
市道改良事業 (市道堤駒場線 外 1 路 線)	140,946	15,525	41,921	83,500	
河川改良事業 (準用河川長田川)	396,926	279,526		117,400	
内環状線建設事業 (竜宮橋)	236,527	236,527			
内環状線建設事業 (高橋細谷線 長興寺第1工区)	1,098,931	605,931	259,500	233,500	
中央公園第二期整備 基盤造成事業	231,560	231,560			
豊田市駅西口 ペDESTリアンデッキ 一部改築事業	361,010	18,010	181,000	162,000	
豊田市駅西口 施設整備事業	83,000	37,589	45,411		
中山小学校増築等事業	339,363	315,668	23,695		
旧鈴木家住宅 保存整備事業 (その4)	124,864	124,864			
豊田スタジアム 長寿命化改修事業 (その3)	258,000	129,000	129,000		
高橋節郎館改修事業	191,722	191,722			
合 計 (1 2 事 業)	3,659,030	2,382,103	680,527	596,400	

○繰越明許費繰越額

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左 の 財 源 内 訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
南 庁 舎 ・ 衛 生 試 験 所 長 寿 命 化 改 修 設 計 事 業	17,897			17,897
本 庁 舎 施 設 保 全 事 業	181,000			16,930
交 流 館 長 寿 命 化 改 修 事 業 (末 野 原 交 流 館 外 3 館)	215,130			215,130
小原和紙のふるさと改修設計事業	9,170			9,170
香 恋 の 館 長 寿 命 化 改 修 事 業	23,500			23,500
藤岡福祉センターふじのさと 長 寿 命 化 改 修 事 業	42,700			42,700
物価高騰対応重点支援給付金 給 付 事 業	1,201,602		1,201,602	
第二ひまわり長寿命化改修事業	21,000			21,000
老 人 福 祉 セ ン タ ー 豊 寿 園 長 寿 命 化 改 修 設 計 事 業	16,286			16,286
ト イ レ 改 修 事 業 (東 山 こ ど も 園 外 1 園)	54,770			54,770
新型コロナウイルスワクチン 接 種 体 制 確 保 事 業	39,714		39,714	
粗飼料価格高騰対策補助事業	9,500			9,500
配合飼料価格高騰対策補助事業	20,600			20,600
地 籍 調 査 事 業	75,286		28,842	46,444
カーボンニュートラル創エネ 促 進 補 助 事 業	500,000			500,000
カーボンニュートラル省エネ 生 産 設 備 導 入 促 進 補 助 事 業	450,000			450,000
拠 点 施 設 撤 去 負 担 事 業	2,800			2,800
市 道 新 設 事 業 (市 道 豊 田 西 部 2 号 線)	57,656			57,656
路 面 舗 装 事 業 (市道藤岡深見田茂平線外5路線)	53,420		26,710	26,710

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
橋りょう修繕事業 (小原橋外273橋)	211,700		54,488	157,212
市道改良事業 (市道四郷25号線)	6,800			6,800
歩道設置事業 (市道藤岡飯野広瀬線)	12,000			12,000
歩行者・自転車通行環境整備事業	41,000		2,970	38,030
(仮)水辺ふれあいプラザ整備事業	20,397			20,397
河川改良事業 (準用河川大見川)	70,509		44,900	25,609
河川修繕事業 (準用河川逢妻男川)	1,191			1,191
矢作川水辺空間利活用事業	44,944		2,700	42,244
排水路改良事業 (鵜ヶ瀬町)	239			239
総合都市交通体系調査事業	12,000		3,200	8,800
公共施設管理者負担事業 (土橋土地区画整理事業)	54,000		32,800	21,200
名鉄三河線若林駅付近 連続立体交差事業	2,117,400		819,180	1,298,220
街路建設事業 (都市計画道路若林東西線)	12,300			12,300
特定道路改良促進事業 (豊田南バイパス関連 市道福谷一色線外1路線)	47,000		1,800	45,200
四郷北公園整備事業	25,000		10,000	15,000
高橋天神公園整備事業	27,500		10,000	17,500
中央公園第二期整備 検討業務委託事業	13,047			13,047
歩車共存道路整備事業 (市道西町若宮線)	36,738			36,738

(単位：千円)

事業名	翌年度 繰越額	左 の 財 源 内 訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
豊田市駅東口駅前広場 施設撤去事業	32,280			32,280
豊田市駅耐震補強補助事業	47,000			47,000
公共下水道接続事業 (花本詰所格納庫外1施設)	12,900			12,900
小学校受変電設備改修事業 (市木小学校外2校)	58,920		16,927	41,993
トイレ再整備事業 (寿恵野小学校外7校)	476,480		101,898	374,582
バリアフリー化整備事業 (花山小学校)	73,790		38,433	35,357
屋外遊具整備事業 (飯野小学校外10校)	144,500		48,641	95,859
トイレ再整備事業 (下山中学校外5校)	310,635		74,812	235,823
バリアフリー化整備事業 (保見中学校)	98,027		44,028	53,999
小中特別支援学校換気対策事業	10,470		5,235	5,235
コンテナ消毒装置等修繕事業 (中部給食センター外1施設)	11,715			11,715
中部給食センター ボイラー等改修事業	74,429			74,429
地域文化広場プール換気 設備等改修事業	11,900			11,900
公共下水道接続事業 (平戸橋いこいの広場)	31,675			31,675
総合体育館放水銃設備保全事業	3,795			3,795
路面舗装事業 (市道神田2号線外1路線)	44,598		17,400	27,198
総合体育館長寿命化改修事業	461,495	100,000	63,917	297,578
土木施設災害復旧事業	43,848		21,180	22,668
地域振興施設災害復旧事業	9,364			9,364
合 計 (5 6 事 業)	7,703,617	100,000	2,711,377	4,892,240

2 一般会計予算の編成状況

第 3 表 一 般 会 計 予 算

(歳 入)

款	当 初	4月専決	5月専決	6月補正	7月専決	9月補正	11月専決
1 市 税	104,572,913						
2 地 方 譲 与 税	1,324,600						
3 利子割交付金	27,000						
4 配当割交付金	630,000						
5 株 式 等 譲 渡 所得割交付金	539,000						
6 法 人 事 業 税 金 交 付 金	1,739,000						
7 地 方 消 費 税 金 交 付 金	11,610,000						
8 ゴルフ場利用 税 交 付 金	360,000						
9 自動車取得税 交 付 金	1						
10 環 境 性 能 割 交 付 金	345,000						
11 地 方 特 例 交 付 金	501,000						
12 地 方 交 付 税	150,000						
13 交通安全対策 特 別 交 付 金	54,000						
14 分 担 金 及 び 負 担 金	106,002						
15 使 用 料 及 び 手 数 料	3,059,072						
16 国 庫 支 出 金	25,171,593	1,009,784	1,010,365	8,099		79,762	2,510,000
17 県 支 出 金	12,932,756			8,661		317,664	
18 財 産 収 入	1,935,832						
19 寄 附 金	586,551		7,000				
20 繰 入 金	7,880,068						
21 繰 越 金	2,000,000			448,728	919,100	868,024	
22 諸 収 入	5,775,612					84,270	
23 市 債	7,000,000						
歳 入 合 計	188,300,000	1,009,784	1,017,365	465,488	919,100	1,349,720	2,510,000

の 編 成 状 況 等

(単位：千円、%)

12月補正	1月専決	3月補正	計	継続費及び 繰越事業費 繰越額	合 計 (A)	決 算 額		差 引 (B) - (A)
						(B)	構成比	
		11,380,000	115,952,913		115,952,913	116,817,952	53.8	865,039
		60,324	1,384,924		1,384,924	1,372,294	0.6	△ 12,630
		8,000	35,000		35,000	34,813	0.0	△ 187
		42,000	672,000		672,000	721,925	0.3	49,925
		90,000	629,000		629,000	742,009	0.3	113,009
		133,000	1,872,000		1,872,000	1,797,528	0.8	△ 74,472
		△ 765,000	10,845,000		10,845,000	11,081,241	5.1	236,241
		1,000	361,000		361,000	354,721	0.2	△ 6,279
		2,671	2,672		2,672	2,442	0.0	△ 230
		18,000	363,000		363,000	305,744	0.1	△ 57,256
		43,507	544,507		544,507	545,796	0.3	1,289
			150,000		150,000	262,759	0.1	112,759
		△ 5,000	49,000		49,000	44,362	0.0	△ 4,638
		8,110	114,112		114,112	124,945	0.1	10,833
		△ 240,254	2,818,818		2,818,819	2,883,262	1.3	64,443
136,000	865,000	△ 865,703	29,924,900	3,084,371	33,009,271	29,852,311	13.8	△ 3,156,960
256,632		△ 1,068,054	12,447,659	29,049	12,476,708	12,087,156	5.6	△ 389,552
		508,484	2,444,316		2,444,316	2,591,206	1.2	146,890
		△ 204,499	389,052		389,052	304,595	0.1	△ 84,457
17,829		△ 50,065	7,847,832		7,847,832	7,778,129	3.6	△ 69,703
1,829,024		11,299	6,076,175	10,685,322	16,761,496	16,761,498	7.7	2
58,911		463,327	6,382,120	47,202	6,429,322	6,729,121	3.1	299,799
		△ 3,600,000	3,400,000	1,570,700	4,970,700	3,834,100	1.8	△ 1,136,600
2,298,396	865,000	5,971,147	204,706,000	15,416,644	220,122,644	217,029,909	100.0	△ 3,092,735

(歳 出)

款	当 初	4月専決	5月専決	6月補正	7月専決	9月補正	11月専決	12月補正
1 議 会 費	877, 732							14, 702
2 総 務 費	17, 950, 602		30, 365			369, 430		42, 677
3 民 生 費	65, 264, 557	378, 087	980, 000	67, 298		482, 914	2, 130, 000	1, 732, 033
4 衛 生 費	19, 203, 332	41, 300		93, 210		40, 000		309, 124
5 労 働 費	181, 598							△ 7, 219
6 農林水産業費	3, 299, 502					28, 600		2, 260
7 商 工 費	4, 673, 905	590, 397	7, 000	150, 000		150, 000	380, 000	23, 504
8 土 木 費	32, 278, 048					82, 748		5, 148
9 消 防 費	7, 151, 362					12, 900		110, 736
10 教 育 費	28, 993, 795			154, 980		183, 128		65, 431
11 災 害 復 旧 費	235, 660				919, 100			
12 公 債 費	7, 659, 907							
13 諸 支 出 金	30, 000							
14 予 備 費	500, 000							
歳 出 合 計	188, 300, 000	1, 009, 784	1, 017, 365	465, 488	919, 100	1, 349, 720	2, 510, 000	2, 298, 396

(単位：千円、％)

1月専決	3月補正	計	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費充用	合 計 (A)	決 算 額		翌 年 度 繰 越 額 (C)	不 用 額 (A) - (B) - (C)
						(B)	構成比		
	△ 5, 675	886, 759	16, 930		903, 689	866, 757	0. 4		36, 932
	5, 557, 220	23, 950, 294	298, 761	14, 312	24, 263, 367	23, 021, 179	11. 5	(446, 697) 446, 697	795, 491
865, 000	710, 640	72, 610, 529	248, 306		72, 858, 835	69, 379, 045	34. 7	(134, 756) 1, 336, 358	2, 143, 432
	△ 750, 194	18, 936, 772	83, 955	29, 312	19, 050, 039	17, 174, 817	8. 6	(196, 181) 235, 895	1, 639, 327
	△ 3, 078	171, 301			171, 301	163, 965	0. 1		7, 336
	△ 20, 041	3, 310, 321	105, 584		3, 415, 905	3, 179, 310	1. 6	(76, 544) 105, 386	131, 209
	△ 217, 491	5, 757, 315	1, 470, 399	239, 603	7, 467, 317	5, 731, 350	2. 9	(952, 800) 952, 800	783, 167
	221, 516	32, 587, 460	6, 428, 504	17, 437	39, 033, 401	32, 507, 380	16. 3	(3, 360, 040) 5, 493, 020	1, 033, 001
	1, 366	7, 276, 364	93, 703		7, 370, 067	7, 135, 911	3. 6	(12, 900) 12, 900	221, 256
	507, 857	29, 905, 191	6, 650, 502	7, 284	36, 562, 977	32, 109, 259	16. 1	(2, 162, 392) 2, 726, 378	1, 727, 340
		1, 154, 760	20, 000	70, 897	1, 245, 657	1, 020, 609	0. 5	(32, 033) 53, 212	171, 836
	△ 973	7, 658, 934			7, 658, 934	7, 653, 340	3. 8		5, 594
	△ 30, 000	0			0	0	-		0
		500, 000		△ 378, 845	121, 155	0	-		121, 155
865, 000	5, 971, 147	204, 706, 000	15, 416, 644	0	220, 122, 644	199, 942, 922	100. 0	(7, 374, 343) 11, 362, 646	8, 817, 076

※ () 内の数値は、「翌年度繰越額－未収入特定財源」

3 一般会計歳入決算額の概要

1 款 市 税 （第6表・第7表参照）

法人市民税などの減少により、前年度と比較して、市税総額は減少しています。

1 市 民 税

市民税には、個人市民税と法人市民税があり、それぞれの課税の基準によって均等割と所得割（法人は法人税割）に区分されています。

決算額は、561 億 4,067 万円（対前年度 59 億 5,947 万円の減）でした。

（1）個 人

個人市民税は、市内に住所がある人は均等割と所得割（納税者の所得金額に応じて負担していただくもの）を、市内に事務所・事業所又は家屋敷がある人で市内に住所のない人は均等割のみを納める仕組みになっています。

決算額は、320 億 3,592 万円（対前年度 5 億 4,930 万円の増）でした。主な増加の要因は、給与所得の増加により、所得割額が増加したことによるものです。

また、東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律に基づく均等割の引上げ分は、1 億 1,502 万円でした。

（2）法 人

法人市民税は、市内に事務所や事業所などがある法人（会社など）のほか人格のない社団等にかかる税金で、均等割と国税である法人税額に応じて負担していただく法人税割があります。

決算額は、241 億 475 万円（対前年度 65 億 877 万円の減）でした。主な減少の要因は、企業業績の変動によるものです。

2 固定資産税

固定資産税は、土地・家屋・償却資産を所有している人（又は法人）が納める税金です。なお、国・地方公共団体が所有する資産については、国有資産等所在市町村交付金が交付されます。

決算額は、444 億 6,475 万円（対前年度 11 億 9,033 万円の増）でした。

（1）土 地

土地の決算額は、147 億 3,523 万円（対前年度 3 億 9,618 万円の増）でした。

主な増加の要因は、評価替えに伴う負担調整や開発等に伴う地目変更によるものです。

（2）家 屋

家屋の決算額は、167 億 9,956 万円（対前年度 6 億 3,355 万円の増）でした。

主な増加の要因は、新增築家屋と滅失家屋との差額によるものです。

（3）償却資産

償却資産の決算額は、126 億 8,959 万円（対前年度 1 億 5,952 万円の増）でし

た。

主な増加の要因は、自動車関連企業を中心とした設備投資の増加によるものです。

(4) 交付金

決算額は、2億4,037万円（対前年度108万円の増）でした。

3 軽自動車税

軽自動車税は、原動機付自転車、小型特殊自動車、軽自動車及び二輪の小型自動車を所有している人にかかる税金で、軽自動車の取得に対して負担していただく環境性能割と、軽自動車等の所有に対して負担していただく種別割があります。

決算額は、11億740万円（対前年度2,642万円の増）でした。主な増加の要因は、新税率が適用される軽乗用自家用車の課税台数が増加したことによるものです。

4 市たばこ税

市たばこ税は、製造たばこ製造者、特定販売業者又は卸売販売業者が、市内の小売販売業者に売り渡した製造たばこに対してかかる税金です。

決算額は、29億7,888万円（対前年度1,118万円の減）でした。主な減少の要因は、売り渡し本数の減少によるものです。

5 鉱産税

鉱産税は、市内の鉱区で鉱物の掘採事業を行う鉱業者に対してかかる税金です。

決算額は、56万円（対前年度8万円の減）でした。

6 入湯税

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他の消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興に要する費用に充てるための目的税であり、鉱泉浴場における入湯客に対してかかる税金です。

決算額は、94万円（対前年度64万円の増）でした。

7 事業所税

事業所税は、より快適な都市づくりに必要な費用に充てるための目的税であり、市内に所在する事業所等に対してかかる税金で、事業年度末時点の床面積に応じて負担していただく資産割と、事業年度中に従業者へ支払った給与総額に応じて負担していただく従業者割があります。

決算額は、75億9,962万円（対前年度8,660万円の増）でした。主な増加の要因は、従業者給与総額の増加によるものです。

8 都市計画税

都市計画税は、土地区画整理事業などの都市計画事業に要する費用に充てるための目的税であり、課税対象となる資産は、市内の市街化区域内にある土地及び家屋です。

決算額は、45 億 2,515 万円（対前年度 1 億 7,857 万円の増）でした。

2 款 地方譲与税

地方譲与税は、自動車重量税法などの法律に基づき、徴収財源を各々の定める基準により地方公共団体に譲与されるものです。

決算額は、13 億 7,229 万円（対前年度 1,660 万円の増）でした。

内訳は、自動車重量譲与税 9 億 738 万円（対前年度 1,407 万円の増）、地方揮発油譲与税 3 億 99 万円（対前年度 253 万円の増）、森林環境譲与税 1 億 6,392 万円（対前年度 同額）です。

森林環境譲与税は、以下の事業に充当しました。

（単位：千円）

区 分		事 業	事 業 費	森林環境譲与税充当額
農 林 水 産 業 費	林 業 費	水源環境保全林整備費	14,803	14,803
		モニタリング調査費	4,015	4,015
		森づくり人材育成費	2,000	2,000
		森づくり推進組織育成費交付金	22,424	22,424
		間伐促進費補助金	39,800	36,040
		高性能林業機械導入費補助金	32,620	32,620
		森づくり担い手育成支援費補助金	24,038	13,604
		新規就業者育成推進事業費補助金	18,438	17,838
		テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金	12,122	12,122
		林業安全対策用設備導入事業費補助金	458	458
教 育 費	小 学 校 費	管理備品整備費	14,832	3,920
	中 学 校 費	管理備品整備費	15,455	4,080
合 計			201,005	163,924

3 款 利子割交付金

利子割交付金は、利子等について 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、3,481 万円（対前年度 118 万円の減）でした。

4 款 配当割交付金

配当割交付金は、一定の上場株式等の配当等について 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、7 億 2,193 万円（対前年度 9,093 万円の増）でした。

5 款 株式等譲渡所得割交付金

株式等譲渡所得割交付金は、一定の特定口座における上場株式等の譲渡による所得の 5%を地方税として県へ納税されたもののうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、7 億 4,201 万円（対前年度 3 億 842 万円の増）でした。

6 款 法人事業税交付金

法人事業税交付金は、県税である法人事業税のうち一定の割合で市町村へ交付されるものです。

決算額は、17 億 9,753 万円（対前年度 12 億 9,325 万円の減）でした。

7 款 地方消費税交付金

地方消費税交付金は、人口割、従業者数割により地方消費税の 2 分の 1 相当額が県から市町村に交付されるものです。

決算額は、110 億 8,124 万円（対前年度 1 億 4,840 万円の減）でした。社会保障財源分は 58 億 6,058 万円で、以下のとおり充当しました。

（単位：千円）

区 分		事業費	特定財源		一般財源	引き上げ分の 地方消費税交付金	主な事業
			国県支出金	その他			
社会福祉	障がい者福祉事業	4,006,152	2,182,278		1,823,874	611,879	心身障がい者扶助料給付費
	高齢者福祉事業	116,975		24,194	92,781	31,126	老人福祉施設措置費
	児童福祉事業	13,924,136	9,313,325	102,731	4,508,080	1,512,385	子ども医療助成費
	母子福祉事業	979,223	325,852		653,371	219,195	児童扶養手当給付費
	生活保護扶助事業	3,961,369	2,971,661		989,708	332,031	生活保護扶助費
社会保険	介護保険事業	2,979,755			2,979,755	999,658	介護保険事業特別会計繰出金
	国民健康保険事業	1,495,119	1,028,901		466,218	156,409	国民健康保険特別会計繰出金
	その他	3,496,915			3,496,915	1,173,157	療養給付費負担金
保健衛生	疾病予防対策事業	2,390,335	31,762	5	2,358,568	791,261	定期予防接種費
	医療提供体制確保事業	114,450		14,650	99,800	33,481	公的病院救命救急センター機能運営費補助金
合 計		33,464,429	15,853,779	141,580	17,469,070	5,860,582	

8 款 ゴルフ場利用税交付金

ゴルフ場利用税交付金は、県税であるゴルフ場利用税の 7 割相当額が市町村に交付されるもので、市内には交付対象ゴルフ場は 20 か所あります。

決算額は、3 億 5,472 万円（対前年度 1,208 万円の減）でした。

9 款 自動車取得税交付金

自動車取得税交付金は、県税である自動車取得税の 95%の額の 7 割相当額が市町村に交付されるものです。自動車関連税制の見直しにより、令和元年 10 月 1 日以降、自動車取得税は廃止となりました。ただし、滞納分の収入があった場合等に交付されることがあります。

決算額は、244 万円（対前年度 243 万円の増）でした。

10 款 環境性能割交付金

環境性能割交付金は、県税である自動車税環境性能割の 95%の額の 43%相当額が市町村に交付されるものです。

決算額は、3 億 574 万円（対前年度 2,462 万円の増）でした。

11 款 地方特例交付金

地方特例交付金には、個人住民税減収補填特例交付金及び新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金があります。

新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金は、生産性革命の実現に向けた固定資産税の特例措置の拡充による、地方団体の減収を補填するため交付されるものです。

決算額は、5 億 4,580 万円（対前年度 1,788 万円の減）でした。

12 款 地方交付税

地方交付税には、普通交付税と特別交付税の 2 種類があります。

決算額は、2 億 6,276 万円（対前年度 1,110 万円の減）でした。

1 普通交付税

各市町村が一定水準のサービスを供給できるように、財源不足額に応じて交付されるものです。本市の場合、通常の算定では交付対象となりませんが、合併による特例措置（合併算定替）として、合併年度とそれに続く 15 か年度、普通交付税が交付されていました。

特例措置が終了しているため、決算額は 0 円（対前年度 同額）でした。

2 特別交付税

普通交付税で捕捉されない特別の財政需要に対して交付されるものです。

決算額は、2 億 6,276 万円（対前年度 1,110 万円の減）でした。

13 款 交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金は、道路交通法に定める反則金が交通事故発生件数、人口集中地区人口及び改良済道路延長に応じて、算定交付されるものです。

決算額は、4,436 万円（対前年度 570 万円の減）でした。

14 款 分担金及び負担金

分担金及び負担金は、市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するものです。

決算額は、1 億 2,494 万円（対前年度 2,063 万円の増）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	5 年度決算額	4 年度決算額	増 減 額	伸 率
児童福祉費負担金	81,990	71,420	10,570	14.8
老人福祉費負担金	24,242	22,848	1,394	6.1

15 款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は、市の施設の利用や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する実費負担的なものとして徴収するものです。

決算額は、28 億 8,326 万円（対前年度 2 億 4,849 万円の増）でした。

内訳は、使用料 18 億 1,136 万円（対前年度 5,030 万円の減）、手数料 10 億 7,190 万円（対前年度 2 億 9,879 万円の増）です。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分		5 年度決算額	4 年度決算額	増 減 額	伸 率
使 用 料		1, 811, 360	1, 861, 662	△ 50, 302	△ 2. 7
主 な もの	住 宅 使 用 料	461, 950	486, 354	△ 24, 404	△ 5. 0
	児 童 福 祉 使 用 料	365, 149	354, 320	10, 829	3. 1
	文 化 体 育 使 用 料	240, 974	262, 675	△ 21, 701	△ 8. 3
	都 市 計 画 使 用 料	227, 415	234, 474	△ 7, 059	△ 3. 0
手 数 料		1, 071, 902	773, 111	298, 791	38. 6
主 な もの	清 掃 手 数 料	820, 619	528, 162	292, 457	55. 4
	戸 籍 住 民 手 数 料	97, 975	93, 664	4, 311	4. 6
	保 健 衛 生 手 数 料	71, 298	72, 330	△ 1, 032	△ 1. 4

16 款 国庫支出金

決算額は、298 億 5,231 万円（対前年度 2 億 1,578 万円の減）でした。

内訳は、国庫負担金 140 億 372 万円（対前年度 7 億 8,548 万円の減）、国庫補助金 157 億 6,452 万円（対前年度 5 億 6,739 万円の増）、国庫委託金 8,407 万円（対前年度 231 万円の増）です。

なお、主な減少の要因は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の減によるものです。

(単位：千円、%)

区 分		5 年度決算額	4 年度決算額	増 減 額	伸 率
国 庫 負 担 金		14, 003, 724	14, 789, 205	△ 785, 481	△ 5. 3
主 な も の	障がい者福祉費負担金	5, 179, 130	4, 669, 091	510, 039	10. 9
	児童福祉費負担金	4, 738, 066	4, 924, 531	△ 186, 465	△ 3. 8
	生活保護費負担金	3, 078, 435	3, 055, 683	22, 752	0. 7
	保健衛生費負担金	816, 719	1, 932, 670	△ 1, 115, 951	△ 57. 7
国 庫 補 助 金		15, 764, 517	15, 197, 125	567, 392	3. 7
主 な も の	総 務 費 補 助 金	4, 383, 844	2, 276, 318	2, 107, 526	92. 6
	児童福祉費補助金	3, 503, 554	3, 685, 251	△ 181, 697	△ 4. 9
	都市計画費補助金	2, 578, 391	1, 682, 043	896, 348	53. 3
	道路橋りょう費補助金	893, 809	828, 548	65, 261	7. 9
	社会教育費補助金	841, 953	858, 070	△ 16, 117	△ 1. 9
	保健衛生費補助金	782, 616	871, 530	△ 88, 914	△ 10. 2
国 庫 委 託 金		84, 070	81, 762	2, 308	2. 8
主 な も の	社会福祉費委託金	63, 172	61, 753	1, 419	2. 3
	保健衛生費委託金	7, 966	7, 796	170	2. 2

17 款 県支出金

決算額は、120 億 8, 716 万円（対前年度 26 億 3, 524 万円の減）でした。

内訳は、県負担金 63 億 2, 979 万円（対前年度 1 億 9, 131 万円の減）、県補助金 48 億 1, 346 万円（対前年度 22 億 505 万円の減）、県委託金 9 億 3, 510 万円（対前年度 2 億 3, 950 万円の減）、県交付金 881 万円（対前年度 62 万円の増）です。

なお、主な減少の要因は、自宅療養者等医療提供事業補助金の減によるものです。

(単位：千円、%)

区 分		5 年度決算額	4 年度決算額	増 減 額	伸 率
県 負 担 金		6, 329, 791	6, 521, 106	△ 191, 315	△ 2. 9
主 な も の	障がい者福祉費負担金	2, 520, 199	2, 269, 074	251, 125	11. 1
	児童福祉費負担金	2, 098, 225	2, 555, 190	△ 456, 965	△ 17. 9
	国民健康保険負担金	1, 040, 688	1, 027, 686	13, 002	1. 3
	老人福祉費負担金	559, 552	520, 262	39, 290	7. 6
県 補 助 金		4, 813, 458	7, 018, 509	△ 2, 205, 051	△ 31. 4
主 な も の	社会福祉費補助金	1, 471, 175	1, 328, 119	143, 056	10. 8
	老人福祉費補助金	1, 210, 611	204, 587	1, 006, 024	491. 7
	児童福祉費補助金	514, 598	509, 892	4, 706	0. 9
県 委 託 金		935, 101	1, 174, 603	△ 239, 502	△ 20. 4
主 な も の	徴 税 費 委 託 金	739, 538	732, 002	7, 536	1. 0
	林 業 費 委 託 金	88, 649	83, 491	5, 158	6. 2
県 交 付 金		8, 805	8, 180	625	7. 6
主 な も の	市町村事務移譲交付金	8, 562	7, 935	627	7. 9
	戸籍住民基本台帳費交付金	243	245	△ 2	△ 0. 8

18 款 財 産 収 入

財産収入は、市有財産の貸付け、売払い等により得た現金収入のことです。普通財産の売払収入や、基金の利子等が該当します。

決算額は、25 億 9,121 万円（対前年度 21 億 7,556 万円の増）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	5 年度決算額	4 年度決算額	増 減 額	伸 率
土 地 売 払 収 入	1,147,151	113,059	1,034,092	914.6
出 資 金 償 還 金	1,107,722	0	1,107,722	皆増
土地建物貸付収入	187,949	202,950	△ 15,001	△ 7.4

19 款 寄 附 金

寄附金は、民法上の譲与で金銭に限られるものです。

決算額は、3 億 459 万円（対前年度 2 億 914 万円の減）でした。

主な内訳は、以下のとおりです。

（単位：千円、％）

区 分	5 年度決算額	4 年度決算額	増 減 額	伸 率
一 般 寄 附 金	209,759	195,594	14,165	7.2
教 育 費 寄 附 金	38,780	271,850	△ 233,070	△ 85.7
民 生 費 寄 附 金	28,204	5,026	23,178	461.2
衛 生 費 寄 附 金	8,653	9,194	△ 541	△ 5.9

20 款 繰 入 金

決算額は、77 億 7,813 万円（対前年度 40 億 8,690 万円の増）でした。

主な内訳は、財政調整基金繰入金 42 億円、公共施設安全安心基金繰入金 20 億、都市高速鉄道整備基金繰入金 10 億円、地域づくり振興基金繰入金 2 億円、介護保険事業特別会計繰入金 1 億 4,920 万円などです。

21 款 繰 越 金

繰越金は、前年度の決算上の剰余金です。

令和 4 年度からの繰越金の決算額は、167 億 6,150 万円（対前年度 25 億 3,598 万円の増）でした。

主な内容は、継続費通次繰越額 48 億 8,798 万円、繰越明許費繰越額 57 億 9,655 万円、事故繰越額 79 万円、純繰越金（実質収支額）60 億 6,057 万円です。

22 款 諸 収 入

決算額は、67 億 2,912 万円（対前年度 4 億 1,639 万円の増）でした。

内訳は、雑入 60 億 7,816 万円（対前年度 7 億 8,987 万円の増）、受託事業収入 3 億 6,117 万円（対前年度 589 万円の増）、貸付金元利収入 2 億 4,593 万円（対前年度 3 億 4,063 万円の減）、延滞金、加算金及び過料 3,448 万円（対前年度 4,573 万円の減）、市預金利子 938 万円（対前年度 699 万円の増）です。

なお、主な増加の要因は、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の増によるものです。

(単位：千円、％)

区 分		5 年度決算額	4 年度決算額	増 減 額	伸 率
雑 入		6,078,159	5,288,287	789,872	14.9
主 な も の	雑 入	2,905,643	1,743,324	1,162,319	66.7
	給 食 費 収 入	2,285,169	2,317,126	△ 31,957	△ 1.4
	医療助成費返納金	364,890	276,857	88,033	31.8
	児童健全育成費負担金	264,659	254,236	10,423	4.1
受 託 事 業 収 入		361,170	355,286	5,884	1.7
貸 付 金 元 利 収 入		245,934	586,570	△ 340,636	△ 58.1
延滞金、加算金及び過料		34,475	80,202	△ 45,727	△ 57.0
市 預 金 利 子		9,383	2,391	6,992	292.4

23 款 市 債

決算額は、38 億 3,410 万円（対前年度 5 億 8,870 万円の減）でした。

※資料編 地方債現在高の状況を参照

第4表 一般会計歳入

款	年 度	令和元年度			令和2年度		
		決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
1	市 税	120,828,758	59.7	3.6	106,952,270	42.2	△ 11.5
2	地 方 譲 与 税	1,247,987	0.6	4.4	1,311,284	0.5	5.1
3	利 子 割 交 付 金	74,827	0.0	△ 54.8	82,506	0.0	10.3
4	配 当 割 交 付 金	520,207	0.3	10.4	483,259	0.2	△ 7.1
5	株式等譲渡所得割交付金	268,512	0.1	△ 25.0	456,610	0.2	70.1
6	法 人 事 業 税 交 付 金	-	-	-	2,926,303	1.2	皆増
7	地 方 消 費 税 交 付 金	8,183,512	4.1	△ 5.2	9,885,713	3.9	20.8
8	ゴルフ場利用税交付金	359,126	0.2	△ 0.7	323,435	0.1	△ 9.9
9	自動車取得税交付金	356,843	0.2	△ 48.2	0	-	皆減
10	環 境 性 能 割 交 付 金	110,067	0.1	皆増	239,927	0.1	118.0
11	地 方 特 例 交 付 金	1,489,627	0.7	303.5	548,433	0.2	△ 63.2
12	地 方 交 付 税	2,234,761	1.1	△ 43.6	1,010,842	0.4	△ 54.8
13	交通安全対策特別交付金	56,458	0.0	△ 6.6	60,653	0.0	7.4
14	分 担 金 及 び 負 担 金	283,746	0.1	△ 33.1	176,535	0.1	△ 37.8
15	使 用 料 及 び 手 数 料	2,988,303	1.5	△ 8.3	2,541,960	1.0	△ 14.9
16	国 庫 支 出 金	20,973,140	10.4	21.2	69,372,993	27.4	230.8
17	県 支 出 金	9,343,980	4.6	4.8	10,317,660	4.1	10.4
18	財 産 収 入	581,888	0.3	3.2	628,463	0.2	8.0
19	寄 附 金	85,620	0.0	217.3	662,059	0.3	673.3
20	繰 入 金	2,889,293	1.4	△ 45.7	17,484,414	6.9	505.1
21	繰 越 金	13,582,919	6.7	57.8	15,102,873	6.0	11.2
22	諸 収 入	6,042,736	3.0	△ 39.6	4,786,302	1.9	△ 20.8
23	市 債	9,925,200	4.9	132.7	7,944,200	3.1	△ 20.0
歳 入 合 計 (A)		202,427,510	100.0	5.6	253,298,694	100.0	25.1
予 算 現 額 (B)		209,862,248	-	-	260,332,604	-	-
差 引 (A) - (B)		△ 7,434,738	-	-	△ 7,033,910	-	-

※予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。

第5表 一般会計年次

区 分	年 度	令和元年度			令和2年度		
		決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率
自 主 財 源		147,283,263	72.8	1.7	148,334,876	58.6	0.7
依 存 財 源		55,144,247	27.2	17.9	104,963,818	41.4	90.3
一 般 財 源		145,067,118	71.7	△ 0.4	147,270,767	58.1	1.5
特 定 財 源		57,360,392	28.3	24.9	106,027,927	41.9	84.8

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和3年度			令和4年度			令和5年度				款
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年 増減額	
96,142,850	46.0	△ 10.1	121,306,134	56.0	26.2	116,817,952	53.8	△ 3.7	△ 4,488,182	1
1,331,260	0.6	1.5	1,355,693	0.6	1.8	1,372,294	0.6	1.2	16,601	2
53,390	0.0	△ 35.3	35,994	0.0	△ 32.6	34,813	0.0	△ 3.3	△ 1,181	3
654,438	0.3	35.4	630,995	0.3	△ 3.6	721,925	0.3	14.4	90,930	4
746,869	0.4	63.6	433,585	0.2	△ 41.9	742,009	0.3	71.1	308,424	5
3,731,167	1.8	27.5	3,090,777	1.4	△ 17.2	1,797,528	0.8	△ 41.8	△ 1,293,249	6
10,752,166	5.1	8.8	11,229,638	5.2	4.4	11,081,241	5.1	△ 1.3	△ 148,397	7
369,523	0.2	14.2	366,804	0.2	△ 0.7	354,721	0.2	△ 3.3	△ 12,083	8
19	0.0	皆増	17	0.0	△ 10.5	2,442	0.0	14,264.7	2,425	9
231,175	0.1	△ 3.6	281,120	0.1	21.6	305,744	0.1	8.8	24,624	10
1,770,248	0.8	222.8	563,678	0.3	△ 68.2	545,796	0.3	△ 3.2	△ 17,882	11
245,696	0.1	△ 75.7	273,862	0.1	11.5	262,759	0.1	△ 4.1	△ 11,103	12
57,539	0.0	△ 5.1	50,058	0.0	△ 13.0	44,362	0.0	△ 11.4	△ 5,696	13
104,588	0.1	△ 40.8	104,318	0.0	△ 0.3	124,945	0.1	19.8	20,627	14
2,552,922	1.2	0.4	2,634,773	1.2	3.2	2,883,262	1.3	9.4	248,489	15
35,963,368	17.2	△ 48.2	30,068,092	13.9	△ 16.4	29,852,311	13.8	△ 0.7	△ 215,781	16
10,846,168	5.2	5.1	14,722,398	6.8	35.7	12,087,156	5.6	△ 17.9	△ 2,635,242	17
1,067,836	0.5	69.9	415,650	0.2	△ 61.1	2,591,206	1.2	523.4	2,175,556	18
177,707	0.1	△ 73.2	513,731	0.2	189.1	304,595	0.1	△ 40.7	△ 209,136	19
16,195,012	7.7	△ 7.4	3,691,228	1.7	△ 77.2	7,778,129	3.6	110.7	4,086,901	20
13,839,061	6.6	△ 8.4	14,225,520	6.6	2.8	16,761,498	7.7	17.8	2,535,978	21
5,740,036	2.7	19.9	6,312,734	2.9	10.0	6,729,121	3.1	6.6	416,387	22
6,506,000	3.1	△ 18.1	4,422,800	2.0	△ 32.0	3,834,100	1.8	△ 13.3	△ 588,700	23
209,079,038	100.0	△ 17.5	216,729,599	100.0	3.7	217,029,909	100.0	0.1	300,310	-
218,355,273	-	-	226,348,460	-	-	220,122,644	-	-	-	-
△ 9,276,235	-	-	△ 9,618,861	-	-	△ 3,092,735	-	-	-	-

別財源内訳表

(単位：千円、%)

令和3年度			令和4年度			令和5年度			
決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	決算	構成比	伸率	対前年 増減額
135,820,012	65.0	△ 8.4	149,204,088	68.8	9.9	153,990,708	71.0	3.2	4,786,620
73,259,026	35.0	△ 30.2	67,525,511	31.2	△ 7.8	63,039,201	29.0	△ 6.6	△ 4,486,310
141,974,680	67.9	△ 3.6	156,214,941	72.1	10.0	154,603,803	71.2	△ 1.0	△ 1,611,138
67,104,358	32.1	△ 36.7	60,514,658	27.9	△ 9.8	62,426,106	28.8	3.2	1,911,448

第6表 市税決算額前年度比較表

(単位：千円、%)

年 度 区 分		5 年 度 決 算 額	4 年 度 決 算 額	増 減 額	伸 率
市 民 税		56,140,672	62,100,139	△ 5,959,467	△ 9.6
内 訳	個 人	32,035,923	31,486,622	549,301	1.7
	法 人	24,104,749	30,613,517	△ 6,508,768	△ 21.3
固 定 資 産 税		44,464,746	43,274,417	1,190,329	2.8
内 訳	土 地	14,735,233	14,339,050	396,183	2.8
	家 屋	16,799,556	16,166,011	633,545	3.9
	償 却 資 産	12,689,591	12,530,070	159,521	1.3
	交 付 金	240,366	239,286	1,080	0.5
軽 自 動 車 税		1,107,397	1,080,980	26,417	2.4
市 た ば こ 税		2,978,877	2,990,058	△ 11,181	△ 0.4
鉱 産 税		561	645	△ 84	△ 13.0
入 湯 税		938	297	641	215.8
事 業 所 税		7,599,616	7,513,019	86,597	1.2
都 市 計 画 税		4,525,145	4,346,579	178,566	4.1
合 計		116,817,952	121,306,134	△ 4,488,182	△ 3.7

第 7 表 市 税

税 目 別 区 分	調 定 済 額		
	現年課税分	滞納繰越分	合 計 (A)
一 普 通 税	104,782,945	742,899	105,525,844
1 法 定 普 通 税	104,782,945	742,899	105,525,844
(1) 市 民 税	56,210,888	570,205	56,781,093
(ｱ) 個 人 均 等 割	806,169	13,777	819,946
(ｲ) 所 得 割	31,294,846	534,820	31,829,666
上記のうち退職所得分	182,360	0	182,360
(ｳ) 法 人 均 等 割	1,030,373	923	1,031,296
(ｴ) 法 人 税 割	23,079,500	20,685	23,100,185
(2) 固 定 資 産 税	44,483,060	155,597	44,638,657
(ｱ) 純 固 定 資 産 税	44,242,694	155,597	44,398,291
(i) 土 地	14,741,335	51,844	14,793,179
(ii) 家 屋	16,806,513	59,107	16,865,620
(iii) 償 却 資 産	12,694,846	44,646	12,739,492
(ｲ) 交 付 金	240,366	0	240,366
(3) 軽 自 動 車 税	1,109,559	17,097	1,126,656
(ｱ) 環 境 性 能 割	63,499	0	63,499
(ｲ) 種 別 割	1,046,060	17,097	1,063,157
(4) 市 た ば こ 税	2,978,877	0	2,978,877
(5) 鉱 産 税	561	0	561
2 法 定 外 普 通 税	-	-	-
二 目 的 税	12,123,661	30,052	12,153,713
1 入 湯 税	938	0	938
2 事 業 所 税	7,597,015	11,037	7,608,052
3 都 市 計 画 税	4,525,708	19,015	4,544,723
(1) 土 地	2,441,770	10,259	2,452,029
(2) 家 屋	2,083,938	8,756	2,092,694
合 計 (一～二)	116,906,606	772,951	117,679,557

徴 収 実 績 表

(単位：千円、%)

収 入 済 額			徴 収 率	
現年課税分	滞納繰越分	合 計 (B)	B / A	前年度
104,463,512	228,741	104,692,253	99.2	99.3
104,463,512	228,741	104,692,253	99.2	99.3
55,981,373	159,299	56,140,672	98.9	99.0
800,607	3,928	804,535	98.1	98.1
31,078,917	152,471	31,231,388	98.1	98.1
182,360	0	182,360	100.0	100.0
1,030,030	124	1,030,154	99.9	99.9
23,071,819	2,776	23,074,595	99.9	99.9
44,398,903	65,843	44,464,746	99.6	99.6
44,158,537	65,843	44,224,380	99.6	99.6
14,713,295	21,938	14,735,233	99.6	99.6
16,774,544	25,012	16,799,556	99.6	99.6
12,670,698	18,893	12,689,591	99.6	99.6
240,366	0	240,366	100.0	100.0
1,103,798	3,599	1,107,397	98.3	98.2
63,499	0	63,499	100.0	100.0
1,040,299	3,599	1,043,898	98.2	98.1
2,978,877	0	2,978,877	100.0	100.0
561	0	561	100.0	100.0
-	-	-	-	-
12,113,841	11,858	12,125,699	99.8	99.8
938	0	938	100.0	100.0
7,595,804	3,812	7,599,616	99.9	99.9
4,517,099	8,046	4,525,145	99.6	99.6
2,437,125	4,341	2,441,466	99.6	99.6
2,079,974	3,705	2,083,679	99.6	99.6
116,577,353	240,599	116,817,952	99.3	99.3

第8表 市 債 の 状 況

(単位：千円、%、年)

事業名	事業費	借入額	借入先	借入年月日	利率	償還 (据置)
地域振興事業債	193,715	97,800	財務省 財政融資資金	6.5.28	0.400	5 (1)
清掃事業債	1,275,963	559,800	財務省 財政融資資金	6.5.28	0.700	10 (2)
道路橋りょう 事業債	70,000	26,900	財務省 財政融資資金	6.3.25	0.500	10 (2)
	125,422	78,200	(公財)愛知県 市町村振興協会	6.5.30	0.400	10 (2)
河川事業債	231,647	162,500	財務省 財政融資資金	6.5.28	0.700	10 (2)
都市計画事業債	2,938,918	1,193,200	財務省 財政融資資金	6.5.28	0.700	10 (2)
	1,738,800	671,200	財務省 財政融資資金	6.3.25	0.500	10 (2)
社会教育事業債	627,225	165,000	財務省 財政融資資金	6.5.28	0.700	10 (2)
	791,706	400,600	財務省 財政融資資金	6.3.25	0.500	10 (2)
文化体育事業債	41,578	18,000	財務省 財政融資資金	6.5.28	0.700	10 (2)
	842,418	388,000	財務省 財政融資資金	6.3.25	0.500	10 (2)
小学校事業債	68,169	28,100	財務省 財政融資資金	6.3.25	0.500	10 (2)
中学校事業債	139,061	44,800	財務省 財政融資資金	6.3.25	0.500	10 (2)
合 計	9,084,622	3,834,100				

4 一般会計歳出決算額の概要

1 目的別一般会計歳出決算額（款項目別の詳細は第13表を参照）

1 款 議 会 費

議会費の決算額は、8億6,676万円（対前年度2,880万円の増）でした。

主な内訳は、議員人件費5億8,712万円です。

増加の主な項目は、議会活動費2,238万円の増です。

2 款 総 務 費

総務費の決算額は、230億2,118万円（対前年度79億5,783万円の減）でした。

主な内訳は、財政調整基金積立金61億円、情報システム基盤費7億9,307万円、庁舎管理費6億3,645万円です。

増加の主な項目は、財政調整基金積立金16億円の増です。

減少の主な項目は、公共施設安全安心基金積立金73億円、職員退職手当11億3,689万円の減です。

3 款 民 生 費

民生費の決算額は、693億7,905万円（対前年度24億6,238万円の増）でした。

主な内訳は、児童手当給付費61億9,393万円、教育・保育給付費54億7,762万円、介護給付費47億1,037万円です。

増加の主な項目は、特別養護老人ホーム等建設費補助金7億3,879万円、障がい者訓練等給付費4億6,591万円、障がい者介護給付費3億4,301万円の増です。

減少の主な項目は、児童手当給付費3億6,415万円、介護事業所等災害・感染症対策費1億8,427万円の減です。

4 款 衛 生 費

衛生費の決算額は、171億7,482万円（対前年度50億9,599万円の減）でした。

主な内訳は、渡刈クリーンセンター費36億3,554万円、予防接種費14億6,097万円、水道事業補助金13億9,400万円です。

増加の主な項目は、渡刈クリーンセンター費14億6,253万円、水道事業補助金7億9,400万円の増です。

減少の主な項目は、自宅療養者等医療提供事業補助金23億646万円、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費10億721万円の減、豊田地域医療センター再整備費12億7,352万円の皆減です。

5 款 労 働 費

労働費の決算額は、1億6,397万円（対前年度584万円の増）でした。

主な内訳は、就労支援費 7,340 万円です。

増加の主な項目は、働き方改革推進費 930 万円の増です。

6 款 農林水産業費

農林水産業費の決算額は、31 億 7,931 万円（対前年度 2 億 6,724 万円の増）でした。

主な内訳は、用水保全費 2 億 9,723 万円、土地改良事業費補助金 1 億 9,640 万円、多面的機能支払費 1 億 7,562 万円です。

増加の主な項目は、用水保全費 1 億 2,968 万円の増です。

減少の主な項目は、ため池整備費 9,326 万円の減です。

7 款 商 工 費

商工費の決算額は、57 億 3,135 万円（対前年度 11 億 8,771 万円の増）でした。

主な内訳は、産業立地政策推進費 10 億 3,110 万円、キャッシュレスポイント還元事業費 10 億 765 万円、宿泊事業者等支援事業費 10 億 679 万円です。

増加の主な項目は、キャッシュレスポイント還元事業費 8 億 9,440 万円、宿泊事業者等支援事業費 4 億 4,188 万円、産業立地政策推進費 2 億 3,820 万円の増です。

減少の主な項目は、資金融資費 3 億 2,200 万円の減です。

8 款 土 木 費

土木費の決算額は、325 億 738 万円（対前年度 79 億 551 万円の増）でした。

主な内訳は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 41 億 9,338 万円、下水道事業負担金 23 億 4,532 万円、内環状線建設費 22 億 4,068 万円、道路修繕費 19 億 8,406 万円、都心環境計画推進費 12 億 3,166 万円、都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金 11 億 4,148 万円、公園維持管理費 11 億 3,935 万円、土地区画整理事業公共施設管理者負担金 10 億 8,338 万円、道路等管理費 10 億 5,930 万円、定住対策事業費 10 億 5,277 万円です。

増加の主な項目は、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 17 億 5,843 万円、内環状線建設費 11 億 5,202 万円、定住対策事業費 9 億 9,129 万円、都心環境計画推進費 6 億 4,109 万円、都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金 5 億 6,958 万円の増です。

9 款 消 防 費

消防費の決算額は、71 億 3,591 万円（対前年度 1 億 8,451 万円の増）でした。

主な内訳は、常備消防活動通信機器管理費 5 億 7,796 万円、消防車両整備費 2 億 7,303 万円、防災設備費 2 億 5,210 万円です。

増加の主な項目は、詰所・格納庫費 1 億 1,561 万円の増です。

減少の主な項目は、消防車両整備費 1 億 2,198 万円の減です。

10 款 教 育 費

教育費の決算額は、321 億 926 万円（対前年度 3 億 9,325 万円の増）でした。

主な内訳は、博物館建設費 60 億 3,672 万円、中央公園費 20 億 3,557 万円、学校給食協会委託費 14 億 9,469 万円、文化振興財団運営費補助金 12 億 8,546 万円、小・中学校保全改修費 10 億 2,523 万円、総合体育館長寿命化推進費 7 億 9,966 万円です。

増加の主な項目は、博物館建設費 38 億 6,720 万円、世界ラリー選手権開催推進費 3 億 3,067 万円、小・中学校バリアフリー化整備費 2 億 1,054 万円の増、総合体育館長寿命化推進費 7 億 9,966 万円、高橋節郎館活動基金積立金 3 億 23 万円の皆増です。

減少の主な項目は、教育施設整備基金積立金 39 億 9,995 万円、小・中学校保全改修費 9 億 4,847 万円の減です。

11 款 災害復旧費

災害復旧費の決算額は、10 億 2,061 万円（対前年度 7 億 224 万円の増）でした。

主な内訳は、土木施設災害復旧事業費 5 億 7,364 万円、農業施設災害復旧事業費 2 億 9,500 万円、林業施設災害復旧事業費 1 億 980 万円です。

増加の主な項目は、土木施設災害復旧事業費 3 億 9,475 万円、農業施設災害復旧事業費 1 億 8,456 万円の増です。

12 款 公 債 費

公債費の決算額は、76 億 5,334 万円（対前年度 1 億 2,446 万円の減）でした。

内訳は、元金は 75 億 4,281 万円（対前年度 1 億 1,592 万円の減）、利子は 1 億 1,053 万円（対前年度 854 万円の減）です。

13 款 諸 支 出 金

諸支出金の決算額は、0 円（対前年度 同額）でした。

2 性質別一般会計歳出決算額（詳細は第10表を参照）

（1）人件費

人件費の決算額は、302億4,877万円（対前年度8億2,866万円の減）でした。

主な内訳は、一般職人件費230億3,918万円、非常勤一般職人件費52億6,151万円、職員退職手当5億4,729万円です。

減少の主な項目は、職員退職手当11億3,690万円の減です。

（2）物件費

物件費の決算額は、359億5,245万円（対前年度18億6,445万円の減）でした。

主な内訳は、学校給食協会委託費14億9,469万円、予防接種費14億4,295万円、渡刈クリーンセンター費13億4,125万円、放課後児童健全育成費11億9,699万円、公園維持管理費11億2,486万円、重層的支援体制整備事業費10億2,349万円、道路等管理費10億1,372万円です。

増加の主な項目は、情報システム基盤費1億9,132万円、放課後児童健全育成費1億1,343万円の増です。

減少の主な項目は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費10億5,455万円、自宅療養者配食サービス事業費7億1,741万円、自宅療養者健康管理事業費2億9,595万円の減です。

（3）維持補修費

維持補修費の決算額は、24億5,935万円（対前年度1億8,051万円の増）でした。

主な内訳は、道路修繕費7億1,370万円、河川修繕費3億9,120万円、市有建築物維持管理費1億6,996万円です。

増加の主な項目は、総合体育館施設保全費1億3,223万円、中央公園施設保全費1億440万円の増です。

（4）扶助費

扶助費の決算額は、390億3,710万円（対前年度17億2,378万円の増）でした。

主な内訳は、児童手当給付費61億9,393万円、教育・保育給付費54億7,762万円、障がい者介護給付費47億1,037万円、生活保護扶助費39億6,137万円、障がい者訓練等給付費30億6,373万円です。

増加の主な項目は、障がい者訓練等給付費4億6,591万円、障がい者介護給付費3億4,301万円、教育・保育給付費2億8,027万円、児童発達支援費2億5,052万円の増です。

減少の主な項目は、児童手当給付費3億6,415万円の減です。

（5）補助費等

補助費等の決算額は、214億2,546万円（対前年度14億1,301万円の減）でした。

主な内訳は、下水道事業負担金 23 億 4,532 万円、水道事業補助金 13 億 9,400 万円、福祉事業団運営費補助金 12 億 9,122 万円、文化振興財団運営費補助金 12 億 8,546 万円、私立認定こども園振興費 12 億 5,519 万円、キャッシュレスポイント還元事業費 10 億 765 万円、宿泊事業者等支援事業費 10 億 679 万円、産業立地政策推進費 10 億 1,956 万円です。

増加の主な項目は、キャッシュレスポイント還元事業費 8 億 9,440 万円、水道事業補助金 7 億 9,400 万円の増です。

減少の主な項目は、自宅療養者等医療提供事業補助金 23 億 646 万円、新型コロナウイルス感染症対策費 3 億 2,457 万円の減、子育て世帯臨時特別給付金給付費 6 億 7,538 万円の皆減です。

(6) 公 債 費

公債費の決算額は、76 億 5,334 万円（対前年度 1 億 2,446 万円の減）でした。

内訳は、元金は 75 億 4,281 万円（対前年度 1 億 1,592 万円の減）、利子は 1 億 1,053 万円（対前年度 854 万円の減）です。

(7) 積 立 金

積立金の決算額は、67 億 3,490 万円（対前年度 95 億 7,169 万円の減）でした。

主な内訳は、財政調整基金積立金 61 億円、高橋節郎館活動基金積立金 3 億 23 万円、公共施設安全安心基金積立金 3 億円です。

増加の主な項目は、財政調整基金積立金 16 億円の増、高橋節郎館活動基金積立金 3 億 23 万円の皆増です。

減少の主な項目は、公共施設安全安心基金積立金 73 億円、教育施設整備基金積立金 40 億円の減、博学未来創造基金積立金 2 億円の皆減です。

(8) 投資及び出資金

投資及び出資金の決算額は、9 億 9,467 万円（対前年度 7 億 1,467 万円の増）でした。

内訳は、下水道事業出資金 4 億 5,000 万円（対前年度 3 億 1,000 万円の増）、世界ラリー選手権開催推進費 3 億 1,000 万円（対前年度 1 億 7,000 万円の増）、水道事業出資金 2 億 3,467 万円（皆増）です。

(9) 貸 付 金

貸付金の決算額は、1 億 9,000 万円（対前年度 3 億 2,200 万円の減）でした。

内訳は、小規模企業等振興資金預託金 1 億 4,100 万円（対前年度 2 億 300 万円の減）、商工業者事業資金預託金 4,900 万円（対前年度 1 億 1,900 万円の減）です。

(10) 繰 出 金

繰出金の決算額は、135 億 7,285 万円（対前年度 15 億 8,532 万円の増）でした。

主な内訳は、国民健康保険特別会計繰出金 40 億 3,714 万円、介護保険事業特別会計繰出金 39 億 1,044 万円、療養給付費負担金 34 億 9,692 万円です。

増加の主な項目は、国民健康保険特別会計繰出金 8 億 5,413 万円、都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金 5 億 6,958 万円の増です。

(11) 普通建設事業費

普通建設事業費の決算額は、404 億 9,773 万円（対前年度 90 億 5,550 万円の増）でした。

主な内訳は、博物館建設費 60 億 3,672 万円、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 41 億 9,338 万円、内環状線建設費 22 億 4,068 万円、渡刈クリーンセンター施設整備費 14 億 2,733 万円、中央公園費 11 億 3,031 万円、土地区画整理事業公共施設管理者負担金 10 億 8,338 万円です。

増加の主な項目は、博物館建設費 38 億 6,720 万円、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 17 億 5,843 万円、内環状線建設費 11 億 5,202 万円の増、渡刈クリーンセンター施設整備費 14 億 2,733 万円の皆増です。

減少の主な項目は、中央公園費 3 億 4,843 万円の減、養護老人ホーム改築費補助金 4 億 1,643 万円、若園交流館建設費 8 億 6,438 万円、豊田地域医療センター再整備費 12 億 7,352 万円の皆減です。

(12) 災害復旧事業費

災害復旧事業費の決算額は、11 億 7,630 万円（対前年度 8 億 2,369 万円の増）でした。

主な内訳は、土木施設災害復旧事業費 5 億 7,364 万円、農業施設災害復旧事業費 2 億 9,500 万円です。

増加の主な項目は、土木施設災害復旧事業費 3 億 9,475 万円、農業施設災害復旧事業費 1 億 8,456 万円の増です。

第9表 一般会計歳出

年 度 款		令和元年度			令和2年度		
			構成比	伸率		構成比	伸率
1	議 会 費	851,124	0.4	△ 0.3	829,913	0.3	△ 2.5
2	総 務 費	21,186,795	11.3	7.5	68,409,786	28.6	222.9
3	民 生 費	56,834,002	30.3	8.0	59,715,540	24.9	5.1
4	衛 生 費	15,208,862	8.1	7.7	22,974,384	9.6	51.1
5	労 働 費	140,876	0.1	△ 55.7	421,934	0.2	199.5
6	農 林 水 産 業 費	2,654,988	1.4	0.7	2,862,178	1.2	7.8
7	商 工 費	4,619,441	2.5	8.7	5,471,473	2.3	18.4
8	土 木 費	34,760,526	18.6	4.9	34,725,533	14.5	△ 0.1
9	消 防 費	7,581,608	4.0	0.1	7,247,085	3.0	△ 4.4
10	教 育 費	33,633,225	18.0	11.5	27,919,584	11.7	△ 17.0
11	災 害 復 旧 費	139,034	0.1	△ 59.3	985,111	0.4	608.5
12	公 債 費	9,714,156	5.2	△ 21.0	7,897,112	3.3	△ 18.7
13	諸 支 出 金	0	-	皆減	0	-	-
14	予 備 費	0	-	-	0	-	-
歳 出 合 計 (A)		187,324,637	100.0	5.2	239,459,633	100.0	27.8
予 算 現 額 (B)		209,862,248	-	-	260,332,604	-	-
差 引 (B-A) (C)		22,537,611	-	-	20,872,971	-	-
(C)の 内訳	翌 年 度 繰 越 額	14,582,604	6.9	-	12,875,273	4.9	-
	不 用 額	7,955,007	3.8	-	7,997,698	3.1	-

※1 予算現額には、継続費及び繰越事業費を含む。

2 「(C)の内訳」欄の構成比は、予算現額に対する比率である。

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和3年度			令和4年度			令和5年度				款
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年 増減額	
837,784	0.4	0.9	837,956	0.4	0.0	866,757	0.4	3.4	28,801	1
24,107,082	12.4	△ 64.8	30,979,006	15.5	28.5	23,021,179	11.5	△ 25.7	△ 7,957,827	2
71,569,108	36.7	19.9	66,916,662	33.5	△ 6.5	69,379,045	34.7	3.7	2,462,383	3
20,700,683	10.6	△ 9.9	22,270,807	11.1	7.6	17,174,817	8.6	△ 22.9	△ 5,095,990	4
327,253	0.2	△ 22.4	158,123	0.1	△ 51.7	163,965	0.1	3.7	5,842	5
2,644,964	1.4	△ 7.6	2,912,069	1.5	10.1	3,179,310	1.6	9.2	267,241	6
4,738,439	2.4	△ 13.4	4,543,639	2.3	△ 4.1	5,731,350	2.9	26.1	1,187,711	7
25,505,861	13.1	△ 26.6	24,601,871	12.3	△ 3.5	32,507,380	16.3	32.1	7,905,509	8
7,017,764	3.6	△ 3.2	6,951,398	3.5	△ 0.9	7,135,911	3.6	2.7	184,513	9
29,668,047	15.2	6.3	31,716,009	15.9	6.9	32,109,259	16.1	1.2	393,250	10
489,052	0.3	△ 50.4	318,371	0.2	△ 34.9	1,020,609	0.5	220.6	702,238	11
7,247,481	3.7	△ 8.2	7,777,800	3.9	7.3	7,653,340	3.8	△ 1.6	△ 124,460	12
0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	13
0	-	-	0	-	-	0	-	-	0	14
194,853,518	100.0	△ 18.6	199,983,711	100.0	2.6	199,942,922	100.0	0.0	△ 40,789	-
218,355,273	-	-	226,348,460	-	-	220,122,644	-	-	-	-
23,501,755	-	-	26,364,749	-	-	20,179,722	-	-	-	-
14,588,460	6.7	-	15,416,644	6.8	-	11,362,646	5.2	-	-	-
8,913,295	4.1	-	10,948,105	4.8	-	8,817,076	4.0	-	-	-

第 10 表 一般会計性質別

区 分	令和元年度			令和 2 年度		
		構成比	伸率		構成比	伸率
人 件 費	29,013,576	15.5	△ 1.1	30,069,224	12.6	3.6
物 件 費	31,767,510	17.0	4.5	34,513,492	14.4	8.6
維 持 補 修 費	1,695,323	0.9	31.8	1,906,384	0.8	12.4
扶 助 費	31,126,564	16.6	6.1	33,046,580	13.8	6.2
補 助 費 等	16,965,081	9.0	3.5	62,243,552	26.0	266.9
公 債 費	9,714,156	5.2	△ 21.0	7,897,112	3.3	△ 18.7
積 立 金	4,012,742	2.1	△ 35.8	8,263,969	3.4	105.9
投 資 及 び 出 資 金	920,000	0.5	2.2	450,560	0.2	△ 51.0
貸 付 金	490,000	0.3	△ 12.5	531,000	0.2	8.4
繰 出 金	13,613,693	7.3	8.7	13,376,600	5.6	△ 1.7
普 通 建 設 事 業 費	47,860,832	25.5	24.7	46,079,565	19.2	△ 3.7
うち人件費	1,373,002	0.7	10.2	1,206,430	0.5	△ 12.1
災 害 復 旧 事 業 費	145,160	0.1	△ 60.3	1,081,595	0.5	645.1
うち人件費	16,999	0.0	△ 48.7	96,484	0.0	467.6
失 業 対 策 事 業 費	0	-	-	0	-	-
歳 出 合 計	187,324,637	100.0	5.2	239,459,633	100.0	27.8

決算額年次別比較表

(単位：千円、%)

令和3年度			令和4年度			令和5年度			
	構成比	伸率		構成比	伸率		構成比	伸率	対前年 増減額
30,926,324	15.9	2.9	31,077,430	15.5	0.5	30,248,770	15.1	△ 2.7	△ 828,660
35,916,607	18.4	4.1	37,816,897	18.9	5.3	35,952,451	18.0	△ 4.9	△ 1,864,446
2,689,708	1.4	41.1	2,278,843	1.1	△ 15.3	2,459,354	1.2	7.9	180,511
41,845,717	21.5	26.6	37,313,322	18.7	△ 10.8	39,037,104	19.5	4.6	1,723,782
20,516,724	10.5	△ 67.0	22,838,466	11.4	11.3	21,425,455	10.7	△ 6.2	△ 1,413,011
7,247,481	3.7	△ 8.2	7,777,800	3.9	7.3	7,653,340	3.8	△ 1.6	△ 124,460
5,308,069	2.7	△ 35.8	16,306,589	8.2	207.2	6,734,899	3.4	△ 58.7	△ 9,571,690
410,000	0.2	△ 9.0	280,000	0.1	△ 31.7	994,672	0.5	255.2	714,672
512,000	0.3	△ 3.6	512,000	0.3	0.0	190,000	0.1	△ 62.9	△ 322,000
12,618,378	6.5	△ 5.7	11,987,529	6.0	△ 5.0	13,572,848	6.8	13.2	1,585,319
36,321,545	18.6	△ 21.2	31,442,230	15.7	△ 13.4	40,497,733	20.3	28.8	9,055,503
1,016,722	0.5	△ 15.7	915,715	0.5	△ 9.9	971,885	0.5	6.1	56,170
540,965	0.3	△ 50.0	352,605	0.2	△ 34.8	1,176,296	0.6	233.6	823,691
51,913	0.0	△ 46.2	34,234	0.0	△ 34.1	155,687	0.1	354.8	121,453
0	-	-	0	-	-	0	-	-	0
194,853,518	100.0	△ 18.6	199,983,711	100.0	2.6	199,942,922	100.0	0.0	△ 40,789

第 1 1 表 一 般 会 計 歳 出

款 節	1 議会費	2 総務費	3 民生費	4 衛生費	5 労働費	6 農林水 産業費	7 商工費	8 土木費
1 報 酬	360,796	637,647	1,679,810	138,947	6,790	57,836	26,067	96,160
2 給 料	73,790	2,372,873	2,830,314	1,250,451	15,665	265,446	157,924	1,122,926
3 職員手当等	201,117	2,869,783	2,528,503	1,028,898	13,862	230,091	153,672	983,775
4 共 済 費	134,978	1,032,223	1,210,458	467,417	6,543	98,861	57,447	417,597
5 災害補償費	0	2,644	0	0	0	0	0	0
6 恩 給 及 び 退 職 年 金	0	0	0	0	0	0	0	0
7 報 償 費	1,387	80,222	125,153	56,234	1,907	3,609	1,364	30,779
8 旅 費	9,517	67,150	51,464	9,327	294	2,606	2,999	10,160
9 交 際 費	893	2,559	0	0	0	4	0	0
10 需 用 費	6,852	850,547	755,783	926,160	703	164,928	86,661	2,167,803
11 役 務 費	10,151	675,081	195,543	262,219	644	92,704	13,797	758,975
12 委 託 料	27,204	4,487,148	4,641,227	7,993,079	59,364	347,069	306,546	4,473,484
13 使 用 料 及 び 賃 借 料	6,241	727,890	234,114	23,713	21,374	7,989	33,791	222,236
14 工事請負費	0	187,606	106,481	1,444,668	0	405,668	0	7,360,387
15 原 材 料 費	0	397	179	4,127	0	2,960	174	20,941
16 公 有 財 産 購 入 費	0	183,233	346,174	0	0	0	0	3,186,319
17 備品購入費	9,916	287,087	112,883	89,139	2,069	7,956	5,472	67,558
18 負担金補助 及び交付金	23,915	1,842,217	11,539,673	2,996,441	34,750	1,425,025	4,680,292	9,332,654
19 扶 助 費	0	0	33,501,487	5,533	0	0	0	0
20 貸 付 金	0	0	0	0	0	0	190,000	0
21 補償、補填 及び賠償金	0	858	55,181	0	0	10	0	635,073
22 償還金利子 及び割引料	0	309,396	606,508	239,720	0	211	0	14,632
23 投 資 及 び 出 資 金	0	0	0	234,672	0	0	0	450,000
24 積 立 金	0	6,403,210	29,343	0	0	47	344	314
25 寄 附 金	0	0	0	0	0	0	0	0
26 公 課 費	0	1,408	4	4,072	0	80	0	151
27 繰 出 金	0	0	8,828,763	0	0	66,210	14,800	1,155,456
28 予 備 費	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	866,757	23,021,179	69,379,045	17,174,817	163,965	3,179,310	5,731,350	32,507,380

決 算 額 節 別 集 計 表

(単位：千円、%)

9 消防費	10 教育費	11 災害 復旧費	12 公債費	13 諸 支出金	14 予備費	計	構成比	前年度 構成比
120,258	1,847,072	0	0	0	0	4,971,383	2.5	2.4
2,052,023	873,586	0	0	0	0	11,014,998	5.5	5.6
1,948,735	876,626	0	0	0	0	10,835,062	5.4	6.1
811,095	439,075	0	0	0	0	4,675,694	2.3	2.4
3,363	0	0	0	0	0	6,007	0.0	0.0
0	0	0	0	0	0	0	-	-
36,690	217,107	0	0	0	0	554,452	0.3	0.3
13,993	66,137	0	0	0	0	233,647	0.1	0.1
33	78	0	0	0	0	3,567	0.0	0.0
459,960	3,725,590	773,860	0	0	0	9,918,847	5.0	5.1
82,923	414,917	80,905	0	0	0	2,587,859	1.3	1.3
315,932	8,960,404	23,432	0	0	0	31,634,889	15.8	16.1
460,830	1,004,138	0	0	0	0	2,742,316	1.4	1.5
180,169	8,104,124	46,330	0	0	0	17,835,433	8.9	9.6
158	1,661	641	0	0	0	31,238	0.0	0.0
93,066	351,355	0	0	0	0	4,160,147	2.1	1.4
392,180	577,946	0	0	0	0	1,552,206	0.8	1.1
159,233	3,260,028	95,441	0	0	0	35,389,669	17.7	18.1
0	774,271	0	0	0	0	34,281,291	17.1	16.5
0	0	0	0	0	0	190,000	0.1	0.3
0	304	0	0	0	0	691,426	0.3	0.3
0	3,182	0	7,653,340	0	0	8,826,989	4.4	4.3
0	310,000	0	0	0	0	994,672	0.5	0.2
0	301,641	0	0	0	0	6,734,899	3.4	2.7
0	0	0	0	0	0	0	-	-
5,270	17	0	0	0	0	11,002	0.0	0.0
0	0	0	0	0	0	10,065,229	5.0	4.8
0	0	0	0	0	0	0	-	-
7,135,911	32,109,259	1,020,609	7,653,340	0	0	199,942,922	100.0	100.0

第 1 2 表 一 般 会 計 普 通

区 分		補助事業費	単独事業費	計	構成比
1	議 会 費	0	9, 673	9, 673	0. 0
2	総 務 費	7, 250	1, 004, 666	1, 011, 916	2. 5
	う ち 庁 舎 等	0	133, 738	133, 738	0. 3
3	民 生 費	1, 012, 941	636, 825	1, 649, 766	4. 1
	う ち 保 育 所	3, 781	466, 914	470, 695	1. 2
4	衛 生 費	3, 850	2, 725, 743	2, 729, 593	6. 7
	う ち ご み 処 理	0	2, 421, 641	2, 421, 641	6. 0
	う ち し 尿 処 理	0	475	475	0. 0
5	労 働 費	0	2, 069	2, 069	0. 0
6	農 林 水 産 業 費	15, 722	1, 274, 578	1, 290, 300	3. 2
	う ち 林 道	0	342, 650	342, 650	0. 8
	う ち 農 業 農 村 整 備	0	488, 632	488, 632	1. 2
7	商 工 費	3, 697	515, 301	518, 998	1. 3
	う ち 観 光	0	44, 855	44, 855	0. 1

※県営事業負担金等は単独事業に含む。

建設事業費の状況

(単位：千円、%)

区 分	補助事業費	単独事業費	計	構成比
8 土 木 費	7,649,970	12,805,560	20,455,530	50.5
うち 道路橋りょう	1,050,494	3,791,120	4,841,614	12.0
う ち 河 川	40,000	1,752,639	1,792,639	4.4
う ち 街 路	3,351,564	4,438,102	7,789,666	19.2
う ち 区 画 整 理	1,083,380	110,174	1,193,554	2.9
う ち 公 園	700,784	391,605	1,092,389	2.7
う ち 住 宅	984,400	296,767	1,281,167	3.2
9 消 防 費	72,862	694,703	767,565	1.9
10 教 育 費	4,769,278	7,293,045	12,062,323	29.8
う ち 小 学 校	753,420	1,080,725	1,834,145	4.5
う ち 中 学 校	385,685	460,157	845,842	2.1
う ち 幼 稚 園	0	19,397	19,397	0.0
う ち 社 会 教 育	2,680,417	4,140,938	6,821,355	16.8
11 そ の 他	0	0	0	-
合 計	13,535,570	26,962,163	40,497,733	100.0

第13表 一般会計目別歳出決算額の概要

1款 議会費

1款 議会費	
	(前年度)
当初予算額	877,732,000円 (877,115,000円)
予算現額	903,689,000円 (878,516,000円)
決算額	866,756,426円 (837,956,322円)
翌年度繰越額	0円 (16,930,000円)
不用額	36,932,574円 (23,629,678円)
1- 1- 1目 議会費	
	(前年度)
当初予算額	877,732,000円 (877,115,000円)
予算現額	903,689,000円 (878,516,000円)
決算額	866,756,426円 (837,956,322円)
翌年度繰越額	0円 (16,930,000円)
不用額	36,932,574円 (23,629,678円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
※【課名】は、令和6年度の所管部局を示しています。	
1 人件費(議員45人、一般職18人、非常勤一般職6人)	
【(議)総務課・人事課】	770,680,791円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	
	569,460円
3 議会活動費【(議)総務課・議事調査課】	
(1) 議案審議等	87,552,338円
ア 本会議 定例会4回(会期日数96日、開議日数25日)	
臨時会1回(会期日数1日、開議日数1日)	
イ 委員会	
議会運営委員会	17回
企画総務委員会	16回
地域生活委員会	6回
教育社会委員会	8回
環境福祉委員会	7回
産業建設委員会	8回
予算決算委員会	31回
スポーツを通じたまちの活性化特別委員会	12回
議会活性化推進特別委員会	11回
議会だより編集委員会	18回
ウ 審議案件等	
議案	187件 承認 4件 認定 13件

1款 議会費

報告 10件 同意 11件 意見書 1件
議員提出議案 2件 請願 4件 陳情 20件

(2) 各種加盟協議会等出席

東海市議会議長会、中核市議会議長会、愛知県市議会議長会、
三河部市議会議長会、愛知県中核市議会議長協議会、
西三河市議会議長協議会、尾三11市議会議長協議会 ほか

(3) 調査研究

<政務活動費> 22,009,246円

－内訳－

豊田市議会自民クラブ議員団28名 12,969,141円

豊田市議会市民フォーラム 9名 5,377,892円

公明党豊田市議団 4名 2,400,000円

新しい風とよた 3名 946,303円

諸派（日本共産党豊田市議団）1名 315,910円

<委員会視察>

議会運営委員会（四日市市、金沢市）

企画総務委員会（東松島市、横浜市、横須賀市）

地域生活委員会（広島県、神戸市、堺市）

教育社会委員会（高知市、高知県、守口市）

環境福祉委員会（山口市、西条市、岡山市）

産業建設委員会（福山市、福岡市、熊本市）

スポーツを通じたまちの活性化特別委員会

（佐賀県、広島県、（一社）ディスカバー東広島）

議会活性化推進特別委員会

（秦野市、立川市、茅ヶ崎市）

<議員研修会>

第1回「政策に強い議会をつくろうーその視点と方法ー」

第2回「泥棒目線で考える地域の防犯対策」について

～一般的な防犯対策から最近の強盗団対策まで～

第3回「インターネットを利用した政治活動の注意点と

公選法」

(4) 議会だより発行 11,459,259円

定例会号4回、臨時会号1回を発行し、市内全戸へ配布しました。

4 事務局費【（議）総務課・議事調査課】 7,537,007円

(1) 情報提供の推進

各種会議録の調製、執行部情報の提供

(2) 行政視察の対応

1 款 議会費

他市議会等から 99 件 862 人の視察受入れ

うち 議員用電子機器、議場設備、議会活性化への取組 3 件
(愛知県半田市、佐賀県佐賀市、大阪府茨木市)

(3) 議会に関する PR 活動の充実

ケーブルテレビ、FM ラジオ、インターネット放映

議会要覧、議会年報等の刊行

<本会議傍聴者数>

5 月臨時会 13 人

6 月定例会 262 人

9 月定例会 374 人

12 月定例会 126 人

3 月定例会 214 人

(計) 989 人

5 議会活性化推進費【議事調査課】 416,830 円

(1) 市議会報告会兼意見交換会

企画総務委員会 11 月 6 日(月)

団体名 公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会 豊田支部

テーマ「豊田市のミライに向けたまちづくりのために」

教育社会委員会 11 月 10 日(金)

団体名 キッズプランナー

テーマ「子育て支援について」

環境福祉委員会 10 月 30 日(月)

団体名 豊田一般廃棄物協同組合・豊田環境技術研究会

テーマ「一般廃棄物・産業廃棄物の現状と今後」

産業建設委員会 11 月 28 日(火)

団体名 J A あいち豊田梨部会・桃部会など

テーマ「豊田市農産物のブランド力の維持・向上に向けて」

(2) 市民シンポジウム

1 月 13 日(土) 産業文化センター 参加者 135 名

テーマ「豊田市の災害文明と災害文化を考える」

第 1 部 基調講演

講師：名古屋大学減災連携研究センター

准教授 平山 修久氏

第 2 部 パネルディスカッション

テーマ「将来の異常気象における

豊田市の備えを考える」

◆特記事項

・地方議会議員年金制度廃止後の年金等の給付に要する経費として、負担

1款 議会費

金105,462,000円を執行しました。【（議）総務課】

- ・ 公用車取得事業について、議長車両を更新し、9,672,848円を執行しました。【（議）総務課】

2款 総務費

2款 総務費	
(前年度)	
当初予算額	17,950,602,000円 (19,068,679,000円)
予算現額	24,263,367,222円 (32,040,415,300円)
決算額	23,021,179,298円 (30,979,006,079円)
翌年度繰越額	446,697,000円 (298,760,628円)
不用額	795,490,924円 (762,648,593円)
2- 1- 1目 一般管理費	
(前年度)	
当初予算額	4,780,262,000円 (4,657,178,000円)
予算現額	4,707,961,594円 (4,637,167,539円)
決算額	4,604,963,662円 (4,510,595,041円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	102,997,932円 (126,572,498円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(不当要求行為等審査会委員5人、行政不服審査会委員5人、特別職3人、一般職493人、非常勤一般職319人)	
【法務課・行政改革推進課・人事課】4,463,404,354円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】18,802,170円	
3 庶務費【(総)庶務課】355,533円	
4 車両管理費【(総)庶務課】96,161,393円	
(1) 業務費38,290,902円	
ア 車検・点検	
(ア) 対象車両216台	
(イ) 定期点検整備 延べ288台	
(ウ) 車検前点検整備74台	
(エ) 車検等外注245台	
(オ) その他修理 延べ256台	
イ 公用車事故件数	
加害	双方
自損	小計
被害	総計
7件	3件
13件	23件
3件	26件
(2) 車両導入費57,870,491円	
総リース車両175台(うち、更新リース車両23台)	
5 安全運転推進費【(総)庶務課】2,377,080円	
<研修会等>	
正副安全運転管理者講習会14人	

2款 総務費

	運転技能講習会（採用10年目職員、事故当事者等）	69人
	安全運転講習会（新規採用職員）	78人
	外部講師による運転業務添乗チェック研修	10人
	運転に不慣れな職員に対する安全運転技能講習	6人
	運転苦手克服研修	9人
	安全運転所属長研修（3回）	延べ299人
6	行政不服審査会事務費【行政改革推進課】	1,900円
7	法務費【法務課】	13,211,054円
(1)	事務費	5,485,967円
	内部弁護士職員による法律相談	463件
	ア 職員（学校教職員を除く。）からの業務上の法律相談	340件
	イ 学校からの業務上の法律相談（スクールロイヤー機能）	123件
(2)	電子例規システム費	1,385,787円
	＜データ更新に係る例規の制定改廃別状況＞	
		制定 全部改正 一部改正 廃止
	条 例 72件	4件 0件 64件 4件
	規 則 103件	3件 0件 98件 2件
	規程等 22件	1件 0件 21件 0件
(3)	訴訟等事務費	6,339,300円
	＜令和5年度中に終了した訴訟事件等＞	
	・令和4年（ワ）第5165号 不当利得返還請求事件	
	・2023年（仲オ）第10号 損害賠償請求あっせん事件	
	＜令和5年度末係属中の訴訟事件＞	
	・令和5年（ワ）第147号 損害賠償請求事件※	
	・令和5年（ワ）第961号 損害賠償請求事件※	
	・令和5年（行ウ）第51号 処分取消等請求事件	
	※は、代理人の委任に係る弁護士報酬について、令和5年度の支出がないもの	
	＜令和5年度中に弁護士報酬の支出があった、その他の交渉事件＞ 3件	
8	政策法務推進費【法務課】	1,212,178円
(1)	法務研修	
	法治主義を貫く職員力の向上を図るため、弁護士職員や外部有識者による法務研修を実施しました。	
	研修区分	開催回数 参加人数（累計）
	弁護士職員による法務研修	2回 150人

2款 総務費

- 外部有識者による法務研修 3回 239人
- (2) 派遣研修
政策法務担当等の能力向上と機能強化を図るため、外部研修機関主催の法務研修に19人の職員を派遣しました。
- (3) 書籍の更新等
法執行環境の向上に資するため、各部局に配置している自治六法を更新したほか、参考図書を購入しました。
- (4) 自治体法務検定の団体受検
職員の能力育成効果を検証するため、自治体法務検定の団体受検を実施しました。
- 9 外部監査費【法務課】 9,438,000円
地方自治法に基づく包括外部監査契約を締結し、監査結果の報告を受けました。監査の実施状況は次のとおりです。
包括外部監査人 公認会計士 林 伸一(補助者6人)
監査テーマ 補助金等に関する事務の執行について

2- 1- 2目 秘書費

		(前年度)
当初予算額	25,737,000円 (	39,595,000円)
予算現額	56,269,594円 (	39,410,000円)
決算額	50,853,178円 (	17,596,489円)
翌年度繰越額	0円 (	16,930,000円)
不用額	5,416,416円 (	4,883,511円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(表彰審査委員会委員5人)【秘書課】 40,000円
- 2 秘書事務費【秘書課】 46,898,459円
- (1) 名義後援等申請 321件
- (2) 車両更新のため、公用車を1台購入しました。
- (3) 名誉市民豊田章一郎氏が令和5年2月14日に逝去されたことに伴い、献花式を4月24日に豊田市コンサートホールにおいて開催しました(約380人出席)。
- (4) 第37回榑原康政公ゆかり四市市長懇談会を11月15日に、「歴史・文化を生かしたまちづくりについて」をテーマに開催しました。
- (5) 名誉市民・市政功労者懇談会 10月2日(34人出席)
- (6) 新年あいさつ会 1月4日(約210人出席)
- 3 市制記念式典開催費【秘書課】 3,914,719円

2款 総務費

市制73周年記念式典3月2日(約350人出席)	
(1) 市政功労者に樹神義和様、杉浦弘高様、都築繁雄様、三江弘海様、作元志津夫様を推挙しました。	
(2) 表彰条例に基づき196人、37団体を表彰しました。	
2- 1- 3目 広報費	
	(前年度)
当初予算額	228,452,000円 (238,674,000円)
予算現額	215,802,000円 (216,283,000円)
決算額	207,298,505円 (202,606,532円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	8,503,495円 (13,676,468円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 広報事務費【市政発信課】	95,930,215円
(1) 広報活動	
ア 広報とよた等の発行	
・ 広報とよた(月1回) 1回平均 172,445部	
・ 広報とよた点字版(月1回) 1回平均 53部	
・ 声の広報(月1回) 1回平均 41部	
イ 広報モニター制度	
・ アンケート実施 12回	
・ モニター数 前後期各25人	
(2) 市政記録映像	
・ 「市政の歩み」の制作(主要な事業や出来事を映像で記録)	
(3) Eモニター制度	
・ アンケート実施 17回	
・ モニター数 196人	
(4) シティプロモーション	
・ ホームページに観光誘客及び魅力を発信する魅力・観光情報ページを新設	
・ 外国人向け短編動画をイベント会場やYouTube等で配信 約45万回再生	
・ ホームページで歴史的な出来事や自然・風景など画像・動画をオープンデータとして公開 約2,400件	
(5) ホームページ管理運営	
・ ページビュー数 約2,248万件	
2 テレビ・ラジオ等広報費【市政発信課】	111,368,290円

2款 総務費

- (1) C A T V放送
・市政情報提供番組「とよたNOW」(放送時間20分、1日10回)
- (2) コミュニティFM放送
・市政情報提供番組「ホットニュースとよた」(平日放送時間10分、1日2回、土日放送時間20分、1日1回)

2- 1- 4目 人事管理費

(前年度)

当初予算額	1,094,403,000円	(2,106,961,000円)
予算現額	1,119,757,406円	(2,241,988,061円)
決算額	1,085,788,168円	(2,218,549,740円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	33,969,238円	(23,438,321円)

●執行経費(決算額の内訳) 及び概要

1 人件費【人事課】	846,513,697円
(1) 報酬等審議会委員報酬 8人	250,500円
(2) 職員退職手当	547,285,406円
支給者数	平均支給額
定年退職者 該当者なし	
定年以外 78人	7,016千円
(3) 児童手当	191,840,000円
年3回支給(6月・10月・2月) 延べ2,561人分	
(4) 公務災害補償基金負担金	27,147,703円
職員	3,220人分
(5) 労働保険等	77,274,890円
会計年度任用職員等	2,300人分
(6) 災害補償費	2,643,564円
非常勤職員の療養補償費等を18人に支払いました。	
(7) 恩給及び退職年金	71,634円
2 人事管理事務費【人事課】	206,477,664円
(1) 事務費	11,963,232円
(2) 職員採用試験費	5,820,422円
採用者数	
行政職	82人
消防職	17人
教育保育職	43人

	技能労務職	5人
	計	147人
(3)	職員人事考課費	3,340,700円
	職員の能力・成果主義を徹底するため、目標管理を活用した人事考課制度を実施するとともに、必要に応じて能力開発プログラムを実施しました。	
	ア 対象者：全職種・職位（3,415人）	
	イ 特色：制度運用を通じた人材マネジメント	
	考課結果を得点化し、賞与・昇任・昇給へ反映	
	目標管理による組織パフォーマンスの向上	
	ウ 研修：年2回の研修を実施	
(4)	職員昇任試験費	935,276円
	職員の資質向上や人材発掘を推進するため、能力・実績に基づく昇任試験を実施しました。	
	ア 対象：行政職課長級昇任試験	
	消防職司令長昇任試験	
	消防職司令補昇任試験	
	教育保育職上級保育師昇任試験	
	技能労務職主任昇任試験	
	イ 試験内容：筆記・論述（論文）・面接・人事考課のうちから	
	試験区分によって実施	
	ウ 試験結果：行政職課長級 受験者 59人 合格者23人	
	消防職司令長 受験者 27人 合格者 7人	
	消防職司令補 受験者 38人 合格者13人	
	教育保育職上級保育師	
	受験者 43人 合格者15人	
	技能労務職主任 受験者 9人 合格者 6人	
(5)	人事管理システム費	5,084,538円
(6)	安全衛生委員会費	5,653,300円
	メンタルヘルス研修の実施、非常勤産業医による復職相談等、特に職員の心のケアに力を入れて活動しました。	
	・非常勤産業医による相談 延べ116人	
	・安全衛生委員会研修受講者 78人	
	・衛生管理者免許の取得 免許取得者 4人	
(7)	職員厚生費	100,087,239円
	ア 健康管理の充実	
	職員の健康把握と疾病予防のため、労働安全衛生法に基づく健康診断等を実施しました。	

<令和5年度実施人数>

定期健康診断	1, 111人
深夜勤務者健診	417人
VDT健診	22人
業務別特殊健康診断 有機溶剤	27人
業務別特殊健康診断 特定化学物質	14人
人間ドック	2, 314人
B型肝炎抗体確認検査	29人
B型肝炎予防接種	29人
破傷風予防接種	152人
雇用前健康診断	145人
ストレスチェック	3, 922人

イ 福利の推進

(ア) 被服貸与規程に基づき、作業服を貸与しました。

(イ) 法令及び条例に基づき、愛知県都市職員共済組合と職員互助会に対して負担金を支出しました。

(8) 非常勤職員管理費 68, 946, 933円
労務管理や報酬支払業務等を民間委託により実施しました。

(9) 災害復興支援事務費 4, 646, 024円

3 職員研修費【人事課】 32, 796, 807円

(1) 事務費 5, 454, 244円

(2) 一般研修費 13, 996, 598円

能率的な行政経営を担う人材を育成するため、各階層に応じて研修を実施しました。

28コース 延べ1, 310人 51. 5日

(3) 特別研修費 4, 031, 521円

特定の職員の能力開発のため、テーマや課題を設定して研修を実施しました。 10コース 延べ1, 169人 13. 25日

(4) 部局研修費 1, 279, 147円

仕事を通して自己実現を図ることや活力ある職場づくりを推進するため、部局が自発的に実施する人材育成を支援しました。

研修会、講演会、先進地視察 18回

(5) 自己啓発研修費 1, 028, 545円

職員一人ひとりが、自らの適性や志向を生かした能力開発に励むため、自己啓発を奨励し支援を行いました。

自主研究サークル 8グループ

自主学習援助 64人

(6) 短期派遣研修費 4, 198, 667円

2款 総務費

業務に必要な専門的な知識や技能を修得するため、専門団体や 研修機関等へ短期的（１年未満）に職員を派遣しました。			
市町村アカデミー		19人	
国際アカデミー		3人	
愛知縣市町村振興協会研修センター		25人	
国土交通大学校、全国建設研修センター		12人	
自治大学校		2人	
(7) 長期派遣研修費		2,808,085円	
多角的な視野や専門的な知識を習得するため、組織風土の異なる 国や民間企業等へ長期的（１年以上）に職員を派遣しました。			
省庁派遣		6人	
民間企業派遣		1人	
政策研究大学院大学		1人	
2- 1- 5目 検査費			
(前年度)			
当初予算額	29,901,000円	(	17,007,000円)
予算現額	29,901,000円	(	16,927,000円)
決算額	29,272,546円	(	16,010,613円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	628,454円	(	916,387円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1 検査事務費【技術管理課】		29,272,546円	
検査実施件数	208件		
完成検査	185件		
中間・既済部分検査等	23件		
査察実施件数	10件		
2- 1- 6目 事務管理費			
(前年度)			
当初予算額	48,555,000円	(	79,769,000円)
予算現額	76,215,340円	(	97,472,308円)
決算額	74,184,943円	(	95,626,655円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	2,030,397円	(	1,845,653円)

2款 総務費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（市政顧問会議委員6人、地域経営懇話会委員10人）
【経営戦略課・行政改革推進課】
221,600円
- 2 事務管理事務費【経営戦略課・行政改革推進課】
64,863,415円
 - (1) 事務改善費 8,505,564円
 - ア 公共施設予約システムの改修を実施しました。
 - イ 地方分権改革に関する提案募集を活用して、4件の規制緩和の提案を行いました。
 - (2) 職員提案費 650,000円
改善提案 12,088件
 - (3) 経営戦略事務費 16,733円
 - (4) 官民連携事業推進費 98,500円
指定管理者の更新に際し、適正な事業者選定に努めました。
 - (5) 行政改革推進費 7,602,863円
26所属の事務室をフリーアドレス化するために必要な物品を購入しました。
 - (6) 個人番号カード利用環境整備事務費 47,989,755円
国のマイナポイント事業について、市民の申込みを支援するためのコールセンター及び支援窓口を設置しました。
- 3 中核市市長会事務費【経営戦略課】 843,477円
中核市市長会の会員市として各種会議等に参加し、国への提言活動等に取り組みました。
- 4 東京事務所費【東京事務所】 8,256,451円
首都圏における情報の収集・発信や本庁業務の支援等を行いました。

2- 1- 7目 文書管理費

		(前年度)
当初予算額	278,047,000円	(271,331,000円)
予算現額	265,496,700円	(245,156,400円)
決算額	235,906,438円	(237,671,821円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	29,590,262円	(7,484,579円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（情報公開・個人情報保護審査会委員6人）【法務課】

2款 総務費

		1, 162, 300円
2	文書管理業務費【（総）庶務課・法務課】	210, 208, 819円
（1）	文書管理運営費	8, 661, 337円
（2）	文書郵送集配費	200, 971, 082円
	発送文書数	3, 999, 938通
（3）	文書マイクロフィルム化費	576, 400円
3	印刷業務費【（総）庶務課】	24, 383, 893円
	電子印刷機（印刷室大型機）	2台
	カラー印刷機	1台
	簡易印刷機	2台
	電子複写機（複合機）	146台
4	歴史公文書管理業務費【法務課】	151, 426円
	公開歴史公文書数（令和5年度末）	10, 235文書
2- 1- 8目 公平委員会費		
		（前年度）
	当初予算額	759,000円（771,000円）
	予算現額	639,000円（257,000円）
	決算額	531,406円（126,210円）
	翌年度繰越額	0円（0円）
	不用額	107,594円（130,790円）
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1	人件費（公平委員会委員3人）【法務課】	188, 100円
2	公平委員会事務費【法務課】	343, 306円
2- 1- 9目 財政管理費		
		（前年度）
	当初予算額	104,233,000円（103,010,000円）
	予算現額	6,404,233,000円（12,104,026,400円）
	決算額	6,403,687,817円（12,103,778,118円）
	翌年度繰越額	0円（0円）
	不用額	545,183円（248,282円）
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1	財政事務費【財政課】	571, 380円
	<参考>	
	●普通建設事業費	

2款 総務費

当初予算額	36,150,136千円
令和4年度からの繰越額	9,773,947千円
執行額	40,497,733千円
●市債の発行により、将来のまちづくりに必要な投資額を確保しました。	
新規借入額	3,834,100千円
元金償還額	7,542,815千円
●基金に関しては、将来の財政需要に弾力的に対応する財源として一定規模の資金積立基金残高を確保することとしました。	
令和5年度末資金積立基金残高	77,994,801千円
2 公会計改革推進費【財政課】	1,448,400円
発生主義や複式簿記の考え方を導入して、貸借対照表等の財務書類を作成しました。	
3 財政調整基金積立金【財政課】	6,100,000,000円
将来にわたって財政の健全な運営を図るため、財政調整基金への積立てを行いました。	
令和5年度末基金残高	36,800,000千円
4 減債基金積立金【財政課】	1,668,037円
減債基金の利子を同基金に積み立てました。	
令和5年度末基金残高	2,162,037千円
5 公共施設安全安心基金積立金【財政課】	300,000,000円
増加する公共施設の維持補修等に備えるため、公共施設安全安心基金への積立てを行いました。	
令和5年度末基金残高	11,900,000千円

2- 1-10目 財産管理費

		(前年度)
当初予算額	1,465,087,000円	(1,252,483,000円)
予算現額	1,477,420,812円	(1,384,264,100円)
決算額	1,197,959,595円	(1,250,985,710円)
翌年度繰越額	198,897,000円	(39,071,512円)
不用額	80,564,217円	(94,206,878円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	
南庁舎・衛生試験所長寿命化改修設計事業	198,897,000円
	17,897,000円
本庁舎施設保全事業	181,000,000円

2款 総務費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 財産管理費【財産管理課】 71,418,197円
- 2 庁舎管理費【財産管理課・建築予防保全課】
636,449,091円
(1) 事務費 632,489,091円
(2) 施設保全費 3,960,000円
東庁舎無停電電源装置修繕を行いました。
- 3 庁舎等整備費【財産管理課】 109,689,701円
西庁舎、環境センター、衛生試験所の電話設備の更新等を行いました。
- 4 有料駐車場管理費【財産管理課】 82,022,454円
委託業者 (一社) 豊田市身障協会
利用実績 年間総駐車台数(4か所) 659,698台
- 5 市有建築物維持管理費【建築予防保全課】 298,380,152円
法定点検等の実施及び点検結果の不具合対応や突発的修繕を行いました。

◆特記事項

- ・南庁舎・衛生試験所長寿命化改修設計事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で17,897千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【財産管理課】
- ・本庁舎施設保全事業において、機器納期の延伸により年度内の完了が困難となったため、12月議会で繰越明許費補正を行い、翌年度へ繰り越しました。【建築予防保全課】

2- 1-11目 情報システム費

(前年度)

当初予算額	1,077,701,000円	(1,057,996,000円)
予算現額	1,084,975,000円	(982,143,000円)
決算額	1,051,295,058円	(907,658,012円)
翌年度繰越額	0円	(58,000,000円)
不用額	33,679,942円	(16,484,988円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 情報システム事務費【情報システム課】 180,163,183円
- 2 情報システム基盤費【情報システム課】 793,071,439円
(1) 基幹業務系システム及び行政情報ネットワークを活用した内部情報系システムの運用・開発・改修を実施しました。
基幹業務系システム数 住民記録システム始め36システム

2款 総務費

- 内部情報系システム数 文書管理システム始め33システム
- (2) 事務用パソコンやインターネットパソコン、ファイルサーバなど
各種サーバを配備しました。
- | | |
|-------------|--------|
| 事務用パソコン | 4,001台 |
| インターネットパソコン | 436台 |
| サーバ | 143台 |
- (3) 本庁と庁外施設間のネットワークの管理を行いました。また、業務で使用するネットワークの無線化を実施しました。
- 庁外施設数 162施設
- (4) インターネットを利用した市民向け地図情報サービス「とよた i マップ」で情報提供を行いました。
- 提供情報数 12マップ、52種類の情報

3 情報セキュリティ推進費【情報システム課】

78,060,436円

ICカードを利用した庁舎入退や業務用コンピュータ及びネットワークへの接続権限の管理を行うとともに、ウイルス対策ソフト、インターネット通信の監視、ファイアウォール、情報漏えい対策ソフト、EDRソフト、ファイル無害化システム等、重層的な対策を講じました。

2- 1-12目 契約費

(前年度)

当初予算額	27,471,000円	(	27,529,000円)
予算現額	23,464,000円	(	27,092,850円)
決算額	19,671,029円	(	23,325,049円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	3,792,971円	(	3,767,801円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 契約事務費【契約課】 12,303,235円

<参 考>

種別	競争入札	随意契約	合計契約金額
工事	173件	3件	16,727,293千円
工事関係委託	141件	9件	1,743,125千円
その他委託	469件	350件	14,312,747千円
物品購入	303件	31件	2,136,834千円
物品借入	45件	60件	1,772,245千円

工事契約全体に占める市内本店業者受注割合は、件数で97.7

2款 総務費

%と引き続き高い水準で推移しており、金額では70.9%と令和4年度の53.9%と比較して17.0ポイント増加しました。

また、入札不調・不成立の発生割合は、建設工事全体で7.8%となり、令和4年度の10.3%と比較して2.5ポイント減少しました。

2 物品管理費【契約課】 7,367,794円

庁用消耗品及び庁用備品の調達・管理を行いました。

2- 1-13目 企画費

(前年度)

当初予算額	386,415,000円	(170,576,000円)
予算現額	318,475,660円	(179,575,000円)
決算額	254,437,654円	(163,494,642円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	64,038,006円	(16,080,358円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 企画事務費【企画課】 1,294,486円

2 資産経営事務費【資産経営課】 513,430円

3 ふるさと寄附金推進費【企画課・財政課】108,176,940円
ふるさと寄附金を通じて、とよたの魅力を発信し、返礼サービスや寄附を募るためのPRを実施しました。

4 総合計画事業調整費【企画課】 2,112,600円
市民の市政に対する評価やニーズを統計的に把握・分析するため、第24回市民意識調査を実施しました。

5 総合計画策定費【企画課】 5,362,463円
令和7年度から始まる第9次豊田市総合計画を策定するため、（仮称）ミライ構想及び（仮称）ミライ実現戦略2030を検討し、総合計画審議会（4回）で審議を行いました。

6 経営戦略調査費【経営戦略課】 75,360円
自治体ランキングや都市の指標・統計データなどの情報収集・分析を行いました。

7 情報政策推進費【情報戦略課】 78,200,720円
（1）新たに2名の民間人材をCDO補佐官として招聘し、4名のCDO補佐官体制でDXに関する各部局や各施策の推進を行いました。
（2）DXの一環として民間企業と連携した伴走型のBPR支援及び内部事務効率化のためのバックオフィス改革に向けた基礎調査を

行いました。また、業務効率化としてK i n t o n eの活用を推進しました。さらに庁内のフリーアドレスを推進しました。

- (3) 公式L I N Eを活用したオンライン申請や予約の実施、各種イベントでの活用を行いました。また、D Xにおける官民共創の推進として、民間企業を経由した課題発信や研修会等を実施しました。

8 公共施設等総合管理計画推進費【資産経営課】

1 6 , 0 3 6 , 4 4 9 円

- (1) 施設カルテにエネルギー使用量や令和4年度の利用状況、ランニングコスト等の情報を追加し、公共建築物の現状把握を行いました。
- (2) 未利用の公有財産の早期売却の推進に向け、物件調査等を実施しました。

9 都市と山村の共生推進費【企画課】

4 0 , 3 4 7 , 7 6 7 円

- (1) 都市と山村の交流をコーディネートする中間支援組織「おいでん・さんそんセンター」を運営し、山村地域への移住・定住や交流に関する総合窓口、都市と山村の交流マッチング、集落活動応援隊の派遣等を行いました。
- (2) 都市と山村の人と地域をつなぐ人材の発掘・育成を行う「山里ひとなる塾」を新たに実施するため、山里ひとなる塾実行委員会に対し負担金を支出しました。
- (3) 山村の価値を都市部の住民に伝えるため、山村地域をバスで巡り、山村の暮らしや課題を学ぶ山村ツアーを3回実施しました。
- (4) 山村地域唯一の高等学校である足助高等学校の魅力化を支援するため、地域団体等を中心に構成する足助高等学校運営協議会に対し負担金を支出しました。

10 大学等との包括連携協定推進費【経営戦略課】

1 , 5 9 2 , 4 2 7 円

- (1) 大学等連携協議会を2回開催しました。
- (2) 大学・高専発研究提案を募集し、「防災・減災スキルを有する人材の育成および活用と地域防災力向上対策」と「食資源の地域循環のための大学・地域のネットワーク構築」を実施しました。

11 WE L O V E とよた推進費【経営戦略課】 7 2 5 , 0 1 2 円

WE L O V E とよたアワードの実施、シール等のグッズ配布による啓発のほか、新たにWE L O V E とよたスペシャルサポーター2名、WE L O V E とよたサポーターズ1名を任命しました。

2款 総務費

2- 1-14目 土地利用調整費			
			(前年度)
当初予算額	50,057,000円	(	57,003,000円)
予算現額	48,910,000円	(	63,703,000円)
決算額	43,911,847円	(	58,894,651円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	4,998,153円	(	4,808,349円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要			
1 土地取得調整事務費【用地審査課】	17,684,870円		
公有地取得処分審査会審査件数	8件		
公有地価格査定委員会査定件数	137件		
2 土地開発基金管理事務費【用地審査課】	5,542,127円		
3 土地取引届出等調整費【都市計画課】	84,194円		
国土利用計画法に基づく届出等に関する事務を行いました。			
土地売買等届出件数	78件		
4 土地利用対策調整費【都市計画課】	6,587,260円		
居住誘導拠点である御幸地区の市街地整備の実現に向け、地域における機運醸成を図るため、勉強会を4回開催しました。			
5 土地利用構想調査費【都市計画課】	2,187,850円		
次期総合計画における将来都市構造案作成のため、土地利用に係るデータの集計及び図面等の修正を行いました。			
6 土地開発公社運営費補助金(10/10)【用地審査課】	11,825,546円		
2- 1-15目 会計管理費			
			(前年度)
当初予算額	24,474,000円	(	17,070,000円)
予算現額	21,974,000円	(	17,070,000円)
決算額	21,313,411円	(	16,688,980円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	660,589円	(	381,020円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要			
1 会計事務費【会計課】	21,313,411円		
(1) 出納事務及び決算調製			
ア 支出伝票数	119,171件		
イ 支払件数	683,045件		

2款 総務費

ウ 納入件数 1, 834, 701件

(2) 公金の保管及び運用

金融機関の経営状況に関する情報収集を行い、指定金融機関等の健全性を確認しつつ、決済用口座を使うことで公金を安全、確実に保管しました。

また、歳計・歳計外現金及び基金の金利入札による預金預け入れにより、効率的な運用に努めました。

令和5年度 公金の入札及び運用状況

〈区分〉	〈歳計・歳計外現金〉	〈基金〉
入札回数	6回	12回
運用件数	14件	75件
最高利率	0.263%	1.170%
最低利率	0.030%	0.001%
加重平均利率	0.088%	0.341%
平均運用額	2,642百万円	1,263百万円
平均運用期間	183日	309日
年間運用益	12,752千円	69,456千円
(普通預金利息 69千円含む。)		

(3) 指定金融機関への手数料

ア 歳入システム使用手数料	13,200,000円
イ 派出業務手数料	858,000円
ウ 組戻訂正手数料	1,253,120円
エ 歳入システム改修手数料	4,557,300円

2- 1-16目 国際交流費

		(前年度)
当初予算額	109,212,000円 (	70,363,000円)
予算現額	94,985,000円 (	67,867,000円)
決算額	90,297,939円 (	63,056,732円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	4,687,061円 (	4,810,268円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 国際まちづくり推進事務費【国際まちづくり推進課】

456,632円

多文化共生及び国際交流の情報収集等を実施しました。

2 豊田・デトロイト姉妹都市提携費【国際まちづくり推進課】

3,511,536円

(1) 交換学生派遣費 675, 524円

市内在住の高校生をデトロイト市へ派遣し、ホームステイ及びデトロイト市内各施設の視察等を通じて、交流を深めました。

派遣人数：10人(高校生8人、引率2人)

派遣期間：8月7日～20日 14日間

(2) 交換学生派遣費補助金(10/10・1/2)

2, 836, 012円

交換学生派遣団に対し、渡航費等の補助を行いました。

3 豊田・ダービーシャー姉妹都市提携費【国際まちづくり推進課】

38, 983, 919円

(1) 交流推進費 826, 049円

提携25周年記念事業の実施に向けた調整をはじめ、姉妹都市関係者とのネットワーク構築のため、ダービーシャーを訪問しました。

(2) 姉妹都市提携25周年記念事業費 31, 109, 582円

ダービーシャーとの姉妹都市提携25周年を記念し、両都市のさらなる友情と理解を深めていくことを確認する覚書を締結したほか各種周年記念事業を実施しました。

ア 豊田市ジュニアマーチングバンド派遣

派遣人数：38人(団員34人、引率4人)

派遣期間：8月6日～12日 7日間

イ 公式訪問団の派遣及び受入れ

・豊田市公式訪問団：6人

派遣期間：10月22日～30日 9日間

・ダービーシャー公式訪問団：19人

受入期間：11月10日～17日 8日間

ウ シャイン・ア・ライト・プロジェクトin足助

開催日：11月12日 来場者数：300人

(3) 高校生派遣費 1, 007, 840円

市内の高等学校・高等専門学校に在学中の生徒をダービーシャーに派遣し、現地のカレッジにおけるスタディツアーへの参加及び現地の学生を含む英国在住者との交流を行いました。

派遣人数：17人(生徒15人、引率2人)

派遣期間：3月16日～25日 10日間

(4) 高校生派遣費補助金(10/10・1/2)

6, 040, 448円

高校生派遣団に対し、渡航費等の補助を行いました。

4 多文化共生推進費【国際まちづくり推進課】30, 911, 807円

(1) 多文化共生まちづくり推進費 22, 832, 497円

ア 市内在住の外国人とともに、互いに尊重し合って暮らすことのできるふれあいのあるまちづくりを進めるため、豊田市多文化共生推進協議会を2回開催したほか、キャリア教育支援ワーキング部会を3回開催し、外国にルーツを持つ子どもが将来のキャリアビジョンを持つための支援策を検討しました。

イ 第9次豊田市総合計画及び多文化共生に関する施策の参考とするため、外国人の意見を聴く会を開催しました。

参加者数：5か国、13人

ウ 全国11都市で構成される外国人集住都市会議に参画し、「外国人集住都市会議こまき2023」において、外国人乳幼児及び児童生徒の受入環境整備に向けた要望を関係省庁に対して行いました。

エ 日本の学校に通う外国人児童生徒に対する放課後学習支援及び外国人青少年に対するキャリア形成支援等を行いました。

教室：286日 延べ参加者数：3,946人

オ 不就学の外国人の子どもに関する学校等との連絡調整及び社会適応のための日本語学習支援を行いました。

教室：223日 延べ参加者数：1,151人

カ 外国人の幼児が就学前から日本語に触れる機会を創出するとともに、その保護者に対して子どもの言語習得等の啓発を行いました。

日本語教室

保見団地教室：46日 延べ参加者数：260人

伊保こども園：45日 延べ参加者数：208人

美和こども園：22日 延べ参加者数：136人

保護者向け啓発

保見団地教室：2日 延べ参加者数：8人

伊保こども園：2日 延べ参加者数：10人

美和こども園：3日 延べ参加者数：19人

キ 市内こども園主任保育士向け研修

テーマ：多言語環境下で育つ子どもの幼児期における言葉の発達に大切なこと

出席者：128人

ク 未就園児を持つ外国人の保護者等に、母語の重要性及び多言語環境下で育つ子どもの特徴に関する理解促進のための啓発等を行いました。

10回（対面：8回、オンライン：2回）

延べ参加者数：289人

ケ (公財) 豊田市国際交流協会と多文化共生及び国際交流事業等の実施に関する年度協定事業を行いました。

外国人多言語相談事業：ポルトガル語、中国語、英語

相談件数：357件

通訳派遣・翻訳事業

通訳派遣：6件 翻訳：23件

外国人教育支援員の派遣：1人、ポルトガル語

派遣先：1校、2団体

派遣日数：194日

マイカントリーデー：3回 延べ参加者数：100人

国際理解推進事業

こども国際クラブ：全8回 参加者数：19人

国際理解教育：9回 延べ参加者数：720人

国際理解セミナー：4回 延べ参加者数：66人

(2) 日本語学習支援費 8,079,310円

外国人住民が地域で円滑な日常生活を営むために必要な最低限の日本語能力及び地域住民として必要な基本的知識を習得するため、「とよた日本語学習支援システム」を活用した日本語教室の運営を行いました。

教室数：7教室 延べ回数：180回

教室利用者数：693人 <内訳>外国人学習者：331人

日本人支援者：362人

5 国際交流協会運営費補助金(10/10)【国際まちづくり推進課】

16,434,045円

2- 1-17日 未来都市推進費

(前年度)

当初予算額	405,602,000円	(	308,477,000円)
予算現額	426,605,000円	(	234,926,442円)
決算額	393,954,729円	(	224,283,990円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	32,650,271円	(	10,642,452円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 未来都市推進事務費【未来都市推進課】 58,641,629円

(1) 未来都市推進事務費 9,303,865円

とよたSDGsパートナーの共働事業の支援を行いました。

とよたSDGsパートナー登録企業・団体数 255団体

共働事業 21件

国連のハイレベル政治フォーラムにて、自発的自治体レビューや多様なステークホルダーとの連携事例を世界に向けて発信しました。

(2) SDGs推進費 49,337,764円

ア 豊田市SDGs認証制度の第1回及び第2回の認証を行いました。2回の受付で累計100件の申請があり、87件を認証しました。

イ 豊田市SDGs研修カードゲーム「とよたSDGsマスター」の公認ファシリテーターを56人養成しました。

ウ とよたSDGsミライ大学を開催し、子ども向けSDGs講座を10講座開催し、延べ100人が参加しました。

2 低炭素社会モデル地区推進費【未来都市推進課】

139,060,483円

(1) SDGs情報発信拠点として、「とよたエコフルタウン」を運営しました。

来館者数 24,370人、ガイドツアー数 174団体

(2) 企業向けにSDGsへの理解を深めるオンラインセミナー及びイベント出展等を6回実施しました。

(3) 一般向けにSDGsをテーマにしたイベント、マルシェ等を15回実施しました。

3 次世代エネルギーシステム推進費【未来都市推進課】

4,806,603円

燃料電池自動車及び電気自動車を活用し、移動の脱炭素化を推進しました。

4 次世代自動車普及促進事業費【未来都市推進課】

6,812,300円

道の駅どんぐりの里いなぶに整備した急速充電器1基の更新を行いました。

5 先進技術等移動支援事業費【未来都市推進課】

95,875,285円

(1) 歩行領域BEV「C⁺walk」でまちなかを回遊できる事業「まち⁺モビ」を展開しました。

(2) 将来の自動運転レベル4実現に向け、中心市街地玄関口バスの路線において、自動運転バスを運行する実証実験を実施しました。

(3) 里モビLIFEプロジェクトの取組を推進しました。

6 次世代社会システム実証推進費【未来都市推進課】

2款 総務費

		87,327,200円
(1) 豊田市つながる社会実証推進協議会の取組として、社会参加型介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」を展開しました。		
(2) メタバースの活用方法を検討するため、調査分析及び実証実験を実施しました。		
7	介護予防事業推進基金積立金【未来都市推進課】	342,813円
介護予防事業推進基金の利子を同基金に積み立てました。		
8	脱炭素社会推進基金積立金【未来都市推進課・環境政策課】	
		1,088,416円
脱炭素社会実現に向けた取組に活用するため、3事業者からの寄附金等を積み立てました。		
2- 1-18日 諸費		
		(前年度)
当初予算額	280,000円 (	280,000円)
予算現額	280,000円 (	369,000円)
決算額	280,000円 (	369,000円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	0円 (	0円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	総務事務費【(総)庶務課】	280,000円
防衛省からの委託を受け、自衛官の募集事務を実施しました。		
CATV静止画像による募集告知		7月2日～ 7月17日
		3月4日～ 3月17日
名鉄駅構内広告掲載		3月4日～ 3月31日
啓発用ポケットティッシュ作成		15,000個
2- 2- 1日 地域振興費		
		(前年度)
当初予算額	562,036,000円 (	437,472,000円)
予算現額	510,359,225円 (	421,707,352円)
決算額	443,570,123円 (	394,395,987円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	66,789,102円 (	27,311,365円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	人件費(市民活動促進委員12人)【市民活躍支援課】	

- | | |
|--------------------|------------|
| | 294,200円 |
| 2 地域支援事務費【地域支援課】 | 9,568,374円 |
| 3 市民活動事務費【市民活躍支援課】 | 34,320円 |
| 4 自治区活動推進費【地域支援課】 | 1,574,808円 |
- 住民自治活動を推進するため、豊田市区長会へ「自治区運営の手引」の作成費用等を助成しました。
- 自治区活動のデジタル実証実験を実施しました。
- 5 犯罪のないまちづくり活動推進費【交通安全防犯課】
- | | |
|--|-------------|
| | 92,559,536円 |
|--|-------------|
- (1) 民間警備会社に地域安全巡回業務を委託し、登下校時における子どもの見守り活動、特殊詐欺被害防止のための車両広報及び夜間等の青色防犯パトロールを実施しました。
- 午前6時30分～午後0時30分 学校開校日の月、水、金
午後2時～午後8時 学校開校日
午後10時～午前4時 毎日
午前10時～午後4時 毎日 ※特殊詐欺被害防止啓発
- (2) 地域安全指導員（警察官OB）を配置し、青色防犯パトロール及び地域の自主防犯活動団体の活動支援、子どもの防犯教室を実施しました。
- 子どもの防犯教室 30校実施
- (3) 自主防犯活動に必要な物品の支給等により、地域の犯罪のないまちづくり活動を支援しました。
- 自主防犯活動団体 360団体（廃止8団体、新規1団体）
- (4) 「犯罪のないまちづくり推進強化地区」を指定し、地域安全巡回の強化等の取組を実施しました。
- 住宅対象侵入盗対策推進強化地区 1地区（伊保小学校区）
自動車関連窃盗対策推進強化地区 1地区（梅坪小学校区）
- (5) 身の安全を確保するとともに防犯意識の向上を図るため、新入学児童や転入児童に対して、防犯ブザーを配付しました。
- (6) 豊田・みよし防犯協会連合会及び足助防犯協会との間で地域安全活動に関する協定を締結し、関係機関・団体との連携を密にして、安全で安心なまちづくりに努めました。
- (7) 市民の防犯意識を高めるとともに犯罪等に対する注意喚起を促すため、「緊急メールとよた」等により、不審者情報や詐欺情報等の迅速な提供に努めました。
- 「緊急メールとよた」登録件数 34,563件（犯罪情報）
- (8) 市民、事業者及び関係機関が連携して犯罪のないまちづくりを推進するため、豊田市防犯ネットワーク会議の適正な運営に努め

ました。

防犯ネットワーク会議 2回開催

- (9) 地域の防犯力の向上を図るため、自主防犯活動団体等を対象に
地域防犯ボランティア・ステップアップ講座を開催しました。

地域防犯ボランティア・ステップアップ講座 4回 116人

- (10) 身近で起こる犯罪から身を守る対応策等を学ぶ機会として生涯
学習出前講座を実施しました。

出前講座実施 25回 受講者 798人

- (11) 年末年始に向けて市民の防犯意識の向上を図るため、年末の安
全なまちづくり市民大会を開催しました。

6 防犯設備設置支援費【交通安全防犯課】 15,890,000円

- (1) 防犯設備整備費補助金により自治区等の防犯カメラ等の設置を
支援しました。(補助率4/5・1/2)

交付件数 24件 (新設26台、更新・移設20台)

- (2) 特殊詐欺被害等防止機器購入費補助金により迷惑防止機能付き
電話機等の購入を支援しました。(補助率1/2)

交付件数 1,230件

7 自治区施設整備費【地域支援課】 108,010円

地域集会施設整備資金利子補給補助金 6件

8 共働推進費【市民活躍支援課】 703,381円

市民との共働によるまちづくりを推進するために、「ヒトとミライ
とつながる未来共創カフェ」を開催しました。

参加人数 65人

9 市民活動センター費【市民活躍支援課】 90,094,500円

とよた市民活動センターについて適切な維持管理に努めました。

指定管理者 (公社) 豊田市シルバー人材センター

利用者総数 64,898人

利用団体数 3,805団体

10 市民活動促進費【市民活躍支援課】 13,204,224円

- (1) 市民活動団体の活動支援を実施しました。また、多様な人との
出会いを通して、社会課題に気づくきっかけづくりとなる場を開
催しました。

スキルアップ講座 4回 56人

会計税務相談会 4回 4団体

運営相談会 12回 18団体

広報紙(年6回発行) 3,500部/回

WE LOVE とよたフェスタ 115団体

名もなきトークイベント 4回

(2) シニア世代の学びを通じた活躍を支援しました。

シニアアカデミー 通年コース 3学科 96人
はじめの一步講座・専門コース 151人

11 市民活動促進補助金(10/10・2/3・1/3)

【市民活躍支援課】 1,168,000円

立上期：はじめの一步部門(設立5年未満)

<1年目> 8団体(補助率10/10 限度額：10万円)

<2年目> 5団体(補助率10/10 限度額：5万円)

発展期：新規事業チャレンジ部門(設立5年以上)

<1年目> 1団体(補助率2/3 限度額：全体で60万円)

12 都市美化運動費【地域支援課】 49,585,610円

「まちと川を美しくする会」を中心とした地域住民の積極的な参加による環境美化活動を支援しました。

環境美化月間 6月、9月

参加人数 春 65,387人

秋 68,257人 計133,644人

13 コミュニティ推進費【地域支援課】 2,500,000円

(一財)自治総合センターの助成を受けて地区コミュニティ会議の備品を整備しました。

1地区コミュニティ会議(保見)

14 地域課題解決事業費 18,809,406円

【上郷支所・高岡支所・猿投支所・藤岡支所・小原支所・下山支所
旭支所・稲武支所】

広域的な地域課題に対し、複数支所で課題解決を目指す広域課題解決事業を実施しました。

5支所(旭・稲武・上郷・下山・高岡)

世界ラリー選手権機運醸成事業 9,952,800円

3支所(小原・猿投・藤岡)

次世代につなごう!「47災害体験者の記録」語り継ぎ事業

5,645,156円

3支所(下山・高岡・藤岡)

「安心を運ぶバス」AEDで命をつなぐ救命救急事業

3,211,450円

15 わくわく事業補助金【地域支援課・各支所】

120,211,000円

地域の活動団体を支援し、地域の知恵や工夫を生かした地域課題の解決や個性豊かな地域づくりを推進しました。

<事業種別>

2款 総務費

保健、医療又は福祉を通して地域づくりを推進する事業	17件
地域の伝統、文化、郷土芸能又はスポーツを通して地域づくりを推進する事業	57件
安全・安心な地域づくりを推進するための事業	23件
地域の生活環境の改善、景観づくり、自然環境保全を図る事業	127件
子どもの健全育成を通して地域づくりを推進する事業	54件
地域の特性を生かした産業振興のための事業	8件
地域づくりに有効な助言や提言を受けるための事業	1件
その他個性豊かな住みよい地域社会を構築するための事業	25件
計	312件

<地区別>

旭	13件	6,799千円
足助	11件	6,500千円
稲武	11件	6,302千円
小原	26件	9,913千円
上郷	10件	2,890千円
末野原	10件	3,255千円
逢妻	10件	3,477千円
朝日丘	12件	4,644千円
梅坪台	6件	1,475千円
浄水	7件	2,715千円
崇化館	6件	1,052千円
豊南	16件	5,419千円
井郷	18件	4,921千円
石野	10件	3,743千円
猿投	10件	5,737千円
猿投台	15件	7,399千円
保見	9件	3,502千円
下山	17件	6,736千円
前林	14件	3,008千円
竜神	15件	3,597千円
若園	6件	1,494千円
若林	6件	2,934千円
高橋	7件	1,794千円
益富	10件	6,851千円
美里	13件	1,677千円

2款 総務費

藤岡 10件 4,538千円
 藤岡南 5件 2,906千円
 松平 9件 4,933千円

16 住民自治推進費【地域支援課】 27,027,016円

(1) 地域における外国人住民と日本人住民の共生をめざし、自治区
 に対し、翻訳支援を行いました。

1自治区2回 91,720円

(2) 自治区運営の改善取組を共有し、より良い自治区運営とするた
 め、自治区改善取組発表会を開催しました。

32,000円

(3) 山村地域等に新たな定住者を確保するため、空き家情報バンク
 で成約した物件の改修に係る費用を補助しました。

23件 24,492,000円

(4) 空き家情報バンクへの登録を促進するため、空き家の家財処分
 等に係る費用を補助しました。

15件 1,969,000円

(5) 山村地域等の地域活性化のため、当該地域の空き家を活用し、
 起業する者に対し、利子補給を実施しました。

2件 110,296円

(6) 空き家情報バンク推進のため、制度を紹介するパンフレットの
 改訂等を行いました。

332,000円

17 市民の誓い推進費【地域支援課】 32,820円

明るく住みよい地域社会づくりを推進するため、市民の誓いの啓
 発・普及に努めました。

市内全小中学校、特別支援学校へ市民の誓い啓発ポスター及びひ
 まわりのたね賞シール配布を実施しました。

18 都市内分権推進費【地域支援課】 204,918円

地域会議の効果的な運営のために、ファシリテーション研修等を
 実施しました。

2- 2- 2目 安全対策費

(前年度)

当初予算額	452,199,000円	(	458,039,000円)
予算現額	457,210,457円	(	457,595,000円)
決算額	454,212,742円	(	450,340,133円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	2,997,715円	(	7,254,867円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 安全対策事務費【交通安全防犯課】 3, 566, 863円
 新入学児童に反射材付黄色帽子を配付したほか、国道153号上の電光掲示板の点検、補修を実施しました。
- 2 交通指導員活動費【交通安全防犯課】 1, 229, 250円
 児童等の登下校時の交通指導及び交通安全の啓発活動のため、交通指導員30人を配置し、交通事故防止に努めました。
- 3 高齢者交通安全費【交通安全防犯課】 13, 178, 731円
 (1) 交通安全教育費 11, 676, 731円
 75歳以上の高齢者が住む世帯を訪問し、交通安全指導を行い高齢者の交通事故防止に努めました。
 訪問地区 童子山小学校区始め14小学校区
 訪問世帯数 9, 131世帯
 (2) 後付け安全運転支援装置設置費補助金(9/10) 1, 502, 000円
 65歳以上の高齢ドライバーに対して、後付けのアクセルとブレーキの踏み間違い加速抑制装置の設置を促進しました。
 交付台数 29台
- 4 若者交通安全費【交通安全防犯課】 300, 000円
 若者に対する交通安全対策として、豊田地区安全運転管理協議会のヤングドライバーセーフティ推進委員会が実施する事業を支援しました。
- 5 安全対策推進費【交通安全防犯課】 9, 413, 400円
 (1) 安全教育費 1, 358, 500円
 高齢ドライバーを対象に交通の状況に応じた実践的な安全運転技能の習得を図る講習を実施しました。
 実施回数 8回
 受講者数 172人
 (2) 自転車安全教育費 2, 002, 000円
 自転車の安全利用に関する知識や技能を習得するための実践的な講習を実施しました。
 実施回数 18回
 受講者数 139人
 (3) 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金(1/2) 6, 052, 900円
 自転車利用者に対して、ヘルメットの着用を促進しました。
 交付個数 3, 185個
- 6 交通安全推進調査費【交通安全防犯課】 1, 754, 500円

交通事故発生状況を把握し交通安全対策の基礎資料とするため、
小学校区別の交通事故マップを作成しました。

7 交通安全学習センター費【交通安全防犯課】

386,768,523円

(1) 管理運営費

213,478,429円

指定管理者 豊田交通教育(株)

一般来場者数

81,998人

団体講習受講者数

13,609人／356回

出張講習受講者数

8,480人／65回

のり面、擁壁及び調整池の構造物の点検を実施しました。

(2) 施設整備費

173,290,094円

交通安全学習センターの施設整備費用を平成22年4月から令和7年3月まで年4回、計60回に分割して支払います。

8 県派遣職員人件費負担金【交通安全防犯課】10,865,957円

派遣職員数 1人

9 交通安全市民会議負担金【交通安全防犯課】13,175,518円

(1) 警察、交通安全関係団体等との密接な連携の下、全市的な啓発活動や地域・職域を中心とした交通安全運動を積極的に展開しました。

(2) 歩行者側からドライバーに対し「とまってくれてありがとう」と感謝を伝える取組を全市的に展開しました。

(3) 交通安全の推進に尽力された個人・団体の表彰を行いました。

交通安全功労者 3名

交通安全グリーン功労章 13名・1団体

(4) 交通事故死ゼロの日、交通安全市民運動期間中及び交通死亡事故多発非常事態宣言発令期間中などに広報活動を行い、啓発に努めました。また、運動期間中には関係機関・団体と協力して街頭活動を行い、交通安全意識を高めました。

10 県交通安全協会豊田・足助支部負担金【交通安全防犯課】

4,108,000円

豊田みよし交通安全協会及び足助交通安全協会(いずれも令和5年6月に名称変更)が実施する交通安全事業を支援しました。

11 校区交通安全推進協議会補助金(10/10)【交通安全防犯課】

57校区

9,852,000円

2款 総務費

2- 2- 3目 市民相談費			
			(前年度)
当初予算額	22,007,000円	(	20,173,000円)
予算現額	19,130,000円	(	16,491,000円)
決算額	15,272,391円	(	14,311,900円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	3,857,609円	(	2,179,100円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要			
1	市民相談事務費【市民相談課】		13,290,326円
(1)	職員による相談受付及び関係機関との連携		724件
(2)	専門家による相談		1,792件
	主な内訳：法律相談		1,053件
	家庭悩みごと相談		205件
	税務相談		142件
	登記相談(名義変更)		169件
	その他		223件
(3)	通訳職員による外国語対応		7,866件
	(ポルトガル語・スペイン語・英語)		
	通訳 7,524件、翻訳 342件		
(4)	遠隔通訳サービス事業(映像・電話)		2,647件
	(ポルトガル語始め21言語)		
(5)	陳情・要望等		8件
(6)	おくやみコーナー		1,564件
2	市政情報コーナー費【市民相談課】		56,113円
3	人権推進費【市民相談課】		1,580,652円
(1)	人権を考える集い	14回開催	3,643人参加
	対象：小中学校		
	内容：講演会や人権擁護委員によるワークショップ		
(2)	人権移動教室	21回開催	3,485人参加
	対象：こども園、小中学校		
	内容：人権擁護委員によるクイズや映像を使った講座		
4	豊田人権擁護委員協議会負担金【市民相談課】		345,300円

2款 総務費

2- 2- 4目 交流館費

(前年度)

当初予算額	630,802,000円	(904,804,000円)
予算現額	832,894,000円	(1,660,049,100円)
決算額	607,571,328円	(1,634,998,894円)
翌年度繰越額	215,130,000円	(0円)
不用額	10,192,672円	(25,050,206円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	215,130,000円
交流館長寿命化改修事業（末野原交流館外3館）	215,130,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 交流館事務費【市民活躍支援課】 22,337,002円
- 2 交流館施設管理運営費【市民活躍支援課】540,949,000円
指定管理者（公財）豊田市文化振興財団
施設利用者数（交流館全28館）
ア 総利用者 延べ 2,336,723人
イ うち講座参加者 延べ 24,871人
ウ うち図書利用者 延べ 266,321人
- 3 地域交流館施設管理運営費【小原支所】 1,158,874円
小原地域交流館管理運営費 1,158,874円
- 4 交流館施設保全費【建築予防保全課】 21,197,000円
若園交流館舞台機構修繕等を行いました。
- 5 交流館施設整備費【市民活躍支援課】 18,499,452円
(1) 諸営繕工事 10,243,252円
ア 逢妻交流館で倉庫の設置等を行いました。
イ 逢妻交流館ほか2館で電話機更新を行いました。
(2) 駐車場整備費 8,256,200円
若園交流館駐車場造成工事を行いました。
- 6 交流館活動費【市民活躍支援課】 3,430,000円
交流館ふれあいまつりに補助金を交付しました。
参加市民 89,113人
開催地区 28地区

◆特記事項

交流館長寿命化改修事業（末野原交流館外3館）において、事業の平準化を図るため、9月議会で215,130千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【市民活躍支援課】

2- 2- 5目 挙母地域振興費

(前年度)

当初予算額	297,142,000円	(	347,290,000円)
予算現額	460,361,324円	(	524,737,000円)
決算額	436,188,668円	(	331,904,591円)
翌年度繰越額	0円	(	184,759,116円)
不用額	24,172,656円	(	8,073,293円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【地域支援課】 631,930円

市からの諮問に対する答申や地域の課題解決のための提言を行いました。

逢妻地域会議(委員17人)8回開催

「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

朝日丘地域会議(委員15人)9回開催

地域課題の掘り起こしを行い提言に向けた検討を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

梅坪台地域会議(委員12人)9回開催

「高齢者の社会参加に関する取組について」及び「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

浄水地域会議(委員11人)8回開催

「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

崇化館地域会議(委員17人)9回開催

水害に係る課題についてマイ・タイムライン講座の継続実施や避難先の充実などについて、市長へ提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

豊南地域会議(委員18人)6回開催

高齢者の移動支援について、市長へ提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

2 地域振興事業費【地域支援課】 202,586,457円

(1) 地域振興事務交付金

自治区が実施する環境美化、地域福祉等の活動の活性化を図り住みよい生活環境を築きました。

48 自治区	139,512,457円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
地区コミュニティ会議が実施する青少年育成、地域福祉、環境保全等の取組を通して、コミュニティの健全な発展を図るとともに、ふれあい豊かで住みよい地域社会を築きました。	
6 地区コミュニティ会議	2,220,000円
逢妻、朝日丘、崇化館、豊南	各380千円
梅坪台	360千円
浄水	340千円
(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
自治区活動に使われる机、イス、パソコン、AED等の備品の整備に対する補助を行い、自治区活動の推進を図りました。	
37件	5,079,000円
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
自治区に対し、防犯灯の設置を助成し、安全で安心な地域づくりを推進しました。	
省エネ型 新設32灯、更新268灯、移設15灯	
ポール 新設1本	10,147,000円
(5) 放送施設整備費補助金(5/10)	
放送施設の整備に対する補助により、自治区活動の推進を図りました。	
移設2件	291,000円
(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
集会施設の整備に対する補助により、ふれあい豊かな住民自治の推進を図りました。	
新築1件、改修24件、バリアフリー3件、太陽光1件	
	43,344,000円
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
自主防災会の育成及び活動を支援するため、防災倉庫の設置及び防災資機材の整備等に対し補助金を交付しました。	
防災倉庫1件、資機材26件、防災マップ1件	
	1,993,000円
3 地域課題解決事業費【地域支援課】	6,296,801円
地域会議等で集約した地域意見を基に、地域の活性化などに取り組み、地域課題の解決を図りました。	
管理費	1,125,970円
逢妻地域 災害に強い人・家庭・地域づくり事業	
	166,650円

安全・安心・ゆとりの交通安全事業		
		1, 159, 004円
朝日丘地域	朝日丘の災害に強いまちづくり事業	
		761, 217円
梅坪台地域	梅坪台地域健康づくり事業	550, 000円
浄水地域	多世代交流事業	1, 774, 960円
豊南地域	大規模地震への対応力があるまちづくり事業	
		759, 000円
4 西部コミュニティセンター費【地域支援課】		
		226, 673, 480円
(1)	管理運営費等	49, 408, 480円
	西部コミュニティセンターの適切な維持管理に努めました。	
	また、備品等を更新しました。	
	指定管理者 (株)豊田ほっとかん	
	施設利用者数 65, 376人	
(2)	長寿命化推進費	177, 265, 000円
	長寿命化改修工事を実施しました。	

2- 2- 6目 高橋地域振興費	
	(前年度)
当初予算額	199,105,000円 (217,952,000円)
予算現額	191,474,375円 (214,196,551円)
決算額	185,521,852円 (212,268,100円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	5,952,523円 (1,928,451円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 地域会議運営費【高橋支所】	915, 034円
高橋地域会議（委員15人）11回開催	
「第9次豊田市総合計画について」及び「第4次豊田市森づくり計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。	
益富地域会議（委員19人）11回開催	
「地域の防災力向上事業」において、益富地区防災マニュアルを作成、全戸配布し、活用方法を検討しました。	
また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。	
美里地域会議（委員17人）11回開催	
「地域住民の交流」に必要な取組について、市長へ提言を行い	

ました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

高橋代表者会議（委員6人） 1回開催

次期地域会議委員の選定及び地域会議だよりの見直しについて意見交換を行いました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【高橋支所・建築予防保全課】

80,654,644円

加茂川公園テニスコート芝張替え修繕、コミュニティセンター大会議室壁塗装修繕等を行いました。

指定管理者 ホームメックス（株）

施設利用者数 135,307人

3 地域振興事業費【高橋支所】 98,200,272円

（1）地域振興事務交付金

43自治区 61,433,272円

（2）地区コミュニティ推進交付金

3地区コミュニティ会議 1,120,000円

高橋・美里 各380千円

益富 360千円

（3）自治区活動備品整備費補助金（5／10）

25件 4,267,000円

（4）防犯灯設置費補助金（定額）

省エネ型 新設30灯、移設17灯、更新166灯

ポール設置 4本 7,170,000円

（5）放送施設整備費補助金（5／10）

移設・増設・修理 13件 2,066,000円

（6）地域集会施設整備費補助金（8／10・5／10）

改修・バリアフリー23件 20,620,000円

（7）自主防災事業補助金（1／2）

施設 1件

資機材18件 1,524,000円

4 地域課題解決事業費【高橋支所】 5,751,902円

管理費 83,759円

高橋地域 危険箇所みんなで共有 交通安全大作戦

1,755,270円

益富地域 地域の防災力向上事業

460,434円

将来を見据えた「益富地区まちづくり計画」策定

2款 総務費

		3, 190, 000円
	美里地域 「みさと」の「みんな」で防災力アップ	
		137, 064円
	3地域合同 高橋・美里・益富地区 ラリーフォトコンテスト	
		125, 375円
2- 2- 7目 上郷地域振興費		
		(前年度)
当初予算額	115,776,000円 (	84,458,000円)
予算現額	101,998,625円 (	79,286,000円)
決算額	92,883,130円 (	75,637,712円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	9,115,495円 (	3,648,288円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	地域会議運営費【上郷支所】	347, 340円
	上郷地域会議(委員16人)11回開催	
	上郷地域における課題解決に向け、交通安全及び防災に関する	
	解決策について市長に提言しました。	
	また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長	
	へ答申を行いました。	
	末野原地域会議(委員15人)10回開催	
	末野原地域における課題解決に向け、交通安全に関する解決策	
	について市長に提言しました。	
	また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長	
	へ答申を行いました。	
2	支所・コミュニティセンター管理費【上郷支所・建築予防保全課】	
		11, 575, 323円
	(1)事務費	669, 723円
	(2)施設管理費	7, 066, 600円
	指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団	
	上郷公園グラウンドの施設利用者数	22, 748人
	(3)施設保全費	3, 839, 000円
3	地域振興事業費【上郷支所】	63, 360, 725円
	(1) 地域振興事務交付金	
	28自治区	45, 894, 725円
	(2) 地区コミュニティ推進交付金	
	2地区コミュニティ会議	740, 000円

2款 総務費

上郷 360千円 末野原 380千円	
(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
26件	4,393,000円
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
省エネ型 新設29灯、更新63灯、移設4灯	
	2,866,000円
(5) 放送施設整備費補助金(5/10)	
改修1件	312,000円
(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
改修14件	7,797,000円
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
資機材21件、防災マップ1件	1,358,000円
4 地域課題解決事業費【上郷支所】	3,955,385円
管理費	18,700円
上郷地域 地域防災対策支援事業	398,559円
末野原地域 末野原キラッとあかるいまちづくりプロジェクト	
	574,651円
2地域 チョイソコにこにこバスをもっと便利にする事業	
	2,963,475円
5 地域交通推進費【上郷支所】	13,644,357円
上郷・末野原地域の生活交通手段の確保及び利用促進を図るため に上郷地域バス運営協議会を開催しました。また、地域バス車両2 台(ハイエース)を更新しました。	
年間利用者数	4,665人

2- 2- 8目 高岡地域振興費

		(前年度)
当初予算額	314,230,000円	(395,279,000円)
予算現額	302,812,825円	(373,608,835円)
決算額	294,055,273円	(366,249,565円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	8,757,552円	(7,359,270円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【高岡支所】	690,000円
市からの諮問に対する答申や地域の課題解決のための提言を行いました。	
前林地域会議(委員19人)10回開催	

だれもが住みやすく、安心して暮らし続けることのできる地域を目指して、「商業機能の強化及び商業を起点とした地域の活性化促進」、「交通安全対策の強化・促進」、「防災対策の推進」について市長へ提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

竜神地域会議（委員18人）11回開催

地域住民一人ひとりが、交通安全を意識して行動し、安全な交通環境の下で、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して、「地域と市との共働による交通安全対策の強化・促進」について市長へ提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

若園地域会議（委員19人）10回開催

住民同士が日頃からふれあい、お互いに支え合える地域を目指して、「多世代が交流し、住民同士が支え合える地域の基盤づくり」、「若園交流館を中心とした交流拠点の環境づくり」について市長へ提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

若林地域会議（委員20人）11回開催

「暮らし続けたいまち・わかばやし」の実現に向け、「多世代交流及び防災による機会づくり」について市長へ提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

高岡代表者会議（委員8人）1回開催

前林・竜神・若園・若林地域会議から市への提言について、意見交換を行いました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【高岡支所】

66,431,201円

指定管理者 アクティオ（株）

施設利用者数 157,087人

高岡コミュニティセンター等の適切な維持管理に努めました。

3 地域振興事業費【高岡支所】 115,006,300円

(1) 地域振興事務交付金

26自治区 73,976,300円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

2款 総務費

4 地区コミュニティ会議	1, 480, 000円
前林、竜神 各380千円 若園、若林 各360千円	
(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
25件	5, 572, 000円
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
省エネ型 新設56灯、更新354灯、移設12灯	
ポール 新設 4本	14, 508, 000円
(5) 放送施設整備費補助金(5/10)	
2件	420, 000円
(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
改修29件	17, 011, 000円
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
防災マップ1件、資機材21件	2, 039, 000円
4 地域課題解決事業費【高岡支所】	4, 274, 750円
管理費	141, 858円
前林地域 災害に強いまちづくり事業	2, 250, 685円
商業機能を起点とした地域の活性化促進事業	
	500, 000円
竜神地域 竜神防災力向上事業	166, 881円
若園地域 地震時の減災対策普及事業	103, 946円
若林地域 高美町桜並木の保存	797, 500円
安全・安心なまちづくり「通学路の交通安全対策」	
	46, 145円
4 地域 青色回転灯を使った地区防犯パトロール活動	
	267, 735円
5 地域交通推進費【高岡支所】	107, 653, 022円
前林地域の通勤者、通学者、高齢者等の生活交通手段の確保を図るため、ふれあいバスの運行を行いました。	
年間利用者数 2路線 154, 977人	
また、名鉄土橋駅延伸にかかる利用需要を把握するため、実証事業を行いました。	
実証事業利用者数 343人	

2- 2- 9目 猿投地域振興費

(前年度)

当初予算額	259,169,000円	(	267,925,000円)
予算現額	214,552,300円	(	202,939,582円)
決算額	205,498,171円	(	191,597,938円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	9,054,129円	(	11,341,644円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【猿投支所】 995,696円

市からの諮問に対する答申や地域の課題解決のための提言を行いました。

井郷地域会議(委員20人)11回開催

「安全で安心して歩けるまちづくりの実施」について市長に提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」及び「高齢者の社会参加に関する取組について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

石野地域会議(委員16人)11回開催

「駅舎と廃線敷の魅力向上」について市長に提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

猿投地域会議(委員19人)11回開催

「農業を生かした観光交流・子育てのまちづくり」について市長に提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

猿投台地域会議(委員20人)10回開催

「高齢者から子どもまで交流できる場づくり」について市長に提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

保見地域会議(委員18人)11回開催

「健康づくり」について、提言に向けた協議検討を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

猿投代表者会議(委員10人)2回開催

諮問答申、提言、地域課題解決事業及びわくわく事業等の意見

交換を実施しました。また、地域自治システムの評価について
意見聴取をしました。

2 支所・コミュニティセンター管理費【猿投支所】	19,019,935円
(1) 事務費	1,797,975円
(2) 施設管理費	16,059,700円
体育館・武道場の指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団	
体育館・武道場の施設利用者数 33,194人	
(3) 施設整備費	1,162,260円
LED照明賃貸借	
3 出張所管理費【猿投支所】	424,760円
4 地域振興事業費【猿投支所】	149,367,231円
(1) 地域振興事務交付金	
56自治区	61,517,231円
(2) 地区コミュニティ推進交付金	
5地区コミュニティ会議	1,720,000円
井郷・猿投台 各360,000円	
猿投・保見 各340,000円	
石野 320,000円	
(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
26件	3,403,000円
(4) 防犯灯設置費補助金(定額)	
省エネ型 新設62灯、移設23灯、更新105灯	
ポール 新設10本	6,772,000円
(5) 放送施設整備費補助金(5/10)	
新設2件、移設5件、増設・更新8件	
	3,279,000円
(6) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
新築1件、改修30件、改修及びバリアフリー1件	
	70,103,000円
(7) 自主防災事業補助金(1/2)	
資機材等40件	2,573,000円
5 地域課題解決事業費【猿投支所】	18,363,944円
管理費	1,340,056円
井郷地域 井郷まちづくりプラン推進事業	
	2,028,598円
「ゾーン30」区域を中心とした安全性向上事業	
	1,904,320円

2款 総務費

石野地域	人と人がつながる・石野地区つながる防災事業	470,800円
猿投台地域	矢作川河畔環境整備事業8,726,372円 歩行者にやさしい安全な道路空間創出事業	498,300円
保見地域	すみよい保見地区「生活環境向上事業」	3,395,498円
6 地域交通推進費【猿投支所】	保見・石野地域の生活交通手段を確保するため、地域バスの運行を行いました。また、利用促進を図るため、地域バス運営協議会を開催しました。	14,564,128円
	保見地域バス年間利用者数 3路線 1,356人	
	石野地域バス年間利用者数 2路線 763人	
7 地域活動推進費【猿投支所】	地域が活用している三河線廃線敷の草刈りの実施と5地区スポーツ大会を開催しました。	2,762,477円
2- 2-10目 松平地域振興費		
		(前年度)
当初予算額	62,670,000円 (	44,071,000円)
予算現額	46,449,093円 (	34,190,000円)
決算額	41,683,562円 (	32,439,905円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	4,765,531円 (	1,750,095円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 地域会議運営費【松平支所】	松平地域会議(委員16人) 10回開催 「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。 また、「第2次松平地域まちづくり構想」に基づき、子育て支援や農地の活用について検討を行いました。	295,142円
2 支所・コミュニティセンター管理費【松平支所】	施設の適正な維持管理を行いました。	1,477,764円
3 地域振興事業費【松平支所】	(1) 地域振興事務交付金 22自治区	19,734,450円 14,638,450円

2款 総務費

(2)	地区コミュニティ推進交付金	
	松平地区コミュニティ会議	340,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
	12件	1,253,000円
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設21灯、移設1灯、更新44灯	
	ポール 新設3本	
		2,255,000円
(5)	放送施設整備費補助金(5/10)	
	改修2件	560,000円
(6)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修 1件	283,000円
(7)	自主防災事業補助金(1/2)	
	資機材9件	405,000円
4	地域課題解決事業費【松平支所】	20,006,806円
	管理費	685,684円
	地域ぐるみの子育て事業	127,391円
	松平移住定住促進事業	419,184円
	自然との共存事業	15,664円
	歴史・文化の継承事業	437,877円
	松平地域防災事業	4,021,006円
	支障木の伐採支援事業	14,300,000円
5	地域交通推進費【松平支所】	169,400円
	松平地域タクシーの本運行開始に伴い不要となった松平ともえ号のバス停撤去を行いました。	

2- 2-11目 藤岡地域振興費

		(前年度)
当初予算額	239,881,000円	(221,987,000円)
予算現額	238,776,575円	(199,013,070円)
決算額	234,932,085円	(187,756,076円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,844,490円	(11,256,994円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	地域会議運営費【藤岡支所】	359,000円
	藤岡地域会議(委員17人)12回開催	
	「誰一人取り残さない避難行動要支援者に対する避難支援」及	

び「安心・安全なまちづくりに向けた救命救急体制」について
市長へ提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長
へ答申を行いました。

藤岡南地域会議（委員17人）12回開催

「高齢者世帯・一人暮らし高齢者が健康で安心して元気に生活
できる地域づくり」及び「自然豊かな地域を生かし、地域が協
力し支えあう環境－ふれあいファームの開設」について市長へ
提言を行いました。

また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長
へ答申を行いました。

藤岡代表者会議（委員8人）2回開催

地域会議の役割及び次期地域会議委員に伝える場づくりについ
て意見交換を行いました。

2 支所管理費【藤岡支所】	15,002,267円
（1）事務費	1,326,819円
（2）施設管理費	9,011,448円
（3）施設整備費	4,664,000円
藤岡支所管理地等の排水路改修測量設計を行いました。	
3 地域振興事業費【藤岡支所】	58,663,406円
（1）地域振興事務交付金	
24自治区	28,225,406円
（2）地区コミュニティ推進交付金	
2地区コミュニティ会議	680,000円
藤岡・藤岡南 各340千円	
（3）自治区活動備品整備費補助金（5／10）	
14件	1,806,000円
（4）防犯灯設置費補助金（定額）	
省エネ型 新設23灯、更新211灯、移設2灯	
ポール 新設1本	8,185,000円
（5）地域集会施設整備費補助金（8／10・5／10）	
改修15件	17,156,000円
（6）自主防災事業補助金（1／2）	
防災倉庫2件、資機材15件、修繕1件	
	2,611,000円
4 地域課題解決事業費【藤岡支所】	22,858,560円
管理費	76,461円
藤岡地域	

2款 総務費

	安心・安全なまちづくり事業	2,037,200円
	安心・安全な防災事業	46,640円
	藤岡南地域	
	防災SAKURAが咲くまちづくり事業	3,168,000円
	藤岡・藤岡南地域合同	
	健康づくり事業	457,500円
	石畳ふれあい広場魅力向上事業	10,141,928円
	「自慢したいまち」藤岡の魅力発掘・発信事業	1,072,280円
	支障木伐採事業	5,858,551円
5	地域交通推進費【藤岡支所】	55,156,143円
	藤岡地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バス3路線の運行を行いました。	
	また、藤岡地域バス運営協議会を6回開催し、新たな運行形態について協議しました。	
	年間利用者数 3路線	30,248人
6	藤岡地域核まちづくり推進費【藤岡支所】	933,286円
	藤岡地域核周辺における持続可能なまちづくりを進めるため、居住促進に必要な情報を整理しました。	
7	地域活動推進費【藤岡支所】	17,864,000円
(1)	地域観光協会補助金(定額)	
	藤岡地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、藤岡観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	飯野川桜ライトアップ	4月1日～2日 2,600人
	ふじまつり	4月22日～5月7日 25,310人
	ふじおか夏まつり	7月8日 3,400人
	ふじおか紅葉まつり	11月17日～19日 47,244人
8	一般観光施設費【藤岡支所】	6,240,289円
	管理施設	ふじの回廊、城ヶ根山展望台、天狗岩展望台、上川口公衆便所、東海自然歩道、木瀬散策路休憩所
9	石畳ふれあい広場施設費【藤岡支所・建築予防保全課】	
		34,152,026円
(1)	施設管理費	11,922,896円
	指定管理者	藤岡石畳地区地域づくり協議会
	施設利用者数	44,049人
(2)	施設保全費	22,229,130円
	石畳ふれあい広場体育館フローリング張替修繕を行いました。	

2款 総務費

10 藤岡ふれあいの館費【藤岡支所】		23,703,108円
指定管理者 ホームメックス(株)		
施設利用者数 44,290人		

2- 2-12目 小原地域振興費		
		(前年度)
当初予算額	181,716,000円 (	181,047,000円)
予算現額	190,830,607円 (	192,503,110円)
決算額	169,851,750円 (	182,857,303円)
翌年度繰越額	9,170,000円 (	0円)
不用額	11,808,857円 (	9,645,807円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆

9,170,000円

小原和紙のふるさと改修設計事業

9,170,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【小原支所】

668,440円

小原地域会議(委員15人)12回開催

まちづくり計画「第2期おばらみらいプラン」の策定を行なったほか、「第1期おばらみらいプラン」後期計画の進捗管理を行いました。

また、「高齢者の社会参加に関する取組について」及び「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

2 支所管理費【小原支所】

17,919,695円

(1) 事務費

2,663,506円

(2) 施設管理費

15,256,189円

3 地域振興事業費【小原支所】

12,212,855円

(1) 地域振興事務交付金

12自治区

8,814,855円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

小原地区コミュニティ会議

320,000円

(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)

備品購入5件

526,000円

(4) 防犯灯設置費補助金(定額)

省エネ型 新設15灯、更新41灯

ポール 新設2本

2,020,000円

(5) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)

改修3件

372,000円

(6) 自主防災事業補助金(1/2)

	資機材4件	160,000円
4	地域課題解決事業費【小原支所】	20,294,205円
	管理費	247,500円
	まちづくりリーダー育成事業	100,000円
	定住促進サポート事業	587,376円
	高齢者を地域で支える体制づくり	202,841円
	耕作放棄地整備支援事業	670,380円
	おばらマルシェ創出事業	117,150円
	四季桜・紅葉の育成体制の構築事業	2,427,128円
	地域で取り組む防災力向上事業	115,830円
	生活道路環境整備推進事業	11,265,100円
	市場城跡活用事業	4,560,900円
5	地域交通推進費【小原支所】	22,711,512円
	小原地区の生活交通手段の確保のため、おばら桜バスをエリアデマンド方式により運行しました。また、おばら桜バス利用促進会を4回開催し、運行内容などを検討しました。	
	運行日数	241日(平日5日間運行 タクシー車両2台)
	利用者数	3,493人
6	観光交流推進費【小原支所】	186,258円
	川見四季桜の里に設置した和紙原料展示畑を適正管理しました。	
7	地域活動推進費【小原支所】	20,903,189円
(1)	海と山のスポーツ親善費	313,189円
	文化・スポーツ友好都市である碧南市と文化・スポーツ交流を実施しました。	
	小原地区43名、碧南市59名 計102名	
(2)	地域観光協会補助金(定額)	20,590,000円
	四季桜まつり期間における来訪者受入の取組のほか、小原観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	四季桜まつり期間 来訪者数	71,821人(推計)
8	一般観光施設費【小原支所】	7,946,544円
	施設管理費	7,946,544円
	管理施設	小原ふれあい公園、四季桜公園、小原親水公園、 平畑公衆便所、樽俣公衆便所、篠平公衆便所、 有平橋公衆便所、上仁木公衆便所、川見公衆便所、 川見駐車場、上仁木駐車場、川見さくら広場
9	小原和紙のふるさと費【小原支所・建築予防保全課】	51,520,705円

豊田小原和紙工芸を世界に向けて情報発信し、地域文化の向上と発展に資する事業を実施しました。

- (1) 施設管理費 27,878,120円
 施設来場者数 24,292人
 紙漉き体験者数 2,359人
- (2) 施設保全費 399,300円
 小原和紙のふるさと和紙美術館空調設備のフィルター交換修繕を行いました。
- (3) 施設整備費 6,164,400円
 老朽化した和紙乾燥機を取り替えました。また、和紙とうるし工房に漆芸用ロクロを整備しました。
- (4) 展覧会開催費 3,959,089円
 蓬萊のあかり展等7展覧会を開催しました。
 展覧会観覧者数(美術館入館者) 3,896人
- (5) 小原和紙育成事業費 6,575,743円
 小原地区子ども和紙作品展を開催しました。
 参加者 197人 展示 197作品
 伝統的和紙漉きと豊田小原和紙工芸技術講習を実施し、後継者の育成に努めたほか、和紙原料の地産化を図りました。
- (6) 小原和紙振興費 6,544,053円
 「和紙良いフェスタ2023」を開催するとともに、市内外のイベントに出展し、豊田小原和紙のPRを図りました。
 和紙良いフェスタ参加者 1,200人
 カンゾカシキ(コウゾ収穫と皮剥) 参加者 88人
 豊田小原和紙工芸作品購入 1点
 藤井達吉作品額装 9点
 PAPER CONNECT TOYOTA 2023をポスト豊田国際紙フォーラム事業として開催しました。
 市内交流館等での事業参加者 19,195人
 まちなかでのペーパーアート展観覧者 182人
- 10 北部生活改善センター費【小原支所】 2,020,780円
 指定管理者 小原北部開発推進協議会
 施設利用者数 1,889人
- 11 四季の回廊費【小原支所】 11,770,352円
 - (1) 施設管理費 11,770,352円
 川見四季桜の里の管理委託や、鳥屋平工房跡地の草刈等を行い施設を適正に管理しました。
 また、川見四季桜の里及び雑敷里山林法面崩壊箇所の応急修繕

等を行いました。

12 四季桜まつり渋滞対策費【小原支所】 1,390,400円

四季桜まつり期間中に、国道419号の渋滞対策を行うことで
沿線住民の生活や企業活動への影響の緩和を図りました。

13 小原歌舞伎伝承活動負担金【小原支所】 306,815円

年2回の定期公演への補助金交付、各交流館やイベントへの出
張講座等、小原歌舞伎の普及及び人材育成を目的とする小原歌舞
伎保存会の活動を支援しました。

◆特記事項

小原和紙のふるさと改修設計事業において、事業の平準化を図るため、
9月議会で9,170千円を増額補正し、翌年度に繰り越しました。

【小原支所】

2- 2-13日 足助地域振興費

(前年度)

当初予算額	492,981,000円	(	465,477,000円)
予算現額	480,115,927円	(	537,558,000円)
決算額	445,946,521円	(	499,053,875円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	34,169,406円	(	38,504,125円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 地域会議運営費【足助支所】 277,000円

足助地域会議(委員17人)12回開催(3分科会19回開催)
「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、都市と山村
の共生に関する視点を盛り込むことなど市長へ答申を行いまし
た。

2 支所管理費【足助支所】 14,204,552円

(1) 事務費 1,638,657円

(2) 施設管理費 12,565,895円

3 地域振興事業費【足助支所】 21,653,921円

(1) 地域振興事務交付金

14自治区 15,108,921円

(2) 地区コミュニティ推進交付金

足助地区コミュニティ会議 340,000円

(3) 自治区活動備品整備費補助金(5/10)

4件 467,000円

(4) 防犯灯設置費補助金(定額)

2款 総務費

	省エネ型 新設29灯、移設3灯、更新28灯	
	ポール 新設 7本	2,057,000円
(5)	放送施設整備費補助金(5/10)	
	2件	85,000円
(6)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修・バリアフリー等 17件	3,237,000円
(7)	自主防災事業補助金(1/2)	
	防災施設、資機材 4件	359,000円
4	地域課題解決事業費【足助支所】	15,530,203円
(1)	地域自治振興費	9,457,380円
	森と緑の里山づくり推進事業	
(2)	地域定住対策費	1,312,023円
	空き家の提供支援による定住促進事業	
	足助通信によるUターン促進事業	
	子どもの遊び場創設事業	
(3)	地域観光交流費	2,670,800円
	旧愛知県東加茂事務所跡地(通称:陣屋跡地)整備事業	
(4)	地域防災対策費	2,090,000円
	足助地区防災訓練・避難訓練事業	
5	地域活動推進費【足助支所】	146,558,461円
(1)	観光まちづくり事業推進費	381,480円
	足助の町並みへの来訪者に楽しく快適に町並みを散策してもらうためあすモビ(C ⁺ walkT)の貸出しを開始しました。	
(2)	地域観光協会補助金(定額)	21,600,519円
	足助地区の観光客の誘致及び地域活性化のため、足助観光協会が行う観光事業に対し補助しました。	
	香嵐溪もみじまつり 11月1日～30日	
		約550,000人
	中馬のおひなさん 2月10日～3月10日	
		約18,000人
(3)	足助バス運行費	120,081,145円
	10月から地域バスを道路運送法第79条から第4条に基づく運行に変更し、増便しました。あわせて、スクールバス通学線を学校専用とし、学校運営に合わせた柔軟な運行ができるようにすることで足助地区の生活交通手段の利便性の向上を図りました。	
	地域巡回線利用者数(4～9月)	13路線 週1便
		1,801人
	地域巡回線利用者数(10～3月)	13路線 週2便

	2, 006人
スクールバス通学線利用者数(4～9月)	8路線
	17, 607人
スクールバス利用児童・生徒実数(10～3月)	132人
(4) 定住促進費	208, 587円
	移住定住を促進するための候補地の草刈を実施しました。
(5) 中学校生徒通学費補助金(10/10)	3, 120, 330円
	通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期代を補助しました(名鉄バス利用)。
	生徒数 17人
(6) 中学校生徒通学支援費	1, 166, 400円
	通学の利便を図るため、路線バス利用生徒に通学定期券を配付しました(おいでんバス利用)。
	生徒数 22人
6 一般観光施設費【足助支所】	9, 265, 737円
(1) 施設管理費	8, 174, 317円
	観光施設の適切な維持管理に努めました。
	管理施設
	公衆便所 5か所(追分・藤ノ木・伊勢神・本町・陣屋)
	一般観光施設 3か所(東海自然歩道・鈴木正三史跡公園・旧田口家住宅)
	指定管理施設 2か所
	ア 田町活性化施設
	指定管理者 田町自治会
	イ 西町活性化施設
	指定管理者 (有)あすけ町づくり工房
(2) 施設整備費	1, 091, 420円
	老朽化した観光案内看板の撤去等を行いました。
7 香嵐溪費【足助支所・建築予防保全課】	159, 020, 868円
(1) 施設管理費	114, 084, 866円
	指定管理者 (株)三州足助公社
	駐車場利用台数 小型 108, 720台
	大型 1, 675台
	足助屋敷入館者数 46, 484人
	足助村利用者数 4, 433人
(2) 施設保全費	14, 905, 000円
	香嵐溪園地工人館棟瓦修繕等を行いました。
(3) 再整備費	30, 031, 002円

2款 総務費

香嵐溪を観光資源として健全に保全していくため、支障木・危険木の除伐を実施しました。また、香嵐溪100年プロジェクト樹木整備実施計画策定業務委託を実施しました。	
8 百年草費【足助支所】	69,196,230円
(1) 管理運営費	69,196,230円
指定管理者 (株)三州足助公社	
施設利用者数 宿泊3,754人 入浴12,826人	
9 御内製作工房費【足助支所】	732,900円
(1) 管理運営費	732,900円
御内製作工房、鼎館について適切な維持管理に努めました。	
指定管理者 御内自治区	
施設利用者数 860人	
10 里山耕費【足助支所】	9,395,649円
(1) 施設管理費	9,146,000円
「里山くらし体験館 すげの里」について適切な維持管理に努めました。	
延べ来館者 3,239人	
うち簡易宿泊利用者 424人	
(2) 里山耕流塾負担金	249,649円
イベント開催のため、消耗品等の購入を行いました。	
11 足助観光施設整備基金積立金【足助支所】	111,000円
香嵐溪産間伐材活用パートナーシップ事業における分配金を積み立てました。	
2- 2-14目 下山地域振興費	
(前年度)	
当初予算額	202,859,000円 (225,060,000円)
予算現額	220,644,000円 (210,166,000円)
決算額	181,432,735円 (202,667,488円)
翌年度繰越額	23,500,000円 (0円)
不用額	15,711,265円 (7,498,512円)
●翌年度繰越額	
☆繰越明許費☆	23,500,000円
香恋の館長寿命化改修事業	23,500,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 地域会議運営費【下山支所】	207,540円
下山地域会議(委員15人) 12回開催	

「第4次豊田市森づくり計画について」及び「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

また、地域課題解決の提言に向けた協議検討を行いました。

2	支所管理費【下山支所】	20,333,868円
(1)	事務費	742,747円
(2)	施設管理費	19,591,121円
3	地域振興事業費【下山支所】	17,704,369円
(1)	地域振興事務交付金	
	7自治区	8,638,369円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	
	下山地区コミュニティ会議	320,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金(5/10)	
	7件	848,000円
(4)	防犯灯設置費補助金(定額)	
	省エネ型 新設92灯、更新53灯	
	ポール 新設 13本	
	省エネ型 移設 3本	5,409,000円
(5)	地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)	
	改修 5件	2,123,000円
(6)	自主防災事業補助金(1/2)	
	資機材 4件	366,000円
4	地域課題解決事業費【下山支所】	15,087,426円
	管理費	16,720円
	しもやまスマイルプラン推進事業	75,140円
	しもやま魅力発見事業	3,402,350円
	しもやま都市と山村の共生推進事業	236,040円
	しもやま住んでみりん定住促進事業	801,700円
	しもやま観光戦略プラン推進事業	2,657,476円
	下山地区支障木伐採事業	7,898,000円
5	地域交通推進費【下山支所】	28,603,324円
	地域バス利用者数 10,951人	
6	地域活動推進費【下山支所】	15,144,870円
(1)	定住促進費	144,870円
	2戸2戸作戦宅地分譲事業のPRを行いました。	
(2)	地域観光協会補助金(定額)	15,000,000円
	下山地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、豊田市しもやま観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	しもやま三河湖花火大会	8月 参加者1,000人

	しもやま夏まつり	8月	参加者	1,000人
	レンタサイクル	5～12月	参加者	56人
	フォトコンテスト		応募数	167点
7	観光交流推進費【下山支所】			4,326,829円
	豊田しもやまラリーに合わせたイベントの開催など、地域を盛り上げる取組を行いました。			
8	下山基幹集落センター費【下山支所】			4,685,347円
	(1) 管理運営費			
	下山基幹集落センターの適切な維持管理に努めました。			
	指定管理者	(公社)	豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数			6,598人
9	下山憩の家費【下山支所】			6,813,457円
	(1) 管理運営費			
	下山憩の家の適切な維持管理に努めました。			
	指定管理者	(公社)	豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数			3,662人
10	香恋の里費【下山支所】			64,901,634円
	(1) 施設管理費			62,347,434円
	指定管理者	(株)	香恋の里	
	施設利用者数	香恋の館		65,172人
		手づくり工房山遊里		60,645人
		ふれあい公園		32,586人
	(2) 施設整備費			2,554,200円
	手づくり工房山遊里の冷蔵ショーケースの更新等を行いました。			
11	三河湖観光費【下山支所】			3,624,071円
	(1) 施設管理費			
	三河湖観光センター及び三河湖園地の適切な維持管理に努めました。			
	施設利用者数	三河湖観光センター		65,526人
		三河湖園地		13,882人

◆特記事項

香恋の館長寿命化改修事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で23,500千円を増額補正し、翌年度に繰り越しました。

【下山支所】

2- 2-15目 旭地域振興費

(前年度)

当初予算額	315,304,000円	(	300,963,000円)
予算現額	318,665,073円	(	329,267,400円)
決算額	308,209,103円	(	323,737,216円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	10,455,970円	(	5,530,184円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 地域会議運営費【旭支所】 126,710円
旭地域会議(委員15人)10回開催
「旭地域に求められる生活交通」について市長へ提言を行いました。
また、「第9次豊田市総合計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。
- 2 支所管理費【旭支所】 17,218,639円
 - (1) 事務費 1,054,202円
 - (2) 施設管理費 8,836,437円
 - (3) 施設整備費 7,328,000円
旭交流館東側の石積崩落による擁壁改修測量設計を実施しました。
- 3 地域振興事業費【旭支所】 6,728,684円
 - (1) 地域振興事務交付金
5自治区 5,800,684円
 - (2) 地区コミュニティ推進交付金
旭地区コミュニティ会議 320,000円
 - (3) 防犯灯設置費補助金(定額)
省エネ型 新設1灯、更新3灯
移設1灯 136,000円
 - (4) 地域集会施設整備費補助金(8/10・5/10)
改修1件 256,000円
 - (5) 自主防災事業補助金(1/2)
2件 216,000円
- 4 地域課題解決事業費【旭支所】 17,873,400円
 - 旭木の駅プロジェクト推進事業 450,000円
 - 定住促進事業 723,315円
 - あさひ高齢者見守り事業 195,614円
 - 地域資源を活かした「花の里づくり事業」7,603,192円

2款 総務費

	通行支障木の伐採支援事業	7, 0 6 2, 0 0 0 円
	ツキノワグマ対策事業	1, 8 3 9, 2 7 9 円
5	観光交流推進費【旭支所】	6, 0 8 0, 4 7 0 円
	観光拠点周辺の渋滞対策として、警備員による誘導や案内看板等を設置し、観光客や地元住民への影響を緩和しました。	
6	地域活動推進費【旭支所】	4 4, 6 9 2, 0 0 8 円
(1)	地域観光協会補助金（定額）	1 0, 6 0 0, 9 3 9 円
	旭地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、旭観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	上中のしだれ桃 4月1日～9日	約5, 0 0 0 人
	小渡夢かけ風鈴 7月16日～8月31日	約10, 0 0 0 人
	旭やまびこ花火大会 10月28日	約600人
(2)	旭バス運行費	3 4, 0 9 1, 0 6 9 円
	旭地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスを運行しました。	
	地域バス利用者数	1, 7 6 7 人
7	一般観光施設費【旭支所】	6, 6 1 7, 4 2 6 円
(1)	施設管理費	4, 2 3 4, 8 2 6 円
	管理施設 東海自然歩道・矢作ダム周辺施設・笹戸公園・公衆便所	
(2)	施設整備費	2, 3 8 2, 6 0 0 円
	田津原公衆便所の加圧ポンプ及び小渡公衆便所の排水設備の修繕を行いました。	
8	旭高原自然活用村費【旭支所】	1 7 9, 6 7 7, 7 1 4 円
(1)	管理運営費	1 2 3, 2 4 1, 2 2 4 円
	指定管理者 （株）旭高原	
	施設利用者数 112, 109人（愛知県自然の家含む。）	
(2)	施設整備費	5 6, 4 3 6, 4 9 0 円
	多目的広場の整地やファミリーロッジ屋根の修繕等を行いました。	
9	笹戸生活改善センター費【旭支所】	7 9 6, 3 3 1 円
(1)	管理運営費	
	指定管理者 笹戸自治区	
	施設利用者数 3, 8 4 5 人	
10	つくば工房費【旭支所】	3 5 2, 1 5 4 円
(1)	管理運営費	
	管理施設 農林水産物処理加工施設「つくば工房」	

2款 総務費

1 1	旭農林会館費【旭支所・建築予防保全課】	16,827,000円
(1)	管理運営費	3,759,000円
	指定管理者 旭観光協会	
	施設利用者数 1,984人	
(2)	施設保全費	13,068,000円
	屋上防水修繕等を行いました。	
1 2	浅野会館費【旭支所】	760,204円
(1)	管理運営費	
	指定管理者 浅野自治区	
	施設利用者数 1,453人	
1 3	敷島農村環境改善センター費【旭支所】	1,256,298円
(1)	管理運営費	
	指定管理者 敷島自治区	
	施設利用者数 9,044人	
1 4	築羽農村環境改善センター費【旭支所】	959,020円
(1)	管理運営費	
	指定管理者 築羽自治区	
	施設利用者数 3,739人	
1 5	城山森林公園費【旭支所】	873,400円
(1)	管理運営費	
	森林環境の学習の場としての「城山森林公園」について適切な維持管理に努めました。	
1 6	介護予防拠点施設老人憩の家あさひ荘費【旭支所】	
		7,369,645円
(1)	管理運営費	
	指定管理者 敷島自治区加塩町内会	
	施設利用者数 4,222人	

2- 2-16目 稲武地域振興費

		(前年度)
当初予算額	333,137,000円	(782,104,000円)
予算現額	328,383,710円	(835,529,200円)
決算額	320,564,870円	(808,374,415円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	7,818,840円	(27,154,785円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1	地域会議運営費【稲武支所】	198,816円
---	---------------	----------

2款 総務費

稲武地域会議（委員17人）14回開催

「第9次豊田市総合計画について」及び「第4次豊田市森づくり計画について」の諮問に対し、市長へ答申を行いました。

2	支所管理費【稲武支所】	2,929,400円
(1)	事務費	1,216,864円
(2)	施設管理費	1,712,536円
3	地域振興事業費【稲武支所】	34,315,384円
(1)	地域振興事務交付金	
	13自治区	8,365,384円
(2)	地区コミュニティ推進交付金	
	稲武地区コミュニティ会議	320,000円
(3)	自治区活動備品整備費補助金（5/10）	
	4件	357,000円
(4)	防犯灯設置費補助金（定額）	
	省エネ型 新設21灯、更新16灯	1,535,000円
	ポール 新設8本	
(5)	地域集会施設整備費補助金（8/10・5/10）	
	バリアフリー1件、増築1件	3,805,000円
(6)	自主防災事業補助金（1/2）	
	資機材2件	171,000円
(7)	財産区まちづくり支援交付金	
	7自治区	19,762,000円
4	地域課題解決事業費【稲武支所】	9,589,645円
	管理費	6,876円
	稲武移住定住促進事業	923,569円
	城山整備事業	2,015,200円
	生活道路における支障木伐採事業	6,644,000円
5	観光交流推進費【稲武支所】	6,410,000円
	シロキヤラリーの開催に合わせて、地域を盛り上げるためのイベント等を実施しました。	
6	地域活動推進費【稲武支所】	64,128,921円
(1)	地域観光協会補助金（定額）	17,609,000円
	稲武地区への観光客の誘致及び地域活性化のため、いなぶ観光協会が行う観光事業を支援しました。	
	ひな祭り	2月から4月上旬 3,841人
	大井平公園もみじまつり	11月 約35,000人
	いなぶの四季を写そう写真大会	応募数294点
(2)	稲武地域バス運行費	42,189,547円

稲武地域の生活交通手段の確保を図るため、地域バスの運行とイベント開催時に合わせた利用促進活動を行いました。

年間利用者数 8, 010人

(3) 雇用定住促進費 1, 584, 000円

稲武地区の雇用と定住の推進を図るため、テレワーク利用や地域交流会を実施しました。

(4) 児童生徒通学支援費 1, 155, 600円

遠距離通学者の利便を図るために、路線バス利用者に通学定期券を支給しました。

通学定期券支給者数 児童32人 生徒9人

(5) 三市ふれあい協定事業費 1, 590, 774円

ふるさとふれあいウォーキング大会の開催及び名古屋市中学生の植樹体験事業を実施しました。

7 一般観光施設費【稲武支所】 6, 309, 505円

(1) 施設管理費

観光施設の適切な維持管理に努めました。

管理施設 水別広場・大井平公園・城山公園・押川大滝公園
名倉川遊歩道・どんぐりの森

8 どんぐりの里費【稲武支所】 152, 176, 177円

(1) 管理運営費 149, 847, 992円

指定管理者 (株)どんぐりの里いなぶ

施設利用者数 どんぐりの湯 140, 548人
どんぐり横丁 369, 774人

(2) 施設整備費 2, 328, 185円

どんぐり横丁の備品購入及び不要備品の処分を行いました。

9 稲武どんぐり工房費【稲武支所】 9, 954, 760円

(1) 管理運営費 9, 628, 280円

山里体験プログラムをコーディネートし、体験型観光を推進しました。

指定管理者 いなぶ観光協会

施設利用者数 12, 434人

(2) 施設整備費 326, 480円

老朽化した冷蔵庫を更新しました。

10 帰農者滞在施設費【稲武支所】 916, 059円

(1) 管理運営費

帰農者滞在施設の適切な維持管理に努めました。

11 農林漁家高齢者センター費【稲武支所】 4, 734, 060円

(1) 管理運営費

2款 総務費

農林漁家高齢者センターの適切な維持管理に努めました。	
指定管理者（公社）豊田市シルバー人材センター	
施設利用者数 1, 210人	
12 面ノ木風力発電所費【稲武支所】	21, 241, 895円
(1) 施設管理費	
面ノ木風力発電施設3基の適切な維持管理に努めました。	
売電電力量 2, 130, 058kWh	
13 養蚕・製糸文化伝承活動負担金【稲武支所】	7, 660, 248円
稲武地区の養蚕製糸文化を伝承するため、シルクフードの試作品開発及び試食会など実行委員会による取組を実施しました。	
2- 3- 1目 税務総務費	
(前年度)	
当初予算額	931,093,000円 (940,848,000円)
予算現額	939,482,000円 (944,867,000円)
決算額	911,717,602円 (912,240,436円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	27,764,398円 (32,626,564円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 人件費（固定資産評価審査委員会委員7人、一般職117人、非常勤一般職45人）【市民税課・人事課】	906, 447, 883円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	2, 433, 370円
3 固定資産評価審査委員会事務費【市民税課】	1, 000円
4 市民税税務事務費【市民税課】	2, 021, 899円
5 資産税税務事務費【資産税課】	813, 450円
2- 3- 2目 賦課費	
(前年度)	
当初予算額	297,579,000円 (391,051,000円)
予算現額	306,924,963円 (371,756,000円)
決算額	295,936,772円 (350,117,935円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	10,988,191円 (21,638,065円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 市民税等賦課事務費【市民税課】	46, 751, 629円

2款 総務費

個人市民税納税義務者	234,595人
法人市民税納税義務者	8,736人
事業所税納税義務者	711人
申告相談受付	6,530人
不申告等調査	3,327件
扶養調査	12,452件
法定資料箋調査	1,973件
2 資産税等賦課事務費【資産税課】	204,226,514円
固定資産税納税義務者	
土地	138,431人
家屋	126,846人
償却資産	12,239人
土地現況地目調査	16,849件
土地路線調査	44本
家屋調査（新增築等調査）	2,229件
〃（取壊し調査）	1,790件
償却資産の实地調査等	508件
3 軽自動車税賦課事務費【市民税課】	11,674,188円
軽自動車税課税件数	138,935件
軽自動車申告等処理	52,770件
軽自動車税未納分等調査	251件
4 電子申告システム推進費【市民税課】	33,284,441円
エルタックス電子申告	35,738件
国税連携データ	73,521件

2- 3- 3目 徴収費

		(前年度)
当初予算額	462,261,000円	(544,434,000円)
予算現額	439,271,037円	(533,378,000円)
決算額	397,030,260円	(422,014,524円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	42,240,777円	(111,363,476円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 徴収事務費【債権管理課】	71,867,911円
(1) 現年滞繰合計収納率	目標99.30% 実績99.27%
滞納繰越分市税徴収額	目標2.7億円 実績2.4億円
(2) 口座振替加入率（R6年度当初）	46.28%

2款 総務費

口座振替新規加入件数	9, 836件
口座振替新規加入増加率	5. 38%
督促状、催告書発行件数	191, 089件
(3) 電話等催告件数(委託)	64, 844件
返戻督促状処理件数(調査推進員)	3, 474件
差押件数(不動産、動産、債権、参加差押)	3, 565件
猶予件数(徴収、換価)	38件
2 電子収納システム推進費【債権管理課】	38, 370, 217円
ペイジー納付件数	17, 897件
ゆうちょ銀行納付件数	26, 260件
コンビニ納付件数	364, 232件
(内訳 税	331, 881件)
(公課	29, 027件)
(その他債権	3, 324件)
スマートフォン決済納付件数(バーコード)	6, 850件
(内訳 税	5, 989件)
(公課	762件)
(その他債権	99件)
3 債権管理推進費【債権管理課】	5, 015, 509円
弁護士委託件数	141件
回収額	9, 018, 440円
4 過誤納還付金【債権管理課】	281, 776, 623円
税額更正、誤って納付された市税の還付等を4, 617件執行しました。	
2- 4- 1目 戸籍住民基本台帳費	
(前年度)	
当初予算額	787,283,000円 (832,524,000円)
予算現額	784,552,000円 (840,635,000円)
決算額	748,266,528円 (814,209,860円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	36,285,472円 (26,425,140円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(一般職51人、非常勤一般職50人)【人事課】	512, 363, 235円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	3, 790, 650円
3 戸籍住民基本台帳費【市民課】	214, 050, 131円

(1) 戸籍住民基本台帳事務費 82,820,362円

<年間処理件数>

戸籍届	15,389件(送付分を含む。)
住民基本台帳異動処理	96,639件
印鑑登録	13,815件
出入国在留管理庁連携処理	21,568件
住民票の写し等発行	461,860件(公用・無料含む。)
税証明等発行	105,862件(公用・無料含む。)
臨時運行許可	1,320件
住民実態調査(消除件数)	37件

<参考> (3月31日現在)

本籍数	153,585戸
本籍人口	395,171人
住民登録人口	415,853人
日本人	395,062人
外国人	20,791人
住民登録世帯数	187,545世帯
日本人	175,462世帯
外国人	12,083世帯
印鑑登録者数	269,677人

<その他の取組事業>

- ・年度末、年度始めの市民窓口の混雑緩和と市民サービスの向上のため、南庁舎1階で休日臨時窓口を開設しました。

実施日及び処理件数

R 5. 4. 9	637件
R 5. 4. 22	391件
R 6. 3. 30	600件

- ・戸籍届出が多い特異日において、時間外窓口の混雑緩和のため南庁舎1階で婚姻届提出窓口を開設しました。

実施日及び婚姻届出件数

R 5. 5. 5(年月日の数字が揃う日)	18件
-----------------------	-----

<参考>窓口での婚姻届出件数

1,660件/年 (4.5件/日)

- ・豊田市オリジナル婚姻届を作成し、婚姻届を提出したカップルに記念品と記念写真をプレゼントする結婚祝い事業を実施しました。

記念品配付数(木製フォトフレーム)1,590個/年

- ・豊田市オリジナル和紙製フォトスタンドとクリアファイルを作

成し、出生届を提出した方にプレゼントする出生お祝い事業を実施しました。

記念品配付数(和紙製フォトスタンド)2,523個/年

(2) 住民基本台帳ネットワークシステム管理費

28,954,805円

<年間処理件数>

広域住民票交付 339件(3の(1)内の再掲)

(3) 個人番号カード交付事務費 78,246,417円

<年間処理件数>

個人番号カード交付(再交付を含む) 56,839件

公的個人認証発行 署名用 23,269件

利用者証明用 9,351件

<参考> (3月31日現在)

個人番号カード保有枚数 313,960枚

個人番号カード保有枚数率 75.2%

<その他の取組事業>

・市民サービス向上のため、休日窓口を26回開設しました。

個人番号カード交付 8,079件

個人番号カード申請 150件

・支所・出張所で臨時窓口を27回開設しました。

個人番号カード交付 616件

個人番号カード申請 290件

・委託業者による福祉施設等での申請サポートを20回実施しました。

個人番号カード申請 33件

(4) コンビニエンスストアにおける証明書交付推進費

24,028,547円

全国のコンビニエンスストア等の店舗にて証明書交付サービスを実施しました。

コンビニ交付取扱事業者件数 6件

<年間処理件数> (3の(1)内の再掲)

住民票の写し 45,017件

印鑑登録証明書 36,243件

所得課税証明書 5,275件

戸籍全部(個人)事項証明書 11,405件

4 豊田市駅西口サービスセンター費【市民課】18,062,512円

<年間処理件数>

住民票等発行 29,253件(3の(1)内の再掲)

2款 総務費

税証明等発行	6, 7 1 5 件 (3 の (1) 内の再掲)
税等の収納	2, 9 9 2 件
県証紙等の売りさばき	1 8, 7 1 3 件
来客数	3 8, 6 2 1 人
2- 5- 1目 選挙管理委員会費	
	(前年度)
当初予算額	3,104,000円 (2,920,000円)
予算現額	2,486,000円 (2,110,000円)
決算額	2,205,382円 (1,831,012円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	280,618円 (278,988円)
●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要	
1 人件費 (選挙管理委員 5 人) 【選挙管理委員会事務局】	1, 0 9 1, 7 0 0 円
2 選挙管理委員会事務費【選挙管理委員会事務局】	1, 0 5 7, 5 1 1 円
(1) 委員会の開催 (開催回数 2 1 回)	
任期満了に伴う豊田市議会議員一般選挙を 4 月に、豊田市長選挙を 2 月に執行しました。	
(2) 選挙人名簿の登録	
登録者数 3 3 4, 7 9 4 人 (3 月 1 日現在)	
3 在外選挙人名簿登録事務費【選挙管理委員会事務局】	5 6, 1 7 1 円
登録者数 2 1 2 人 (3 月 1 日現在)	
2- 5- 2目 選挙啓発費	
	(前年度)
当初予算額	541,000円 (710,000円)
予算現額	488,000円 (516,000円)
決算額	467,486円 (477,425円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	20,514円 (38,575円)
●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要	
1 選挙啓発事務費【選挙管理委員会事務局】	4 6 7, 4 8 6 円
(1) 選挙出前トーク事業	
職員による選挙出前トーク (選挙の話、模擬投票) を実施し、	

2款 総務費

選挙に対する意識啓発を図りました。	
小学校22校 中学校3校 特別支援学校1校 計26校	
(2)	啓発ポスター募集事業
市内の小・中・高等学校の児童生徒を対象に募集を行い、表彰及び展示を行いました。	
応募点数 198点 入選作品 37点	
(3)	啓発グッズの配布
ふせんや紙風船等を購入し、交流館祭等に提供しました。	
啓発用品支給 14回	
2- 5- 3目 県議会議員一般選挙費	
(前年度 2- 5- 5目)	
当初予算額	101,744,000円 (45,666,000円)
予算現額	11,874,000円 (45,666,000円)
決算額	11,869,401円 (27,644,314円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	4,599円 (18,021,686円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1	人件費(選挙長1人、選挙立会人3人、非常勤一般職7人、投開票事務等職員)【選挙管理委員会事務局】 686,206円
2	県議会議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】 11,183,195円
任期満了による愛知県議会議員一般選挙が、3月31日に告示され、選挙による議員定数(5人)を超えなかったため無投票になりました。	
公営ポスター掲示場設置・撤去委託(889か所)、選挙当日投票事務サポーター募集業務委託等に支出しました。	
2- 5- 4目 市長選挙費	
当初予算額	154,373,000円
予算現額	154,373,000円
決算額	117,137,729円
翌年度繰越額	0円
不用額	37,235,271円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1	人件費(投票管理者127人、投票立会人272人、選挙長1人、選

挙立会人 3 人、期日前投票管理者 85 人、期日前投票立会人
143 人、非常勤一般職 8 人、投開票事務等職員)

【選挙管理委員会事務局】 38,016,719 円

2 市長選挙事務費【選挙管理委員会事務局】 79,121,010 円

任期満了による豊田市長選挙を、2 月 4 日に事務従事者 865 人
によって行いました。126 か所の投票所に加え、当日の指定投票
所によらず誰でも投票することができる共通投票所を 1 か所開設し
ました。また、水素燃料電池バス『SORA』を活用した移動期日
前投票所を足助病院に加え、市内自動車学校 2 校に開設しました。

開票については、当日午後 9 時から豊田市運動公園体育館にて、
事務従事者 397 人によって行い、午後 10 時 33 分に終了しまし
た。

当日の有権者数 331,240 人

投票者数 153,410 人

投票率 46.31%

2- 5- 5 目 市議会議員一般選挙費

(前年度 2- 5- 6 目)

当初予算額 270,855,000 円 (6,430,000 円)

予算現額 223,347,000 円 (6,430,000 円)

決算額 223,336,091 円 (4,636,940 円)

翌年度繰越額 0 円 (0 円)

不用額 10,909 円 (1,793,060 円)

●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要

- 1 人件費 (投票管理者 127 人、投票立会人 266 人、選挙長 1 人、選
挙立会人 8 人、期日前投票管理者 80 人、期日前投票立会人
141 人、非常勤一般職 8 人、投開票事務等職員)

【選挙管理委員会事務局】 39,453,352 円

- 2 市議会議員選挙事務費【選挙管理委員会事務局】
183,882,739 円

任期満了による豊田市議会議員一般選挙を、4 月 23 日に事務従
事者 865 人によって行いました。126 か所の投票所に加え、当
日の指定投票所によらず誰でも投票することができる共通投票所を
1 か所開設しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
していた水素燃料電池バス『SORA』を活用した移動期日前投票
所 (市内大学 2 か所、足助病院) を再開しました。

開票については、当日午後 9 時から豊田市総合体育館 (スカイホ

2款 総務費

ール豊田)にて事務従事者472人によって行い、午前1時に終了しました。

当日の有権者数	330,635人
投票者数	190,364人
投票率	57.58%

2-6-1目 統計調査総務費

(前年度)

当初予算額	1,302,000円	(	972,000円)
予算現額	1,243,000円	(	636,000円)
決算額	1,130,190円	(	514,403円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	112,810円	(	121,597円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 統計事務費【(総)庶務課】 213,780円
- 統計書等発行費【(総)庶務課】 718,410円

(発行図書名)	(発行部数)
『豊田市統計書』	100冊
『豊田市の人口』	50冊
『豊田市全図』	1,000部
- 調査員研修費【(総)庶務課】 198,000円
12月13日に登録調査員研修会を開催し、97人が参加しました

2-6-2目 基幹統計費

(前年度)

当初予算額	16,084,000円	(	8,957,000円)
予算現額	12,400,000円	(	4,989,000円)
決算額	12,354,179円	(	4,562,553円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	45,821円	(	426,447円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 人件費(基幹統計調査指導員12人、基幹統計調査調査員142人、非常勤一般職14人、基幹統計事務職員)【(総)庶務課】 11,624,258円
- 基幹統計調査費【(総)庶務課】 675,921円

(1) 経済センサス調査区管理費	4,401円
------------------	--------

2款 総務費

事業所の新設、異動等の情報を基に調査区地図を最新の状態に修正しました。

(2) 農林業センサス調査区設定費 1,560円

令和7年2月実施の調査に向けて調査区を設定しました。

(3) 住宅・土地統計調査費 669,960円

調査目的：住宅及び土地に関する基礎資料を得る。

基準日：令和5年10月1日

調査対象：414調査区、7,038住戸（抽出調査）

実施体制：指導員12人、調査員142人、調査委託1件

3 統計調査員確保対策費【（総）庶務課】 54,000円

登録統計調査員164人

2-7-1日 監査委員費

（前年度）

当初予算額 106,721,000円（95,471,000円）

予算現額 98,903,000円（104,468,000円）

決算額 96,725,449円（102,454,847円）

翌年度繰越額 0円（0円）

不用額 2,177,551円（2,013,153円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（監査委員5人、特別職2人、一般職8人）

【監査委員事務局・人事課】 92,247,562円

2 監査事務費【監査委員事務局】 4,469,087円

・定期監査

部局監査

工事監査（技術士の協力を得て実施）

学校・こども園監査

・財政援助団体監査

・出資団体監査（公認会計士の協力を得て実施）

・指定管理者監査（公認会計士の協力を得て実施）

・例月出納検査

・決算等審査

・健全化判断比率等審査

・財産区の定期監査及び決算審査

・内部統制評価報告書審査

3 監査委員交際費【監査委員事務局】 8,800円

3款 民生費

3款 民生費		
(前年度)		
当初予算額	65,264,557,000円	(63,639,714,000円)
予算現額	72,858,835,224円	(69,306,108,690円)
決算額	69,379,045,338円	(66,916,662,207円)
翌年度繰越額	1,336,357,746円	(248,306,224円)
不用額	2,143,432,140円	(2,141,140,259円)
3- 1- 1目 社会福祉総務費		
(前年度)		
当初予算額	8,021,965,000円	(7,890,675,000円)
予算現額	9,903,512,138円	(9,215,764,146円)
決算額	9,598,884,973円	(8,899,023,071円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	304,627,165円	(316,741,075円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	人件費(民生委員推薦会委員4人、社会福祉審議会委員44人、一般職98人、非常勤一般職51人)915,532,224円 【よりそい支援課・総務監査課・人事課】	
2	非常勤一般職管理事務費【人事課】4,357,130円	
3	社会福祉総務事務費【総務監査課・よりそい支援課】 1,337,326円	
4	地域福祉計画推進費【地域包括ケア企画課】21,938円 第2次地域福祉計画の推進を図るとともに、地域共生社会推進全国サミット開催に向けて意識醸成を図る意見交換会等を実施しました。	
5	再犯防止推進計画推進費【地域包括ケア企画課】126,120円 再犯防止推進委員会を開催し、計画の進捗管理や支援の現状についての意見交換を実施しました。	
6	社会福祉援護費【よりそい支援課・生活福祉課】 6,300,336円 緊急的に保護を必要とする人の一時宿泊費、医療費、その他日用品費等や、引き取り手のない人の葬儀費用を支援しました。	
7	指導監査費【総務監査課】23,422,346円 社会福祉法人・施設、介護保険及び障がい福祉サービス事業者の適正な運営及び報酬請求を確認するため、指導、監査業務を実施しました。	

3款 民生費

社会福祉法人・施設指導監督業務

許認可・届出受理件数

社会福祉法人・定款変更 4件

指導監査実施件数

社会福祉法人監査 5法人（対象法人18法人）

社会福祉施設等監査 51施設（対象施設67施設）

児童福祉関係 35施設（対象施設35施設）

老人福祉関係 14施設（対象施設28施設）

障がい福祉関係 2施設（対象施設4施設）

介護保険サービス事業者指導・ケアプランチェック業務

運営指導件数 203事業所（対象事業所853事業所）

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数159事業所

ケアプランチェック件数

17事業所（対象事業所204事業所）

うち指定市町村事務受託法人への委託事業所数 10事業所

監査件数 5事業所（1法人）

障がい福祉サービス事業者指導業務

実地指導件数 65事業所（対象事業所388事業所）

監査件数 8事業所（2法人）

8 民生児童委員活動費【よりそい支援課】 85,025,728円

（1）活動事務費 76,521,244円

民生児童委員活動の充実を図るための指導や委員の資質向上のための研修事業を実施しました。また、民生児童委員活動の推進を図るため費用弁償等の支給を行いました。

（研修実績）

地区会長研修 1回

新任委員研修 6回

主任児童委員研修 1回

（2）地区協議会活動助成費補助金（定額） 8,504,484円

9 遺家族援護費【総務監査課】 892,400円

（1）遺家族援護事務費 2,400円

（2）戦没者遺族連合会事業費補助金（10／10）

890,000円

戦没者遺族連合会が実施する「平和をかたりつぐ事業」に補助を行いました。

内容 映像記録「うすれゆく戦中戦後の記憶」制作

10 戦没者追悼費【総務監査課】 3,265,823円

（1）戦没者追悼事務費 1,887,823円

戦没者に対し追悼の意を表し平和を祈念するため、豊田市戦没者追悼式を開催しました。

開催日 4月15日(土)

参加者 126人

(2) 戦没者追悼費補助金(10/10) 1,378,000円

地区遺族会が開催する追悼式に対し、補助を行いました。

開催時期 9~11月

開催地区 高橋、高岡、猿投、足助、小原、下山 の6地区

11 中国残留邦人等地域生活支援費【生活福祉課】

1,467,072円

(1) 中国残留邦人等地域生活支援費 1,461,792円

中国残留邦人等が、地域で生き生きとした暮らしを実現するため、支援・相談員を配置しました。

(2) 中国残留邦人等地域生活支援事業費補助金(10/10)

5,280円

中国帰国者支援交流センター等が行う日本語教室等、交流事業に通所するための交通費の助成を行いました。

12 生活困窮者自立支援費【よりそい支援課・生活福祉課】

85,681,993円

社会福祉協議会等に委託し、生活困窮者の相談窓口を設置し生活相談や就労支援を行いました。また、家計改善や健康管理が必要な被保護世帯に対する支援を行いました。

相談件数 延べ 11,313件

住居確保給付金 12件

家計改善支援 延べ 167件

就労準備支援 4件

自立相談支援による就労支援 66件

子どもの学習・生活支援 開催箇所数 6か所

参加児童生徒数 110人

健康管理支援 通知発送342件、新規窓口健康管理支援60件

13 重層的支援体制整備事業費【よりそい支援課】

146,294,383円

(1) 生活困窮者自立支援費 95,884,000円

(2) 多機関協働費 50,410,383円

個別支援と支え合いの地域づくりのため、コミュニティソーシャルワーカーを配置し(社会福祉協議会委託)、包括的な支援体制の推進を図りました。また、民間事業者との連携により、支援が必要な人への社会参加を進めました。

- 14 子ども食堂安全確保費補助金（10／10）【よりそい支援課】
182,960円
子ども食堂が安全に運営されるための環境整備に対して助成し、地域において子どもが心身ともに安心できる居場所の確保を推進しました。
補助金交付決定団体 7団体
- 15 多様な働き方支援事業費【よりそい支援課】3,657,000円
引きこもりなど様々な理由で就労に困難を抱える方への支援のあり方を検討し、モデルケースとして支援を実施しました。
利用件数 19件
- 16 地域共生社会推進全国サミット開催推進費【よりそい支援課】
26,741,436円
市民や関係者、自治体職員等を対象に、パネルディスカッションや先進事例の紹介を通じ、地域共生社会についての理解や意識を高める機会として全国サミットを開催しました。
開催日 10月12日（木）～13日（金）
参加実績 2,077人（2日間延べ）
- 17 社会福祉大会負担金【総務監査課】 231,708円
福祉功績者を顕彰する社会福祉大会を豊田市社会福祉協議会との共催で開催しました。
開催日 12月9日（土）
顕彰者 個人 146人、法人・団体 47団体
- 18 社会福祉協議会運営費補助金（10／10）【よりそい支援課】
63,830,257円
- 19 シルバー人材センター運営費補助金（10／10）
【市民活躍支援課】 929,052円
- 20 地域生活意思決定支援事業費【よりそい支援課】
1,208,936円
判断能力に不安のある方の地域生活を支えるため、意思決定支援や金銭管理などの権利擁護支援の仕組みづくりと支援の試行を実施しました。
支援実績 6件
- 21 社会福祉基金積立金【総務監査課】 29,342,699円
多くの市民の善意を福祉基金として積み立て、基金の利子を福祉事業に活用しました。
令和5年度寄附金件数 6件（個人 5件、法人・団体 1件）
基金現在高（令和5年度末） 541,686,639円
- 22 国民健康保険特別会計繰出金【国保年金課】

3款 民生費

4, 037, 142, 136円

(内訳)

保険基盤安定繰出金(保険税軽減分) 862, 209, 048円

保険基盤安定繰出金(保険者支援分) 509, 658, 943円

未就学児均等割保険税繰出金 15, 136, 913円

職員給与費等繰出金 341, 858, 609円

産前産後保険税繰出金 578, 966円

出産育児一時金等繰出金 48, 303, 140円

財政安定化支援事業繰出金 123, 251, 000円

保健事業繰出金 206, 386, 157円

その他繰出金 1, 929, 759, 360円

23 介護保険事業特別会計繰出金【介護保険課】

3, 910, 440, 947円

介護保険財政運営のため、介護給付費に対する12.5%、地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業に対する12.5%、地域支援事業の包括的支援事業等に対する19.25%を市の負担分として繰り出しました。また、低所得者に対して保険料の軽減を行うため、保険料軽減分を繰り出しました。

(内訳)

介護給付費繰出金 2, 979, 755, 240円

地域支援事業繰出金 111, 698, 461円

包括的支援事業等繰出金 50, 222, 132円

職員給与費等繰出金 213, 076, 834円

介護保険事務費等繰出金 372, 043, 280円

低所得者保険料軽減繰出金 183, 645, 000円

24 社会福祉費過年度国県支出金返還金 251, 453, 023円

【総務監査課・よりそい支援課・生活福祉課】

(1) 総務監査課過年度国県支出金返還金 13, 000円

(2) よりそい支援課過年度国県支出金返還金
59, 283, 935円

(3) 生活福祉課過年度国県支出金返還金 192, 156, 088円

(内訳)

生活保護費等国庫負担金の返還金 190, 748, 044円

生活困窮者就労準備支援事業費等補助金の返還金
1, 380, 000円

中国残留邦人支援・相談員業務委託費の返還金 28, 044円

3款 民生費

3- 1- 2目 国民年金事務費			
			(前年度)
当初予算額	1,639,000円	(	2,567,000円)
予算現額	1,639,000円	(	2,402,000円)
決算額	1,498,839円	(	2,172,115円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	140,161円	(	229,885円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1 国民年金事務費【国保年金課】	1, 4 9 8, 8 3 9円		

3- 1- 3目 医療助成費			
			(前年度)
当初予算額	4,526,279,000円	(	4,435,020,000円)
予算現額	5,089,821,000円	(	4,435,013,000円)
決算額	4,793,818,711円	(	4,278,886,721円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	296,002,289円	(	156,126,279円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1 福祉医療総務事務費【福祉医療課】	1 0, 6 2 5, 1 9 8円		
令和6年度から、子ども医療助成費の通院医療の対象を中学生までから高校生世代までに拡大するための準備をしました。			
2 子ども医療助成費【福祉医療課】	2, 2 5 2, 6 0 5, 0 5 9円		
市条例・規則に基づき、小学校就学前までの乳幼児及び小中学生の入通院医療並びに高校生世代及び大学生等の入院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。このうち小中学生の通院医療並びに高校生世代及び大学生等の入院医療については市単独事業として実施しました。			
なお、市単独事業以外の部分は、県補助制度により1／2補助を受けました。			
受給者証交付者数	乳幼児	1 9, 7 7 0人(年度平均)	
	小中学生	3 2, 3 4 2人(年度平均)	
入院助成申請人数	高校生世代	8 9人	
	大学生等	5 5人	
3 心身障がい者医療助成費【福祉医療課】	9 3 2, 6 0 3, 3 7 4円		
市条例・規則に基づき、心身障がい者（身体障がい者手帳1級から3級所持者、療育手帳A・B判定所持者、自閉症と診断された人			

等)の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数 5, 090人(年度平均)

4 母子・父子家庭医療助成費【福祉医療課】230, 696, 036円

市条例・規則に基づき、母子・父子家庭世帯(所得制限あり)の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

受給者証交付者数 5, 112人(年度平均)

5 精神障がい者医療助成費【福祉医療課】509, 427, 920円

市条例・規則に基づき、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。また、この対象外の人でも、自立支援医療(精神通院)による通院医療の自己負担額を全額、精神疾患の診断書による精神科入院医療については、健康保険自己負担額の半額を助成しました。このうち、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者の精神疾患以外に係る入通院医療、自立支援医療(精神通院)による通院医療及び診断書による精神科入院医療は市単独事業として実施しました。

受給者証交付者数

精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者

2, 079人(年度平均)

自立支援医療(精神通院)による通院医療

4, 854人(年度平均)

診断書による精神科入院医療

157人(年度平均)

6 福祉給付金助成費【福祉医療課】857, 861, 124円

市要綱に基づき、後期高齢者医療制度の被保険者で、一定の条件(身体障がい者手帳1級から3級所持者、戦傷病者手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳1・2級所持者、独居老人等)を満たす人の入通院医療の健康保険自己負担額を全額助成しました。

このうち、独居老人等一部の条件の対象者は市単独事業として実施しました。

受給者証交付者数 県補助対象者 6, 621人(年度平均)

市単独事業対象者 887人(年度平均)

3款 民生費

3- 1- 4目 福祉センター費		
		(前年度)
当初予算額	422,476,000円 (	440,733,000円)
予算現額	461,908,000円 (	415,901,000円)
決算額	417,765,532円 (	407,819,516円)
翌年度繰越額	42,700,000円 (	0円)
不用額	1,442,468円 (	8,081,484円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		42,700,000円
藤岡福祉センターふじのさと長寿命化改修事業		42,700,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 福祉センター費【総務監査課】	101,407,420円	
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会		
施設利用者数	152,004人	
2 藤岡福祉センターふじのさと費【総務監査課・建築予防保全課】	39,821,110円	
(1) 管理運営費	37,790,000円	
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会		
施設利用者	10,430人	
(2) 施設保全費	1,870,000円	
誘導灯取替修繕を行いました。		
(3) 施設整備費	161,110円	
車いす用体重計を購入しました。		
3 小原福祉センターふくしの里費【総務監査課】	67,319,142円	
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会		
施設利用者数	9,784人	
4 介護予防拠点施設足助まめだ館費【総務監査課】	34,948,000円	
(1) 管理運営費	33,529,000円	
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会		
施設利用者数	4,781人	
(2) 施設整備費	1,419,000円	
電話設備を更新しました。		
5 百年草老人デイサービスセンター費【総務監査課】	9,670,900円	
(1) 管理運営費	9,518,000円	

3款 民生費

指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数 4,342人	
(2) 施設整備費	152,900円
車いす用体重計を購入しました。	
6 下山保健福祉センターまどいの丘費【総務監査課】	
47,916,571円	
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数 15,980人	
7 老人福祉センターぬくもりの里費【総務監査課】	
58,458,932円	
(1) 管理運営費	56,984,932円
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数 11,978人	
(2) 施設整備費	1,474,000円
電話設備を更新しました。	
8 稲武福祉センター費【総務監査課・建築予防保全課】	
58,223,457円	
(1) 管理運営費	44,090,855円
指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会	
施設利用者数 14,077人	
(2) 施設保全費	13,979,702円
玄関前通路上屋の屋根修繕等を行いました。	
(3) 施設整備費	152,900円
車いす用体重計を購入しました。	
◆特記事項	
藤岡福祉センターふじのさとの長寿命化改修において、半導体、電気部品等の供給不足により機械類の製作に時間がかかり、工事期間が翌年度に渡るため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。	
【総務監査課】	
3- 1- 5目 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付費	
(前年度)	
当初予算額	0円 (0円)
予算現額	843,920,862円 (952,595,804円)
決算額	843,393,637円 (950,550,128円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	527,225円 (2,045,676円)

3款 民生費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（非常勤一般職2人、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事務職員手当）【非課税世帯等給付金推進室】
3,190,158円
- 2 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付費
【非課税世帯等給付金推進室】 840,203,479円
 - （1）事務費 25,703,479円
 - （2）電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費補助金（定額） 814,500,000円

基準日（令和5年6月1日）において、世帯全員の住民税均等割が非課税である世帯及び住民税均等割が非課税である世帯と同様の状況にあると認められる世帯に対して、1世帯当たり3万円を給付しました。

支給世帯数 27,150世帯

3- 1- 6目 物価高騰対応重点支援給付金給付費

（前年度）

当初予算額	0円	（	0円）
予算現額	2,995,000,000円	（	1,491,342,050円）
決算額	1,787,027,382円	（	1,371,755,737円）
翌年度繰越額	1,201,601,746円	（	0円）
不用額	6,370,872円	（	119,586,313円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	1,201,601,746円
物価高騰対応重点支援給付金給付事業	1,201,601,746円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（非常勤一般職3人、物価高騰対応重点支援給付金給付事務職員手当）【非課税世帯等給付金推進室】
2,069,128円
- 2 物価高騰対応重点支援給付金給付費【非課税世帯等給付金推進室】
1,784,958,254円
 - （1）事務費 13,398,254円
 - （2）物価高騰対応重点支援給付金給付事業費補助金（定額）
1,771,560,000円

基準日（令和5年12月1日）において、世帯全員の住民税均等割が非課税である世帯に対して、1世帯当たり7万円を給付し

3款 民生費

ました。

支給世帯数 25,308世帯

◆特記事項

物価高騰対応重点支援給付金給付事業において、物価高騰対応重点支援給付金の申請期限が翌年度であるため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【非課税世帯等給付金推進室】

3- 2- 1目 障がい者福祉総務費

(前年度)

当初予算額	2,495,166,000円	(2,426,944,000円)
予算現額	2,597,822,000円	(2,487,480,083円)
決算額	2,531,096,439円	(2,433,017,934円)
翌年度繰越額	0円	(1,680,000円)
不用額	66,725,561円	(52,782,149円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(身体障がい程度判定医5人)【障がい福祉課】

4,668,900円

2 障がい者福祉事務費【障がい福祉課】

2,163,842円

3 発達障がい児者支援費【障がい福祉課】

44,950円

発達障がい児の子育て経験のある方を相談役とした情報交換会を7回開催しました。

4 障がい者相談員費【障がい福祉課】

434,000円

4人の身体障がい者相談員及び3人の知的障がい者相談員が、本人や家族の相談に応じ、必要な援助や助言を行いました。

5 身体障がい者手帳交付費【障がい福祉課】

323,400円

身体障がい者手帳交付者(再交付を含む。) 1,505人

6 障がい者生活支援サービス費【障がい福祉課】1,859,820円

(1) 「食」の自立支援費

「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし障がい者等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。

利用登録者数(3月末現在) 15人

延べ配食数 3,868食

(2) 訪問理美容サービス費

外出困難な障がい者の保健衛生の向上を図るため、理美容師の出張費相当額の助成を行いました。

利用回数 延べ110回

- 7 障がい者就労・生活支援センター費【障がい福祉課】
3, 302, 000円
運営を豊田市福祉事業団に委託し、障がい者が地域生活において自立と社会参加ができるよう関係機関とのネットワークを活用することで、個々のニーズに応じた就労・生活支援を行いました。
- 8 障がい者就業・生活支援センター運営費補助金（10／10）
【障がい福祉課】 143, 044円
- 9 障がい理解・啓発促進事業費【障がい福祉課】 72, 000円
心のバリアフリー推進講座を実施し、障がい理解の推進を図りました。
- 10 障がい者優先調達推進費【障がい福祉課】10, 208, 000円
障がい者就労施設等の製品を販売する置き型菓子ボックスを公共施設等に設置したほか、共同受注窓口として発注や相談に応じることで、販路の拡大を図りました。
- 11 障がい福祉事業従事者育成確保費【障がい福祉課】
1, 175, 000円
強度行動障がい支援者養成研修として、基礎研修に加えて新たにフォローアップ研修を実施し、強度行動障がい者支援の充実を図りました。
- 12 障がい福祉事業所等災害・感染症対策費【障がい福祉課】
8, 052, 495円
障がい福祉サービス等事業所の職員に対し、新型コロナウイルス感染症のスクリーニング検査を実施しました。
延べ 7, 562人
- 13 障がい者社会参加促進費【障がい福祉課】 121, 000円
(1) 自発的活動費補助金（1／2）
障がい者等で構成される団体が行う、地域での自発的な活動及び事業に対して補助しました。
(2) 全国ろうあ者体育大会派遣費補助金（1／4）
全国ろうあ者体育大会に愛知県代表選手として出場する聴覚障がい者の派遣費用の一部を補助しました。
- 14 障がい者虐待防止・養護者支援費【よりそい支援課】
23, 440円
障がい者虐待への適切な対応と支援を図るため、関係機関との連携協力体制を整備し、障がい者虐待の早期発見及び防止に努めました。
- 15 福祉交通対策費【障がい福祉課】 30, 381, 661円
(1) ハンディキャブ運行費補助金（2／3）

ボランティアによるリフト付き福祉車両を運行する団体に対し
事業費の一部を補助しました。

送迎回数 1, 531回

(2) 福祉交通対策負担金

単独で公共交通機関を利用することが困難な障がい者等の外出
手段を確保するため、施設送迎車両の空き時間を利用して送迎を
行いました。

送迎回数 743回

(3) 外出支援サービス委託費

公共交通機関を利用できない障がい者等に対して、通院等の移
送サービスを実施しました。

旭地区 23回

(4) 福祉有償運送運営協議会費

障がい者等の移動制約者の生活に必要な輸送を確保するため、
NPO法人等が行う福祉有償運送に関し、必要な事項を協議しま
した。

16 福祉事業団運営費補助金(10/10)【障がい福祉課】

1, 291, 218, 008円

17 サービス継続支援事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】

143, 000円

新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合において、
必要な障がい福祉サービスが継続して提供されるよう、感染拡大防
止に係る消毒液等の購入費や人員不足の事業所に対する職員の応援
派遣に係る経費を補助しました。

補助件数 1件

18 ICT導入モデル事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】

663, 000円

障がい福祉サービス等事業所が業務効率化及び職員の業務負担軽
減のためにICTを導入する際の経費を補助しました。

補助件数 1件

19 ロボット等導入支援事業費補助金(10/10)【障がい福祉課】

660, 000円

障がい者支援施設等事業者が介護業務の負担軽減等を図るために
ロボット技術を導入する際の経費を補助しました。

補助件数 1件

20 特別障がい者手当等給付費【障がい福祉課】

205, 178, 900円

日常生活において常時特別な介護を必要とする最重度の身体・知

的障がい者（児）の生活安定のため、手当を支給しました。

受給者数（3月末現在）

特別障がい者手当 422人

障がい児福祉手当 239人

経過福祉手当 2人

21 障がい者手当給付費【障がい福祉課】 784,986,500円

（1）心身障がい者扶助料給付費

障がい者（児）の生活安定と福祉増進を図るため、手当を支給しました。

助成額（月額）

4,500円 身体1・2級、知的A判定、精神1級

4,000円 身体3級、知的B判定、精神2級

2,500円 身体4～6級、知的C判定、精神3級

受給者数（3月末現在） 16,758人

（2）在宅重度心身障がい者手当給付費

日常生活に介護を要する在宅の重度障がい者（児）の福祉増進を図るため、手当を支給しました。

受給者数（3月末現在） 537人

22 障がい者更生援護費【障がい福祉課】 44,062,284円

（1）タクシー料金助成費

公共交通機関による移動が困難な障がい者にタクシー料金の一部を助成することで、障がい者の社会参加の促進を図りました。

助成額（年額）

16,000円 身体1・2級、知的A判定、精神1級

12,000円 身体3級、知的B判定、精神2級

4,000円 視覚障がい4～6級、下肢障がい4級

交付者数 10,779人

（2）心身障がい者扶養共済掛金助成費

障がい者の保護者が死亡又は重度障がい者となった場合の経済的保障となる愛知県心身障がい者扶養共済制度の掛金の一部（一口目の60%）を補助しました。

助成者数（3月末現在） 101人

（3）福祉電話設置費

ひとり暮らしの在宅重度障がい者の自宅に、福祉電話の設置を行い、コミュニケーション手段の確保を行いました。また、緊急通報システムの設置により、安心かつ安全な生活の確保に努めました。

福祉電話訪問利用者数（3月末現在） 0人

3款 民生費

緊急通報システム設置者数（３月末現在）		１８人
（４） 中等度難聴児支援費		
中等度以下の難聴児に対して適切な補聴器装用を奨励するため に補聴器の購入等費用の３分の２を助成しました。		
助成件数		３１件
２３	難病患者支援費【保健支援課】	４７，７２５，８７２円
特定医療費受給者又は特定疾患医療給付事業受給者のうち対象と なる方に支援金を支給しました。		
給付者数		１，５９０人
２４	障がい者福祉費過年度国県支出金返還金【障がい福祉課】	９３，４８５，３２３円
◆特記事項		
福祉事業団運営費補助金において、人件費の精算を行ったことにより ４４，４２４千円の不用額が生じました。【障がい福祉課】		
3- 2- 2目 障がい者自立支援費		
(前年度)		
当初予算額	8,551,595,000円	(7,744,529,000円)
予算現額	9,079,742,484円	(8,059,033,917円)
決算額	8,961,920,998円	(8,053,273,965円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	117,821,486円	(5,759,952円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
１	人件費（障がい支援区分等認定審査会委員８人）【障がい福祉課】	１，８３２，１００円
２	自立支援事務費【障がい福祉課】	１５，８９１，６３４円
３	自立支援協議会運営費【障がい福祉課】	９８，２００円
４	介護給付費【障がい福祉課】	４，７１０，３６５，９８９円
（１） 居宅介護費		
日常生活に支障のある障がい者（児）の家庭で食事・入浴等の 介護や調理、清掃等の援助を行い、障がい者（児）の自立支援と 家族の介護負担の軽減を図りました。		
利用者数		４８５人（３月利用実績）
延べ提供量		２５０，１２８時間
（２） 生活介護費		
障がい者の自立促進、生活能力向上のため、食事、入浴、創作 的活動、生産活動等の日中活動を提供し、自立の支援と家族の負		

担軽減を図りました。

利用者数 863人(3月利用実績)

延べ提供量 197,082日

(3) 短期入所費

障がい者(児)の在宅生活の維持向上等のために、短期間入所施設等で食事や入浴、排せつ等の介護等を行い、障がい者(児)の家族の介護負担の軽減を図りました。

利用者数 183人(3月利用実績)

延べ提供量 12,199日

(4) 療養介護費

18歳以上のALS患者・筋ジス患者・重症心身障がい者について、専門の医療機関において機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を実施しました。

利用者数 34人(3月利用実績)

延べ提供量 12,136日

(5) 施設入所支援費

施設入所する人の安定した日常生活のため、夜間や休日における食事、入浴、排せつの介護等の支援を実施しました。

利用者数 238人(3月利用実績)

延べ提供量 83,048日

5 障がい者福祉サービス費還付金【障がい福祉課】

5,490,570円

同一世帯の障がい者等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払により支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数 高額障がい者福祉サービス費還付金 延べ558件

障がい者福祉サービス費還付金 延べ 10件

6 訓練等給付費【障がい福祉課】 3,063,734,184円

(1) 共同生活援助費

障がい者の地域生活を支援するため、夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行い、障がい者の自立を支援しました。

利用者数 373人(3月利用実績)

延べ提供量 128,690日

(2) 就労継続支援費

一般企業での雇用が困難な障がい者に対し、就労や生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

3款 民生費

利用者数 1, 013人(3月利用実績)

延べ提供量 193, 458日

(3) 就労移行支援費

企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、支援をしました。

利用者数 196人(3月利用実績)

延べ提供量 37, 551日

(4) 就労定着支援費

一般就労した障がい者に対し、企業、自宅等へ訪問するなど、課題解決に向けて必要な支援を実施し就労の定着を図りました。

利用者数 60人(3月利用実績)

延べ提供量 589日

(5) 自立訓練費

日常生活又は社会生活ができるよう、一定期間、身体機能又は生活能力の向上のために必要な訓練を行いました。

利用者数 43人(3月利用実績)

延べ提供量 8, 276日

7 更生医療支給費【障がい福祉課】 291, 353, 868円

身体障がい者(主に腎臓、心臓、免疫機能)の障がいの状態の軽減を図るため、施術等の医療費の一部を支給しました。

給付者数 934人

8 補装具費支給費【障がい福祉課】 86, 462, 344円

身体障がい者等の身体上の障がいを補うための用具の購入や修理に要する費用の一部を支給しました。

給付件数 704件

9 地域生活支援費【よりそい支援課・障がい福祉課】

510, 798, 620円

(1) 移動入浴費

寝たきり等のため家庭において入浴が困難な在宅重度身体障がい者(児)の健康と衛生を維持するため、移動入浴車を各家庭に派遣し、移動入浴を実施しました。

利用者数 61人(3月利用実績)

延べ提供量 6, 670回

(2) 日中一時支援費

障がい者(児)の地域生活を援助するため、食事、入浴、創作的活動、生産活動等の日中活動の提供を行い、障がい者(児)の自立支援と家族の負担軽減を図りました。

地域デイ 利用者数 68人(3月利用実績)

延べ提供量 7, 830日

日中短期 利用者数 111人(3月利用実績)

延べ提供量 4, 158日

(3) ケアスタッフ居宅派遣費

地域で生活する重度全身性障がい者(児)の居宅に、早朝、夜間等のヘルパーが派遣できない時間帯にケアスタッフを派遣し、障がい者(児)の自立生活の支援を実施しました。

利用者数 10人(3月利用実績)

延べ提供量 1, 789時間

(4) 教養教室等開設費

障がい者の教養を高め、自主性の高揚を図るため、各種教養教室を開催しました。また、豊田市民文化会館において障がい者作品展を開催しました。

教養教室 延べ受講者数 2, 608人

作品展 出展者数 904人

入場者数 1, 656人

(5) 成年後見制度利用支援費

判断能力が不十分な障がい者の権利を守り、法的保護を図るため、成年後見制度の利用促進を目的とした豊田市成年後見支援センターの運營業務を委託し、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数 289件(高齢者等を含む。)

利用支援事業助成件数 42件

(6) 意思疎通支援費

意思疎通に支障のある障がい者に手話通訳者等を派遣するとともに手話奉仕員等の養成講座、市民向けの手話体験会及び点字体験会を実施しました。また、医療機関版コミュニケーション支援ボードの配布を行い、意思疎通の円滑化を図りました。

意思疎通支援者派遣回数 762回

手話奉仕員講習会 受講者数 58人

要約筆記奉仕員講習会 受講者数 6人

点訳講習会 受講者数 5人

手話通訳者養成講習会 受講者数 2人

要約筆記者養成講習会 受講者数 0人

(7) 地域活動支援センター費

自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対し、創作的活動や日中活動場所の提供をしました。

利用者数 22人(3月利用実績)

延べ提供量 2, 527日

- (8) 福祉ホーム運営費補助金 (10 / 10)
交付団体数 2 か所
利用者数 28 人 (3 月末現在)
- (9) 日常生活用具給付費
在宅の障がい者等の日常生活を円滑にするために、日常生活用具及び住宅改修に係る給付を行いました。
ストーマ用装具、紙おむつ、動脈血中酸素飽和度測定器等
給付件数 5, 098 件
- (10) 移動支援費
屋外での移動が困難な障がい者 (児) にヘルパーを派遣し、外出のための支援を行うことで、社会参加の促進を図りました。
利用者数 318 人 (3 月利用実績)
延べ提供量 33, 712 時間
- (11) 障がい者就労支援奨励金支給費
就労支援事業所等を利用する障がい者に対して、奨励金を支給し、障がい者の就労意欲の向上と継続的な就労活動を支援しました。
利用者数 1, 380 人
利用施設 155 施設
- (12) 自動車改造等助成費
身体障がい者の就労・社会参加促進のため、自動車運転免許取得に要する費用及び免許の条件に合致する自動車改造に要する費用の一部を助成しました。
自動車運転免許取得費助成数 3 人
自動車改造費助成数 8 人
- (13) 知的障がい者職親費
相当な作業能力を持ちながら就職が難しい知的障がい者を事業主が預かり、職場に定着できるように指導訓練を行いました。
利用者数 2 人 (3 月末現在)

10 重層的支援体制整備事業費【障がい福祉課・保健支援課】

194, 541, 231 円

- (1) 相談支援費
障がい者 (児) 及び家族に対して生活支援、相談、福祉サービス利用に関する助言等を総合的に行うため、相談支援事業の委託を行い、障がい者 (児) が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように支援しました。また、障がい者相談委託に関する消費税の是正に伴い、過年度分を含めた支払いを行いました。

実績

3款 民生費

福祉サービスの利用に関する支援	7, 712件
障がいや病状の理解に関する支援	924件
健康・医療に関する支援	1, 035件
不安の解消・情緒安定に関する支援	1, 230件
保育・教育に関する支援	206件
家族関係・人間関係に関する支援	878件
家計・経済に関する支援	522件
生活技術に関する支援	590件
就労に関する支援	399件
社会参加・余暇活動に関する支援	347件
権利擁護に関する支援	313件
その他	1, 190件
合 計	15, 346件

(2) 地域活動支援センター運営費

精神障がい者とその家族等に、相談や日中活動場所等を提供するため、医療法人及び社会福祉協議会に事業を委託しました。

委託先 3か所

1 1 相談支援給付費【障がい福祉課】 81, 352, 258円

障がい者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細かな支援をしました。

延べ利用者数 4, 906人

3- 2- 3目 障がい者福祉施設費

		(前年度)
当初予算額	574,191,000円	(520,444,000円)
予算現額	657,931,516円	(655,578,000円)
決算額	619,600,894円	(387,024,673円)
翌年度繰越額	21,000,000円	(229,900,000円)
不用額	17,330,622円	(38,653,327円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 21,000,000円

第二ひまわり長寿命化改修事業 21,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 障がい者総合福祉会館費【障がい福祉課・建築予防保全課】

144, 087, 000円

施設の長寿命化工事及び空調設備設置等を行いました。

指定管理者（社福）豊田市社会福祉協議会

3款 民生費

障がい者福祉会館延べ利用者数 23,836人

サン・アビリティーズ豊田延べ利用者数 22,598人

2 けやきワークス費【障がい福祉課】 27,241,054円

施設の長寿命化工事に向けた設計委託を実施しました。

指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団

定員 50人 契約者 43人(3月末現在)

3 第二ひまわり費【障がい福祉課・建築予防保全課】

37,384,225円

指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団

定員 70人 契約者 58人(3月末現在)

4 重症心身障がい者通所施設費(暖)【障がい福祉課】

29,214,190円

指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団

定員 36人 契約者 32人(3月末現在)

5 さくらワークス費【障がい福祉課】 74,241,000円

指定管理者 (社福)こじま福祉会

定員 36人 契約者 22人(3月末現在)

6 知的障がい者グループホーム費【障がい福祉課】

1,559,181円

指定管理者 (社福)豊田市福祉事業団

定員 7人 契約者 4人(3月末現在)

7 障がい者施設設置支援費【障がい福祉課】193,643,918円

(1) 公共施設活用管理費

民間事業所に貸与している施設等の維持管理を行いました。

(2) 民間障がい者施設整備費補助金(3/4)

障がい者の日中活動の場を確保するため、施設の創設費用の一部を補助しました。

補助件数 1件

(3) グループホーム整備費補助金(3/4)

障がい者の居住の場を確保するため、グループホームの創設費用の一部を補助しました。

補助件数 1件

8 民間障がい者施設運営費補助金(10/10)【障がい福祉課】

28,700,000円

社会福祉法人等が経営する社会福祉施設の利用者の処遇向上と健全経営への取組に対して、運営費等の一部を補助しました。

運営費補助 10か所

償還金補助 5か所

9 グループホーム等設置促進費【障がい福祉課】

59,958,666円

障がい者が地域で生活していくための居住の場の運営費の一部を補助しました。

運営費補助 46か所

家賃補助 48か所

賃貸運営費補助 1か所

開設準備費補助 1か所

10 重症心身障がい者等支援費【障がい福祉課】

23,571,660円

(1) 移動支援費

重症心身障がい者等本人が希望に沿った生活を送られるよう、日中活動の場への送迎支援を行いました。

送迎回数 延べ126回

(2) 短期入所利用支援事業費補助金(定額)

重症心身障がい者(児)を受け入れた短期入所事業所に対し、費用の一部を補助し、本人及び家族の福祉の向上を図りました。

交付事業所 2か所

(3) グループホーム受入促進事業費補助金(10/10)

重度障がい者等を受け入れられる手厚い支援体制を確保するために、グループホームの運営費の一部を補助しました。

交付事業所 2事業所(3住居)

受入日数 2,172日

(4) 家族介護者負担軽減事業費補助金(10/10)

緊急時においても、預け先があるといった安心感を確保するとともに、在宅生活を支える重症心身障がい者等の家族負担を軽減するために、受け入れた医療機関に対し、費用の一部を補助しました。

利用者数 33人

利用日数 1,270日

◆特記事項

第二ひまわり長寿命化改修事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で21,000千円増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【障がい福祉課】

3款 民生費

3- 3- 1目 老人福祉総務費		
		(前年度)
当初予算額	1,666,933,000円	(1,759,836,000円)
予算現額	1,906,190,156円	(1,985,346,863円)
決算額	1,538,945,257円	(1,687,147,473円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	367,244,899円	(298,199,390円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（入所判定委員会委員3人）【よりそい支援課】

284,400円

2 老人福祉総務事務費【高齢福祉課・介護保険課】

618,305円

3 介護保険制度施行推進費【介護保険課】

2,886,747円

(1) 社会福祉法人利用者負担軽減対策費補助金（1／2）

1,315,223円

社会福祉法人が行う介護サービスの利用者負担を減額することにより、低所得利用者の負担軽減を図りました。市は社会福祉法人が自ら減額した金額に応じて、社会福祉法人に対して助成を行いました。

助成法人 5法人

(2) 在宅サービス低所得者負担軽減対策費

1,571,524円

低所得者の介護サービスの利用支援として、ホームヘルプ、デイサービス、ショートステイの利用者負担額の2割を軽減しました。

延べ利用者数 482人

4 認知症対策費【高齢福祉課】

693,215円

(1) 認知症地域共生推進費

認知症になっても安心して暮らせる社会を実現するため、若年性認知症を含めた早期発見、本人・家族会の開催等を実施しました。

若年性認知症本人・家族会 14回

5 重層的支援体制整備事業費

646,041,993円

【よりそい支援課・高齢福祉課・健康づくり応援課】

(1) 地域包括支援センター運営費

631,564,878円

市内に29か所（基幹型地域包括支援センター1か所を含む。）設置し、高齢者の介護・福祉・保健・医療等の総合相談、高齢者の権利擁護の支援、地域のネットワークづくりを行いながら、地域における高齢者の生活を支援しました。

高齢者やその家族に対する相談・対応 延べ149,837件

3款 民生費

介護保険の要支援者の介護予防支援 延べ30,829人
事業対象者等の介護予防ケアマネジメント延べ17,705人
介護予防教室・家族介護交流会開催 328回

(2) 地域介護予防活動支援事業費 2,600,115円
介護予防教室修了後の自主活動グループに対し、講師派遣等の支援を実施しました。

自主活動グループ数 199グループ
(3) 生活支援体制整備事業費 11,877,000円
支え合いの地域づくりのため、コミュニティソーシャルワーカーを配置し(社会福祉協議会委託)、高齢者を中心とした地域の課題解決に向けた協議・連携体制づくりを行いました。

6 在宅医療・介護連携推進費【地域包括ケア企画課】

2,724,982円
在宅療養を支える医療・福祉関係者の情報共有ツール「豊田みよしケアネット」の運用を行いました。

豊田みよしケアネット登録施設数 500施設(843人)
登録患者数 243人

7 介護人材確保事業費【介護保険課】 7,176,427円
介護に関わる人材の定着・確保・育成を支援するための取組を行いました。

キャリアアップ支援研修 受講者数 18人
介護の仕事相談会 参加者数 73人
外国人材日本語学習支援講座・介護福祉士国家試験対策講座
受講者数 28人

8 介護事業所等災害・感染症対策費【介護保険課】

44,390,555円
高齢者施設等職員に対し、新型コロナウイルス感染症のスクリーニング検査を実施しました。
延べ 52,007人

9 生活支援サービス費【高齢福祉課・介護保険課】

273,382,139円
(1) シルバーカー購入費助成費 1,885,040円
高齢者の外出する機会を増やすことで、介護予防と社会参加の促進を図るため、歩行の補助として使うシルバーカーの購入費を助成しました。

助成券利用者数 189人

(2) ひとり暮らし高齢者等移動費助成費 26,761,200円
日常生活に介護又は支援を要するひとり暮らし高齢者等に地域

社会の中で自立した生活を送ることができるように、タクシー料金の助成を行いました。

助成券交付者数 3, 881人

(3) 「食」の自立支援費 181, 861, 064円

「食」の自立の観点から、調理が困難なひとり暮らし高齢者や高齢世帯等に対し、栄養バランスのとれた食事を配達し、生活の支援を図るとともに安否の確認を行いました。

利用登録者数(月平均) 1, 625人

延べ配食数 406, 817食

(4) すこやか住宅リフォーム助成費 55, 695, 629円

要支援・要介護認定者に対し、自宅のバリアフリー化により生活環境の改善を図り、住み慣れた地域で継続して生活ができるように住宅改修費の一部を助成しました。

助成件数 521件

(5) 寝具貸与・クリーニング等サービス費 828, 404円

衛生管理が困難な高齢者に対し、寝具貸与とクリーニング等のサービスを実施しました。

延べ利用者数 221人

(6) 訪問理美容サービス費 180, 000円

理美容所へ出掛けることが困難な高齢者が自宅で散髪などのサービスを受けやすくするために、理美容師の出張費相当額を助成しました。

交付者数 119人、延べ利用回数 180回

(7) 家族リフレッシュショートステイ利用費 6, 170, 802円

介護する家族の疲れを癒し、介護に対する心身の負担感の軽減を目的として、介護保険の給付限度額を超えた分のショートステイ利用額を1年に5日を上限に助成しました。

延べ利用件数 353件

延べ利用日数 766日

10 安心支援サービス費【よりそい支援課・高齢福祉課】

34, 112, 394円

(1) 福祉電話設置費 1, 339, 077円

介護認定のあるひとり暮らし高齢者に対して福祉電話訪問を行い、孤独感の解消と安否確認を行いました。また、呼吸器、循環器等の疾患があるひとり暮らし高齢者に対しては、緊急通報システムを設置し、日常生活での不安解消と安全確保に努めました。

福祉電話訪問利用者数(5年度末) 19人

緊急通報システム設置者数(5年度末) 60人

3款 民生費

- (2) 成年後見制度利用支援費 32,221,567円
判断能力が不十分な高齢者の権利を守り、法的保護を図るため
成年後見制度の利用促進を目的とした豊田市成年後見支援センタ
ーの運営委託を行い、相談援助等必要な支援をしました。

相談件数 289件(障がい者等を含む)

- (3) お元気ですかボランティア訪問費 551,750円
ひとり暮らし高齢者等の話を傾聴し、孤独感の解消を図るため
に、お元気ですかボランティアによる高齢者宅への訪問活動を実
施しました。

ボランティア総数(5年度末) 192人

訪問回数 1,031回

1.1 家族介護支援対策費【よりそい支援課・高齢福祉課】

11,187,564円

- (1) 徘徊高齢者家族支援費 1,198,040円
高齢者が行方不明となった場合に早期発見並びに保護するため
に、対象者情報の事前登録、見守り安心マークの配布及び行方不
明高齢者情報のメール配信を実施しました。また、事前登録者を
対象に、介護する家族の心理的負担を軽減するため、個人賠償責
任保険事業を実施しました。

事前登録者数(5年度末) 471人

個人賠償責任保険加入者数(5年度末) 460人

見守り安心マーク配布者数 90人

行方不明高齢者情報配信メール 18件

- (2) 生活管理指導短期宿泊費 9,810,694円
日常生活を営むのに支障がある高齢者等に対して、養護老人ホ
ームへの短期宿泊等の支援を行いました。

利用者数 22人 延べ利用日数 995日

- (3) 徘徊者搜索機器利用促進費補助金(10/10)

178,830円

認知症により行方不明になるおそれがある高齢者等に対して、
GPS機器の導入費用を助成しました。

補助件数 10件

1.2 老人福祉施設措置費【よりそい支援課】116,974,921円

日常生活に支障がある高齢者に対して心身の状況、その置かれて
いる環境を勘案し、養護老人ホームへの入所措置を行いました。

措置者数(5年度末) 48人

1.3 在宅老人緊急保護費【よりそい支援課】5,093,462円

自立した生活を営むことが困難で身寄りがいない等のやむを得ない

3款 民生費

事由のある高齢者に対して、特別養護老人ホームへの入所措置を行いました。

措置者数（５年度末） ３人

14 敬老金支給費【高齢福祉課】 26,683,068円

贈呈者数： 80歳 3,824人

90歳 1,145人

100歳 80人

15 外国人高齢者福祉給付金支給費【生活福祉課】 80,000円

日本国籍を有しない、大正15年4月1日以前に出生した無年金の方に対し、給付金を支給しました。

対象者 1人

16 高齢者住宅等安心確保サービス費【高齢福祉課】666,600円

シルバーハウジング入居者に対して、緊急通報装置を設置し、安心して暮らすことができるように努めました。

設置戸数（５年度末） 136戸

17 高齢者虐待防止・養護者支援費【よりそい支援課】45,420円

高齢者虐待への適切な対応と支援を図るため、関係機関との連携協力体制を整備し、高齢者虐待の早期発見及び防止に努めました。

18 高齢者活動推進費【市民活躍支援課】120,300,842円

（１） 高齢者活動事務費 276,000円

（２） 作品展開催費 1,064,000円

出品点数 245点 来場者数 1,911人

（日本画、書道、工芸、洋画、写真、手芸）

（３） 高齢者活動事務交付金 29,986,680円

高齢者クラブ活動を通じて、自主的な社会貢献活動を促進し、地域活動の担い手となり共働のまちづくりを推進するため、単位クラブの活動を支援しました。

単位クラブ数 171クラブ 会員数 17,514人

加入率 14.1%（会員数／60歳以上人口）

加入率 16.8%（会員数／65歳以上人口）

交付金執行憩の家数 150か所（憩の家総数 169か所）

（４） 高齢者クラブ連合会補助金（8／10）

10,465,274円

（５） 高齢者能力活用推進費補助金（10／10）

76,787,686円

高齢者の生きがいづくり及び多様な社会参加の促進を図るため（公社）豊田市シルバー人材センターに補助を行いました。

会員数 2,057人

3款 民生費

- 受注件数 6, 157件
就業延べ人数 143, 571人
配分金 635, 470, 207円
(6) 憩の家管理運営費補助金(1/2・定額)
1, 721, 202円
補助金執行憩の家数 19か所(憩の家総数 169か所)
- 19 金婚祝賀会開催費【市民活躍支援課】 1, 641, 816円
写真撮影組数 319組
- 20 高齢者支援ネットワーク費【高齢福祉課】 271, 700円
高齢者が安心して生活できるよう地域にある商店や医療機関等に
「ささえあいネット」の協力機関として登録を依頼し、地域で高齢
者を見守るネットワークの構築に努めました。
関係登録機関 2, 440件
- 21 避難行動要支援者対策費【よりそい支援課】 990, 310円
災害時における避難行動要支援者の支援体制の確立を目的として
対象者リストの整備と地域の避難支援等関係者への情報提供に同意
を得られた人の名簿の配布を行いました。
避難行動要支援者数及び同意者数(5年度末)
対象者8, 306人、同意者6, 739人、同意率81.1%
- 22 老人ホーム入所者生活補給金【よりそい支援課】377, 700円
養護老人ホーム入所者のうち、無収入又は収入が低額な人に対し
生活補給金を支給しました。
支給人数(5年度末) 5人
- 23 介護事業所等サービス継続支援費補助金(10/10)
【介護保険課】 178, 957, 000円
新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合において、
必要なサービスが継続して提供されるよう、感染拡大防止に係る消
毒液等の購入費用や人員不足の事業所に対する職員の応援派遣に係
る経費、施設内療養に対する経費を補助しました。
73事業所
- 24 介護保険関係研修受講料補助金(1/2)【介護保険課】
858, 000円
介護サービス事業所職員の研修受講料の助成を行いました。
法人数 14法人
受講者数 29人
- 25 軽費老人ホーム利用料補助金(10/10)【高齢福祉課】
60, 209, 400円
軽費老人ホーム利用者の利用料負担の軽減と施設の健全な運営を

3款 民生費

図るため、施設を運営する社会福祉法人に補助を行いました。

ホーム利用者数（５年度末） １００人

26 老人保健医療事業費【福祉医療課】 793,188円

（１）一般管理事務費 1,188円

（２）医療費返還金 792,000円

医療機関等から返還された老人保健医療給付費を高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき処理するために、愛知県後期高齢者医療広域連合へ全額納入しました。

27 老人福祉費過年度国県支出金返還金 1,503,109円

【よりそい支援課・高齢福祉課・介護保険課・健康づくり応援課】

（１）よりそい支援課過年度国県支出金返還金 12,000円

（２）高齢福祉課過年度国県支出金返還金 216,640円

（３）介護保険課過年度国県支出金返還金 644,469円

（４）健康づくり応援課過年度国県支出金返還金 630,000円

3- 3- 2目 高齢者福祉施設費

（前年度）

当初予算額 1,771,237,000円 （ 1,267,301,000円 ）

予算現額 1,389,467,844円 （ 957,626,137円 ）

決算額 1,301,846,465円 （ 908,490,261円 ）

翌年度繰越額 16,286,000円 （ 0円 ）

不用額 71,335,379円 （ 49,135,876円 ）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 16,286,000円

老人福祉センター豊寿園長寿命化改修設計事業 16,286,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 老人福祉センター豊寿園費【高齢福祉課】

94,862,869円

（１）管理運営費 94,697,869円

指定管理者 （社福）豊田市社会福祉協議会

年間利用者数：個人 81,322人

団体 8,973人

会議・講座等 11,902人

（２）施設整備費 165,000円

どん帳の点検を行いました。

2 高齢者温泉休養施設費【高齢福祉課】 103,784,469円

（１）管理運営費 102,249,969円

3款 民生費

指定管理者 (株)平畑温泉観光サービス

年間利用者数: 宿泊 6, 079人

休憩 13, 129人

(2) 施設整備費 1, 534, 500円

生ごみ処理機を購入しました。

3 温浴施設費【高齢福祉課】 111, 818, 192円

指定管理者 (株)豊田ほっとかん

年間利用者数: 97, 196人

4 福祉就業センター費【市民活躍支援課・建築予防保全課】

17, 691, 035円

(1) 管理運営費 13, 071, 035円

指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター

(2) 施設保全費 4, 620, 000円

ふれあいの家玄関床舗装等の修繕を行いました。

5 東山デイサービスセンター費【建築予防保全課】 372, 900円

(1) 施設保全費

ろ過昇温用ラインポンプ取替修繕を行いました。

6 特別養護老人ホーム等費【介護保険課】 973, 317, 000円

(1) 建設費補助金(1/2・定額) 742, 362, 000円

有料老人ホーム等の11施設に対し、建設費等の一部を補助しました。

(2) 施設開設準備経費助成特別対策事業等補助金(定額)

165, 108, 000円

認知症高齢者グループホーム等の8施設に対し、開設準備経費の一部を補助しました。

(3) 防災改修等補助金(3/4・定額) 65, 847, 000円

認知症高齢者グループホーム等の7施設に対し、非常用自家発電設備の整備等に対する費用を補助しました。

◆特記事項

老人福祉センター豊寿園長寿命化改修設計事業において、事業の平準化を図るため、9月議会において16, 286千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【高齢福祉課】

3款 民生費

3- 3- 3目 後期高齢者医療費			(前年度)
当初予算額	4,727,273,000円	(	4,617,656,000円)
予算現額	4,727,046,000円	(	4,606,469,000円)
決算額	4,699,274,962円	(	4,601,409,739円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	27,771,038円	(	5,059,261円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	後期高齢者医療健診費【健康政策課】	236,845,025円	
	対象者	後期高齢者医療制度被保険者(おおむね75歳以上)	
	受診者数	17,746人	
	受診率	33.1%	
2	療養給付費負担金【福祉医療課】	3,496,915,000円	
	豊田市の療養給付費負担分(全体のうち約1/12)を負担しました。		
	被保険者数	55,264人(年度平均)	
3	後期高齢者医療広域連合事務費負担金【福祉医療課】	85,232,937円	
	愛知県後期高齢者医療広域連合事務費豊田市分を負担しました。		
4	後期高齢者医療特別会計繰出金【福祉医療課】	880,282,000円	
	(1) 保険基盤安定繰出金	746,070,000円	
	(2) 職員給与費繰出金	78,286,000円	
	(3) 後期高齢者医療事務費繰出金	55,926,000円	
3- 4- 1目 児童福祉総務費			(前年度)
当初予算額	4,359,992,000円	(	4,352,547,000円)
予算現額	4,542,670,320円	(	4,924,333,874円)
決算額	4,320,134,746円	(	4,658,261,924円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	222,535,574円	(	266,071,950円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	人件費(子どもの権利擁護委員3人、子どもにやさしいまちづくり推進会議委員29人、一般職56人、非常勤一般職115人)		
	【こども・若者政策課・人事課】	696,450,024円	

3款 民生費

2	非常勤一般職管理事務費【人事課】	6, 345, 380円
3	児童福祉総務事務費【保育課】	1, 412, 121円
4	児童相談等事務費【こども家庭課】	492, 460円
5	育児電話相談費【こども家庭課】	13, 068, 792円
	コールセンター育児相談件数	3, 710件
6	児童虐待防止費【こども家庭課】	17, 117, 003円
(1)	産前産後支援費	4, 047, 223円
	妊婦又は乳幼児を養育する家庭にヘルパーを派遣しました。	
	派遣時間	1, 422時間
(2)	養育支援訪問費	113, 100円
	養育支援が必要な家庭に対し、ヘルパーを派遣して育児や家事を援助しました。	
	ヘルパー派遣	2家庭 39回
(3)	児童虐待防止対策費	12, 956, 680円
	児童虐待の適切な対応のためスーパーバイザーによる職員向けの研修、助言等を実施し、虐待防止のため市民向けの教育や啓発を実施しました。	
	研修、助言等	43回
	児童虐待防止教育（CAPプログラム）	
		33か所 102回 1, 953人
	11月の「児童虐待防止推進月間」における広報・啓発活動	
7	児童手当等支給事務費【こども家庭課】	2, 250, 933円
8	特別児童扶養手当支給事務費【障がい福祉課】	245, 456円
9	病児保育事業費【保育課】	27, 676, 400円
	病気やケガの回復期にある児童（病後児）又は回復期に至らない児童（病児）などの集団保育が困難な児童等を市が委託した施設で一時的に預かり、子育てと仕事の両立を支援しました。	
	実施施設	2施設
	利用延べ人数	852人
10	子育てサロン管理運営費【保育課】	5, 366, 001円
	実施交流館	23交流館
	利用者	86, 730人
11	とよた子育て総合支援センター費【保育課】	
		12, 338, 888円
	ファミリー・サポート・センター事業活動件数	3, 914件
12	子ども条例費【こども・若者政策課】	17, 272, 536円
	子どもが幸せに暮らすことができるまちを実現するため、子ども会議の開催や、こども園、小中学校などでの子どもの権利学習プログラムや、子どもの権利条約フォーラム2023 in とよたの開催などの実施を通じて、子ども条例の推進を図りました。	

また、（仮称）こども・若者総合計画の策定に当たり、市民意向調査を実施しました。

子ども会議の開催 10回

権利学習プログラム実施対象 5歳児、小1、小3、小5、中2
地域・保護者向け（4か所）

子どもの権利条約フォーラム2023 in とよたの開催

参加者数 2,132人

13 子どもの権利相談室費【こども・若者政策課】

1,377,599円

子どもの権利擁護委員・子どもの権利相談員による相談を通して子どもの権利の侵害について、その救済を図り、権利の回復を支援しました。

新規相談件数 138件

相談延べ回数 1,044回

14 子どもの居場所づくり推進費【こども・若者政策課】

28,537,773円

主に地域住民による運営で、地域の中に子どもたちが活動する場や大人たちと交流する場を提供する「地域子どもの居場所づくり事業」を実施しました。

実施地区 40地区

15 放課後児童健全育成費【こども・若者政策課】

1,238,238,579円

就労等で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後児童クラブを開設し、児童の健全育成に努めました。また、クラブの支援内容充実のため、研修を実施しました。

開設校数 71校

参加人数 4,011人（夏季 5,644人）

市主催研修 9回

16 保育ママ事業費【保育課】

10,476,559円

待機児童対策として、保育ママと市の共働による保育を実施しました。

山之手こども園 延べ利用児童数 15人

17 認証保育所交付金【保育課】

69,000,000円

豊田市独自の認証基準に基づき認可外保育施設を評価し、決定した認証区分に基づき交付金を交付し、保育環境改善を図りました。

認証保育所数 21施設

18 私立こども園振興費【保育課】

504,682,999円

職員の処遇向上、施設の運営改善、保育内容及び施設の充実を図

るため、運営費等の一部を補助しました。また、物価高騰対策として、給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

私立こども園 9園

園児数 1, 107人(令和5年4月1日時点)

19 私立認定こども園振興費【保育課】 1, 286, 032, 553円

職員の処遇向上、施設の運営改善、教育・保育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。また、送迎バス安全装置設置に係る経費の一部を補助、物価高騰対策として給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

私立認定こども園 22園

園児数 4, 110人(令和5年4月1日時点)

20 家庭的保育事業等振興費【保育課】 1, 550, 180円

物価高騰対策として、給食材料費に係る経費の一部を補助しました。

家庭的保育事業等 4園

21 認可外保育施設振興費【保育課】 9, 176, 660円

児童の安全確保のため、送迎バス安全装置設置に係る経費の一部を補助しました。また、物価高騰対策として給食材料費、光熱費、及び燃料費に係る経費の一部を補助しました。

交付施設数 47園

22 新型コロナウイルス感染拡大防止対策補助金(10/10)

【保育課】 401, 000円

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、衛生用品の購入等に係る経費に対して補助しました。

地域型保育事業 1園

認可外保育施設 5施設

23 重層の支援体制整備事業費【保育課】 111, 784, 568円

(1) 地域子育て支援センター管理運営費 10, 169, 726円

足助、飯野、伊保、越戸、堤、渡刈、宮口、山之手、若園、稲武大草、大沼、杉本の各子育て支援センターにおいて、子育て中の家庭への育児支援を目的とした講座等の開催、育児相談、遊び場の提供及び情報提供を行いました。

来所者数 13センター 計 55, 640人

相談件数 1, 063件

(2) とよた子育て総合支援センター管理運営費

79, 515, 541円

子育て支援の中核施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提供及びサークル育成を行いました。

3款 民生費

来所者数 122,128人	
相談件数 205件	
(3) 志賀子どもつどいの広場管理運営費	5,259,738円
単独型の支援施設として、育児相談、遊び場の提供、情報提供及び屋外施設等を利用して地域との交流活動を行いました。また、施設の適切な維持管理に努めました。	
来所者数 31,000人	
相談件数 148件	
(4) 柳川瀬子どもつどいの広場管理運営費	16,839,563円
民間の子育て支援団体との共働で運営し、育児相談、遊び場の提供及び情報提供を行いました。また、施設の適切な維持管理に努めました。	
来所者数 41,595人	
相談件数 165件	
24 児童福祉費過年度国県支出金返還金	258,840,282円
【こども・若者政策課・こども家庭課・保育課】	
3- 4- 2目 児童措置費	
(前年度)	
当初予算額	12,087,520,000円 (12,215,412,000円)
予算現額	11,880,075,680円 (11,986,308,325円)
決算額	11,763,799,937円 (11,845,399,740円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	116,275,743円 (140,908,585円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 教育・保育給付費【保育課】	5,477,621,469円
私立こども園等の児童の教育・保育の経費(施設型給付費、委託費、地域型保育給付費)を支払いました。	
また、市外の保育園等に通園した豊田市民の児童の教育・保育に要する費用も支払いました。	
給付対象児童数 5,555人(令和5年4月1日時点)	
2 子育て支援施設等利用給付費【保育課】	54,578,805円
預かり保育事業、認可外保育施設等における幼児教育・保育の無償化のための費用を支払いました。	
給付対象児童数 1,199人	
3 母子生活支援施設委託措置費【こども家庭課】	36,742,963円

3款 民生費

3月末入所者数 6世帯13人

4 児童手当給付費【こども家庭課・保育課】

6,193,930,000円

3月末受給者数 29,327人

5 子育て短期支援利用費【こども家庭課】 926,700円

保護者の疾病等の理由により、家庭における養育が困難になった
児童を児童養護施設等で一時的に保護・養育しました。

利用者数 40人 延べ利用日数 123日

3- 4- 3目 母子父子福祉費

(前年度)

当初予算額 1,206,968,000円 (1,280,787,000円)

予算現額 1,167,688,000円 (1,209,637,000円)

決算額 1,150,132,439円 (1,192,483,204円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 17,555,561円 (17,153,796円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 ひとり親家庭等日常生活支援費【こども家庭課】 262,260円

4世帯 113回

2 母子家庭等就業支援費【こども家庭課】 1,899,795円

就業支援講習会(豊田会場)参加者数 20人

3 児童扶養手当給付費【こども家庭課】 979,223,360円

3月末受給者数 2,454人

4 ひとり親家庭等支援手当給付費【こども家庭課】

151,179,000円

3月末受給者数 2,817人

5 母子父子家庭自立支援給付費【こども家庭課】

16,164,024円

自立支援教育訓練給付金(介護実務者研修講座等) 4人

高等職業訓練促進給付金(看護師養成機関等) 14人

高等職業訓練修了支援給付金 5人

6 母子生活支援施設運営費補助金(1/2)【こども家庭課】

506,000円

7 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出金【こども家庭課】

898,000円

3款 民生費

3- 4- 4目 保育園費		
		(前年度)
当初予算額	8,533,162,000円	(8,443,313,000円)
予算現額	8,650,932,180円	(8,264,994,344円)
決算額	8,294,921,227円	(7,935,131,859円)
翌年度繰越額	54,770,000円	(16,726,224円)
不用額	301,240,953円	(313,136,261円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		54,770,000円
トイレ改修事業（東山こども園外1園）		54,770,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 人件費（こども園医34人、こども園歯科医47人、一般職767人、 非常勤一般職1,034人）【保育課・人事課】		6,374,302,950円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		33,591,060円
3 管理運営費【保育課】		380,651,678円
公立こども園 51園		
園児数 4,345人（令和5年5月1日時点）		
4 こども園給食運営費【保育課】		800,469,002円
公立こども園、私立こども園、私立認定こども園の園児及び職員の 給食等に要する費用を執行しました。		
5 園児対象事業費【保育課】		6,590,166円
自然とのふれあい事業（総合野外センター）5歳児対象		
動物とのふれあい事業（移動動物園） 全園児対象（隔年）		
6 こども園地域活動費【保育課】		560,889円
こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種の行 事を実施しました。		
（1）子育てひろば利用者（公立こども園分）		3,635人
（2）老人福祉施設訪問等世代間交流事業		82回
（3）地域における異年齢児交流事業		99回
（4）保護者等への育児講座		61回
（5）郷土文化伝承活動		93回
（6）こども園退園児童との交流事業		83回
7 施設維持補修費【建築予防保全課】		167,101,326円
8 施設保全費【建築予防保全課】		16,955,587円
越戸こども園相談室ほか3室の空調設備修繕等を行いました。		
9 長寿命化推進費【保育課】		3,957,800円

3款 民生費

飯野こども園、大草こども園の長寿命化改修設計等を行いました。

10 施設整備費【保育課】 473,578,055円

(1) 諸営繕工事 401,399,375円

乳児の受入枠拡大を図るため、東広瀬こども園、若園こども園の園舎増築工事を行いました。

(2) トイレ改修費 27,923,500円

洋式トイレの再整備として、工事を1園、設計を4園で行いました。

(3) ICT推進費 44,255,180円

保育士、保護者の負担軽減及び保育の質の向上を図るため、保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執行しました。

11 保育備品整備費【保育課】 37,162,714円

増築した園舎への備品整備、園の環境整備のため遊具の更新及びお昼寝ベッド等を購入しました。

◆特記事項

トイレ改修事業（東山こども園ほか1園）において、入札不調により、年度内に適切な工期が確保できなくなったため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【保育課】

3- 4- 5目 心身障がい児施設費

(前年度)

当初予算額 1,869,124,000円 (1,838,289,000円)

予算現額 2,146,853,000円 (2,024,986,675円)

決算額 2,099,352,159円 (2,024,889,633円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 47,500,841円 (97,042円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 児童発達支援費【障がい福祉課】 1,807,521,681円

(1) 児童発達支援費

未就学の障がい児の日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の療育、指導を行いました。

利用者数 352人(3月利用実績)

延べ提供量 35,988日

(2) 放課後等デイサービス費

就学中の障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練、社会

との交流促進等の療育、訓練を行いました。

利用者数 901人(3月利用実績)

延べ提供量 123,585日

(3) 保育所等訪問支援費

こども園等に訪問し、集団生活に適応することができるよう専門的な支援を行いました。

訪問回数 82回

2 こども発達センター費【障がい福祉課】

228,169,763円

(1) 管理運営費

ア 外来相談部門

0歳から3歳頃までの心身の発達の遅れが心配される乳幼児とその保護者を対象として、療育指導、助言に努めました。

外来療育グループ「あおぞら」

登録者 499人 利用延べ人数 11,346人

外来療育グループ「おひさま」

登録者 238人 利用延べ人数 5,872人

相談業務 5,769件

イ 診療部門「のぞみ診療所」

障がいの早期発見、診断、治療及び総合的評価を行い、多職種による専門的な訓練等により、発達の促進と機能の改善を図りました。

診療、訓練等の状況(延べ人数)

児童精神科 7,063人 理学療法 2,280人

小児神経科 3,506人 作業療法 3,556人

小児整形外科 2,138人 言語・聴覚療法 3,266人

耳鼻咽喉科 322人 心理療法・検査 1,686人

泌尿器科 63人 検査 2,145件

小児歯科 2,587人 薬局処方 5,789件

外来栄養相談支援 105人

ウ 通園部門

「なのはな」

就学前の難聴児等を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 30人 契約者 36人(3月末現在)

「たんぽぽ」

就学前の肢体不自由児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 40人 契約者 38人(3月末現在)

3款 民生費

「ひまわり」

就学前の知的障がい児を対象に療育、指導の充実を図りました。

定員 50人 契約者 50人(3月末現在)

3 送迎バス安全装置設置等補助金(定額)【障がい福祉課】

11,613,590円

障がい児のバス送迎時における安全を確保するため、置き去り防止装置の設置費用を補助しました。

補助件数 38件

4 障がい児通所給付費還付金【障がい福祉課】 3,199,490円

同一世帯の障がい児等に係る障がい福祉サービスや補装具等の利用者負担額の合算額が基準額を超える場合等に当該超過額を償還払いにより支給し、世帯の負担の軽減を図りました。

支給件数 高額障がい児通所給付費還付金 延べ139件

障がい児通所給付費還付金 延べ569件

5 相談支援給付費【障がい福祉課】 48,847,635円

障がい児の抱える課題の解決や適切なサービス利用のケアマネジメントを行い、きめ細やかな支援を実施しました。

延べ利用者数 2,650人

3- 4- 6目 子育て世帯生活支援特別給付金費

(前年度)

当初予算額	0円	(	0円)
予算現額	371,788,044円	(	377,511,334円)
決算額	370,519,798円	(	363,755,674円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	1,268,246円	(	13,755,660円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(子育て世帯生活支援特別給付金給付事務職員手当(ひとり親世帯)、子育て世帯生活支援特別給付金給付事務職員手当(その他世帯))【こども家庭課】 2,030,381円

2 子育て世帯生活支援特別給付金給付費(ひとり親世帯)

【こども家庭課】 170,805,004円

(1)事務費 395,004円

(2)子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金(定額)

170,410,000円

令和5年3月分の児童扶養手当受給者及び家計が急変したひとり

3款 民生費

親世帯に対して、給付金を給付しました。

対象児童 3, 406人

3 子育て世帯生活支援特別給付金給付費（その他世帯）

【こども家庭課】 197, 684, 413円

（1）事務費 384, 413円

（2）子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金（定額）
197, 300, 000円

ひとり親世帯以外で18歳未満の児童を扶養している父母等で非課税の方及び非課税相当の収入になった方に対して、給付金を給付しました。

対象児童 3, 946人

3- 5- 1目 生活保護総務費

（前年度）

当初予算額	269,558,000円	（ 256,869,000円）
予算現額	266,915,991円	（ 269,224,273円）
決算額	261,575,327円	（ 262,179,250円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	5,340,664円	（ 7,045,023円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 人件費（一般職28人、非常勤一般職15人）【人事課】
248, 725, 768円
- 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2, 067, 920円
- 生活保護総務事務費【生活福祉課】 10, 781, 639円

3- 5- 2目 扶助費

（前年度）

当初予算額	4,155,043,000円	（ 4,123,724,000円）
予算現額	4,153,973,009円	（ 4,123,112,727円）
決算額	4,001,014,106円	（ 3,881,815,099円）
翌年度繰越額	0円	（ 0円）
不用額	152,958,903円	（ 241,297,628円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 生活保護扶助費【生活福祉課】 3, 961, 368, 583円
生活に困窮する市民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立ができるよう支

3款 民生費

援しました。

保護世帯の状況（５年度末）

高齢者世帯	８８８世帯
母子世帯	９９世帯
障がい者世帯	３０２世帯
傷病者世帯	１６２世帯
その他世帯	３２２世帯
計	１，７７３世帯

２ 中国残留邦人等支援給付費【生活福祉課】 ３７，９２８，２３６円

中国残留邦人等の生活の安定のため、世帯の収入が一定の基準に満たない者に対して、生活支援給付を実施しました。

生活支援給付費受給世帯の状況（５年度末）２１世帯 ２４人

３ 中国残留邦人等配偶者支援金給付費【生活福祉課】

１，７１７，２８７円

中国残留邦人等死亡後の特定配偶者（中国残留邦人が永住帰国する前から継続して配偶者である者）に対して支援金給付を実施しました。

対象者（５年度末） ４人

3- 6- 1目 災害救助費

（前年度）

当初予算額	24,436,000円	（	23,068,000円）
予算現額	23,938,000円	（	22,389,000円）
決算額	22,521,510円	（	19,476,148円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	1,416,490円	（	2,912,852円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

１ 緊急生活物資備蓄対策費【防災対策課】 ２１，８１６，５１０円

（１） 避難者対策費 １８，８１９，６４０円

災害時の避難者用に緊急生活物資及び資機材を備蓄しました。

飲料水、ミルク（粉、液体）等のほか、段ボール更衣室、段ボールベッド、乳幼児用の物品（授乳カップ等）

（２） 帰宅困難者対策費 ２，９９６，８７０円

災害時の帰宅困難者用に緊急生活物資を備蓄しました。

ライスクッキー

２ 災害見舞金支給費【よりそい支援課】 ７０５，０００円

支給件数 住宅・家財の全焼・全壊 ６件

住宅・家財の半焼・半壊	3 件
死亡	3 件
入院	1 件

4款 衛生費

4款 衛生費		
(前年度)		
当初予算額	19,203,332,000円	(18,503,433,000円)
予算現額	19,050,038,314円	(26,555,622,506円)
決算額	17,174,817,233円	(22,270,806,515円)
翌年度繰越額	235,895,000円	(83,955,488円)
不用額	1,639,326,081円	(4,200,860,503円)
4- 1- 1目 保健衛生総務費		
(前年度)		
当初予算額	2,794,103,000円	(4,302,415,000円)
予算現額	3,020,877,599円	(5,364,892,971円)
決算額	2,605,451,910円	(4,554,331,906円)
翌年度繰越額	0円	(505,000円)
不用額	415,425,689円	(810,056,065円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(統計調査員9人、地域保健審議会委員11人、一般職191人、非常勤一般職67人)【健康政策課・人事課】		
	1,654,439,562円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		
	3,714,285円	
3 保健衛生総務事務費【地域包括ケア企画課・健康政策課】		
	7,781,880円	
4 地域保健関係職員等研修費【健康政策課】		
	362,258円	
市民の需要に対応した保健・医療・福祉の総合的なサービスを実施するために、地域保健、医療、福祉関係者等に対して、最新情報の提供や研修会等を行いました。		
5 医事監視指導費【健康政策課】		
	156,559円	
病院等を科学的で適正な医療を行う場にふさわしいものとするため立入検査を実施し、人員や構造設備、管理の状況について検査しました。		
また、医療安全支援センターにおいて、市民からの医療に関する相談に対応し、医療安全推進協議会を開催しました。		
	立入件数	指導件数
病院	18か所	72件
一般診療所	52か所	173件
歯科診療所	31か所	114件
助産所	3か所	6件
歯科技工所	7か所	10件

4款 衛生費

	施術所	27か所	70件
	医療安全支援センター相談件数	509件	
	医療安全推進協議会	1回	
6	統計調査費【健康政策課】		791,619円
	(1) 厚生労働省の委託を受けて、人口動態調査を実施しました。		
	(2) 厚生労働省の委託を受けて、各種統計調査を実施しました。		
	＜厚生労働統計＞		
	地域保健・健康増進事業報告		
	衛生行政報告例		
	福祉行政報告例		
	医療施設動態調査		
	病院報告	18施設	
	国民生活基礎調査(世帯票)	4調査地区	
	国民生活基礎調査(所得票)	2単位区	
	医療施設静態調査	市内医療機関	
	患者調査	21施設	
	＜その他統計＞		
	人口移動調査	4調査地区	
	所得再分配調査	2単位区	
7	救急医療電話相談費【地域包括ケア企画課】	25,211,208円	
	「とよた急病・子育てコール24」の運営を行い、市民や豊田市への訪問者が急病時に安心して相談できる体制を整えとともに、医療の適正受診を促しました。		
	相談件数	16,339件(救急相談のみ、チャットボット含む)	
8	医療提供体制強化推進費【地域包括ケア企画課】		1,934,152円
	医療対策懇話会を開催し、医療提供体制について協議しました。		
	急病時の適切な受診に関する啓発資料を作成しました。		
	医療対策懇話会の開催	1回	
	啓発講座の実施	84回(対象者2,749人)	
	読む救急箱ガイドブック	9,000部	
	夜間・休日の案内マグネット	13,000枚	
9	乙ケ林診療所費【地域包括ケア企画課】	33,648,725円	
	乙ケ林診療所の適切な診療体制の確保に努めました。		
	診療日数	193日	
	延べ患者数	3,662人	
10	古瀬間聖苑費【総務監査課・建築予防保全課】		204,342,124円

4款 衛生費

- (1) 管理運営費 158,875,264円
火葬件数 4,418件
- (2) 施設保全費 44,401,500円
火葬炉修繕等を行いました。
- (3) 施設整備費 1,065,360円
事務所内の監視カメラ用モニターの修繕等を行いました。
- 1 1 豊田地域医療センター施設等整備費【地域包括ケア企画課】
33,791,293円
胸部デジタル検診システム始め42品目を購入しました。
- 1 2 医療従事者応援金負担金【地域包括ケア企画課】 33,000円
新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れた医療機関に応援金を交付する愛知県の事業費のうち、豊田市民に係る費用の一部を負担しました。
- 1 3 公的病院運営費補助金【地域包括ケア企画課】
249,484,000円
 - (1) 補助対象事業者
愛知県厚生農業協同組合連合会
 - (2) 補助金額
公的病院運営費補助金(定額) 75,034,000円
公的病院救命救急センター機能運営費補助金(2/3)
114,450,000円
へき地医療拠点病院運営費補助金(定額)
60,000,000円
- 1 4 病院群輪番制病院運営費補助金(10/10)
【地域包括ケア企画課】 23,728,000円
 - (1) 補助対象事業者
トヨタ記念病院、足助病院、豊田地域医療センター、みよし市民病院
 - (2) 事業実績
実施日数 366日
入院患者数 1,309人
外来患者数 12,109人
- 1 5 公的病院医療機器整備費補助金【地域包括ケア企画課】
104,825,000円
 - (1) 補助対象事業者
愛知県厚生農業協同組合連合会
 - (2) 補助金額
公的病院医療機器整備費補助金(1/2)

4款 衛生費

	豊田厚生病院へのMRI装置整備	88,000,000円
	へき地医療拠点病院医療機器整備費補助金(1/2)	
	足助病院への医療用テレメーター始め15品目整備	16,825,000円
16	小児救急医療支援病院運営費補助金(10/10)	
	【地域包括ケア企画課】	12,549,000円
(1)	補助対象事業者	
	豊田厚生病院、トヨタ記念病院	
(2)	事業実績	
	実施日数	366日
	入院患者数	640人
	外来患者数	3,887人
17	休日救急診療体制運営費補助金(10/10)	
	【地域包括ケア企画課】	8,424,000円
(1)	補助対象事業者	
	豊田加茂医師会	
(2)	事業実績	
	在宅当番医	診療日数 72日
		患者数 1,424人
	休日救急内科診療所診療日数	72日
		患者数 4,087人
18	地域医療提供体制強化費補助金(1/2)【地域包括ケア企画課】	6,000,000円
(1)	補助対象事業者	
	豊田加茂医師会	
(2)	事業実績	
	難病患者療養相談医師派遣	
	日本プライマリ・ケア学会における発表	
	市民向け講座の主催、ホームページによる情報提供、交流館に	
	おける健康教育講演会実施 ほか	
19	骨髄提供者等助成事業補助金(定額)【健康政策課】	560,000円
	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄・末梢血幹細胞移植及	
	び骨髄バンク登録者の増加を図るため、骨髄提供者に助成金を交付し	
	ました。	
	骨髄提供者	4件
20	保健衛生費過年度国県支出金返還金	233,675,245円
	【健康政策課・保健衛生課・感染症予防課・保健支援課】	

4款 衛生費

(1)	健康政策課過年度国県支出金返還金	129,000円
(2)	保健衛生課過年度国県支出金返還金	10,950円
(3)	感染症予防課過年度国県支出金返還金	233,420,295円
(4)	保健支援課過年度国県支出金返還金	115,000円

◆特記事項

- ・豊田地域医療センター運営費負担金において、令和5年度は赤字決算でしたが、補助金の過年度受取分で収支相償を図ることができたため、320,000千円の不用額が生じました。【地域包括ケア企画課】
- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費において、接種数が見込みよりも少なかったため、令和4年度に交付された新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫負担（補助）金に、133,755千円の返還が生じました。【感染症予防課】

4- 1- 2目 健康増進対策費

		(前年度)
当初予算額	790,187,000円 (	785,190,000円)
予算現額	817,029,488円 (	823,672,000円)
決算額	715,081,404円 (	718,262,440円)
翌年度繰越額	0円 (	35,550,488円)
不用額	101,948,084円 (	69,859,072円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 健康増進対策事務費【健康づくり応援課】 536,624円
- 国民健康栄養調査費【健康政策課】 45,111円
月見町の一部 5世帯 14人
- 栄養改善推進費【健康政策課・健康づくり応援課】 112,942円
栄養相談 10件
特定給食施設等調査 219か所
栄養士研修会 5回 137人
- 健康づくり豊田21推進費
【健康政策課・健康づくり応援課・保健支援課】
28,497,631円
 - 啓発促進費 1,688,641円
 - 小中学生向けパンフレットを配布
 - 「生活リズム（睡眠）」小中学生用（3種） 11,643部
 - 「喫煙防止」小中学生用（2種） 8,124部
 - 「飲酒防止」小中保護者用（3種） 16,148部

イ 市民が自らの健康づくりの取組を宣言することで行動を開始し継続する、とよた健康マイレージ事業を推進しました。

登録者数（令和6年3月31日時点） 1, 945人

ウ 健康づくり豊田21計画（第三次）の重点事業「ベジタブル&トレーニングとよたプラス10」の取組を推進するために、啓発を行いました。

「野菜を食べようスタンプラリー」協力店 54店舗

「野菜を食べようスタンプラリー」応募 518件

（2）ヘルスサポートリーダー費 1, 292, 095円

ア 養成講座

修了者数 24人

イ スキルアップ研修

参加者 延べ227人

ウ 健康づくり講座

ヘルスサポートリーダーが各地区で健康づくりに関する啓発やレクリエーション等を行いました。

講座開催数 394回 参加者数 9, 405人

（3）地域ウォーキング推進費 1, 210, 000円

市民が手軽に取り組める健康づくりの1つであるウォーキングを推進するため、地域主催のウォーキング活動の支援、ウォーキング関連情報の発信等を行いました。

ア ウォーキング地区支援 31団体

イ ウォーキングに関する情報発信とコース整備を行いました。

（4）生活習慣病予防対策費 236, 830円

受動喫煙防止啓発事業のための啓発活動（市内喫煙所等）及び事業所等に指導・助言を行いました。

ポスター掲示 96か所

（5）歯科健康診査費 16, 826, 850円

妊産婦歯科健康診査受診者数 1, 777人

幼児歯科健康診査受診者数 1, 448人

（6）8020運動推進費 1, 629, 285円

80歳で20本の自歯を残すことを目標に「8020運動」を推進しました。

ア 健康教育事業

親子むし歯予防教室開催 42回

よい子の歯みがき運動啓発用教材配布 6, 297人

口腔機能向上支援事業「お口の健康教室」開催 13回

イ 普及啓発事業

4款 衛生費

	歯っぴかフェスタ参加者数	183人
	いい歯の日キャンペーン	
	ポスター掲示	435か所
	啓発チラシ配布	2,742部
	啓発品（デンタルフロス等）配布	4,199セット
(7)	心の健康づくり推進費	1,598,430円
	ア こころの健康づくり講演会	
	開催回数	1回
	イ ゲートキーパー研修	
	開催回数	13回
	ウ 自殺予防キャンペーン（9月・3月）	
(8)	健康づくり豊田21計画策定費	4,015,500円
	計画策定委員会	4回
5	食育推進費【健康づくり応援課】	575,253円
	若者向け食育推進費	575,253円
	ア 食育キャラクター「たべまる」を活用した啓発等	
	啓発用教材配布	97園
	イ 食育月間や食育の日の取組	
	懸垂幕・横断幕設置	4か所
	ウ 食育人材バンク	
	登録件数	21件
	エ 親子食育講座	
	開催回数	20回
6	きらきらウエルネス推進費【健康づくり応援課】	
		2,276,016円
(1)	きらきらウエルネス地域推進費	1,814,016円
	中学校区ごとの地域特性に応じた健康づくりを地域主体で推進しました。	
	事業数 643事業 延べ参加人数 149,860人	
(2)	健康づくり推進費補助金（10/10・9/10・8/10・7/10・5/10）	462,000円
	コミュニティ会議が実施する健康づくり関連事業に対し、補助金を交付しました。	
	補助件数	8件
7	保健事業費【健康政策課・健康づくり応援課】	
		650,826,639円
(1)	保健事業費	650,351,321円
	健康増進法に基づいて、生活習慣病等の予防のために健康教育	

や健康相談を行い、各種がん等の早期発見のために検診を実施しました。また、各種がん検診の要精密検査未受診者に対し、受診を勧奨しました（歯科健診及び各種がん検診の受診率は当該年度の4月1日人口から算出）。

ア 健康手帳交付

交付者数 2人（40歳以上の希望者）

イ 歯科健診

対象 20、25、30、35、40、45、50、55、60
65、70、75歳

受診者数 2,485人

受診率 3.9%（令和4年度 3.8%）

ウ がん検診

（ア）胃がん検診

対象 35歳以上（総合がん検診含む。）

	受診者数	要精検者数
エックス線	10,218人	563人
内視鏡	4,685人	445人
受診率	8.8%（令和4年度	9.0%）

（イ）大腸がん検診

対象 35歳以上（総合がん検診含む。）

受診者数	24,102人	要精検者数	1,751人
受診率	9.0%（令和4年度	9.2%）	

（ウ）乳がん検診

対象 30歳以上の偶数年齢及び41歳の女性

（総合がん検診、がん検診推進事業含む。）

	受診者数	要精検者数
超音波検査	3,830人	74人
マンモグラフィ検査	5,071人	204人
受診率	12.4%（令和4年度	12.7%）

（エ）子宮頸がん検診

対象 20歳以上の偶数年齢及び21歳の女性

（総合がん検診、がん検診推進事業含む。）

受診者数	7,675人	要精検者数	189人
受診率	9.3%（令和4年度	9.5%）	

（オ）肺がん検診

対象 40歳以上（総合がん検診含む。）

受診者数	20,198人	要精検者数	728人
受診率	8.4%（令和4年度	8.2%）	

(カ) 前立腺がん検診

対象 50～70歳の男性(総合がん検診含む。)

受診者数 4,663人 要精検者数 246人

受診率 8.4% (令和4年度 9.2%)

(キ) 脳ドック検診

対象 50歳の総合がん検診受診者

受診者数 134人

(ク) レディース検診

対象 19～39歳の女性

実施回数 24回

受診者数 143人

(ケ) 骨粗しょう症検診

対象 40、45、50、55、60、65、70歳の女性

総合がん検診と同時受診者数 461人

単独受診者数 210人

(コ) 肝炎検診

対象 40歳以上5歳刻みで過去に肝炎検診を受けていない人

受診者数 2,434人

(サ) 胸部エックス線検査

対象 40歳以上の人

受診者数 19,691人 要精検者数 570人

(シ) 生き生き健診

対象 生活保護受給者、中国残留邦人で40歳以上の人

受診者数 59人

(2) 地域保健事業費 475,318円

ア 健康教育事業

地域住民の健康づくりを推進するため、出前講座等で健康に関する正しい知識の普及と健康意識の向上に努めました。

(ア) 学校

実施回数 5回 参加者数 1,284人

(イ) 自治区等

実施回数 50回 参加者数 1,390人

イ 健康相談事業

市民からの健康保持・増進に関する個別相談を、来所又は電話で行うとともに、交流館、自治区等のイベントなど地域に出向いて実施しました。

(ア) 来所・電話相談

実施回数 57回 延べ件数 57件

(イ) イベント等における健康相談

実施回数 48回 参加人数 2,007人

8 保健センター費【健康政策課】 27,228,388円

旧藤岡保健センター解体工事を行いました。

9 お薬手帳推進費補助金(1/2)【健康政策課】 100,000円

医薬品の重複処方や飲み忘れ等で生じた残薬の整理及び医薬品等の危険な相互作用の防止を推進するために、薬剤師会が実施する啓発事業の経費を補助しました。

交付先 (一社)豊田加茂薬剤師会

10 歯・口の健康づくり推進費補助金(1/2)【健康づくり応援課】
568,000円

市民の歯科保健の充実を図るために、歯・口の健康づくり推進事業の経費を補助しました。

交付先 (一社)豊田加茂歯科医師会

11 禁煙治療費助成事業補助金(1/2)【健康づくり応援課】
25,800円

望まない受動喫煙防止対策として、周囲の人と自身の健康被害を防ぐため、禁煙を希望する市民を対象に、禁煙外来治療費の一部を助成しました。

交付件数 6件

12 がん患者補整具購入費補助金(1/2)【健康政策課】
4,233,300円

がん治療に伴う脱毛等の症状により補整具を必要とする方を対象に補整具購入費の一部を助成しました。

交付件数 158件

13 若年がん患者在宅療養支援費補助金(9/10)【健康政策課】
55,700円

若年がん患者の方が、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう療養費の一部を助成しました。

交付件数 3件

4款 衛生費

4- 1- 3目 高齢者保健費			
			(前年度)
当初予算額	1,078,000円	(	1,679,000円)
予算現額	666,000円	(	509,000円)
決算額	533,277円	(	356,860円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	132,723円	(	152,140円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要			
1 高齢者保健事業・介護予防一体的実施事業費【健康づくり応援課】			
			533,277円
後期高齢者を対象に、国保データベースを分析し、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを実施しました。			
・ハイリスクアプローチ実施者数(個別支援) 延べ 127人			
・ポピュレーションアプローチ実施者数(集団教育) 延べ 796人			
4- 1- 4目 母子保健費			
			(前年度)
当初予算額	978,681,000円	(	714,255,000円)
予算現額	881,282,000円	(	1,117,767,000円)
決算額	855,278,169円	(	978,038,480円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	26,003,831円	(	139,728,520円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要			
1 母子保健対策費【こども家庭課】			
			679,208,643円
(1) 多胎妊産婦等支援事業費			
			12,000円
実施件数			
			4件
(2) 妊産婦・乳幼児健診費			
			405,303,658円
<区分> <受診者数> <受診率>			
3、4か月児健診			
	2,616人		96.8%
1歳6か月児健診			
	2,821人		98.0%
3歳児健診			
	3,013人		94.8%
妊婦健診			
(1回目)	2,635件	(2回目)	2,598件
(3回目)	2,586件	(4回目)	2,595件
(5回目)	2,614件	(6回目)	2,576件
(7回目)	2,519件	(8回目)	2,560件

4款 衛生費

	(9回目)	2, 483件	(10回目)	2, 497件
	(11回目)	2, 328件	(12回目)	2, 443件
	(13回目)	1, 990件	(14回目)	1, 443件
	(子宮頸がん検査)			2, 587件
	産婦健診			
	(1回目)	2, 592件	(2回目)	2, 482件
	新生児聴覚検査			2, 338件
	乳児健診			
	(1回目)	2, 622件	(2回目)	1, 907件
(3)	おめでとう訪問費			4, 085, 362円
	訪問件数	2, 438件		
	訪問実施率	95. 2%		
(4)	妊産婦・乳児健康診査費補助金(定額)			9, 075, 623円
	愛知県外で受診された方の健康診査費を払い戻しました。			
	実施件数	1, 747件		
(5)	妊婦のPCR検査費補助金(定額)			153, 000円
	実施件数	17件		
(6)	低所得妊婦支援事業費補助金(定額)			29, 000円
	実施件数	5件		
(7)	出産・子育て応援給付金給付事業費補助金(定額)			260, 550, 000円
	出産応援給付金	2, 649件		
	子育て応援給付金	2, 562件		
2	母子健康づくり対策費【こども家庭課】			15, 397, 679円
(1)	母子保健指導費			9, 455, 558円
	・母子健康手帳交付(実数)			2, 615件
	・パパママ教室	8日(16回)	受講者数	635人
	・多胎パパママ教室	4回	受講者数	88人
	・2ndマタニティ教室	6回	受講者数	84人
	・母子保健推進員養成講座	6回	受講者延べ数	63人
	・子育てが楽しくなる教室			
		1クール	受講者延べ数	37人
	・ふれあい子育て教室	12回	受講者組数	205組
	・産後ケア		利用件数	147件
	・妊婦さん電話			1, 948人
(2)	地域母子保健指導費			1, 792, 637円
	・育児相談(延べ件数)			
	来所相談	1, 267件		

4款 衛生費

電話相談	213件	
オンライン相談	48件	
(3) 思春期教育費		669,343円
・思春期教室「自分の体と心を知る」		
	小・中・特別支援学校	31校
(4) 子育て家庭訪問指導費		3,480,141円
・保健師訪問指導	延べ人数	1,201人
・委託助産師訪問指導	延べ人数	1,199人
3 医療給付費【こども家庭課・保健支援課】		154,286,621円
(1) 未熟児養育医療費		22,691,782円
	新規承認件数	68件
(2) 障がい者育成医療費(自立支援医療給付)		3,012,825円
	承認件数	46件
(3) 小児慢性特定疾病医療費		128,582,014円
	承認件数	401件
4 不妊治療対策費【こども家庭課】		340,000円
(1) 不妊症・不育症相談費		140,000円
	相談件数	6件
(2) 不妊治療費補助金(1/2・定額)		200,000円
	第二段階	2件
5 母子保健費過年度国県支出金返還金【こども家庭課・保健支援課】		6,045,226円

4- 1- 5目 障がい者保健費

		(前年度)
当初予算額	6,723,000円	(6,250,000円)
予算現額	4,728,000円	(4,725,000円)
決算額	4,190,604円	(4,057,158円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	537,396円	(667,842円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 保健支援事務費【保健支援課】 357,065円
- 2 精神保健予防対策費【保健支援課】 1,837,018円
精神障がい者及びその家族を支援するための各教室、市民や支援者を対象とする講演会・研修を開催し、知識の普及と障がいの理解啓発に努めました。また、精神科医師や心理職員、保健師等による相談を実施し

相談者の不安解消に努めました。

精神障がいに対応した地域包括ケアシステムの推進を図るため、ピアサポーターによる普及啓発を実施しました。

家族教室等実施回数

	実施回数	延べ参加人数
高次脳機能障がいのある人の家族教室	4回	23人
精神保健福祉地域普及講演会	2回	88人
精神障がい者支援従事者研修会	3回	93人
精神障がい者地域支援協議会・部会	4回	47人
ピアサポーターフォローアップ	6回	8人

相談件数

	実施回数	延べ件数
精神保健福祉相談	22回	36件
心理職員による相談	8回	12件
来所・電話相談（健康づくり応援課分含む）	1,	178件
家庭訪問（健康づくり応援課分含む）		78件
緊急事例対応（健康づくり応援課分含む）		34件
警察官通報件数（健康づくり応援課分含む）		31件
措置入院者退院後支援事業		10件
地域移行・地域定着支援		25件
精神障がい者家族会による相談	49回	73件
精神障がい者家族会による居場所運営	49回	259件

自主グループ等支援

	実施回数
精神障がい者家族会	2回

3 難病患者・家族支援費【保健支援課】 808,161円

難病患者及びその家族が安定した療養生活を送ることができるよう、専門医や保健師による相談を行いました。

相談等実施回数

	実施回数	延べ人数
医師による個別相談	3回	5人
家庭訪問等（健康づくり応援課分含む）		73人
ケースカンファレンス	1回	1人

4 障がい者歯科事業費【健康政策課】 1,174,360円

障がい者の歯科保健・歯科医療の充実に向け、障がい者社会福祉施設（通所）において、歯科健康診査及び施設職員への研修を実施しました。

歯科健康診査	13施設	293人
訪問予防指導	4施設	40人

4款 衛生費

5 障がい者歯科医療推進事業費補助金（定額）【健康政策課】

14,000円

障がい者の歯科保健・歯科医療の充実に向け、障がい者社会福祉施設（入所）において歯科健康診査を実施しました。

施設数 1施設

交付先 （一社）豊田加茂歯科医師会

4- 1- 6目 感染症予防費

（前年度）

当初予算額 3,873,857,000円 （4,602,861,000円）

予算現額 3,518,835,351円 （10,544,342,000円）

決算額 2,644,322,419円 （7,478,045,753円）

翌年度繰越額 39,714,000円 （0円）

不用額 834,798,932円 （3,066,296,247円）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 39,714,000円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 39,714,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（感染症診査協議会委員6人、予防接種健康被害調査委員会委員4人）【感染症予防課】 1,733,600円

2 感染症予防事務費【感染症予防課】 635,725円

3 結核予防対策費【感染症予防課】 2,362,228円

（1）結核予防事務費 753,310円

パンフレットを福祉施設や学校等に配布して知識の普及啓発を行い、結核のまん延防止を図りました。

（2）接触者健康診断費 1,608,918円

結核患者の確実な服薬を支援する地域DOTS（直接服薬確認療法）事業を推進しました。また、結核の早期発見と二次感染予防のため、登録患者の接触者を対象にIGRA検査（結核感染の補助的診断）を活用した効果的・効率的な健康診断を実施しました。

接触者健康診断

<区分>	<受診者数>	<患者発見数>
		（発病のおそれ含む）

患者の家族	64人	3人
-------	-----	----

他の接触者	37人	3人
-------	-----	----

4 感染症対策費【健康づくり応援課・感染症予防課】

935,043,589円

(1) 感染症予防費 111,649円

感染症の発生予防やまん延防止のため、疫学調査及び消毒指導等を実施しました。また、ホームページなどを通して、感染症の正しい知識の普及啓発を行いました。

ア 三類感染症届出状況

腸管出血性大腸菌感染症	11件
-------------	-----

イ 四類感染症届出状況

レジオネラ症	15件
--------	-----

重症熱性血小板減少症候群	1件
--------------	----

つつが虫病	1件
-------	----

ウ 五類感染症届出状況

梅毒	41件
----	-----

侵襲性肺炎球菌感染症	7件
------------	----

その他水痘始め11感染症	20件
--------------	-----

(2) 新興再興感染症対策費 1,788,961円

新型インフルエンザ等の感染症発生に備え、備蓄品等を購入しました。

(3) 特定感染症予防費 8,097,837円

HIV及び梅毒の検査を外部団体に委託して実施しました。また、肝炎については、感染不安のある市民を対象に医療機関において検査を実施しました。さらに、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を目的とした陽性者フォローアップ事業を実施しました。

正しい知識の普及啓発のため、ボランティア団体との共働により世界エイズデーに関連したキャンペーンを実施しました。

<保健所検査>

検査回数	24回
------	-----

検査件数	HIV	316件
------	-----	------

梅毒	316件
----	------

<医療機関検査>

検査件数	B・C型肝炎検査	168件
------	----------	------

(4) 感染症発生動向調査費 1,292,020円

市内の指定届出機関から感染症発生情報を収集し、医療機関、教育委員会、市民等に発生動向に関する情報を提供することにより、学校・福祉施設等における感染症対策、医療機関における適切な医療の提供に寄与しました。

<指定届出機関> 12医療機関

小児科定点	9定点
-------	-----

インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症定点	9 定点
眼科定点	2 定点
S T D（性感染症）定点	4 定点
基幹定点	1 定点
疑似症定点	2 定点
病原体定点	3 定点
医療機関からの検体提供	1 1 件

(5) 新型コロナウイルス感染症対策費 6 6 , 1 8 4 , 1 9 6 円

新型コロナウイルス感染症発生に伴い、各種体制強化を図り、感染拡大を防止しました。

新型コロナウイルス感染症感染者数 8 0 8 件

診療・検査医療機関数 1 1 8 医療機関

行政検査件数（医療機関実施分） 3 9 , 0 1 0 件

(6) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費

7 7 7 , 1 8 4 , 9 2 6 円

新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、重症者等の発生をできる限り減らすことを目的にワクチンの接種を推進しました。

1 ～ 7 回目接種 1 3 2 , 4 3 3 回

(7) 新型コロナウイルス感染症相談窓口設置事業費

1 0 , 2 3 0 , 0 0 0 円

発熱等の症状がある市民からの相談に対して、医療機関の紹介や助言を行いました。

(8) 新型コロナウイルスワクチン個別接種促進支援事業補助金

(1 0 / 1 0) 7 0 , 1 5 4 , 0 0 0 円

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を促進するため、接種を行った医療機関に対して、補助金を交付しました。

5 自宅療養者配食サービス事業費【感染症予防課】

1 2 , 9 9 8 , 2 6 3 円

新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者に対して、配食サービスを実施しました。

6 自宅療養者等搬送事業費【感染症予防課】 7 , 0 1 8 , 3 0 8 円

新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者に対して、医療機関受診時等の搬送を行いました。

7 自宅療養者健康管理事業費【感染症予防課】

1 0 9 , 0 3 0 , 3 5 5 円

新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者に対する健康観察やパルスオキシメーターの貸出しを行いました。また、新型コロナ相談センター等の相談窓口の設置により看護師が24時間体制で受診相談や陽性者

4款 衛生費

等の相談に対応しました。

新型コロナ相談センター相談件数 3, 754件

8 予防接種費【感染症予防課】 1, 460, 969, 303円

(1) 定期予防接種費 1, 334, 679, 698円

感染症の発生及びまん延を予防するため、予防接種法に基づき

15疾病の予防接種を乳幼児や高齢者などに実施しました。

<種類>

<被接種者数>

A類疾病

BCG 2, 624人

ポリオ 5人

4種混合 11, 336人

2種混合 3, 218人

麻しん風しん混合 5, 939人

日本脳炎 13, 088人

子宮頸がん 5, 095人

ヒブ 12, 724人

小児用肺炎球菌 10, 459人

水痘 5, 434人

B型肝炎 7, 777人

ロタ 6, 056人

風しん第5期(抗体検査) 857人

風しん第5期(予防接種) 220人

B類疾病

インフルエンザ 67, 070人

高齢者用肺炎球菌 3, 568人

(2) 任意予防接種費 121, 589, 360円

感染症の発生及びまん延を予防するため、4疾病の予防接種等
や免疫を失った子への再接種費用について助成しました。また、
子宮頸がん予防ワクチンについては、積極的勧奨の差控えにより
定期接種の機会を逃し、自費で接種を受けた人に対して接種費用
の償還払いを行いました。

<種類>

<被接種者数>

ア 任意予防接種費用助成事業

おたふくかぜ 4, 625人

带状疱疹 10, 764人

イ 風しん対策事業

風しん抗体検査 849人

麻しん風しん混合 452人

風しん 37人

ウ 麻しん対策事業

麻しん抗体検査 879人

麻しん風しん混合 159人

麻しん 4人

エ 免疫を失った子への再接種費用助成 6人

オ 自費接種者の償還払い(子宮頸がん)19人

(3) インフルエンザ予防接種費補助金(10/10)

4,700,245円

中学3年及び高校3年生等を対象に補助金を交付しました。

9 医療給付費【感染症予防課】 90,096,597円

感染症患者の医療費の自己負担分を公費負担し、負担軽減を図りました。

(1) 結核医療給付費 5,095,618円

通院医療 延べ 278件

入院医療 延べ 32件

(2) 感染症患者入院医療給付費 85,000,979円

新型コロナウイルス感染症の入院医療費を給付しました。

10 結核予防対策事業費補助金(2/3)【感染症予防課】

3,108,451円

定期健康診断の受診率の向上を図るため、胸部エックス線撮影の経費を補助しました。

学校法人 4法人 5施設

社会福祉法人 9法人 23施設

11 自宅療養者等医療提供事業補助金(定額)【感染症予防課】

21,326,000円

新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者等へ診療を行った医療機関、訪問看護ステーション及び薬局に対して、補助金を交付しました。

◆特記事項

- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費において、接種数が見込みを下回り、613,133千円の不用額が生じました。

【感染症予防課】

- ・定期予防接種費において、子宮頸がん等の接種数が見込みを下回り、221,635千円の不用額が生じました。【感染症予防課】
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業において、特例臨時接種事業の年度内完了(支払い)が困難なため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【感染症予防課】

4款 衛生費

4- 1- 7目 生活衛生費		
		(前年度)
当初予算額	95,228,000円 (	129,379,000円)
予算現額	94,038,050円 (	106,339,000円)
決算額	78,792,122円 (	86,467,275円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	15,245,928円 (	19,871,725円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要		
1 薬務監視指導費【健康政策課】	182,449円	
(1) 薬局、毒物劇物販売業者等に対して立入調査を実施するなど、各法令に基づく店舗管理及び医薬品等の適正販売についての監視指導を行いました。		
薬局等施設監視	247件	
毒物劇物販売施設等監視	28件	
衛生検査所監視	2件	
(2) 麻薬、覚醒剤、大麻等の薬物乱用防止に向けた啓発事業を効果的に実施するため、薬物乱用防止推進協議会を開催し、年間を通じて啓発活動を展開しました。		
薬物乱用防止推進協議会開催	1回	
街頭啓発活動	2回	
講習会開催	23回	
2 環境衛生監視指導費【感染症予防課】	653,553円	
(1) 環境衛生関係営業施設に対し、各法令に基づく衛生管理、自主管理状況等について調査を行いました。		
環境衛生関係営業施設の監視	246件	
(2) 多数の者が利用し、相当程度の規模を有する特定建築物に対し利用者の衛生的環境を確保するため監視指導を行いました。		
特定建築物の監視	31件	
(3) 温泉法に基づき温泉を利用している施設に対し、適切な温泉利用を図るため監視指導を行いました。		
温泉利用施設の監視	8件	
(4) ハエや蚊などの衛生害虫や化学物質による室内空気環境汚染など住環境に係る相談を受け付けました。		
住環境衛生及び衛生害虫等の相談	314件	
(5) 風水害等が発生した場合における感染症の発生及びまん延を防止するため、防疫用機器の整備及び操作訓練を実施しました。		
防疫用機器の操作訓練	1回	

3 食品衛生監視指導費【保健衛生課】 10,892,230円

(1) 豊田市食品衛生監視指導計画に基づき、食品営業施設等に対する立入検査を実施するとともに、食品衛生に関する知識の普及を行い、食中毒の発生防止を図りました。

営業許可	新規	1,003件
	更新	0件
監視指導		2,153件
収去検査		205件
講習会	開催数	12回
	延べ人数	2,084人

(2) 食の安全・安心に関する豊田市の取組について市民各界の意見を伺い、効果的な施策を推進するため、食の安全・安心を語る懇談会を開催しました。

食の安全・安心を語る懇談会	開催数	1回
	出席者数	7人

4 試験検査費【保健衛生課】 31,351,728円

(1) 食品の安全性の確保、食中毒・有症苦情・感染症関連の原因究明及び拡大防止のために、食品・ふん便・水等の行政検査を実施しました。

食中毒・有症苦情検査	82検体	681件
感染症関連検査	71検体	71件
食品検査	微生物	135検体
	理化学	94検体
水質検査	2検体	8件

(2) ふん便・水等に関する依頼検査を実施しました。

ふん便検査	5,882検体	15,446件
水質検査	77検体	629件

(3) 試験検査の複雑化や高度化に対応するため、検査担当職員が各種の研修に参加するとともに、外部機関による精度管理を実施し検査技術レベルの維持・向上に努めました。

5 食肉衛生検査費【保健衛生課】 4,283,211円

食肉の安全確保のため、と畜場に搬入された獣畜について、人獣共通感染症等の疾病検査、動物用医薬品等の残留有害物質検査を実施しました。また、と畜場におけるHACCP（食品衛生管理手法）が適切に運用されているかを確認するため、外部検証を実施しました。

と畜検査頭数（豚のみ）	87,431頭
残留有害物質検査数	183件
外部検証 現場検査	243回

	記録検査	12回
	微生物試験(60頭×2項目)	120件
6	動物愛護対策費【保健衛生課】	20,737,016円
(1)	狂犬病予防法及び豊田市犬による危害防止条例に基づき、犬の登録、狂犬病予防注射、捕獲等を実施し、市民生活の安全確保に努めました。	
	新規登録	1,724頭
	狂犬病予防注射実施	18,327頭
	捕獲	8頭
	うち返還	6頭
	※令和6.3.31現在登録総数	22,036頭
(2)	動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、犬・猫の引取り及び負傷動物の保護を行いました。また、飼養が可能な犬・猫の譲渡を行い、殺処分の低減に努めるとともに、飼養に対する苦情や相談等に対応しました。	
	引取り 所有者依頼 犬	2頭
	所有者不明 犬	16頭
	負傷動物の保護 犬	1頭
	譲渡 犬	3頭
	殺処分 犬	1頭
	うち収容中死亡 犬	0頭
	犬・猫等の苦情相談	1,411件
(3)	動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、特定動物(人の生命、身体又は財産に危害を加えるおそれがある動物として政令で定める動物)の飼養又は保管について、基準に適合していることを確認しました。	
	許可施設数	水槽型施設 4件
		移動用施設 1件
(4)	動物愛護センターを拠点とし、豊田市人と動物の共生社会の推進に関する条例の基本理念に基づき、各種講座、教室を開催し、市民の関心と理解を深める事業を実施しました。	
	犬を飼う前講座ほか12事業	
		103回 4,140人
(5)	市民の生きがいづくりと動物愛護意識の普及を図るため、動物愛護ボランティア養成講座でボランティア及び訪問活動犬を育成し、動物愛護教室等を共働で行いました。	
	動物愛護教室(親子)ほか3事業	18回 520人
7	動物愛護センター費【保健衛生課】	7,691,820円

4款 衛生費

(1) 管理運営費

動物愛護センターの適切な維持管理に努めました。

来館者数 21,828人

8 地域猫事業推進費【保健衛生課】 2,180,115円

野良猫によるふんや鳴き声による被害を軽減するため、地域で実施する地域猫活動（野良猫の不妊去勢手術を行いエサやトイレの管理を行う活動）を支援しました。

地域猫活動支援実施地域数 236地域

不妊去勢手術実施頭数 オス211頭、メス250頭

9 食品衛生費補助金（1／3）【保健衛生課】 820,000円

豊田市食品衛生協会が実施する食品衛生指導、衛生知識の普及啓発等の事業に補助金を交付し、市民の安全な食生活の維持に努めました。

4- 2- 1目 環境衛生費

（前年度）

当初予算額 1,924,041,000円（ 841,041,000円）

予算現額 1,880,341,679円（ 841,041,000円）

決算額 1,880,231,385円（ 840,918,892円）

翌年度繰越額 0円（ 0円）

不用額 110,294円（ 122,108円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 廃止簡易水道施設費【上水運用センター】 424,706円

（1）管理費 424,706円

管理施設数 33施設

2 水道事業負担金【経営管理課】 251,134,829円

3 水道事業補助金（10／10）【経営管理課】
1,394,000,000円

4 水道事業出資金【経営管理課】 234,671,850円

4- 2- 2目 環境対策費

（前年度）

当初予算額 457,577,000円（ 352,595,000円）

予算現額 438,370,321円（ 475,046,000円）

決算額 363,542,903円（ 460,660,478円）

翌年度繰越額 0円（ 0円）

不用額 74,827,418円（ 14,385,522円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（環境審議会委員17人、不良な生活環境を解消するための審議会委員6人）【環境政策課・環境保全課】

518,900円

- 2 環境政策事務費【環境政策課】 2,529,042円

- 3 環境保全事務費【環境保全課】 3,255,991円

（1）法令等に係る届出及び報告

件数：大気295件、水質274件、騒音208件、
振動216件、特定建設作業1,735件、
石綿事前調査結果3,046件、
公害防止組織121件、化学物質286件、
土壌159件、ダイオキシン類24件、
悪臭56件及び揚水126件

（2）工場及び事業場等の規制指導

関係法令に基づき立入検査及び行政指導を行いました。

大気汚染防止法 延べ284事業所

水質汚濁防止法 延べ77事業所

騒音規制法等 延べ56事業所

振動規制法等 延べ21事業所

悪臭防止法等 延べ30事業所

ダイオキシン類対策特別措置法 延べ16事業所

土壌汚染対策法 延べ13事業所

（3）光化学スモッグ及びPM2.5緊急時対策

愛知県から光化学スモッグ予報が2回発令され、うち1回は注意報になり、緊急メールとよた等により市民に周知しました。PM2.5注意喚起情報は、発令されませんでした。

（4）苦情処理

苦情件数223件（延べ249件）

（内訳：大気汚染114件、水質汚濁13件、騒音68件、
振動23件、悪臭29件及びその他2件※重複あり）

（5）河川事故等への緊急対応

河川への濁水や油の流出事故等について、緊急対応しました。

対応件数 14件

- 4 産業廃棄物対策費【廃棄物対策課】 10,063,574円

- （1）事務費 6,375,842円

- （2）不適正処理産業廃棄物対策費 325,478円

ア 産業廃棄物処理施設等への立入検査・指導

産業廃棄物処理施設等の適正な維持管理のため、処理業者、産

業廃棄物処理施設等に立ち入り、検査・指導を行いました。

定期立入事業所数 77 箇所

その他立入事業所数 延べ 1, 187 箇所

イ 不適正処理に関する行政指導及び行政処分

産業廃棄物処理業者等に行政指導を行いました。

行政指導 指導票 17 件

改善勧告 1 件

ウ 産業廃棄物に係る苦情処理

苦情件数 179 件

(内訳：廃棄物の野焼き 128 件、不法投棄 24 件、
その他 27 件)

(3) 航空写真を解析した不法投棄等監視費 3, 362, 254 円
通常業務では把握できない地域における不法投棄等の監視の充
実を図るため、航空写真を解析して不適正処理現場の早期発見、
早期指導を行いました。

現地調査箇所数 1, 330 地点

不適正処理発見数 10 地点 (うち年度内改善済み 2 地点)

5 PCB 処理推進費【廃棄物対策課】 3, 642, 439 円

(1) PCB 処理安全監視費 3, 568, 579 円

ア 安全監視委員会等の開催

豊田市 PCB 処理安全監視委員会を 2 回開催し、豊田 PCB 処
理事業所の事業の監視及び情報公開の推進に努めました。

イ PCB 環境調査

国や近隣自治体の協力を受け、大気 3 地点、土壌 1 地点、河川
(水質・底質) 2 地点において、調査を実施しました。

(2) PCB 適正処理推進費 73, 860 円
PCB 廃棄物処理に係る東海地区広域協議会にて、処分期限内
の確実な処理に向けた調整を行いました。

6 環境対策啓発費【環境政策課・循環型社会推進課】

10, 414, 272 円

(1) とよた SDGs ポイント費

加入者 30, 743 人

(アプリ：5, 318 人、カード：25, 425 人)

加盟店 104 店舗

(2) 環境教育啓発費

子どもがタブレット等を活用し、環境への理解を深め、学校や
家庭で環境配慮行動を実践できるよう、小学 4 年生向けの環境学
習補助教材デジタルコンテンツを作成しました。

(3) エコライフ活動推進費

65団体で構成する「とよたエコライフ倶楽部」の活動を推進し、環境にやさしいライフスタイルづくりに努めました。また、12月3日に開催されたエコットフェスタ等へ出展しました。

イベントの出展 7回

出前講座の実施 6回

7 地球温暖化防止対策推進費【環境政策課】193,535,209円

(1) 地球温暖化防止対策関連費

ア 温室効果ガス排出量の算定(令和3年度市内全域の排出量)

イ 脱炭素スクールの開催

第2期後期スクール 5回、第3期前期スクール 4回

ウ とよた・ゼロカーボンアクションの実践

キャンペーン4件、イベント啓発10件

(2) 気候変動適応推進費

ア 気候変動適応情報プラットフォームの運用

イ クーリングシェルターの設置

公共施設 57か所、民間施設 6か所

(3) 次世代自動車普及促進費

SAKURAプロジェクトによる次世代自動車の普及啓発のためのイベント出展を35件(うち自動車販売店等出展11件)行いました。

(4) スマートハウス普及促進費

チラシやポップ、リーフレットを作成し、スマートハウスの普及啓発をしました。

(5) 家庭用燃料電池設置費補助金(5/100)

交付件数 70件

(6) 次世代自動車普及促進費補助金(定額)

電気自動車・プラグインハイブリッド車 交付台数418台

燃料電池自動車 交付台数 3台

超小型電気自動車 交付台数 2台

充電設備補助件数 166件

(7) 事業者向次世代自動車普及促進費補助金(定額)

電気自動車・プラグインハイブリッド車 交付台数 59台

燃料電池自動車 交付台数 2台

充電設備補助件数 13件

(8) 家庭用蓄電池設置費補助金(定額)

交付件数 334件

(9) スマートハウス化設備設置費等補助金(定額)

- 交付件数 157件(うちZEH補助件数84件)
- (10) 省エネ家電設置費補助金(定額)
- LED照明器具買い替え補助 交付件数 1,976件
- 8 環境学習施設eco-T(エコット)費【環境政策課】
- 48,270,420円
- (1) 学習事業
- eco-T来館者 延べ 16,515人
- 小学校の施設見学学習 61校 3,546人
- エコライフ講座 101回 延べ 1,693人
- (うち卒FITセミナー 2回 延べ 150人)
- 出前授業 71回 延べ 1,912人
- 出前講座 13回 延べ 423人
- 積み木キャラバン 68こども園 2,075人
- インタープリター登録数(積み木キャラバン隊含む)
- 延べ87人
- (2) バスの借入による環境学習の推進
- 小学校の環境学習施設見学を支援するために送迎用バスの借入
を行い、利用を促進しました。
- バスによる送迎 6校 8台 155人
- (3) イベント事業
- エコットフェスタ 12月3日 569人
- 9 不良な生活環境解消推進費【環境保全課】 488,980円
- いわゆる「ごみ屋敷」等の不良な生活環境を解消し、市民が安心して
暮らすことができる安全で快適な生活環境を確保するため、関係機関と
連携した福祉的な支援や声掛けなど、解消に向けた取組を行いました。
- 対応件数 84件(うち新規17件)
- 解決 24件
- 10 環境調査費【環境保全課】 45,811,411円
- (1) 大気汚染調査
- ア 有害大気汚染物質等調査
- 大気汚染防止法に基づき、大気中の有害大気汚染物質等の状況
把握のため、実態調査を実施しました。
- 3地点 年12回
- 環境基準設定4物質は全て環境基準を達成しました。
- 指針値設定11物質は全て指針値に適合しました。
- イ 大気環境中の石綿濃度調査
- 1地点 年1回 0.15本/L
- ウ 微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析調査

2地点 年4回 46成分

(2) 水質汚濁調査

ア 河川調査

公共用水域の水質を把握するため、水質調査を実施しました。

43河川56地点

カドミウム等の健康項目は、全ての地点で環境基準を達成しました。BOD等の生活環境項目は、介木川等3河川の大腸菌数及び逢妻女川のBODを除き、類型指定された全ての地点で環境基準に適合しました。

ノニルフェノール等の水生生物保全項目は、逢妻川水系で全亜鉛が環境基準を超過し、要監視項目は、全ての地点で指針値に適合しました。

イ 地下水調査

(ア) 概況調査

水質汚濁防止法に基づき、市内の地下水質の状況を把握するため、11地点で地下水調査を実施しました。

11地点27項目を調査した結果、全ての地点で環境基準を達成しました。要監視項目の全マンガンを1地点(前林町)で調査した結果、指針値を超過しました。

(イ) 定期モニタリング調査

水質汚濁防止法に基づき、過去に汚染が判明した地域を継続的に調査しています。

32井戸で、鉛、トリクロロエチレン等14項目を調査した結果、8井戸でトリクロロエチレン等4項目が環境基準を超過しました。

(ウ) 汚染井戸周辺地区調査

事業者から土壤汚染の報告があったため、2地点2井戸で、ふっ素及びその化合物を調査した結果、全ての井戸で環境基準に適合しました。

ウ 排水基準等監視調査

工場を中心に立入確認及び排水検査を実施し、有害物質使用特定事業場は土壤地下水汚染防止対策の確認を行いました。

延べ77事業所 57検体

5事業所で排水基準等違反があり、改善対策を指導しました。

エ ゴルフ場排水水中の農薬検査

6ゴルフ場 4項目 延べ10検体

全て指針値、協定値に適合しました。

(3) ダイオキシン類常時監視調査

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、大気、公共用水域水質・底質、地下水質及び土壌中のダイオキシン類の状況把握のため、調査を実施しました。

大気 1地点 年4回

公共用水域水質 3地点 年2回

公共用水域底質 3地点 年1回

地下水質 3地点 年1回

土壌 3地点 年1回

全ての地点で環境基準を達成しました。

(4) 環境騒音調査及び振動調査

環境騒音調査(一般地域及び道路に面する地域)、自動車騒音調査及び道路交通振動調査を実施し、市域の状況把握に努めました。

環境騒音調査(一般地域13地点)環境基準達成率84.6%

環境騒音調査(道路に面する地域5路線4,177戸)環境基準達成率93.5%

自動車騒音調査は、6地点全てで要請限度を下回りました。

道路交通振動調査は、3地点全てで要請限度を下回りました。

(5) 排出ガス中のダイオキシン類等調査

ダイオキシン類及びばい煙測定を3事業所の4施設で実施し、全て排出基準に適合しました。

1.1 水環境指標推進費【環境保全課】 425,983円

西中山川、伊保川等において、市民と共働調査を実施し、市民に分かりやすい水環境指標の推進に努めました。

調査河川数 12河川

調査参加者 454人

1.2 水質浄化対策費【環境保全課】 32,580円

豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会(30市町村等加盟)の活動を通じて三河湾の水質浄化に努めました。

1.3 環境保全協定推進費【環境保全課】 921,919円

市内中小企業の環境法令遵守及び環境取組のレベルアップのため環境取組技術支援セミナーを開催しました。

セミナー参加者 72人

協定企業や市の環境施設を市民に分かりやすく紹介したエコ企業ガイドブックを改訂しました。

1.4 大気測定局費【環境保全課】 43,632,183円

(1) 管理費

北部局(加納町)13項目測定

4款 衛生費

東部局（宝来町） 9項目測定

中部局（三軒町）15項目測定

南部局（竹元町）10項目測定

新田局（花園町）10項目測定

環境基準設定項目である、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質（PM_{2.5}）は全局で環境基準を達成し、光化学オキシダントは全局で達成しませんでした。

（2）伊勢湾岸自動車道関連環境調査費

大気調査（6項目）を3局で、騒音調査を4局で行いました。

落雷等による故障のため新田局（花園町）の騒音計及び上郷局（上郷町）のNO_x計の修繕を行いました。

（3）施設整備費

東部局（宝来町）及び中部局（三軒町）のPM_{2.5}計を更新しました。また中部局（三軒町）及び新田局（花園町）の気象計の感部を交換しました。

4- 3- 1目 清掃総務費

（前年度）

当初予算額	1,261,259,000円	（ 1,259,744,000円 ）
予算現額	1,290,920,000円	（ 1,295,246,997円 ）
決算額	1,266,567,911円	（ 1,271,143,152円 ）
翌年度繰越額	0円	（ 0円 ）
不用額	24,352,089円	（ 24,103,845円 ）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（一般職163人、非常勤一般職24人）【人事課】

1,229,020,930円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】

1,679,790円

3 清掃事務費【循環型社会推進課】

1,209,528円

4 環境委員活動費【循環型社会推進課】

430,630円

地域住民の廃棄物に関する意識の向上及びごみの減量化を推進するため環境委員の活動を支援しました。

5 廃棄物意識啓発費【循環型社会推進課】 ※新規

10,204,503円

市民等にごみの分別・資源リサイクルの必要性を呼び掛け、ごみ減量に対する意識の向上に努めました。また、新たにフードシェアリングサービスを開始するなど、事業者との共働による食品ロスの削減に取り組

4款 衛生費

みました。

出前講座の実施 13回

豊田市「資源・ごみ分別アプリ」の累計ダウンロード数

75,967件

各種啓発冊子、パンフレットの作成

ごみカレンダー

177,100部

ごみガイドブック

10,000部

外国語版ごみガイドブック

12,000部

市内飲食店、スーパー等への食品ロス削減啓発ポスターの掲示依頼

依頼店舗数 553店舗

大学や生産者との災害備蓄食品アレンジレシピの試食会

総来場者数 100人

フードドライブの実施・支援 5回

フードシェアリングサービス

ユーザー登録者数 2,459人

協力店登録店舗数 12店舗

豊田マラソンでのペットボトル水平リサイクルのPR

分別実践 1,000人

6 庁舎等施設費【清掃施設課】 24,022,530円

(1) 清掃庁舎等管理費 22,745,465円

(2) 清掃庁舎等整備費 1,277,065円

空き缶処理機の撤去を行いました。

4- 3- 2目 塵芥処理費

(前年度)

当初予算額 1,852,114,000円 (1,868,509,000円)

予算現額 1,774,609,000円 (2,118,842,538円)

決算額 1,726,657,386円 (2,093,697,356円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 47,951,614円 (25,145,182円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 ごみ収集事業費【清掃業務課】 953,551,780円

(1) 一般家庭から排出されたごみを収集しました。

令和5年度収集量(前年度対比4.7%減)

燃やすごみ 68,704t

金属ごみ 1,821t

埋めるごみ 945t

資 源	2, 6 5 4 t
(内訳 飲料缶 1 2 2 t びん 8 2 8 t	
ペットボトル 2 8 7 t	
プラスチック製容器包装 1, 4 1 7 t)	
有害ごみ	1 3 2 t
(内訳 廃乾電池 1 1 0 t 廃蛍光管 2 2 t)	
危険ごみ	1 2 6 t
(内訳 スプレー缶 1 1 7 t ライター 9 t)	
合計	7 4, 3 8 2 t

(2) 市民が快適で衛生的な生活を営むことができるよう次の事業を実施しました。

ア ごみ収集場所 6 8 か所を新設し、収集場所の適正配置に努めるとともに、ごみ出しマナーの向上、分別出しの徹底による収集の効率化に努めました。

イ ひとり暮らしの高齢者・障がい者等を対象としたごみ収集支援「ふれあい収集」を 3 2 3 世帯に実施しました。

ウ ごみの散乱防止等のため、自治区等に対しごみステーション原材料支給を行いました。

(原材料支給 ごみステーション 7 2 か所 防鳥ネット支給 1, 6 8 9 枚)

エ じん芥収集車両 3 台 (プラスチック製容器包装用 小型 1 台中型 2 台) を購入しました。

オ 「ごみの正しい出し方」「資源の再利用」について以下のとおり実施しました。

(ア) 指定ごみ袋を容易に入手できるようにするため、自治区に指定ごみ袋のあっせんを行いました。

2 5 4 自治区 2 1 7, 1 1 0 パック

(イ) ごみ出しマナーの向上のため、地域と共働でごみステーションに分別方法を示した看板等を設置しました。

分別収集用看板 2 7 7 枚、資源収集用看板 1 3 2 枚、
啓発用看板 5 3 枚

(ウ) 転入者に指定ごみ袋でのごみ出し、分別の周知を図るため、転入者用ごみ袋セットを作成し、市民課や支所・出張所の窓口で配布しました。

転入者用ごみ袋セット 7, 6 5 0 セット

カ 不燃ごみリサイクル処理事業

金属ごみ、粗大ごみ、廃棄自転車、不法投棄された不燃ごみを民間施設で破碎選別処理を行い資源回収と減容化を図りました。

処理量 2,762 t 資源回収量 1,671 t (60.5%)

回収量 金属 1,092 t

非鉄 146 t

小型家電 433 t

キ 新たな市指定ごみ袋作成のため、間口を広げた実証実験用ごみ袋15,000パックを作成し販売を開始しました。

2 勘八不燃物処分場費【清掃施設課】 67,703,705円

処理水放流量 18,291 m³

3 グリーン・クリーンふじの丘費【清掃施設課】

268,171,771円

(1) 施設管理費 266,521,771円

ごみ等搬入量 2,873 t

資源等搬出量 814 t

埋立量 2,059 t

処理水放流量 24,525 m³

(2) 施設整備費 1,650,000円

インボイス制度対応のため、計量システムを改修しました。

4 廃棄物資源化事業費【循環型社会推進課】 ※新規

225,361,183円

(1) リサイクルできる資源を集団回収した登録団体に対して報奨金を交付しました。

報奨金交付額 19,083,035円

活動団体 446団体

回収量 古紙類 2,231 t

古布類 53 t

(2) 市内22か所のリサイクルステーションにおいて、資源の回収を実施しました。

回収量 古紙類 5,814 t

古布類 412 t

飲料缶 358 t

ペットボトル 746 t

ガラスびん 1,308 t

プラスチック製容器包装 460 t

事業系古紙類 75 t

廃食用油 23,462 ℓ

(3) 集団回収した資源の回収を行う事業者に対して補助金を交付し集団回収事業を促進しました。

補助金交付額 3,949,094円

	交付事業者数	19事業者
(4)	家庭から粗大ごみ等として排出された家具等を清掃・補修し、リユース(再使用)品として展示販売・譲渡しました。	
	リユース工房	
	販売数	638点(9t)
	売払収入	1,557,000円
	リユーススポット(令和5年11月から)	
	販売・譲渡数	1,086点(6t)
	売払収入	470,900円
(5)	ダンボールコンポスト講座に加え、カバン型コンポストの貸与を始めることで、各家庭から排出される生ごみの資源循環を促進しました。	
	ダンボールコンポスト講座の開催	
	講座34回	339人参加
	カバン型コンポストの貸与	992世帯
(6)	生ごみ処理機器等を購入した世帯に対して補助金を交付し、家庭から排出される燃やすごみの減量・資源化を促進しました。	
	交付件数	377件
	補助金交付額	6,476,900円
5	緑のリサイクルセンター費【清掃施設課】147,845,437円 緑のリサイクルセンターの適切な運転管理に努めました。	
	処理量	2,902t
	堆肥等利用量	593t
6	粗大ごみ収集事業費【清掃業務課】40,865,370円 粗大ごみの収集について、電話申込みによる戸別収集を行いました。	
	収集件数	18,698件(令和4年度21,970件)
	収集個数	48,642個(令和4年度60,871個)
	収集量	715t(令和4年度876t)
7	きれいなまちづくり費【清掃業務課】23,158,140円	
(1)	不法投棄対策として、監視カメラを10台購入しました。直営不法投棄班(6人)と会計年度任用職員の不法投棄パトロール員(15人)で、不法投棄のパトロール、不法投棄物の回収(家電4品目、タイヤ等)の収集処理を実施しました。	
	処理件数	1,266件(令和4年度1,228件)
	処理量	51.8t(令和4年度56t)
(2)	豊田市に登録された不法投棄パトロール隊へ不法投棄対策及びまちの美化活動に必要な資材を支給し、活動を支援しました。	
	令和5年度不法投棄パトロール隊210団体 6,105人	

4款 衛生費

(令和4年度不法投棄パトロール隊205団体 6, 302人)

(3) ごみ散乱防止対策として、ポイ捨てごみの多い地域へ看板を配布し、ごみ散乱防止の啓発を行いました。

犬フン公害防止看板	184枚
不法投棄禁止看板	160枚

4- 3- 3目 し尿処理費

(前年度)

当初予算額	889,797,000円	(	831,059,000円)
予算現額	880,471,000円	(	861,204,000円)
決算額	839,613,856円	(	849,954,915円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	40,857,144円	(	11,249,085円)

●執行経費(決算額の内訳) 及び概要

1 し尿収集事業費【清掃業務課】 208, 195, 814円

(1) 直営収集

都市景観や環境に配慮し、側面をパネル架装したし尿収集車で計画的に収集作業を実施しました。(収集世帯数：94世帯)

(2) 委託収集(1組合、1業者)

し尿収集作業の一部を業者へ委託しました。

(収集世帯数 1, 244世帯)

し尿搬入量

逢妻衛生プラント	1, 230 t
砂川衛生プラント	5, 054 t
し尿搬入量 計	6, 284 t

2 砂川衛生プラント費【清掃施設課】 284, 908, 383円

※全体 (豊田市分)

し尿処理量 計 5, 392 t (5, 054 t)

汚泥処理量 計 54, 489 t (49, 373 t)

※全体は、みよし市分を含む。

3 逢妻衛生プラント費【清掃施設課】 336, 156, 946円

※全体 (豊田市分)

し尿処理量 計 1, 813 t (1, 230 t)

汚泥処理量 計 65, 097 t (48, 343 t)

※全体は、知立市分を含む。

肥料利用量 304 t

4 浄化槽対策費【下水道施設課】 4, 628, 503円

4款 衛生費

(1) 事務費

(2) 浄化槽適正管理推進費

地域ぐるみで浄化槽の適正な維持管理を推進する「浄化槽維持管理促進事業」を実施しました。

実施団体 45団体

実施世帯 3,611世帯

5 公衆便所費【清掃業務課】 5,724,210円

緑陰歩道・名古屋鉄道梅坪駅前など10か所の公衆トイレの清掃・補修等の維持管理を行いました。

4- 3- 4日 清掃工場費

(前年度)

当初予算額 4,278,687,000円 (2,808,456,000円)

予算現額 4,447,869,826円 (3,001,995,000円)

決算額 4,194,553,887円 (2,934,871,850円)

翌年度繰越額 196,181,000円 (47,900,000円)

不用額 57,134,939円 (19,223,150円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆ 196,181,000円

渡刈クリーンセンター設備改修事業 196,181,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 渡刈クリーンセンター費【清掃施設課】

3,635,540,053円

(1) 管理運営費 2,208,205,913円

ごみ焼却量 3炉合計 88,196t

発電電力量 39,274MWh

売電電力量 17,691MWh

溶融スラグ利用量 2,618t

(2) 施設整備費 1,427,334,140円

・基幹的設備改良工事及び火災対策工事を行いました。

2 プラスチック資源化施設費【清掃施設課・建築予防保全課】

99,427,374円

(1) 管理運営費 96,264,874円

処理量 1,867t

引渡量 1,765t

(2) 施設保全費 3,162,500円

電動排煙窓修繕を行いました。

4款 衛生費

3 藤岡プラント費【清掃施設課】	459,586,460円
(1) 管理運営費	457,936,460円
ごみ焼却量	19,905 t
(2) 施設整備費	1,650,000円
インボイス制度対応のため、計量システムを改修しました。	

5款 労働費

5款 労働費		
		(前年度)
当初予算額	181,598,000円 (	175,505,000円)
予算現額	171,301,000円 (	163,790,000円)
決算額	163,965,067円 (	158,123,198円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	7,335,933円 (	5,666,802円)

5- 1- 1目 労働費		
		(前年度)
当初予算額	181,598,000円 (	175,505,000円)
予算現額	171,301,000円 (	163,790,000円)
決算額	163,965,067円 (	158,123,198円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	7,335,933円 (	5,666,802円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（一般職6人、非常勤一般職4人）【人事課】

42,860,335円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】

279,080円

3 労政事務費【産業労働課】

51,125円

4 職業訓練校費【産業労働課】

8,554,178円

職業訓練校の適正な維持管理に努めるとともに、訓練生の授業料や教材用の木材調達への支援により、訓練事業の運営強化を図りました。

指定管理者 職業訓練法人豊田職業訓練協会

利用者数 2,320人

5 就労支援費【産業労働課】

73,397,708円

(1) 就労支援室費

就職希望者を対象に、ハローワーク豊田と連携し、一体的就労支援事業を実施しました。

相談件数 3,938件

紹介件数 1,945件

就職件数 389件

(2) 若年者就労支援費

若年者就労支援のため、キャリアカウンセリングやPC講座を実施しました。

参加者数 180人

(3) 定住外国人就労支援費

就職に必要な技能習得を目的とした外国人就労支援日本語教室及び就労支援セミナー等を実施しました。

中級日本語教室（ 1 1 5 回開催 ）参加者実人数 1 3 人

初級日本語教室（ 1 2 0 回開催 ）参加者実人数 7 3 人

外国人向け就労支援セミナー等参加者数 1 2 0 人

（ 4 ） 女性再就労支援費

女性しごとテラスを運営し、職業相談・職業紹介を行うとともに女性の再就労を支援する各種のセミナーを実施しました。

相談件数 1, 2 6 3 件

就職件数 1 0 1 件

就労支援セミナー参加者数 1 2 回 3 3 9 人

ジョブトレーニング参加者数 4 回 4 8 人

（ 5 ） 中高年齢者就労支援費

個別相談、セミナー参加者数 3 3 4 人

6 働き方改革推進費【産業労働課】 1 4, 1 3 5, 2 8 9 円

（ 1 ） アドバイザー派遣費

市内事業所の働き方改革の取組を促進するため、専門的知識を有する登録アドバイザーの活用促進を図るとともに、市内事業所へ派遣しました。

登録アドバイザー 4 1 人

アドバイザー・講師派遣回数 1 9 事業所 3 0 回

（ 2 ） 啓発事業費

市内事業所の働き方改革への取組意欲を喚起するため、意識啓発を実施しました。

優良事業所表彰 応募事業所数 2 1 事業所

事業所訪問等 4 7 件

働き方改革啓発セミナー参加者数 2 0 8 人

（ 3 ） 働き方改革推進支援補助金（ 1 / 2 ）

社内コミュニケーションの活性化やテレワークの導入、多様な人材の活躍推進等に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部を補助しました。

補助件数 2 8 件

7 勤労者サービスセンター事業補助金（ 1 0 / 1 0 ）【産業労働課】
2 0, 6 5 4, 3 5 2 円

会員数 6, 5 1 4 人（ 5 2 6 事業所 ）

8 勤労者対策費【産業労働課】 4, 0 3 3, 0 0 0 円

（ 1 ） 雇用対策協会補助金（ 1 / 2 ）

事業内容 インターンシップ事業、業界研究会等

5款 労働費

(2) 労働団体公益の事業補助金 (1 / 2)

事業内容 交通安全活動、環境美化活動

6款 農林水産業費

6款 農林水産業費		
(前年度)		
当初予算額	3,299,502,000円	(2,922,249,000円)
予算現額	3,415,905,077円	(3,152,266,000円)
決算額	3,179,309,550円	(2,912,069,094円)
翌年度繰越額	105,386,000円	(105,584,077円)
不用額	131,209,527円	(134,612,829円)
6- 1- 1目 農業委員会費		
(前年度)		
当初予算額	138,771,000円	(104,573,000円)
予算現額	129,199,000円	(130,945,000円)
決算額	125,567,710円	(124,481,011円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,631,290円	(6,463,989円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（農業委員会委員25人、農地利用最適化推進委員70人、
一般職7人、非常勤一般職3人）

【農業委員会事務局・人事課】109,561,652円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】310,240円

3 農業委員会事務費【農業委員会事務局】15,695,818円

《事務処理状況》

(1) 農地移動等処理状況（令和5年度）

<項 目>	<件 数>	<面 積>
農地法第3条	114件	17.3ha
農地法第3条解除付	0件	0ha
農地法第18条	183件	27.2ha
農地法第4条（許可）	24件	1.2ha
農地法第5条（許可）	266件	32.4ha
農地法第4条（届出）	48件	2.3ha
農地法第5条（届出）	235件	10.3ha
事業計画変更承認	15件	2.3ha
農地改良届	10件	0.9ha
現況証明	77件	2.2ha
生産緑地に係る主たる 従事者の証明書	2件	0.3ha
贈与、相続税の納税		

6款 農林水産業費

猶予に係る適格証明	13件	11.3ha
その他	494件	150.0ha
計	1,481件	257.7ha
(2) 遊休農地発生防止・解消		
令和5年度末1号遊休農地面積	406.2ha	
令和5年度末2号遊休農地面積	119.0ha	
(3) 担い手への農地集積・集約		
農用地区域内の農地集積率 平坦地	63.4%	
山村地	9.4%	
(4) 令和5年4月施行の改正農業経営基盤強化促進法に伴い、目標 地図素案作成の基礎調査業務委託を行いました。		
	4,840,000円	
6- 1- 2目 農業総務費		
		(前年度)
当初予算額	591,767,000円	(565,922,000円)
予算現額	561,474,000円	(541,837,000円)
決算額	538,268,029円	(524,504,213円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	23,205,971円	(17,332,787円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(一般職44人、非常勤一般職15人)【人事課】		
	383,038,743円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		
	724,760円	
3 農政事務費【農政企画課・農業振興課】		
	1,337,315円	
4 農政総合推進費【農政企画課・農業振興課】		
	39,874,221円	
(1) 農地調整推進費		
	1,650,000円	
農地転用許可台帳システムの機能更新、帳票の追加及び保守管理のため業務委託を行いました。		
(2) 農業チャレンジ推進補助金(1/2) ※新規		
	1,808,000円	
農業のカーボンニュートラル実現に向けて、農業者が営農上の課題解決に向けて自ら取り組む挑戦的な事業を支援しました。		
農業チャレンジ推進補助金交付件数 5件		
(3) 農業人材力強化総合支援費補助金(定額)		
	12,986,221円	
令和3年度までに認定を受けた新規就農者に交付金を交付し、		

農業への定着を促進しました。

農業次世代人材投資資金交付件数 14件

(4) 新規就農者育成総合対策補助金 23,430,000円

令和4年度以降の認定新規就農者に対して資金を助成するとともに、就農に必要な機械等の導入を支援しました。

経営開始資金(定額) 8件 11,250,000円

経営発展支援事業(3/4)4件 12,180,000円

5 農業振興地域整備推進費【農政企画課】 8,482,664円

豊田市農業振興地域整備計画の見直しを行うために業務委託を行いました。

6 農業基本計画推進費【農政企画課】 315,788円

豊田市農業・農村支援協議会を開催し、第4次豊田市農業基本計画の策定に向けた協議を行いました。

7 農ライフ創生センター費【農業振興課】 18,569,766円

(1) 運営費 17,969,766円

多様な農業の担い手を育成し、「生きがい型農業」の実践を支援することで遊休農地の活用を進めるため、農作物栽培研修を実施しました。

また、県内有数の桃・梨の産地である本市をこの先も産地として維持するため、担い手の確保を目的とした桃・梨専門コースを実施しました。

<農作物栽培技術研修>

担い手づくりコース(農家志望者対象 2年・週1回)

19期生24人(修了) 20期生17人(1年目修了)

21期生23人(受講決定)

桃・梨専門コース(果樹農家志望者対象 2年

・年1,200時間以上)

4期生 1人(修了)

5期生 2人(1年目修了)

※受入実績は、1～5期生で8人

生きがいづくりコース(農を楽しむ者対象 1年・週1回)

5期生 9人(修了)

6期生(下山のみ) 10人(受講決定)

旬の野菜づくりコース(農の基礎を学ぶ者対象 年12回)

令和5年度 37人(修了)

令和6年度 30人(受講決定)

<担い手づくりコース修了生の農地借入状況>

18期生までの累計284人 約57.8ha

＜桃・梨専門コース用管理ほ場の確保状況＞

研修修了生用に確保したほ場の累計 約 6.9ha

うち継承実施済ほ場の累計 約 4.7ha

(2) 新規就農者就農支援事業補助金(1/2) 600,000円

桃・梨専門コースの修了生に対し、新規就農時の経営安定を図るため支援しました。

補助対象 新規就農時の事業経費

補助件数 2件

8 体験農園費【農政企画課】 1,260,250円

(1) 体験農園費 960,250円

都市と山村部の交流促進のため、足助地区の市民農園等の管理を行いました。

(2) 市民農園運営等支援費補助金(3/10) 300,000円

市民農園運営者に対し、農園整備や農業教室の開催等を支援することで市民農園の利用環境の改善と利用率向上を図りました。

補助対象 市民農園運営者

補助件数 2件

9 後継者育成費補助金(2/10)【農業振興課】 52,000円

中核的担い手となる農業後継者グループの組織の育成強化を図りました。

交付先 豊田みよし4Hクラブ 会員 9人

豊田加茂青年農業士会 会員14人

10 農業近代化資金利子補給補助金【農業振興課】 154,977円

担い手農業者に対し、自身が立てた経営改善資金計画に即した農業経営の近代化を支援しました。

令和5年度末融資残高 10件 56,006千円

11 経営体育成総合融資費【農業振興課】 87,949円

認定農業者等の経営改善計画に即した資本装備高度化を支援し、農業経営の効率化・安定化に努めました。

令和5年度末融資残高 2件 19,762千円

12 と畜場支援費【農政企画課】 18,133,688円

(1) 環境対策負担金 12,548,688円

と畜場の適正管理を目的として、豊田食肉事業協同組合の行うと畜場の環境対策に係る経費を負担しました。

(2) 施設等整備費補助金(1/2) 5,585,000円

安全な食肉の供給を図るため、と畜場の施設修繕等を支援しました。

補助対象 污水处理施設・汚泥脱水機修繕始め2件

6款 農林水産業費

- 13 卸売市場特別会計繰出金【農政企画課】 66,210,000円
- 14 農業費過年度国県支出金返還金【農業振興課】 25,908円
- 中山間地域等直接支払交付金について、協定農用地の一部を除外したため交付金の一部を返還しました。

6- 1- 3目 農業振興費

(前年度)

当初予算額	340,293,000円	(	293,737,000円)
予算現額	316,563,077円	(	299,299,000円)
決算額	265,269,896円	(	239,138,697円)
翌年度繰越額	0円	(	30,924,077円)
不用額	51,293,181円	(	29,236,226円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 米政策改革推進費【農業振興課】 15,276,200円
- (1) 水田農業経営所得安定対策推進事務費 2,954,200円
- (2) 水田農業経営所得安定対策推進補助金(10/10)
- 7,504,000円
- 水田農業経営安定対策の円滑な推進のため、事務を行う豊田市地域農業再生協議会の運営を支援しました。
- (3) 転作団地化推進費補助金(定額) 4,818,000円
- 連担団地の奨励・育成を図り、集団転作の定着を円滑に推進するため、集団転作参加者を支援しました。
- 連担団地面積 799.1ha
- 2 中山間地域等直接支払費【農業振興課】 109,731,639円
- (1) 事務費 2,699,913円
- (2) 中山間地域等直接支払交付金(定額)
- 107,031,726円
- 中山間地域等直接支払制度に参加し、協定を締結した135集落と個別協定者1人に対し交付金を支出しました。各集落は、この交付金を活用して耕作放棄の防止、多面的機能の増進、将来に向けた農業生産活動の体制整備等を行いました。
- 協定数 藤岡10 小原19 足助31 下山17 旭17
- 稲武19 石野 4 松平19 計136協定
- 協定締結面積 794.1ha
- 3 地場産業振興費【農政企画課・農業振興課】10,091,552円
- (1) 地産地食推進費 4,223,920円
- 産業フェスタ内農林マーケットを運営したほか、ジビエの普及

啓発に向けた講座やマルシェを開催しました。

- (2) 農産物直売所推進費 361,055円

直売所の販売促進と認知度向上を図るため、「豊田市農産物直売所スタンプラリー2023」を開催しました。

- (3) 豊田地域農業活性化対策負担金 4,292,577円

市内産農林畜産物のブランド化を推進するための品評会の開催や、機関連携による各種PRイベントの実施など、豊田市農産物ブランド化推進協議会の取組を支援しました。

- (4) 地場農産物産地育成対策費補助金(3/10)

1,214,000円

生産出荷組織の育成を図り、地場農産物の高品質化を目指すとともに、産地の強化に努めました。

補助対象 組織育成費

補助件数 21件

- 4 山間地営農等振興費【農業振興課】 8,679,000円

営農条件が不利な山村部における農業振興を図るため、農業者団体に助成を行いました。

補助対象 農業用機械(1/2)

補助件数 5件

- 5 地域資源活用産業育成支援費【農政企画課】 1,995,114円

- (1) 農商工連携促進費 182,614円

市内農業者及び小売店と連携して、特産品である米をテーマに「とよたコメ米マルシェ」を開催しました。また、特産品づくりを現場で支援するアドバイザーを派遣しました。

出展事業者 3事業者

アドバイザー派遣回数 3事業者6回

- (2) 6次産業化促進費 1,812,500円

都市圏での大規模商談会への出展を目指した「とよた食と農のビジネススクール事業」の開催を通じ、6次産業化に取り組む農業者の販路拡大を支援しました。

- 6 強い農業づくり対策費【農業振興課】 41,023,000円

- (1) あいち型産地パワーアップ事業補助金(4/10)

34,221,000円

産地の生産体制を強化し高収益化を図るため、生産資材等を導入する農業者に対し、補助金を交付しました。

補助件数 11件

- (2) あいち型産地パワーアップ事業費補助金(耕畜連携型)

(1/2)

6,802,000円

6款 農林水産業費

自給飼料の生産量を拡大し畜産振興に寄与するため、農業機械を導入する農業者に対し、補助金を交付しました。

補助件数 1件

7 勘八農場費【農政企画課】 3, 742, 368円

勘八農場の適正な管理を実施しました。

8 主要穀物生産振興費【農業振興課】 2, 453, 000円

安全で安心な豊田市の農産物の品質向上のため、共同利用の農業機械導入に対して補助金を交付しました。

補助対象 農業用機械(3/10)

補助件数 2件

9 環境保全型農業推進費【農業振興課】 6, 686, 836円

(1) 環境保全型農業推進協議会負担金 97, 556円

減農薬栽培や有機栽培等特色ある農業生産を進め、環境保全型農業の振興を図るため、豊田・みよし環境保全型農業推進協議会に負担金を交付しました。

(2) 環境保全型農業直接支援対策費補助金(定額)

6, 589, 280円

環境保全に効果の高い営農活動に取り組む7団体

(106.44ha)に補助金を交付しました。

10 農地集積推進費【農政企画課】 90, 000円

農地集積支援事業費補助金(定額) ※新規 90, 000円

農地の集積・集約を促進するために、畦畔を除去した農地の所有者に補助金を交付しました。

補助件数 3件

11 漁業振興費【農業振興課】 12, 872, 800円

(1) 水産多面的機能発揮対策費負担金 451, 800円

水産資源の生態系の維持保全及び多面的機能の理解増進を図るため、市内2団体の活動を支援する愛知県内水面水産多面的機能発揮対策協議会に負担金を交付しました。

(2) 内水面漁業振興費補助金(1/2) 12, 421, 000円

内水面漁業の活性化のため稚鮎の放流や産卵場の整備などに対して補助しました(矢作川、巴川、名倉川、三河湖の4漁業協同組合)。

12 鳥獣対策費【農業振興課】 47, 772, 760円

(1) 有害鳥獣捕獲対策費 23, 939, 960円

鳥獣による農作物被害防止のため、農事組合等の依頼に基づき猟友会に委託し、有害鳥獣駆除を実施しました。

また、豚熱の感染防止のため、死亡野生イノシシの防疫措置業

務を委託しました。

駆除依頼件数 337件

駆除頭羽数(4～3月) 9,149頭羽

ニホンカモシカ捕獲 15頭

死亡野生イノシシ 防疫措置委託件数 28件

(2) 鳥獣害防止総合対策費負担金 16,081,800円

農作物被害を解消するため、農業関係者等で構成する豊田市農作物等鳥獣害対策連絡協議会に負担金を交付しました。

侵入防止柵 26組合 延長 42.6km

捕獲おり導入 6組合 7基

(3) 野生鳥獣被害防止対策事業補助金(1/2)

3,543,000円

イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害を防止するため、電気柵等の侵入防止施設を設置した農業者等(個人)に対し、資材費を補助しました。

補助件数 103件

(4) 狩猟免許取得支援費補助金(10/10) 151,000円

農作物等に被害を及ぼす野生鳥獣を捕獲する担い手を確保するため、新たに有害鳥獣駆除員になる新規狩猟免許取得者に対し、免許取得費用を補助しました。

補助件数 8件

(5) 有害鳥獣捕獲奨励補助金(定額) 4,057,000円

農事組合等の集落に対し、イノシシ等の捕獲おり管理(給餌、見回り)の奨励金を支給しました。

支給件数 202件

13 都市と農山村交流事業費【農政企画課】 1,357,000円

都市部の子どもが農山村体験や農家へ宿泊などをする事業に補助金を交付し、グリーンツーリズムを推進しました。

14 農業振興費【農業振興課】 3,498,627円

肥料価格高騰対策事業費補助金(7.5/100)

肥料価格の高騰をうけ、化学肥料の使用量低減に向けて取り組む農業者に対し、肥料費上昇分の一部を補助しました。

補助件数 440件

6- 1- 4目 畜産業費

(前年度)

当初予算額	12,841,000円 (	5,023,000円)
予算現額	83,709,000円 (	37,023,000円)
決算額	49,490,392円 (	15,993,606円)
翌年度繰越額	30,100,000円 (	17,160,000円)
不用額	4,118,608円 (	3,869,394円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	30,100,000円
粗飼料価格高騰対策補助事業	9,500,000円
配合飼料価格高騰対策補助事業	20,600,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 畜産振興費【農業振興課】 48,995,392円
 - (1) 事務費 223,993円

家畜伝染病のまん延防止のため、11月に畜産農家の防疫対策を支援しました。
 - (2) 家畜導入奨励費補助金(2 / 10) 876,000円

畜産農家の経営と生産基盤の安定を図るため、優良家畜(牛)の導入事業に補助金を交付し、その推進を支援しました。

補助対象 加茂和牛改良組合

導入農家2戸、和牛11頭
 - (3) 酪農ヘルパー円滑化補助金(1 / 20) 110,000円

酪農家の後継者育成とゆとりある酪農経営を進めるヘルパー制度を推進するため、補助金を交付しその円滑な実施を支援しました。

補助対象 豊田酪農ヘルパー利用組合

組合員7人
 - (4) 後継牛確保対策費補助金(定額) 261,000円

一定の成績をもつホルスタイン雌雄判別精液の導入費用を補助し、計画的な搾乳後継牛を確保する体制を支援しました。
 - (5) 粗飼料価格高騰対策事業費補助金(定額)

8,975,000円

粗飼料価格高騰に直面する酪農農家、肉用牛農家に対し価格高騰分の一部を支援しました。

補助農家実数 22経営体
 - (6) 配合飼料価格高騰対策事業費補助金(定額)

36,113,399円

6款 農林水産業費

配合飼料価格高騰に直面する畜産農家に対し価格高騰分の一部を支援しました。

補助農家実数 36経営体

(7) 山間地獣医療支援事業費補助金(定額)2,436,000円

診療効率の悪い山間地で往診する家畜診療所に対し、往診にかかる経費を支援することで、獣医療体制の確保を図りました。

補助対象家畜診療所 4か所

2 家畜生産流通指導費【農業振興課】 495,000円

鶏卵の計画生産と安定供給を図るため、鶏卵価格安定補填金積立事業に参加する生産団体に補助金(定額)を交付しました。

補助対象 知多養鶏農業協同組合

鶏卵量 495t

◆特記事項

- ・粗飼料価格高騰対策補助事業において、粗飼料価格の高騰が継続しているため、3月議会で9,500千円を増額補正し、翌年度に繰り越しました。【農業振興課】
- ・配合飼料価格高騰対策補助事業において、配合飼料価格の高騰が継続しているため、3月議会で20,600千円を増額補正し、翌年度に繰り越しました。【農業振興課】

6-2-1目 農地総務費

		(前年度)
当初予算額	153,019,000円	(117,663,000円)
予算現額	283,116,000円	(250,512,000円)
決算額	190,055,127円	(175,716,902円)
翌年度繰越額	75,286,000円	(57,500,000円)
不用額	17,774,873円	(17,295,098円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 75,286,000円

地籍調査事業 75,286,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 農地管理事務費【農地整備課】 11,623,965円

2 農業用施設管理費【農地整備課】 55,666,911円

大雨・洪水時における湛水防除のため、排水機場7か所、野見・門田樋門及び枝下用水関連24施設等を管理委託し、適正な運用に努めました。

3 地籍調査費【農地整備課】 81,516,593円

実施地区

御船地区、貝津地区、加納地区、黒田地区、上郷大成地区

枋立地区、小田本地区、猿投地区

事業内容

事前調査64ha、境界立会57ha、境界測量59ha、

成果閲覧14ha、認証登記215ha

4 農村環境改善センター費【農地整備課】 21,608,658円

高岡農村環境改善センターの適切な維持管理に努めました。

施設利用者数 56,959人

利用者ふれあい発表会 1回、講習会 6回

5 土地改良区運営費補助金【農地整備課】 19,639,000円

豊田土地改良区、藤岡土地改良区、下山土地改良区、旭土地改良区に
対して補助金を交付しました。

◆特記事項

地籍調査事業において、国の補正予算（第1号）による国土調査事業補助金の採択及び法務局の登記が年度内に完了しなかったため、3月議会で繰越明許費補正し、75,286千円を翌年度へ繰り越しました。

【農地整備課】

6- 2- 2目 農地整備費

		(前年度)
当初予算額	50,934,000円	(79,572,000円)
予算現額	53,543,847円	(79,572,000円)
決算額	52,539,847円	(76,065,212円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,004,000円	(3,506,788円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 農地環境整備事業費【農地整備課】 51,219,847円

県営事業の下山地区始め4地区の排水路等の実施設計及び工事に対し、負担金を執行しました。

2 農業農村基盤整備推進費【農地整備課】 1,320,000円

旭土地改良区が実施する、浅野地区の農地環境整備事業立ち上げに向けた基本調査に対し、負担金を執行しました。

6- 2- 3目 施設整備費		
		(前年度)
当初予算額	1,026,298,000円 (	809,653,000円)
予算現額	1,008,293,153円 (	879,671,000円)
決算額	1,002,908,386円 (	858,526,952円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	5,384,767円 (	21,144,048円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 農道整備費【農地整備課】32,249,133円

修繕新盛（1）地区始め8地区

委託農道橋塗膜分析調査

工事亀首地区延長＝391m

原材料28か所

負担金大坪地区始め3地区延長＝165m

2 ため池整備費【農地整備課】56,350,800円

(1) ため池整備事業費54,857,000円

本地池始め10池の工事、実施設計、修繕、樹木伐採等を行いました。

(2) 緊急老朽ため池整備事業費1,493,800円

県営事業の切山池1号地区工事に対し負担金を執行しました。

3 防災ダム事業費【農地整備課】12,813,039円

県営事業の八木池上池・下池地区始め6地区の実施設計及び工事に対し、負担金を執行しました。

4 水路整備費【農地整備課】74,246,290円

修繕上切山（1）地区始め34地区

手数料宇連野（1）支障木緊急伐採

委託李地区用排水路測量設計

工事御幸地区始め2地区延長＝203m

原材料30か所

負担金小松野地区始め11地区延長＝279m

5 排水機場整備費【農地整備課】6,442,700円

千石排水機場始め6排水機場等の修繕等を行いました。

6 中山間地域等活性化戦略費【農地整備課】3,578,256円

中山間地域の農業用施設や農地の荒廃を防止し、耕作放棄地の拡大を防止するためにイノシシ被害復旧等を実施しました。

修繕5か所

原材料2か所

6款 農林水産業費

- 7 用水保全費【農地整備課】 297,225,561円
- (1) 放水門自動装置点検費 7,857,000円
枝下用水放水門・河川門の保守点検を行うため、負担金を執行し、正常な機能確保を図り、災害の未然防止に努めました。
- (2) 水質保全対策事業費 17,149,880円
逢妻地区始め2地区の老朽化した幹線水路及び揚水機場の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (3) 農業水利施設保全対策事業費 1,406,120円
枝下用水5期地区の老朽化した農業用施設の改修を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (4) 県営震災対策農業水利施設整備費(枝下用水地区) 267,247,898円
枝下用水の耐震対策工事を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (5) 県営かんがい排水費(明治用水西井筋地区) 206,672円
明治用水西井筋地区の農業用施設の老朽化、耐震化対策を行う県営事業に対し、負担金を執行しました。
- (6) 農業用用水保全対策費 1,043,000円
矢作川流域の農業用水を安定的に確保するため、森林の保全に係る事業に対し、流域の関係市と補助金を交付しました。
- (7) 矢作川総合第二期地区支援事業費 1,716,000円
明治用水の耐震対策事業に伴う、他目的使用施設の撤去等に係る共同工事の負担金を執行しました。
- (8) 矢作川用水緊急整備事業費 598,991円
国の機能保全計画に基づき、県が実施する羽布ダム1期地区及び矢作川第二1期地区の水利施設整備事業に対し、負担金を執行しました。
- 8 土地改良施設適正化事業費【農地整備課】 120,724,000円
枝下用水9号放水ゲートの更新工事を実施しました。
- 9 県営湛水防除費【農地整備課】 27,209,856円
上郷2期地区始め2地区の県営事業に対し、負担金を執行しました。
- 10 多面的機能支払費【農地整備課】 175,618,814円
農地、農業用施設の草刈りや景観植物の植栽など農村環境保全に取り組む75の活動組織を支援しました。
認定面積 2,480ha
- 11 土地改良事業費補助金【農地整備課】 196,403,300円
- (1) かんがい排水事業補助金(7/10・4/10・2.5/10)
西新No1地区始め79地区 105,950,400円

6款 農林水産業費

(2)	農道整備事業補助金(10/10・5/10・4/10)	
	田代No1地区始め15地区	32,892,900円
(3)	機械揚水事業補助金(0.75/10)	
	御船2地区始め5地区	3,496,000円
(4)	緊急農地防災事業補助金(2.89/10)	
	吉原補助用水地区始め2地区	24,783,000円
(5)	調査設計事業補助金(5/10・9/10)	
	竹元(1)地区始め2地区	25,300,000円
(6)	用水機維持管理事業補助金(3/10)	
	配津揚水機場始め35地区	3,981,000円
12	ふるさと・水と土保全基金積立金【農地整備課】	46,637円
	ふるさと・水と土保全基金の利子を同基金に積み立てました。	

6- 3- 1目 林業費

		(前年度)
当初予算額	985,579,000円	(946,106,000円)
予算現額	980,007,000円	(933,407,000円)
決算額	955,210,163円	(897,642,501円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	24,796,837円	(35,764,499円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(森づくり委員会委員11人、一般職19人、非常勤一般職1人)

【森林課・人事課】	159,633,538円
-----------	--------------
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 39,420円
- 3 林業振興事務費【森林課】 11,312,340円
- 4 市有林管理費【森林課】 12,513,627円
 - (1) 市有林を適正に管理するため、間伐等を実施しました。

切置き間伐	12.56ha(勘八市有林)
植栽	0.74ha(御内市有林)
作業路修繕	1路線(御内市有林)
 - (2) 御内市有林の事務所、林内管理道等の管理を御内自治区に委託しました。
- 5 森林会館費【森林課】 14,110,000円

指定管理者 (一社)ウッディーラー豊田
- 6 矢作川水源林対策費【森林課】 60,396,439円

矢作川流域の水源となる森林を保全するため、(公財)矢作川水源基

金の助成を受け、森林及び作業路の整備に補助しました。

また、この事務の一部を豊田森林組合に委託しました。

矢作川水源林対策事業事務委託 1, 913, 439円

矢作川水源林対策費補助金（定額） 58, 483, 000円

人工造林 0. 13ha

獣害対策（忌避剤散布等） 0. 05ha

獣害対策（防止柵設置） 69. 27m

下刈 10. 06ha

枝打ち 1. 01ha

間伐 90. 36ha

作業路新設 1路線 1, 553m

7 水源環境林整備費【森林課】 14, 802, 618円

森林の持つ公益的機能の充実を図るため、森林所有者と協定を締結している水源環境保全林の間伐しました。

間伐面積 19. 31ha

8 森づくり推進費【森林課】 106, 954, 711円

（1）次期森づくり構想策定を見据え、第4次森づくり基本計画において課題となった事項についての検討委託等を実施しました。

1, 455, 340円

（2）人工林の健全化を効率的に進めるため、団地化を推進するとともに、県が実施するあいち森と緑づくり事業と保安林事業の間伐事業地取りまとめ業務を実施しました。

69, 076, 793円

あいち森と緑づくり事業

取りまとめ面積 391. 71ha

保安林事業

取りまとめ面積 20. 02ha

（3）間伐効果を検証するため、間伐モニタリング調査を引き続き実施しました。

間伐モニタリング調査業務委託 4, 015, 000円

（4）森林作業員の安全性の向上を図り、定着につなげるため、若手森林作業員に対する基礎技術研修を開催しました。

森林作業員基礎技術研修負担金 2, 000, 000円

（5）森づくり会議が実施する森林活用を支援するため、大径木及び竹林の伐採を実施しました。

里山林整備事業委託 7, 983, 578円

（6）豊田市森づくり基本計画に基づき、人工林の間伐を推進する地域組織として「地域森づくり会議」の設立を進めるとともに、実

際に間伐を行う「森づくり団地」の取りまとめを推進しました。

また、森づくり団地の計画認定面積に応じて、地域森づくり会議と豊田森林組合に交付金を支出しました。

森づくり会議設置数 2地域

森づくり団地設置数 39団地

森づくり団地計画認定面積 1, 121. 20ha

森づくり団地化交付金 22, 424, 000円

9 林道整備調査費【森林課】 1, 457, 500円

林道施設管理システムの整備及び林道舗装工事に必要な土質調査を実施しました。

10 林道開設費【森林課】 37, 105, 200円

林業の生産性の向上及び山村地域の活性化を図るため、林道を開設しました。

野入立野線 施工延長： 130m 幅員： 4m

11 林道舗装費【森林課】 68, 946, 900円

林道の走行性及び安全性向上のため、雨水洗掘等により浸食された道路路面の舗装を行いました。

大見山線 舗装延長： 440m 幅員： 4m

尾根線 舗装延長： 920m 幅員： 4m

明外線 舗装延長： 425m 幅員： 4m

エス小屋2号線 舗装延長： 140m 幅員： 4m

舗装延長計：1, 925m

12 林道改良費【森林課】 149, 767, 200円

林道の安全性向上のため、道路のり面危険箇所、道路路面損傷箇所及び道路崩壊箇所の改良と測量設計委託を行いました。

和合黒坂支線 整備延長： 113m

横川入日影線 整備延長： 147m

臼木2号線 整備延長： 189m

名倉道線 整備延長： 109m

野原根山線 整備延長： 670m

小川線 整備延長： 129m

戸越西市野々線 整備延長： 53m

整備延長計：1, 410m

測量設計委託： 2路線

13 林道維持管理費【森林課】 48, 305, 142円

林道を適切に管理するため、林道パトロールを豊田森林組合に委託しました。

14 林道修繕費【森林課】 62, 788, 330円

林道の機能維持と安全性を高めるため、破損した危険箇所の修繕を実施しました。

15 林道橋りょう維持管理費【森林課】 15,785,000円

橋りょうの機能維持と安全性を高めるため、橋りょう修繕を実施しました。

林道橋りょう修繕 無名橋（奥山線）
無名橋（寧比曽線）

16 間伐材搬出利用促進費【森林課】 39,187,810円

（1）作業道の維持補修をするため、原材料を支給しました。

832,810円

（2）間伐材を搬出するため、搬出路の整備に要する経費を補助しました。

搬出路整備延長 40,141m 38,355,000円

17 間伐促進事業費【森林課】 39,800,000円

森林の公益的機能の増進を図るため、人工林での間伐に対して補助しました。

間伐面積 84.05ha

18 林業労働力対策費【森林課】 42,934,000円

（1）森づくり団地化を推進するため、豊田森林組合が雇用する団地化推進員の人件費に対して補助しました。

（2）新規林業就業者を確保するため、豊田森林組合の緑の雇用事業修了者への奨励金及び新規採用職員の林業大学校等への就学に要する経費を補助しました。

19 森林環境教育推進費【森林課】 14,435,319円

（1）森づくりへの市民理解を醸成するため、とよた森林学校等の講座運営の委託や、小学校や企業向けの森林出前講座を実施しました。また、講座の開催案内などを周知する「森の総合サイトTomori」の運営をしました。

森林環境教育講座運営委託

10講座（20回）、受講者数150人（延べ271人）

森林出前講座 39回、1,212人

（2）多くの市民等へ森林への理解を促すために、森林環境教育活動を実施する団体に対し活動経費を補助しました。

森林環境教育活動事業補助金 2団体

3,289,000円

20 高性能林業機械施業促進費【森林課】 34,907,000円

機械化・省力化を推進し、木材生産量を増加させるため、林業経営体が行う高性能林業機械の導入及び借入れに要する経費を補助しまし

た。

購入 1台、 リース 3台、 レンタル 1台

21 地域材利用拡大推進費【森林課】 19,295,069円

(1) 豊田市産材の認知向上と活用促進のため、商品開発、調査研究
及び販路拡大等に係る費用を支出しました。

負担金 1団体 7,173,069円

(2) 新たな地域材利用につなげるため、地域材を活用した飲食店等
の店舗改装に要する経費を補助しました。

木質化モデル創出事業 10件 12,122,000円

22 森林整備市民活動費【森林課】 733,000円

(1) 市民グループによる自主的な森林整備を進めるため、グループ
の立ち上げ経費を補助しました。

森林ボランティア始動支援 2団体 175,000円

(2) 市民グループの活動を支援するため、傷害保険料を補助しまし
た。

森林ボランティア安全対策 15団体 558,000円

◆特記事項

- ・市の予算執行関係では、間伐促進事業、矢作川水源林対策事業、水源環
境林整備事業及び水道水源林保全事業（水道水源保全会計）で
303.63haの私有林を間伐しました。【森林課】
- ・市全体では、あいち森と緑づくり事業等の県の予算執行関係を加え、
866.15haの私有林を間伐しました。【森林課】
- ・「地域森づくり会議」は、これまでに116会議が設立され、711団
地、16,561.77haの人工林が団地化されました。【森林課】
- ・林道、作業道及び搬出路は、市の予算執行関係で41,824mを新た
に整備しました。なお、県代行事業を含む市全体では、42,408m
が整備されました。【森林課】

7款 商工費

7款 商工費		
(前年度)		
当初予算額	4,673,905,000円	(5,672,539,000円)
予算現額	7,467,317,064円	(6,643,004,684円)
決算額	5,731,349,900円	(4,543,639,463円)
翌年度繰越額	952,800,000円	(1,470,399,064円)
不用額	783,167,164円	(628,966,157円)
7- 1- 1目 商工総務費		
(前年度)		
当初予算額	402,269,000円	(372,553,000円)
予算現額	913,333,432円	(907,584,000円)
決算額	483,109,038円	(386,726,761円)
翌年度繰越額	0円	(496,723,432円)
不用額	430,224,394円	(24,133,807円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 人件費（一般職42人、非常勤一般職25人）【人事課】		
	394,165,054円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】		
	1,750,490円	
3 商工総務事務費【産業労働課】		
	489,734円	
4 省エネ設備導入支援補助金【産業労働課・商業観光課】		
	86,703,760円	
省エネ設備導入支援補助金（1／2・定額）		
◎交付件数	137事業所	
7- 1- 2目 商業振興費		
(前年度)		
当初予算額	1,018,196,000円	(1,008,400,000円)
予算現額	1,954,082,000円	(1,059,733,918円)
決算額	1,909,660,612円	(906,842,314円)
翌年度繰越額	2,800,000円	(5,450,000円)
不用額	41,621,388円	(147,441,604円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆	2,800,000円	
拠点施設撤去負担事業	2,800,000円	

7款 商工費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（商業振興委員会委員8人）【商業観光課】452,400円
- 2 商業振興費【商業観光課】6,984,698円
 - (1) 事務費 160,274円
 - (2) 施設整備費 6,824,424円
足助商工会館の改修に向け、地盤調査及び実施設計を行いました。
- 3 産業文化センター費【商業観光課】145,299,648円
 - (1) 管理費 139,253,080円
 - (2) 施設整備費 6,046,568円
耐用年数到達による空気呼吸器の入れ替え、式典用の金屏風を購入しました。
指定管理者（公財）豊田市文化振興財団
施設利用者数 360,891人
- 4 都心駐車場費【商業観光課】18,021,929円
 - (1) 管理費 5,385,431円
 - (2) 施設整備費 12,636,498円
都心地区駐車場の適正な維持管理のため、施設修繕及び管理費の負担を行いました。また、駐車場の環境整備を行いました。
- 5 再開発施設費【商業観光課】212,769,325円
 - (1) 管理費 153,110,699円
 - (2) 施設整備費 59,658,626円
再開発施設の適正な維持管理のため、専用部火災保険料、共用部管理費・修繕費の負担を行いました。また、豊田参合館長寿命化等改修事業において、詳細設計に係る費用を負担しました。
- 6 フリーパーキング費【商業観光課】137,500,000円
フリーパーキング対象駐車場において、公共施設の利用者の駐車料金の一部を負担し、都心駐車場の利便性向上を図りました。
- 7 商業活性化対策費【商業観光課】286,624,837円
 - (1) 商業活性化対策費 12,989,837円
個店等への商業アドバイザー派遣等を実施しました。また、次期商業活性化プランの策定に向けた産業実態調査の業務委託を行いました。
 - (2) 商業活性化推進交付金 2団体 22,340,000円
商業振興条例に基づき、商業活性化推進3か年計画を策定した団体から申請のあった各種事業について支援しました。
 - (3) 魅力あふれる店舗創出事業補助金（5／10）
6件 994,000円

店舗及び商品の宣伝における取組を支援し、魅力ある商業機能の維持・充実を図りました。

(4) 商業・サービス機能誘致奨励金(定額)

1団体 1,468,000円

商業振興条例に基づき、商業・サービス機能誘致推進に関する基本方針を策定した地域内で、商業・サービス機能の拠点となる施設を誘致した事業者に奨励金を交付しました。

(5) 商店街等事業機会拡大事業補助金(9/10・8/10・5/10・4/10) 9団体 10,350,000円

商店街等活性化計画を策定した商業団体が実施する販売促進等の事業機会の拡大や、研修会開催などの人材育成事業に対して支援しました。

(6) 商店街等施設整備事業補助金(9/10・5/10)

3団体 1,332,000円

商業団体が実施する商店街の活性化を図る施設・設備の整備に対して支援しました。

(7) 公共空間等整備事業補助金(8/10・5/10)

1団体 39,624,000円

再開発施設のレストスペースの整備に対して支援しました。

(8) 街路灯電灯料支援事業補助金(9/10)

16団体 8,467,000円

商店街等商業団体が維持管理する街路灯の電灯料について支援しました。

(9) 街路灯整備事業補助金(8/10・5/10)

5団体 11,338,000円

商店街等商業団体が設置する街路灯のLED化などの改修等を支援しました。

(10) 中小企業指導事業補助金(8/10・5/10)

8団体 74,365,000円

豊田商工会議所や商工会等が行う経営改善普及事業等について支援しました。

(11) 中心市街地活性化協議会活動支援事業補助金(8/10・5/10) 1団体 74,000円

(12) 商業パワーアップ支援補助金(5/10)

12件 8,460,000円

市内商業者の事業転換、事業拡大、業務効率化に対して支援しました。

(13) 商店街等プレミアム商品券発行事業補助

93,104,000円

市内での消費喚起を促し、地域経済の好循環を生み出すため、
12団体に対して商品券発行に係る補助を実施しました。

(14) 山村地域貢献事業応援補助金(5/10)

2件 679,000円

山村地域に求められる買い物関連事業に対して支援し、買い物
環境の維持・向上を図りました。

(15) 中心市街地商店街等店舗等整備事業補助

1団体 1,040,000円

8 中心市街地活性化対策費【商業観光課】 17,304,033円

(1) 中心市街地情報提供費 3,101,561円

歩行者通行量自動計測装置等の管理を行いました。

(2) まちなか賑わい・回遊性向上費 4,202,472円

中心市街地の回遊性を高めるために、「映画を活かしたまちづ
くり実行委員会」が映画作品と連携したスタンプラリー等を実施
しました。

(3) イルミネーションストーリー実行委員会負担金

10,000,000円

中心市街地の賑わいを創出するため、中心市街地一帯をイルミ
ネーションで装飾する費用を負担しました。

9 キャッシュレスポイント還元事業費【商業観光課】

1,007,654,586円

新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受ける市内経済にお
いて、消費喚起を図るため、還元率20%のポイント付与事業につい
て負担しました。

10 エリアマネジメント推進費【商業観光課】 56,600,956円

(1) 公共空間活用推進費 43,962,300円

あそべるとよた推進協議会に対し公共的空間活用事業の経費、
都市再生推進法人に対し自立したエリアマネジメントに向けた事
業の経費及びラリー駅前イベントの開催に係る経費を支援しまし
た。

(2) エリアマネジメント推進人材活用補助金

(10/10・8/10) 12,638,656円

都市再生推進法人がまちづくりに関して事業を実施する上で必
要となる人材の登用に係る費用を支援しました。

11 農商工連携促進費【商業観光課】 1,204,200円

特産品の販路拡大のために「とよたの特産品展実行委員会」が行う
特産品展の開催について負担しました。

7款 商工費

12 産業展負担金【商業観光課】 13,000,000円

名 称 とよた産業フェスタ2023

開催日 令和5年9月30日(土)、10月1日(日)2日間

13 コンベンション開催支援補助金(1/2・定額)【商業観光課】
57件 6,244,000円

市内の消費喚起を推進するため、企業団体が主催する会議等に要する経費に対して支援しました。

◆特記事項

拠点施設撤去負担事業において、デッキ工事の施工時期に合わせてコンテナ施設の撤去を実施するため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【商業観光課】

7- 1- 3目 工業振興費

(前年度)

当初予算額	2,548,558,000円	(2,211,176,000円)
予算現額	2,736,702,000円	(2,241,803,400円)
決算額	1,511,805,575円	(1,453,740,206円)
翌年度繰越額	950,000,000円	(413,419,000円)
不用額	274,896,425円	(374,644,194円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 950,000,000円

カーボンニュートラル創エネ促進補助事業 500,000,000円

カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助事業 450,000,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(産業振興委員会委員9人、企業立地審査会委員4人、ものづくり創造補助事業審査会委員4人) 492,500円

【産業労働課・次世代産業課】

2 工業振興事務費【産業労働課】 11,198,363円

3 工業振興推進費【次世代産業課】 137,949,791円

(1) イノベーションセンター運営費

産学官の連携により「とよたイノベーションセンター」を運営し、イノベーションセミナー、人材育成講座、技術経営相談、支援機関への講習会等を実施しました。また、豊田市DX推進プラットフォーム事業として相談窓口やDX促進アドバイザー派遣、DX推進セミナー等を実施しました。

セミナー・講座等受講者 544人

技術経営相談 634件

支援機関への講習会等	20回
D X相談窓口等支援社数	48社
(2) ものづくり創造拠点運営費	
試作開発スペース、交流スペース、セミナールーム等を併せ持つ「ものづくり創造拠点」や実証フィールドで、ものづくり企業・団体の新事業展開、人材育成等を支援しました。	
登録団体	105団体
ものづくりミライ塾参加者	37人
(3) 新事業展開支援費	
新規事業計画策定に向けたワークショップや、事業拡大やオープンイノベーションの推進を図るイベント等をオンライン併用で実施し、市内企業の新たな事業展開を支援しました。	
新規事業創出取組促進事業	8社
ピッチイベント	8社登壇
起業のキッカケづくり連続セミナー	4回
(4) ものづくりブランド創出活用費	
市内企業の優れた技術や製品を豊田ものづくりブランドとして認定し、PR動画を制作しました。	
認定技術・製品数	5件
(5) ものづくり創造補助金(1/2)	
市内中小企業の新事業展開や、スタートアップの事業化に向けた活動に必要な経費の一部を補助しました。	
補助件数	7件
(6) 次世代航空モビリティ産業化推進費	
次世代航空モビリティ協業ネットワークを中心に、開発報告&提案会、物流ドローンを活用した防災訓練、普及啓発イベント等を実施しました。	
市内企業等との協業実績	10件
4 デジタル化促進費【産業労働課・次世代産業課】	
	37,164,156円
(1) デジタル人材育成支援費	
メタバースを活用した企業等のPRを実施しました。また、デジタル人材育成のため、企業従業員や求職者等を対象としたスキルアップ研修を実施しました。	
研修受講者 延べ	101人
(2) デジタル技術活用促進費	
D Xに挑戦する中小企業に対して支援しモデル事例を創出するとともに、市内企業へ横展開を図りました。また、ものづくり創	

造拠点にローカル5Gの実証スペースを整備しました。

支援件数 3件

5 経営力高度化支援費【産業労働課】 38,060,480円

(1) 人材マッチング支援費

市内の中小企業に対して、人材確保や育成に関わるコンサルティングや若年層との接点づくり、副業兼業人材の活用などの実践取組を通じた伴走支援を行いました。また、多世代を対象とした職場体験や、高校生等に対して市内企業の魅力を伝えるための取組を実施しました。

人材確保強化支援事業への参加企業数 12社

高校生取材型中小企業魅力発信事業への参加企業数 10社

(2) 中小企業経営力高度化事業補助金(1/2)

人材育成、人材確保、販路拡大等の経営課題に取り組む市内中小企業等に対し、経費の一部を補助しました。

補助件数 103件

6 カーボンニュートラル促進費【産業労働課・次世代産業課】

238,131,000円

(1) カーボンニュートラル取組拡大支援費

中小企業等のカーボンニュートラル取組促進のため、相談窓口の設置や個別訪問による啓発のほか、コンサルティング支援を行いました。

相談窓口件数 20件

個別訪問件数 90件

コンサルティング支援件数 5件

(2) カーボンニュートラル創エネ促進補助金(2/3・1/2)

再生可能エネルギー発電設備等を導入する中小製造業事業者に対し、経費の一部を補助しました。

交付件数 15事業所 188,252千円

(3) カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金

(1/2・1/3)

既存設備をエネルギー消費効率の優れた指定生産設備に更新する中小製造業事業者に対し、経費の一部を補助しました。

交付件数 6事業所 41,365千円

7 産業立地政策推進費【産業労働課】 1,031,100,300円

(1) 産業誘致活動費

企業誘致を推進するため、産業用地整備候補地を選定し、土地利用計画図の作成、事業概算費の試算などを実施しました。

(2) 企業誘致推進補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

企業立地奨励金 1事業所 177,010千円

(3) 企業立地奨励補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

企業立地奨励金 10事業所 689,100千円

中小企業設備投資奨励金 2事業所 79,437千円

市民雇用奨励金 2事業所 3,000千円

新エネルギー設備設置奨励金 1事業所 2,888千円

(4) 創造産業立地補助金(定額)

◎交付件数及び交付金額

創造産業立地補助金 1事業所 68,123千円

8 産業情報提供費【産業労働課】 602,360円

産業振興施策に必要な情報を収集するとともに、企業支援情報サイト「とよた産業ナビ」により、市内企業に対して積極的に情報提供を行いました。

9 建設業振興推進費【産業労働課】 1,106,100円

豊田商工会議所建設業部会と連携し、各展示会等で効果的に建設業界のPR活動ができるよう、PRパネル等の作成を行いました。

10 先人顕彰事業負担金【産業労働課】 856,500円

本市の礎を築いた先人の「まちづくり」「ものづくり」精神を伝承するため、「中村寿一・豊田喜一郎顕彰会事業」に負担金を支払いました。

献花式開催日 令和6年3月2日(土)

11 ものづくり未来創造基金積立金【次世代産業課】 344,025円

12 産業用地造成事業特別会計繰出金【産業労働課】

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業繰出金

14,800,000円

◆特記事項

カーボンニュートラル創エネ促進補助事業及びカーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助事業において、事業者による2か年に渡る設備工事に対応するため、9月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【産業労働課】

7款 商工費

7- 1- 4目 金融対策費			
			(前年度)
当初予算額	219,440,000円	(	548,550,000円)
予算現額	350,066,116円	(	693,550,000円)
決算額	338,217,576円	(	690,886,449円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	11,848,540円	(	2,663,551円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1	金融対策事務費【商業観光課】	202,576円	
	事前信用調査の実施など、各種制度融資の普及・啓発に努めました。		
2	信用保証料補助金（10／10・7.5／10）【商業観光課】	148,015,000円	
	中小企業が信用保証制度を利用して融資を受ける際に負担する信用保証料を補助しました。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み緊急経済対策補助金を交付しました。		
	補助件数 1,124件（うち、緊急経済対策補助金は735件）		
3	資金融資費【商業観光課】	190,000,000円	
	中小企業の健全な事業活動を支援するため、融資取扱い金融機関へ預託を行いました。		
	（1）小規模企業等振興資金預託金（振、振小）		
	預託額	141,000,000円	
	融資決定件数	287件	
	融資決定金額	1,286,320,000円	
	（2）商工業者事業資金預託金（マルトヨ）		
	預託額	49,000,000円	
	融資決定件数	53件	
	融資決定金額	174,140,000円	
7- 1- 5目 消費者行政費			
			(前年度)
当初予算額	27,776,000円	(	27,163,000円)
予算現額	29,826,000円	(	27,036,000円)
決算額	29,194,908円	(	25,887,018円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	631,092円	(	1,148,982円)

7款 商工費

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 消費者行政推進費【商業観光課】 1, 205, 839円
消費者の権利を守るため、消費生活相談業務を行いました。
相談件数 2, 692件（対前年 +21件）
- 2 消費者啓発費【商業観光課】 5, 072, 690円
消費者被害を未然に防止するため、市内企業や団体の依頼を受け消費生活講座を行いました。
講座開催 30回（参加者2, 067人）
消費者啓発資料の配布やCATV等を利用して消費者に情報提供しました。
- 3 豊田消費生活センター費【商業観光課】 13, 451, 387円
- 4 計量行政推進費【商業観光課】 9, 464, 992円
計量の適正化を図るため、定期検査や各種立入検査を実施しました。

量目検査	10店	400個
燃料油メーター検査	11店	262器
特定計量器定期検査	310営業所	1, 111器
大型計量器定期検査	16営業所	17器

7- 1- 6目 観光費

（前年度）

当初予算額	457,666,000円	（ 1,504,697,000円）
予算現額	1,483,307,516円	（ 1,713,297,366円）
決算額	1,459,362,191円	（ 1,079,556,715円）
翌年度繰越額	0円	（ 554,806,632円）
不用額	23,945,325円	（ 78,934,019円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 観光事務費【商業観光課】 7, 049, 762円
- 2 観光基本計画策定費【商業観光課】 5, 519, 150円
次期観光実践計画策定のための準備業務の委託を実施しました。
- 3 観光まちづくり推進費【商業観光課】 5, 708, 419円
本市観光の豊かな知識を習得した人材を育成するため、とよた観光おもてなしパートナー講座を開催しました。
「観光おもてなしパートナー」講座1回 パートナー認定16名
観光資源の魅力発信のため、市内に12か所整備した官民連携による観光ゲートウェイ拠点の運営を継続しました。
「豊田市ジブリパーク来訪者おもてなし協議会」にて、市内観光などを促す広報物の作成及びタクシーチケット事業等を実施しました。

7款 商工費

大河ドラマ「どうする家康」を契機とした地域活性化及び観光客の増加を図るため、パネル展の開催などに取り組みました。

「どうする家康」パネル展 来場者 1, 500人

4 観光プロモーション費【商業観光課】 22, 604, 730円

映像文化の醸成等を図るため、西広瀬小学校における映像制作体験事業の実施や、「ラリージャパン2023」PRドラマの制作支援等を実施しました。

5 来訪者受入環境推進費【商業観光課】 1, 540, 000円

豊田市駅東口のデジタルサイネージを活用し、情報発信を実施しました。

6 松平地区回遊歩道費【商業観光課】 280, 137円

7 松平郷観光施設費【商業観光課】 11, 974, 987円

(1) 施設管理費 10, 922, 067円

入口駐車場トイレ及び車止め、遊歩道、天下茶屋排水枡蓋の修繕を実施しました。

(2) 施設整備費 1, 052, 920円

松平郷園地年間利用者数 98, 400人

8 王滝溪谷観光施設費【商業観光課】 53, 503, 555円

(1) 施設管理費 12, 960, 855円

(2) 施設整備費 40, 542, 700円

王滝湖かけ橋修繕を実施しました。

王滝溪谷 年間利用者数 98, 584人

うちバーベキュー場利用者数 2, 432人(302組)

9 猿投地区観光施設費【商業観光課】 5, 511, 961円

(1) 施設管理費 3, 581, 461円

猿投山、猿投神社 年間利用者数 339, 708人

(2) 施設整備費 1, 930, 500円

猿投山観光展望台への階段の修繕を実施しました。

10 東海自然歩道費【商業観光課】 1, 842, 428円

施設管理費

東海自然歩道 4地区(豊田、藤岡、足助、旭)

年間利用者数 171, 338人

11 豊田おいでんまつり開催負担金【商業観光課】

229, 948, 571円

第55回豊田おいでんまつり(マイタウン、総踊り、花火大会)

を開催しました。

12 観光協会補助金【商業観光課】 107, 085, 256円

(1) ツーリズムとよた補助金(定額) 102, 096, 256円

7款 商工費

本市の地域資源の魅力を引き出し、国内外からの観光客の誘致促進による地域経済の活性化に向けて一般社団法人ツーリズムとよたに対し補助金を交付しました。

ホームページ総ページPV数 419万PV

正会員数 199会員

(2) 松平観光協会補助金(定額) 4,989,000円

松平地区の観光資源を生かし誘客を図る松平観光協会に対し補助金を交付しました。

13 宿泊事業者等支援事業費【商業観光課】

1,006,793,235円

ラリージャパン2023、NHK大河ドラマ「どうする家康」を契機とし、多くの来訪者の市内滞在による消費喚起のため、とよた宿割を実施しました。

8款 土木費

8款 土木費		
(前年度)		
当初予算額	32,278,048,000円	(26,761,172,000円)
予算現額	39,033,400,659円	(31,771,590,979円)
決算額	32,507,380,420円	(24,601,870,799円)
翌年度繰越額	5,493,020,119円	(6,428,503,659円)
不用額	1,033,000,120円	(741,216,521円)
8- 1- 1目 土木総務費		
(前年度)		
当初予算額	652,093,000円	(646,270,000円)
予算現額	599,142,000円	(653,422,000円)
決算額	574,924,756円	(632,708,689円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	24,217,244円	(20,713,311円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要		
1 人件費(一般職71人、非常勤一般職6人) 【人事課】	572,633,499円	
2 非常勤一般職管理事務費 【人事課】	498,820円	
3 土木総務事務費 【土木管理課】	1,792,437円	
8- 1- 2目 建築管理費		
(前年度)		
当初予算額	34,913,000円	(158,929,000円)
予算現額	48,425,000円	(125,806,000円)
決算額	44,842,016円	(100,228,303円)
翌年度繰越額	0円	(15,992,000円)
不用額	3,582,984円	(9,585,697円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要		
1 建築管理事務費 【建築整備課】	8,291,328円	
2 建築保全事務費 【建築予防保全課】	942,228円	
3 建築計画事務費 【建築予防保全課】	4,360円	
4 公共建築物設計費 【建築整備課】	35,604,100円	
旧北部給食センター解体工事等の設計を行いました。		

8- 1- 3目 建築審査費		
		(前年度)
当初予算額	250,504,000円 (	191,366,000円)
予算現額	224,784,000円 (	179,460,000円)
決算額	221,431,646円 (	173,483,270円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	3,352,354円 (	5,976,730円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要		
1 人件費(建築審査会委員 4 人、開発審査会委員 5 人)		
【 建築相談課・開発調整課 】	571,300円	
2 建築審査事務費【 建築相談課 】	9,471,349円	
(1) 建築確認申請等受付件数(中間・完了検査含む。)	93件	
許可・認定申請受付件数	23件	
仮使用認定申請受付件数	2件	
(2) 長期優良住宅建築等計画認定申請受付件数	916件	
(3) 人にやさしい街づくりの推進に関する条例		
整備計画届出受理件数	79件	
適合証請求受理件数	9件	
3 開発審査事務費【 開発調整課 】	2,178,943円	
都市計画法		
開発許可申請受付件数	195件	
建築許可申請受付件数	295件	
4 開発事業監視費【 開発調整課 】	389,972円	
パトロール実施回数	699回	
5 造成宅地防災区域指定等調査費【 開発調整課 】	40,975,077円	
区域指定調査	918km ²	
既存盛土調査	502か所	
6 建築安全対策事務費【 定住促進課 】	7,292,906円	
空き家実態調査を行いました。		
7 後退用地整備費【 建築相談課・土木管理課・土木課 】	128,312,199円	
(1) 狭あいな生活道路解消のため、道路側溝、舗装等の整備を行いました。		
寄附採納筆数	140筆	
寄附採納面積	1,062m ²	
整備工事	3件	

8款 土木費

整備延長	1, 4 4 0 m
(2) 指定道路台帳の更新を行いました。	
指定道路更新件数	6 4 件
(3) 建築基準法道路情報の更新データを作成しました。	
作成件数	2 1 8 件
(4) 建築基準法道路情報を公開しました。	
8 位置指定道路整備費【土木課】	3 2, 2 3 9, 9 0 0 円
位置指定部分の寄附を受け、舗装等の整備を行いました。	
整備工事	1 件
整備延長	3 4 2 m
8- 2- 1目 道路橋りょう総務費	
	(前年度)
当初予算額	702,226,000円 (637,485,000円)
予算現額	679,085,000円 (654,012,000円)
決算額	664,036,584円 (639,538,238円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	15,048,416円 (14,473,762円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(一般職50人、非常勤一般職15人)【人事課】	4 7 3, 5 4 4, 4 3 7 円
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	9 0 0, 1 0 0 円
3 道路橋りょう総務事務費	2 8, 8 1 0, 4 2 1 円
【建設企画課・土木管理課・道路維持課・道路予防保全課・土木課・地域建設課】	
建設分野のD X推進のため、デジタルツインの構築に向けた市道の3次元点群データの取得等を行いました。	
4 道路橋りょう台帳等整備費【土木管理課】	9 8, 7 5 8, 0 0 0 円
道路・橋りょうの管理の適正化のため、道路法に基づき道路台帳の更新及び道路台帳のオープンデータ化を行いました。	
道路台帳整備	路線数 2 0 2 路線 延長 3 3. 2 k m
5 道路内民地処理費【土木管理課・地域建設課】	1 3, 3 4 4, 8 2 6 円
道水路内の民有地の所有権を取得するために、用地確定測量等を行い、寄附を受けました。	
5 3 筆(3, 1 4 3 m ²)	
6 公有地境界確認費【土木管理課】	4 8, 6 2 8, 8 0 0 円

8款 土木費

公有地（道水路）の境界確認業務の一部を委託し実施しました。

境界立会件数 841件

7 県道改修促進期成同盟連合会等補助金（定額）【地域建設課】

50,000円

8- 2- 2目 道路橋りょう維持費

（前年度）

当初予算額 4,030,964,000円 （ 3,970,234,000円 ）

予算現額 4,929,175,577円 （ 4,932,462,000円 ）

決算額 4,413,236,889円 （ 4,084,209,855円 ）

翌年度繰越額 265,120,000円 （ 722,923,577円 ）

不用額 250,818,688円 （ 125,328,568円 ）

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 265,120,000円

路面舗装事業（市道藤岡深見田茂平線外5路線） 53,420,000円

橋りょう修繕事業（小原橋外273橋） 211,700,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 道路橋りょう維持管理費【道路維持課・地域建設課】

142,649,530円

降雪、凍結時に道路交通の円滑化と事故防止を図るため、凍結防止剤の散布を行い、道路の安全確保に努めました。

また、側溝や排水管の清掃及び道路の維持修繕等を実施し、生活環境整備と道路の適正管理に努めました。

2 道路等管理費【市街地整備課・道路維持課】

1,059,299,843円

（1）道路等管理委託費 943,825,196円

街路樹管理

高中木 11,800本

低 木 A = 157,908㎡

草 刈 A = 552,867㎡

道路清掃 L = 1,100km

（2）歩行者専用道等維持管理費 54,651,522円

豊田市駅東デッキの巡視点検、昇降機の保守点検修繕等により歩行者の安全確保に努めました。

（3）浄水駅歩行者専用道等維持管理費 42,041,509円

（4）市道土橋駅南北歩行者道線維持管理費 11,323,530円

（5）鞍ヶ池スマートインターチェンジ周辺維持管理費

7, 458, 086円

3 道路修繕費【道路維持課・地域建設課】

1, 984, 062, 980円

(1) 道路側溝修繕費 216, 167, 730円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、道路側溝修繕を実施し、生活環境の改善に努めました。

工事 18か所 L = 1, 609m

また、101か所の緊急修繕を実施しました。

(2) 地域道路側溝修繕費 355, 493, 957円

旭・足助・稲武・下山地区において、道路側溝修繕を実施し、生活環境の改善に努めました。

工事 25か所 L = 1, 861m

また、230か所の緊急修繕を実施しました。

(3) 路面舗装修繕費 1, 073, 237, 000円

旧豊田市・藤岡・小原地区において、路面舗装修繕を実施し、交通安全対策に努めました。

工事 19か所 A = 43, 648m²

また、552か所の部分補修及び6, 794mの亀裂充填を実施しました。

(4) 地域路面舗装修繕費 282, 592, 393円

旭・足助・稲武・下山地区において、路面舗装修繕を実施し、交通安全対策に努めました。

工事 21か所 A = 21, 483m²

また、30か所の緊急修繕を実施しました。

(5) 歩道修繕費 55, 702, 900円

歩道修繕を実施し、歩行者の安全確保に努めました。

市道公園線始め14路線

(6) 街路樹補植費 869, 000円

道路景観確保のために木の補植を行い、快適な道路環境整備を図りました。

高木 11本

4 橋りょう修繕費【道路予防保全課】 832, 474, 236円

(1) 橋りょう修繕費 6, 875, 550円

橋りょうの緊急修繕を実施し、施設の安全確保に努めました。

橋りょう緊急修繕 6橋

(2) 橋りょう長寿命化修繕費 746, 604, 686円

橋りょうの長寿命化修繕及び点検を実施し、施設の延命化を図り、安全確保に努めました。

8款 土木費

		橋りょう長寿命化修繕	121橋
		橋りょう定期点検	190橋
(3)	竜宮橋(継続費)		78,994,000円
竜宮橋において、予防保全型の修繕を行い、施設の延命化を図り、安全確保に努めました。			
5	道路防災対策費【道路予防保全課・地域建設課】		
			254,769,800円
危険度の高いのり面から防災対策を実施し、道路の安全確保に努めました。			
		市道七壳林添線始め11路線	12か所
6	耐震対策費【道路予防保全課】		
			139,980,500円
地震に対する安全性を確保するため、重要法定外道路橋の耐震補強工事を行いました。			
		重要法定外道路橋耐震補強工事	2橋
◆特記事項			
・路面舗装事業の市道藤岡深見田茂平線外5路線において、国の補正予算(第1号)に伴い、3月議会で53,420千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【道路維持課】			
・橋りょう修繕事業の小原橋外273橋において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。また、国の補正予算(第1号)に伴い、3月議会で78,619千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。			
【道路予防保全課】			
8- 2- 3目 道路新設改良費			
(前年度)			
当初予算額	1,570,538,000円	(	804,427,000円)
予算現額	1,903,254,000円	(	1,367,461,000円)
決算額	1,577,859,656円	(	1,090,486,559円)
翌年度繰越額	205,402,000円	(	185,457,000円)
不用額	119,992,344円	(	91,517,441円)
●翌年度繰越額			
☆継続費☆			140,946,000円
市道改良事業(市道堤駒場線外1路線)			140,946,000円
☆繰越明許費☆			64,456,000円
市道新設事業(市道豊田西部2号線)			57,656,000円
市道改良事業(市道四郷25号線)			6,800,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 市道新設費【幹線道路推進課・土木課】 181,575,441円

整備優先度の高い市道の新設事業を行い、住民の利便性の向上と交通の安全確保を図りました。

市道松平志賀大見線始め3事業 整備延長L = 1,360m

- 2 市道改良費1【市街地整備課・幹線道路推進課・土木課】

842,613,437円

整備優先度の高い市道の改良事業を行い、住民の利便性の向上と交通の安全確保を図りました。

市道落合向井山線始め9事業 整備延長L = 1,594m

- 3 市道改良費2 529,446,778円

【市街地整備課・区画整理支援課・幹線道路推進課・土木課・

地域建設課】

整備優先度の高い市道の改良事業を行い、住民の利便性の向上と交通の安全確保を図りました。

市道力石中金線始め14事業 整備延長L = 1,920m

- 4 市道舗装費【土木課】 13,196,500円

市道の路面舗装整備を行い、利用者の利便性の向上を図りました。

3路線 舗装面積A = 1,228㎡

- 5 法定外道路改良費【土木課】 11,027,500円

豊田市法定外道路整備工事分担金条例及び同規則に基づき、整備工事の採択要件を満たす法定外道路の整備を行い、地域住民の利便性の向上を図りました。

4か所 整備延長L = 350m

◆特記事項

- ・市道新設事業の市道豊田西部2号線において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【幹線道路推進課】
- ・市道改良事業の市道四郷25号線において、関連する愛知県事業の年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【区画整理支援課】

8- 3- 1目 安全維持費			
			(前年度)
当初予算額	518,550,000円	(	462,286,000円)
予算現額	498,230,000円	(	498,286,000円)
決算額	464,535,162円	(	468,350,112円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	33,694,838円	(	29,935,888円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要			
1 安全維持事務費【交通安全防犯課・道路維持課】			
			2, 462, 160円
(1) 交通対策事務費			2, 134, 415円
(2) 安全施設事務費			327, 745円
2 交通安全施設維持管理費【道路維持課・地域建設課】			
			231, 134, 035円
(1) 道路照明灯等維持管理費			95, 205, 839円
	電気料及びLED道路照明灯借入れ		
(2) 地域道路照明灯等維持管理費			2, 030, 421円
(3) 危険箇所維持補修費			83, 465, 855円
	旧豊田市・藤岡・小原地区において、道路照明灯の老朽化による建て替え、電球切れ等について早急な修繕を行い、交通安全対策に努めました。また、安全施設損傷箇所修繕のためガードレール、カーブミラー等の補修用原材料の確保と早急な対応により道路の適正管理に努めました。		
	道路照明灯球交換 125か所 修繕 215か所		
(4) 地域危険箇所維持補修費			3, 590, 620円
	旭・足助・稲武・下山地区において、道路照明灯、ガードレール等の修繕を行いました。		
	修繕 21か所		
(5) 交通安全施設更新事業			29, 201, 700円
	計画的に交通安全施設の点検を実施し、点検結果に基づく計画的な修繕を実施することにより、交通安全施設の適正管理に努めました。		
	交通安全施設点検		
	道路照明灯 690基		
(6) 地域交通安全施設更新事業			17, 639, 600円
	旭・足助・稲武・下山地区において、カーブミラー、道路照明灯LED化等の修繕を行いました。		

	カーブミラー、道路照明灯LED化等修繕	40基
	道路照明施設点検	114基
3	交通安全施設整備費【交通安全防犯課】	169,821,067円
(1)	事故防止対策費	163,837,067円
	交通事故防止対策として、交差点、カーブ、通学路等の交通危険箇所に対し、交通安全施設の整備を行いました。	
	対策箇所	381か所
	主な内容	防護柵 1,237m
		カーブミラー 121基
		区画線 62,441m
		カラー舗装 408㎡
	押しボタン式横断者明示標識	2か所
(2)	ゾーン30施設整備費	5,984,000円
	猿投台・井郷地区において交通安全施設の整備を行いました。	
	主な内容	カラー舗装 22.9㎡
		区画線 883.5m
4	二輪車駐車場費【交通安全防犯課・建築予防保全課】	
		60,479,465円
(1)	管理運営費	48,202,767円
(2)	施設保全費	713,900円
	豊田市駅東駐輪場の自転車搬送コンベアベルト取替修繕を行いました。	
(3)	施設整備費	1,210,000円
	昭和町駐輪場の移設検討図面の作成を行いました。	
(4)	朝日ヶ丘自転車等保管所管理費	1,074,514円
(5)	放置自転車等防止対策費	9,278,284円
	自転車等撤去台数	1,106台
	自転車等返還台数	249台
	自転車等売却台数	754台
5	違法駐車等防止対策費【交通安全防犯課】	638,435円
	勧告等による自主撤去	2台
	道路法に基づく強制撤去	1台

8- 3- 2目 歩道等整備費

(前年度)

当初予算額	390,305,000円	(386,141,000円)
予算現額	556,973,000円	(564,931,000円)
決算額	478,815,369円	(423,978,752円)
翌年度繰越額	53,000,000円	(83,350,000円)
不用額	25,157,631円	(57,602,248円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	53,000,000円
歩道設置事業（市道藤岡飯野広瀬線）	12,000,000円
歩行者・自転車通行環境整備事業	41,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 道路交通安全対策費【土木課】 10,358,700円

交通事故多発地点において、安全対策を実施し、道路利用者の安全確保を図りました。

交通事故多発地点対策事業 整備延長L = 280m

2 歩道設置費【土木課】 407,397,869円

整備優先度の高い市道について、歩道の新設改良事業を行い、歩行者の安全確保を図りました。

市道六ツ木岩倉線始め4事業 整備延長L = 1,152m

3 歩行者・自転車通行環境整備費【土木課】 61,058,800円

豊田市自転車活用推進計画に基づき、自転車通行空間の整備を行い、歩行者及び自転車利用者の安全確保を図りました。

歩行者・自転車通行環境整備事業 整備延長L = 1,061m

◆特記事項

- ・歩道設置事業の市道藤岡飯野広瀬線において、補償契約物件の移転に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】
- ・歩行者・自転車通行環境整備事業において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で41,000千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【土木課】

8款 土木費

8- 4- 1目 河川総務費

(前年度)

当初予算額	560,564,000円	(774,092,000円)
予算現額	668,522,000円	(718,214,000円)
決算額	629,613,203円	(568,703,725円)
翌年度繰越額	20,397,200円	(102,000,000円)
不用額	18,511,597円	(47,510,275円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	20,397,200円
(仮) 水辺ふれあいプラザ整備事業	20,397,200円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（一般職21人、非常勤一般職6人）【人事課】

184,757,130円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】

709,320円
- 3 河川総務事務費【河川課】

2,398,485円
- 4 河川等施設費【河川課】

138,268,213円

 - (1) 樋門施設の維持管理 宝蔵川始め12施設
 - (2) 調整池の草刈り及び施設維持
 - (3) 排水ポンプ車の維持管理
 - (4) 雨水排水施設等の維持管理
- 5 矢作川研究所費【河川課】

12,425,634円

 - (1) 事務費

637,452円
 - (2) 河川環境啓発広報費

1,858,140円

矢作川研究所広報誌の作成及びシンポジウムを開催しました。
 - (3) 河川等環境調査研究費

187,877円

健全な河川環境を回復するため、地域住民と共働で外来生物対策を実施しました。
 - (4) 矢作川生態系リフレッシュ費

9,228,729円

矢作川の河床環境と生物生息状況を調査し、改善策を検討しました。
 - (5) 矢作川流域モニタリング調査費

513,436円

矢作川本流で水生生物及び水温のモニタリング調査を行いました。
- 6 総合雨水計画策定費【河川課】

23,322,100円

豊田市総合雨水対策マスタープランに基づき、家下川の整備計画を作成しました。
- 7 総合雨水対策費【河川課】

583,055円

8款 土木費

雨水浸透阻害行為の許可標識等を製作し、設置しました。

8 矢作川水防災協議会費【河川課】 14,037,540円

豊田市3D洪水ハザードマップを作成しました。

9 矢作川改修促進費【河川課】 50,744,824円

矢作川改修促進に係る市管理河川の改修検討を実施し、協議資料を作成しました。

10 (仮)水辺ふれあいプラザ整備費【河川課】

142,591,509円

水辺の親水性向上のため、水路等の工事を行いました。

11 急傾斜地崩壊対策負担金【土木管理課】 59,698,393円

愛知県が行う急傾斜地崩壊対策事業で、25か所の実施に伴う事業費の一部を負担しました。

工事 17か所

調査・設計 8か所

12 雨水貯留浸透施設補助金(1/2)【下水道建設課】

77,000円

降雨時の河川の負担軽減及び雨水の有効利用を目的として、雨水貯留浸透施設を新たに設置するものに対し、経費の一部を補助しました。

補助実績：4件

◆特記事項

(仮)水辺ふれあいプラザ整備において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8- 4- 2目 河川改良費

(前年度)

当初予算額	1,316,263,000円	(1,051,592,000円)
予算現額	1,884,808,400円	(1,655,286,055円)
決算額	1,297,072,977円	(1,015,559,868円)
翌年度繰越額	513,569,700円	(604,227,400円)
不用額	74,165,723円	(35,498,787円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	396,925,600円
河川改良事業(準用河川長田川)	396,925,600円
☆繰越明許費☆	116,644,100円
河川改良事業(準用河川大見川)	70,509,100円

8款 土木費

河川修繕事業（準用河川逢妻男川）

1,191,000円

矢作川水辺空間利活用事業

44,944,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 河川改良費【河川課】 587,210,760円
治水安全度を高めるため、準用河川大見川始め4河川の改良工事及び設計等を実施しました。
- 2 河川修繕費【地域建設課・河川課】 424,822,046円
河川施設の局所的な老朽化や損傷箇所等の維持修繕を実施しました。
普通河川逢妻男川始め159か所
- 3 河川監視事業費【河川課】 9,799,393円
漁協との共働により、河川管理施設の監視活動を実施しました。
- 4 安永川浄化対策費【河川課】 14,751,441円
安永川浄化用水施設を適正に管理し、市街地における準用河川の水質浄化に努めました。
- 5 矢作川環境対策費【河川課】 4,389,652円
市民の憩いの場として矢作緑地の活用を図るため、散策路等の管理を実施しました。
- 6 矢作川環境整備費【河川課】 162,572,500円
(1) 矢作川水辺プロジェクト費
矢作川水辺空間の利活用を推進するため、高水敷の水辺散策路等施設整備を実施しました。
- 7 河川一般環境整備費【河川課】 14,472,670円
河川愛護団体の活動を支援することにより、河川環境及び水辺の生態系の維持保全に努めました。
支援愛護会 25団体
- 8 河畔環境整備費【河川課】 1,579,832円
良好な河川空間を形成するため、地域との共働による河畔整備を実施しました。
- 9 流域貯留施設整備費【河川課】 75,575,030円
(1) 丸根池 14,026,100円
境川流域総合治水対策として、丸根池の貯留施設の設計を実施しました。
(2) 大別当池 6,094,000円
境川流域総合治水対策として、大別当池の貯留施設の設計を実施しました。
(3) ゆたか台団地調整池 55,454,930円
境川流域総合治水対策として、ゆたか台団地調整池の貯留施設整

8款 土木費

備を実施しました。

10 矢作川学校運営負担金【河川課】 289,653円

11 矢作川環境整備促進事業補助金(1/2)【河川課】
1,610,000円

矢作川流域の草刈り等の環境美化活動に対し補助しました。

◆特記事項

- ・河川改良事業の準用河川大見川において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】
- ・河川修繕事業の準用河川逢妻男川において、関係者との調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】
- ・矢作川水辺空間利活用事業において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8- 4- 3目 排水路費

(前年度)

当初予算額	492,815,000円	(	423,679,000円)
予算現額	537,923,000円	(	415,179,000円)
決算額	520,930,360円	(	363,132,255円)
翌年度繰越額	239,100円	(	35,134,000円)
不用額	16,753,540円	(	16,912,745円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆ 239,100円

排水路改良事業(鵜ヶ瀬町) 239,100円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

排水路改良費【地域建設課・河川課】 520,930,360円

鵜ヶ瀬町排水路始め162か所

◆特記事項

排水路改良事業(鵜ヶ瀬町)において、関係者との調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【河川課】

8- 5- 1目 都市計画総務費

(前年度)

当初予算額	1,443,812,000円	(1,373,019,000円)
予算現額	1,489,697,000円	(1,411,591,000円)
決算額	1,437,578,027円	(1,374,806,270円)
翌年度繰越額	12,000,000円	(0円)
不用額	40,118,973円	(36,784,730円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	12,000,000円
総合都市交通体系調査事業	12,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（都市計画審議会委員15人、景観アドバイザー6人、一般職141人、非常勤一般職28人）

【都市計画課・建築相談課・人事課】1,322,518,880円

- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】2,206,640円

- 3 都市計画総務事務費【都市計画課・建築相談課】25,542,112円

(1) 都市計画事務費23,213,166円

(2) 都市景観事務費2,328,946円

景観アドバイザーによる景観計画区域内行為の事前相談を実施しました。

景観アドバイザーによる事前相談件数 24件

景観計画区域内行為届出受付件数 98件

屋外広告物の許可審査を実施しました。

新規許可申請受付件数 73件

更新等許可申請受付件数 622件

屋外広告物のパトロール、簡易除却を実施しました。

パトロール、簡易除却 6回

- 4 都市計画道路調査費【都市計画課】6,845,795円

(1) 鉄道計画調査費2,874,795円

名鉄三河線複線化に伴い影響を受ける竹村駅について、交通結節点の計画素案の修正を行いました。

(2) パーソントリップ調査費3,971,000円

集計結果の補正の必要性を検証するため、コロナ禍前後の人口動態データの整理を行いました。

- 5 都市計画公園緑地調査費【都市計画課】10,607,300円

(1) 緑の基本計画策定費7,691,700円

緑の基本計画の中間評価及び課題の整理を行いました。

(2) 公園整備計画策定費 2, 915, 600円

都市計画公園等について、評価方法を検討し、見直しガイドライン案を作成しました。

6 土地利用調査費【都市計画課・市街地整備課】

69, 857, 300円

(1) 都市計画マスタープラン策定費 11, 910, 800円

都市計画マスタープランの中間評価及び課題の整理を行いました。

(2) 地区計画調査費 398, 900円

用途地域の変更に係る都市計画決定手続に必要な図面等を作成しました。

(3) 既成市街地土地利用調査費 2, 640, 000円

三河豊田駅駅前広場において、地域住民等で構成される協議会の支援等を行いました。

(4) 立地適正化計画策定費 3, 011, 800円

パブリックコメントの意見集約と内容の調整を行い、防災指針を策定しました。

(5) 上豊田駅周辺土地利用調査費 1, 430, 000円

上豊田駅周辺において、まちづくり事業の整備手法等の検討を行いました。

(6) 八草駅周辺土地利用調査費 50, 465, 800円

八草駅周辺において、市街地整備に向けた道路予備設計、現地測量等を行いました。

◆特記事項

総合都市交通体系調査事業のパーソントリップ調査について、中京都市圏総合都市交通計画協議会において、最新の道路交通センサスデータと比較検討を行う方針となり、年度内の完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【都市計画課】

8- 5- 2目 土地区画整理費

(前年度)

当初予算額	2,207,275,000円	(1,405,061,000円)
予算現額	2,421,406,000円	(1,764,111,800円)
決算額	2,341,958,514円	(1,473,456,937円)
翌年度繰越額	54,000,000円	(288,380,000円)
不用額	25,447,486円	(2,274,863円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	54,000,000円
公共施設管理者負担事業（土橋土地区画整理事業）	54,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 土地区画整理事務費【市街地整備課・区画整理支援課】

5,203,726円

2 土地区画整理調査費【区画整理支援課】 17,690,200円

若林駅周辺地区における区画整理の事業化に向け、発起人会の活動を支援するとともに、事業計画の見直しを行いました。

3 土地区画整理関連事業費【市街地整備課】

94,204,588円

(1) 土橋土地区画整理関連事業費 19,495,700円
橋りょう点検を実施するほか、防火水槽の設置を行いました。

(2) 寺部土地区画整理関連事業費 53,621,788円
豊田寺部土地区画整理事業地内の道路築造工事、区画整理事務所の解体工事等を行いました。

(3) 花園土地区画整理関連事業費 21,087,100円
駅前広場にシェルター等を整備するほか、防火水槽の設置を行いました。

4 公共施設管理者負担金【市街地整備課】

1,083,380,000円

(1) 土橋土地区画整理事業負担金 126,280,000円
物件等移転補償、道路築造工事

(2) 花園土地区画整理事業負担金 957,100,000円
物件等移転補償、道路築造工事、河川改修工事

5 都市計画事業土地区画整理特別会計繰出金【市街地整備課】

1,141,480,000円

(1) 土橋土地区画整理事業繰出金 116,489,000円

(2) 花園土地区画整理事業繰出金 1,024,991,000円

◆特記事項

8款 土木費

土橋地区の公共施設管理者負担事業において、社会資本整備総合交付金の配分を受けた工事の一部が年度内での完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【市街地整備課】

8- 5- 3目 街路事業費

(前年度)

当初予算額	5,280,121,000円	(3,891,294,000円)
予算現額	6,868,279,000円	(4,618,850,000円)
決算額	4,720,541,284円	(2,647,848,972円)
翌年度繰越額	2,129,700,000円	(1,935,364,000円)
不用額	18,037,716円	(35,637,028円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	2,129,700,000円
名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	2,117,400,000円
街路建設事業（都市計画道路若林東西線）	12,300,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 街路事業事務費【街路課】 4,603,266円
- 2 街路建設費【区画整理支援課・幹線道路推進課・街路課】
4,715,938,018円

- (1) 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業の円滑な推進のため、高架本体の整備や支障となる施設の移転等を行いました。
- (2) 都市計画道路若林東西線ほか3事業の測量設計等の委託を行いました。
- (3) 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業ほか2事業の用地を取得しました。

◆特記事項

名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業及び都市計画道路若林東西線において、占用物件等の移設計画に関する協議調整に時間を要し、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【街路課】

8- 5- 4目 特定道路費

(前年度)

当初予算額	2,728,045,000円	(2,305,139,000円)
予算現額	4,508,668,629円	(3,885,825,824円)
決算額	3,094,821,636円	(1,843,813,512円)
翌年度繰越額	1,382,457,619円	(2,027,103,629円)
不用額	31,389,374円	(14,908,683円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	1,335,457,619円
内環状線建設事業（竜宮橋）	236,526,919円
内環状線建設事業（高橋細谷線長興寺第1工区）	1,098,930,700円
☆繰越明許費☆	47,000,000円
特定道路改良促進事業（豊田南バイパス関連市道福谷一色線外1路線）	47,000,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 特定道路事務費【建設企画課】 2, 1 4 7, 9 4 4 円
- 2 幹線道路整備促進広報活動費【建設企画課】 3 5 2, 0 0 0 円
- 3 高規格道路建設促進費【幹線道路推進課】 1 5, 4 1 7, 0 6 2 円
スマートインターチェンジの利用促進に関する追加対策及び効果
検証を行いました。
- 4 特定道路建設費【建設企画課・街路課】
2, 8 3 4, 8 5 8, 1 7 2 円
(1) 次期幹線道路網整備計画を策定するため、施策内容等の検討を
行いました。
(2) 安全で円滑な交通を確保するため、内環状線を担う都市計画道
路高橋細谷線の道路・橋りょうの整備を行いました。
(3) 都市計画道路豊田刈谷線の事業推進を図るため、道路附属物設
計を行いました。
(4) 都市計画道路豊田刈谷線道路新設事業ほか1事業の用地取得を
行いました。
- 5 特定道路改良促進費【幹線道路推進課】 2 4 1, 0 4 6, 4 5 8 円
豊田南・北バイパス事業に関連する市道の設計、道路改良工事及
び用地取得を行いました。
- 6 幹線道路整備促進協議会負担金【建設企画課】 1, 0 0 0, 0 0 0 円

◆特記事項

特定道路改良促進事業（豊田南バイパス関連）の市道福谷一色線ほか1
路線において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難となっ
たため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

8款 土木費

【幹線道路推進課】			
8- 5- 5目 下水道管理費			
		(前年度)	
当初予算額	3,219,130,000円	(	2,964,705,000円)
予算現額	3,179,637,000円	(	2,909,821,000円)
決算額	3,133,022,303円	(	2,862,759,015円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	46,614,697円	(	47,061,985円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1	浄化槽整備事務費【下水道施設課】	143,391円	
2	施設等管理費【下水道施設課】	30,158,239円	
	(1) 廃止施設管理(10施設)		
	(2) 旧柳川瀬浄化センター解体基本設計		
3	合併処理浄化槽整備費【下水道施設課】	138,236,000円	
	合併処理浄化槽補助実績	171件	
4	下水道事業負担金【経営管理課】	2,345,315,918円	
5	下水道事業補助金(10/10)【経営管理課】	169,168,755円	
6	下水道事業出資金【経営管理課】	450,000,000円	
8- 5- 6目 公園費			
		(前年度)	
当初予算額	2,679,636,000円	(	2,414,588,000円)
予算現額	2,676,003,000円	(	2,340,830,200円)
決算額	2,323,448,673円	(	2,221,300,120円)
翌年度繰越額	297,107,000円	(	78,000,000円)
不用額	55,447,327円	(	41,530,080円)
●翌年度繰越額			
☆継続費☆		231,560,000円	
中央公園第二期整備基盤造成事業		231,560,000円	
☆繰越明許費☆		65,547,000円	
四郷北公園整備事業		25,000,000円	
高橋天神公園整備事業		27,500,000円	
中央公園第二期整備検討業務委託事業		13,047,000円	

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 公園緑地整備事務費【公園緑地つくる課】 509,687円
- 2 公園事務費【公園緑地つかう課】 2,204,785円
- 3 公園維持管理費【公園緑地つかう課】 1,139,354,475円
- 4 市民広場等維持管理費【公園緑地つかう課】 4,298,396円
- 5 街区公園整備費【公園緑地つくる課】 116,343,700円
 - (1) 四郷北公園の整備を行いました。
 - (2) 四郷南公園の整備を行い、供用しました。
 - (3) 土橋八幡社東公園の整備を行いました。
 - (4) 寺部小跡地公園の整備を行い、供用しました。
- 6 地区公園整備費【公園緑地つくる課】 78,395,900円
 - (1) 土橋公園拡張区域の整備を行いました。
 - (2) 高岡公園拡張区域の整備を行いました。
- 7 緑地整備費【公園緑地つくる課・公園緑地つかう課】 700,654,028円
 - (1) 鞍ヶ池公園池周遊散策道修繕を行いました。
 - (2) 枝下緑道の施設復旧を行いました。
 - (3) 勘八公園の測量用地調査を行いました。
 - (4) 中央公園第二期整備の用地取得、造成工事、民間活力導入公募等を行いました。
- 8 公園施設修繕費【公園緑地つかう課】 160,601,089円

公園施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。

公園遊具修繕 13基

公園施設修繕 98件
- 9 花のあるまちづくり推進費【公園緑地つかう課】 53,518,266円

花やか豊田プランに基づき、花のあるまちづくり協議会の運営、豊田市駅東口ペDESTリアンデッキの花飾りや、フラワーロード事業の継続等による施策を実施し、ボランティア技術の向上、市民への普及及び啓発を行いました。
- 10 地域広場整備費【公園緑地つくる課・公園緑地つかう課】 67,568,347円
 - (1) 東広瀬町地内の地域広場の測量設計を行いました。
 - (2) 施設の修繕を行い、安全性の確保を図りました。

広場遊具修繕 2基

広場施設修繕 12件

◆特記事項

8款 土木費

- ・四郷北公園整備事業及び高橋天神公園整備事業において、国の補正予算（第1号）に伴い、3月議会で52,500千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【公園緑地つくる課】
- ・中央公園第二期整備検討業務委託事業において、関係機関等との調整に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【公園緑地つくる課】

8- 5- 7目 自然保全費

		(前年度)
当初予算額	440,649,000円	(297,732,000円)
予算現額	425,448,000円	(274,866,000円)
決算額	418,181,053円	(266,088,137円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	7,266,947円	(8,777,863円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 自然保全事務費【開発調整課】 140,998円
自然公園法に基づく許可申請等受付件数 92件
- 2 緑化推進費【公園緑地つかう課】 10,998,907円
市民が行う優良な緑化事業へ補助金を交付しました。
交付件数 4件
- 3 自然保護費【環境政策課】 17,193,265円
 - (1) 管理費
名木指定件数 222件（累計）
 - (2) 自然共生型地域づくり推進費
森林や湿地、名木等身近な自然の整備を進める市民団体の活動を支援しました。
支援団体 4団体
 - (3) 自然環境調査費
 - ア 生き物とふれあい、自然と親しむことで自然を大切にする心を育むことを目的に、市民参加生き物調査を実施しました。
一般参加者数 566人
 - イ 市内に生息する動植物の生育生息状況のとりまとめを委託しました。
 - (4) 野生生物共生費
ツキノワグマ目撃等の通報受付、現地調査、住民や学校等への情報提供、注意喚起などの対応を行いました。
ツキノワグマ対応件数 88件

- (5) 生物多様性啓発推進費
特定外来生物オオキンケイギクについて、市民との共働による防除活動を実施しました。
- (6) 湿地保全促進費
- ア ラムサール条約湿地の保全管理を委託しました。
矢並湿地保存会、上高湿地を守る会、山中町自治区
- イ ラムサール条約湿地にて観察会や環境学習を実施しました。
矢並湿地自由観察の日 4日間 91人
観察会 矢並2回17人 上高3回46人 恩真寺2回24人
環境学習 矢並小学校始め4校820人
- ウ 恩真寺湿地保全計画策定のため、森林調査等を委託しました。
- 4 緑地保全費【公園緑地つかう課】 98,960,990円
開発緑地等の枝払い、草刈、害虫駆除等を行い、適正な維持管理に努めました。
開発緑地等 79か所 744,266㎡
- 5 自然観察の森費【環境政策課】 290,572,843円
- (1) 指定管理者 (公財)日本野鳥の会
利用者 28,391人
自然観察会等開催 37回 522人
団体利用 315団体 5,695人
- (2) ボランティア活動支援
養成講座修了者 9人
ボランティア登録者 4団体 68人
- (3) バスの借入による環境学習の推進
小学校の環境学習施設見学を支援するために送迎用バスの借入を行い、利用を促進しました。
バスによる送迎 33校 79台 1,973人
- (4) 用地管理
土地賃貸借 1,117筆 1,037,039.82㎡
使用貸借 3筆 1,429.00㎡
- (5) 施設の修繕等
ネイチャーセンター施設修繕工事、市道法面修繕、標本資料館手摺修繕、トンボの湿地通路修繕等を実施しました。
- 6 緑の推進基金積立金【公園緑地つかう課】 314,050円
緑の推進基金の利子を同基金に積み立てました。

8- 5- 8目 都心整備費		
		(前年度)
当初予算額	889,607,000円 (	707,991,000円)
予算現額	2,001,868,000円 (	985,216,470円)
決算額	1,282,845,050円 (	669,400,975円)
翌年度繰越額	560,027,500円 (	281,677,000円)
不用額	158,995,450円 (	34,138,495円)

●翌年度繰越額		
☆継続費☆		444,010,000円
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ一部改築事業		361,010,000円
豊田市駅西口施設整備事業		83,000,000円
☆繰越明許費☆		116,017,500円
歩車共存道路整備事業 (市道西町若宮線)		36,737,500円
豊田市駅東口駅前広場施設撤去事業		32,280,000円
豊田市駅耐震補強補助事業		47,000,000円
●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要		
1 都心整備事務費【都市整備課】	51,181,429円	
2 都心環境計画推進費【都市整備課】	1,231,663,621円	
(1) 都心環境計画整備費	7,459,488円	
市道薬師1号線の電柱支障移転を行いました。		
(2) サイン施設再整備費	1,398,100円	
歩行者誘導案内サインの修繕を行いました。		
(3) 歩車共存道路整備費	315,854,057円	
市道西町若宮線の用地取得、物件補償及び電線共同溝の整備工事をしました。		
(4) 豊田市駅東口駅前広場整備費	608,701,910円	
豊田市駅東口駅前広場の用地取得、物件補償及び豊田市駅東口駅前広場の設計を行いました。		
(5) 豊田市駅東口施設整備費	101,701,150円	
豊田市駅東口駅前広場のペDESTリアンデッキ等の設計を行いました。		
(6) 豊田市駅西口施設整備費 (単年度)	124,427,434円	
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキの耐震補強設計及び仮バス停整備工事等を行いました。		
(7) 豊田市駅西口施設整備費 (継続費)	60,990,000円	
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ (Dブロック) の改築工事を行いました。		
(8) 新豊田駅東口駅前広場整備費	1,351,482円	

新豊田駅東口駅前広場の照明灯修繕及び利用促進に向けた運営支援を行いました。

(9) 新豊田駅西口駅前広場整備費 9, 7 8 0, 0 0 0 円

豊田市駅西口の工事着手に向け、暫定バスプール整備工事を行いました。

◆特記事項

・歩車共存道路整備事業(市道西町若宮線)において、占用物の支障移転に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【都市整備課】

・豊田市駅東口駅前広場施設撤去事業において、地下埋設物撤去に時間を要したため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【都市整備課】

・豊田市駅耐震補強補助事業において、国と協調して支援するものであるが、国の補助採択が補正予算での決定となり、年度内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【都市整備課】

8- 5- 9日 総合交通対策費

(前年度)

当初予算額	1,174,452,000円	(1,126,103,000円)
予算現額	1,223,306,053円	(1,109,034,630円)
決算額	1,167,340,009円	(986,806,453円)
翌年度繰越額	0円	(68,895,053円)
不用額	55,966,044円	(53,333,124円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 交通政策事務費【交通政策課】 1, 5 4 8, 2 2 4 円

2 I T S 管理費【交通政策課】 1 3, 7 2 3, 1 0 7 円

(1) 道路交通情報システム管理費

I T S センターの維持管理を行いました。

(2) 駐車場案内システム管理費

駐車場案内システムの維持管理及び保守点検を行いました。

(3) 公共交通利用促進システム管理費

乗換情報を提供している総合交通案内板等の維持管理及び保守点検を行いました。

(4) 総合交通システム管理費

おいでんバス情報等を提供しているウェブサイト「みちなびとよた」の保守管理を行いました。

- 3 ITS推進費【交通政策課】 990,000円
- (1) 旧駐車場案内システム撤去費
老朽化した旧駐車場案内板の撤去に向けて基礎の試掘作業を行いました。
- 4 旧名鉄三河線費【交通政策課】 9,969,303円
- (1) 管理費
廃線敷地の維持管理及び修繕を行いました。
- 5 豊田都市圏新渋滞対策調査費【交通政策課】 5,241,910円
企業共助実施に向けた調査検討及び70歳以上対象の割引定期券「おでかけパス70」の効果検証を行いました。また、香嵐溪もみじまつり実行委員会に対し交通渋滞対策の負担金を支出しました。
- 6 生活交通対策費【交通政策課】 32,342,276円
- (1) 地域内交通確保調査費
生活交通の再構築を進めていく上で、乗用タクシーを活用した生活交通の他自治体での事例調査や運営手法を整理しました。
- (2) 共助交通支援費
共助交通の取組の拡大を図るため、コミュニティ・カーシェアリング導入に向けた仕組みづくりを行いました。
- (3) 地域バス運行費
上郷地域バスのデマンド運行に負担金を支出しました。
＜利用者数＞
・対象期間：令和5年4月～令和6年3月
上郷地域バス（チョイソコにこにこバス） 4,665人
- (4) 地域タクシー運行費
地域バスの代替として4地域の地域タクシーの運行に負担金を支出しました。
＜地域タクシー別 年間利用回数及び利用者数＞
対象期間：令和5年4月～令和6年3月
- | | | |
|------------|--------|--------|
| 鞍ヶ池地域タクシー | 540回 | 1,440人 |
| 水源東地域タクシー | 352回 | 406人 |
| つくばね地域タクシー | 810回 | 1,082人 |
| 松平地域タクシー | 1,826回 | 2,314人 |
| 合 計 | 3,528回 | 5,242人 |
- 7 バス運行推進費【交通政策課】 929,319,890円
- (1) 公共交通利用促進費
ICカード決済システム運用業務委託等を行いました。また、危険なバス停及び上屋の修繕、「おでかけパス70」の利用促進等を行いました。

(2) 基幹バス運行費

都心、駅、地域核を相互に結ぶ基幹バス11路線の運行負担金を支出しました。

<路線別年間利用者数>

対象期間：令和5年4月～令和6年3月

藤岡・豊田線（加納経由）	99,071人
小原・豊田線	175,687人
藤岡・豊田線（西中山経由）	107,534人
旭・豊田線	90,742人
旭・足助線	10,091人
稲武・足助線	29,014人
さなげ・足助線	209,328人
下山・豊田線	206,673人
保見・豊田線	404,732人
中心市街地玄関口バス	79,423人
土橋・豊田東環状線	887,535人
合 計	2,299,830人

(3) 乗合バス運行費補助金（10／10）

市内を走る乗合バス路線を維持・存続するため、民間バス事業者に対し運行経費の一部を補助しました。

・対象期間：令和4年10月～令和5年9月

・対象路線：豊田西市内線（豊田市～聖心寮前）

矢並線増便分（豊田市～足助）

豊田・渋谷線（豊田市～桑原公園）

岡崎市内線（三河上郷駅～JR岡崎駅）

大沼線（大沼～名鉄東岡崎駅）

岡崎・足助線（名鉄東岡崎駅～足助）

(4) 公共交通バス購入費

燃料電池バス3台を借りました。また、中型バス1台を購入しました。

(5) 次世代バス推進費

燃料電池バス「SORA」3台をおいでんバスとして運行しました。

8 愛知環状鉄道整備促進費【交通政策課】 169,953,866円

(1) 愛知環状鉄道駅前施設管理費

市内10駅のトイレ清掃や浄化槽の維持管理を行いました。

(2) 愛知環状鉄道駅周辺施設整備費

永覚駅及び三河上郷駅の駅前広場の再整備を行いました。

8款 土木費

(3) 愛知環状鉄道整備改修費補助金 (定額)	
愛知県及び沿線市と協調し、愛知環状鉄道に対し鉄道の安全安定輸送、利便性向上に資する修繕、施設整備に要する経費の一部を補助しました。	
9 パークアンドライド推進費【交通政策課】	577,490円
(1) パークアンドライド駐車場維持管理費	
八草駅前駐車場の土地使用料を支払いました。	
10 都市交通研究所運営費補助金 (10 / 10)【交通政策課】	3,673,943円
8- 6- 1目 住宅管理費	
(前年度)	
当初予算額	635,758,000円 (686,282,000円)
予算現額	635,938,000円 (627,201,000円)
決算額	631,022,513円 (617,806,676円)
翌年度繰越額	0円 (0円)
不用額	4,915,487円 (9,394,324円)
●執行経費 (決算額の内訳) 及び概要	
1 人件費 (一般職8人)【人事課】	66,433,087円
2 市営住宅管理事務費【定住促進課】	313,858,692円
管理代行者及び指定管理者 愛知県住宅供給公社	
《管理戸数2,322戸》	
管理代行 初吹住宅始め21住宅	2,054戸
指定管理 桑田和住宅始め27住宅	268戸
3 手呂住宅污水处理施設管理費【定住促進課】	5,237,360円
4 市営住宅整備費【定住促進課】	231,517,374円
(1) 市営住宅営繕費	
電気設備改修工事 流田住宅	
給排水管改修工事 朝日ヶ丘住宅始め2住宅	
外部鉄部塗装工事 水源町住宅始め3住宅	
給水設備取替工事 東山住宅	
エレベーター改修工事 東山住宅	
外壁改修工事 おちべ住宅始め3住宅	
屋上防水改修工事 おちべ住宅始め3住宅	
5 分譲住宅建設事業特別会計繰出金【定住促進課】	13,976,000円

8- 6- 2目 住宅建設費

(前年度)

当初予算額	1,059,828,000円	(	82,757,000円)
予算現額	1,072,828,000円	(	79,724,000円)
決算額	1,069,322,740円	(	77,404,106円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	3,505,260円	(	2,319,894円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 定住対策事業費【都市整備課・定住促進課】

1,052,770,000円

(1) 住宅取得費補助金(1/10) 67,370,000円

山村地域等で、定住目的の住宅・土地を取得した移住・定住者を支援しました。

補助件数 76件

(2) 三河豊田駅前地区優良建築物等整備費補助金(2/3)

984,400,000円

宅地の共同化・高度利用化を促進するため、実施設計費、補償費及び建物除却費を支援しました。

(3) 移住支援補助金(定額) 1,000,000円

移住に要する費用の一部を補助しました。

補助件数 1件

2 定住促進プロモーション費【定住促進課】 13,395,740円

・住まいガイド作成 3,000部

・不動産・住宅情報誌掲載 20,000部×5回

・不動産・住宅サイト掲載

・イベント出展 4回

・PR冊子作成 7,000部

・市販誌へのPR記事掲載 30,000部

・移住定住促進サイト管理運営

3 住まい相談総合支援事業費【定住促進課】 957,000円

・住まいの相談対応 104件

・住まいに関するセミナー 13回

4 空き家対策事業費【定住促進課】 2,200,000円

(1) 老朽空き家等解体費補助金(1/2)

倒壊等のおそれのある危険な空き家の除却に係る費用の一部を補助しました。

補助件数 11件

9款 消防費

9款 消防費		
(前年度)		
当初予算額	7,151,362,000円	(7,099,583,000円)
予算現額	7,370,066,876円	(7,226,887,000円)
決算額	7,135,910,571円	(6,951,398,098円)
翌年度繰越額	12,900,000円	(93,702,876円)
不用額	221,256,305円	(181,786,026円)

9- 1- 1目 常備消防費		
(前年度)		
当初予算額	5,627,163,000円	(5,452,425,000円)
予算現額	5,777,255,781円	(5,672,305,620円)
決算額	5,686,603,045円	(5,554,279,171円)
翌年度繰越額	0円	(52,144,000円)
不用額	90,652,736円	(65,882,449円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（一般職536人、非常勤一般職17人）【人事課】

4,641,347,433円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】

980,820円

3 消防本部費【（消）総務課・警防救急課・予防課・（南）管理課】

120,970,642円

（1）消防本部運営費

15,040,465円

（2）交際費

33,000円

（3）職員厚生費

36,286,395円

（4）職員研修費

16,162,464円

専門的知識・技術の習得及び資格取得のため、各種学校及び研修会等に派遣しました。

消防大学校

2人（1科1コース）

愛知県消防学校

52人（14科）

各種研修会・講習会

154人（28種類）

（5）消防音楽隊費

2,450,219円

防火意識の普及啓発を目的とし、隊長始め39人で活動しました。

演奏回数

14回

練習回数

35回

（6）予防業務運営事務費

5,214,808円

消防法令違反是正チラシを作成し、事業所の防火対策の促進を

図りました。

防火対象物査察	2, 4 4 2件
危険物施設査察	6 3 8件
各種訓練指導（消火・通報・避難訓練等）	3 3 4件
消防同意	4 3 8件
防火管理指導	3 4 5件
消防設備検査	1, 3 5 2件
防火対象物台帳の電子化	1, 3 3 8件
危険物施設許認可	3 8 6件
危険物施設台帳の電子化	5 8 8件

（ 7 ） 高校生防火防災リーダー養成費 7 8 2, 9 5 6 円

防火防災意識の向上を図るため、高校生消防クラブへの参加者を募集し、防火防災リーダーの養成を進めました。

参加者数 1 6 9 人

（ 8 ） 防災学習センター運営費 6, 5 4 9, 5 6 9 円

市民が防火防災を学ぶために、災害発生状況を踏まえた企画展等を開催しました。

利用者数 2 0, 5 8 0 人

（ 9 ） 消防フェスタ開催費 1, 9 0 0, 0 0 0 円

とよた消防フェスタをWEB及び豊田スタジアムで開催しました。

WEB版参加者数 5 6 2 人

来場者数 2, 6 0 0 人

（ 1 0 ） 火災予防活動費 2, 3 5 1, 3 0 3 円

火災予防の推進を図るため、消防こども写生大会の優秀作品を地震体験車の側面や消防団格納庫のシャッターに掲示しました。

応募作品数 5 7 点

（ 1 1 ） 高齢者住宅防火促進費 1 1 2, 3 5 9 円

住宅火災による高齢者の被害軽減を図るため、出火原因別の防火対策等を示したリーフレットを使用し、出前講座等を実施しました。

（ 1 2 ） 競技訓練活動費 9 8 4, 3 9 0 円

全国消防救助技術大会（札幌市）に救助隊員を派遣しました。

（ 1 3 ） 消防活動企画運営費 6, 2 0 2, 7 9 0 円

ア まちかど救急ステーション広報のため、ステッカーを200部増刷し、配布しました。

イ 関係機関に負担金を執行しました。

愛知県防災ヘリコプター運営負担金

9款 消防費

愛知県下高速道路消防連絡協議会負担金

(1 4) 救急高度化推進費 2 6 , 8 9 9 , 9 2 4 円

ア 救急救命士の養成及び育成を実施しました。

救急救命士養成施設への派遣 6 人

薬剤投与等の資格取得に係る育成 2 3 人

救急救命士再教育の履修 1 1 0 人

イ 救急活動をより適切なものとするため、医療機関との協定に基づき、救急活動事後検証を実施しました。

4 北消防署費【(北) 管理課】 4 9 , 2 8 4 , 6 1 9 円

(1) 管理運営費 2 3 , 3 4 0 , 8 7 7 円

ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。

イ 救急出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。

(2) 救助・警防活動費 1 4 , 7 7 7 , 5 7 0 円

ア 大規模災害、BC災害、多数傷病者救急災害等に対応するため、エアータントを更新しました。

イ 大規模災害に備えて隣接消防本部と相互応援体制を強化するため、合同訓練を行いました。

火災件数 3 0 件 (前年度比 1 3 件減)

救助出動 8 6 件 (前年度比 3 件増)

その他の出動 1 , 0 6 1 件 (前年度比 5 6 件増)

(3) 救急活動費 1 0 , 4 0 3 , 9 8 8 円

ア EM-PASS連携医療機関拡充のほか、関係機関と合同研修等を行い、円滑な救急搬送業務を推進しました。

イ 適切かつ円滑な救急支援活動を行うため、消防隊用AEDを更新しました。

救急出動 4 , 6 6 1 件 (前年度比 1 7 0 件増)

搬送人員 4 , 3 0 9 人 (前年度比 3 1 4 人増)

(4) 救急高度化推進費 7 6 2 , 1 8 4 円

ア 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。

イ 効果的な応急手当講習を行うため、音声ガイドに加え、画像を表示するトレーニング用AEDを購入しました。

児童・生徒 3 4 校 2 , 5 6 2 人

教員 4 0 回 1 , 0 3 1 人

一般市民 1 3 1 回 2 , 4 4 5 人

普及員による講習 1 4 1 回 1 , 6 2 5 人

5 中消防署費【(中) 管理課】 5 3 , 5 5 7 , 1 3 1 円

9款 消防費

- (1) 管理運営費 20, 236, 646円
 ア 消防車両の車検等適切な維持管理に努めました。
 イ 救急出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。
- (2) 救助・警防活動費 11, 440, 855円
 ア ラリージャパン2023におけるラリーカー火災の対応力を強化するため、消火方法の教育資料を作成し、消防職員に研修を行いました。
 イ 鉄塔事故発生時における現場対応力を向上するため、電力会社と合同で訓練を行いました。
 火災件数 40件(前年度比 増減無)
 救助出動 84件(前年度比 8件減)
 その他の出動 1, 355件(前年度比 31件増)
- (3) 救急活動費 16, 775, 731円
 熱中症患者対策のため、救急車内に扇風機を設置しました。
 救急出動 9, 334件(前年度比 369件増)
 搬送人員 8, 487人(前年度比 568人増)
- (4) 救急高度化推進費 5, 103, 899円
 ア 心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。
 児童・生徒 31校 2, 762人
 教員 38回 821人
 一般市民 138回 3, 013人
 普及員による講習 396回 4, 308人
 インストラクター派遣数 延べ989人
 イ 子育てを始めた親向けの講習会を開催できるように、子育て支援センターに対し、新たな講習方法を構築しました。
- 6 南消防署費【(南)管理課】 45, 222, 727円
 (1) 管理運営費 20, 162, 002円
 ア 救急出動件数の増加等に対応するため、適切な燃料費の確保に努めました。
 イ 防火防災を啓発するため、新たに南消防フェスタを開催しました。
 来場者数 1, 800人
- (2) 救助・警防活動費 12, 245, 583円
 高速道路上における大型車両の交通事故に対応するため、大型車両事故対応研修会を開催しました。
 火災件数 42件(前年度比 6件増)

	救助出動	98件（前年度比	4件増）
	その他の出動	1,337件（前年度比	18件増）
(3)	救急活動費	12,614,759円	
	大規模イベント開催時に多数の傷病者が発生した災害への対応を強化するため、関係機関との合同訓練を豊田スタジアムで行いました。		
	救急出動	6,982件（前年度比	397件増）
	搬送人員	6,362人（前年度比	572人増）
(4)	救急高度化推進費	200,383円	
	心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。		
	児童・生徒	18校	2,335人
	教員	16回	446人
	一般市民	122回	2,465人
	普及員による講習	21回	469人
7	足助消防署費【（足）管理課】	29,769,516円	
(1)	管理運営費	14,708,182円	
	ア 救急資器材を適正に管理するため、在庫管理システムの運用を開始しました。		
	イ 防火防災を啓発するため、足助消防署ふれあい広場を開催しました。		
	来場者数	1,105人	
(2)	救助・警防活動費	8,879,891円	
	ア 土砂災害時における他機関との連携を強化するため、豊田都市整備研究会と合同で訓練を行いました。		
	イ 中山間地域での災害対応力を向上させるため、愛知県足助警察署と合同で山岳救助連携訓練を行いました。		
	火災件数	9件（前年度比	3件減）
	救助出動	33件（前年度比	12件増）
	その他の出動	257件（前年度比	14件減）
(3)	救急活動費	5,578,141円	
	医療連携を強化するため、足助病院の訪問看護師とともに同行訪問を行い、救急業務について知識や技術の向上を図りました。		
	救急出動	1,078件（前年度比	60件増）
	搬送人員	986人（前年度比	54人増）
(4)	救急高度化推進費	603,302円	
	心肺蘇生ができる小中学生等を育成するため、応急手当講習を行いました。		

9款 消防費

	児童・生徒	18校	238人
	教員	20回	258人
	一般市民	47回	748人
	普及員による講習	5回	79人
8	常備消防活動費		743,999,157円
	【建築予防保全課・(消)総務課・警防救急課・指令課】		
(1)	消防庁舎管理費		97,415,801円
	施設数 1本部・4消防署・5分署・7出張所		
(2)	消防庁舎営繕費		26,759,491円
	女性職員を配置するため、女性専用施設の整備を行いました。		
	2か所(東・末野原)		
(3)	施設保全費		5,092,263円
	中消防署車庫入り口の舗装修繕等を行いました。		
(4)	消防車両管理費		1,251,300円
(5)	救急救助施設管理費		2,446,131円
	ヘリポートの維持管理のため、竹伐採等を行いました。		
(6)	通信機器管理費		577,957,171円
	ア 指令システムと通信機器の適正な維持管理に努めました。		
	イ 消防隊員が災害現場で使用する署活動用無線機155台を更新しました。		
(7)	長寿命化推進費		33,077,000円
	中消防署訓練棟・北車庫の屋根や外壁の修繕を行いました。		
9	防火危険物安全協会運営交付金【予防課】		1,400,000円
	市民に対する防火・防災意識の普及啓発事業等を推進し、安全で住みよい地域社会を築くため、防火危険物安全協会の活動を支援しました。		
	会員事業所数		328事業所
10	女性消防クラブ運営交付金【予防課】		71,000円
	各家庭の火災の減少を図るため、地域住民へ火災予防の普及啓発を実施するクラブを支援しました。		
	クラブ数		5クラブ
	会員数		119人

9款 消防費

9- 1- 2目 非常備消防費

(前年度)

当初予算額	505,949,000円	(427,488,000円)
予算現額	563,805,876円	(403,628,000円)
決算額	491,465,136円	(339,610,908円)
翌年度繰越額	12,900,000円	(2,508,876円)
不用額	59,440,740円	(61,508,216円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	12,900,000円
公共下水道接続事業（花本詰所格納庫外1施設）	12,900,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費【（消）総務課】 136,470,513円
 - （1）消防団員報酬（基本団員1,669人）88,173,494円
 - （2）消防団員報酬（機能別団員59人）411,291円
 - （3）公務災害補償共済基金負担金 5,872,855円
 - （4）退職報償金共済基金負担金 38,649,600円
 - （5）災害補償費 3,363,273円
- 2 非常備消防活動費【（消）総務課】 149,896,313円
 - （1）消防団運営費 12,787,638円
 - （2）消防団員厚生費 36,657,348円
 - （3）消防団充実強化推進費 44,346,177円
消防団を応援する取組として、消防団ファミリー・フェスタを開催しました。また、消防団活動の安全性の向上のため、新基準活動服1,000着や油圧ジャッキ43台を整備しました。
 - （4）警防技術大会開催費 1,030,182円
消防団の火災対応力の向上を図るため、第2回警防技術大会を開催しました。
 - （5）任免式開催費 143,505円
 - （6）消防団車両管理費 13,255,863円
 - （7）消防団運営交付金 41,675,600円
消防団が火災、風水害等に備えた即応体制をとるため、資機材の点検等の活動に係る経費として交付しました。
- 3 詰所・格納庫費【建築予防保全課・（消）総務課】 153,938,476円
 - （1）管理費 4,666,595円
 - （2）施設保全費 6,105,000円
消防団詰所格納庫の長寿命化修繕等を行いました。

9款 消防費

長寿命化 5か所（深田・本地・堤・永太郎・花沢）	
（3）整備費	143,166,881円
消防団詰所格納庫の整備及び用地取得を行いました。	
整備	2か所（藤岡飯野・小原）
用地取得	2か所（浄水・若林）
4 消防団消防機械整備費【（消）総務課】	51,159,834円
消防団車両を更新しました。	
小型動力ポンプ付積載車	6台
（竹生・高橋・若林・田畑・亀首・中金）	
◆特記事項	
公共下水道接続事業（花本詰所格納庫外1施設）において、事業の平準化を図るため、9月議会で12,900千円を増額補正し翌年度へ繰り越しました。【（消）総務課】	
9- 1- 3目 消防施設費	
(前年度)	
当初予算額	330,459,000円 (529,927,000円)
予算現額	354,644,844円 (505,314,608円)
決算額	341,902,533円 (443,378,600円)
翌年度繰越額	0円 (39,050,000円)
不用額	12,742,311円 (22,886,008円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要	
1 消防水利整備費【警防救急課】	43,524,921円
（1）消防水利施設管理費	15,544,641円
ア 防火水槽	
金網・フェンス修繕	2か所
漏水修繕	2か所
イ 震災用ポンプ格納庫	
修繕	5か所
ウ 消火栓	
修繕	48基
エ 消火栓用ホース格納箱	
修繕	23基
設置	3基
（2）消火栓整備費	27,980,280円
消防水利施設の整備充実を図るため、消火栓を39基設置しました。	

9款 消防費

2	救急救助施設整備費【警防救急課】	2,508,000円
	ヘリポート候補地調査委託を実施しました。	
3	消防機械整備費【警防救急課・(足)管理課】	2,907,962円
	救急隊員の資質向上のため、救急訓練用資機材を整備しました。	
	救急処置訓練用人形	1体
4	通信施設整備費【指令課】	19,929,072円
(1)	通信機器整備費	19,929,072円
	消防指令システム及び消防救急デジタル無線の更新整備に向けた実施設計・調達支援業務委託を行いました。	
5	消防車両整備費【警防救急課】	273,032,578円
	消防力の強化を図るため、消防車両を整備しました。	
	屈折はしご付き消防自動車(南)	1台
	高規格救急自動車(北、保見、南)	3台
	資機材搬送車(中)	1台
	広報車(警防救急)	1台
	連絡車(総務)	4台

9- 1- 4目 水防費

		(前年度)
当初予算額	8,799,000円	(19,470,000円)
予算現額	8,592,000円	(16,937,000円)
決算額	8,199,123円	(16,358,361円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	392,877円	(578,639円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1	水防対策費【(消)総務課】	4,774,955円
(1)	管理費	775,355円
(2)	整備費	3,999,600円
	洪水や土砂災害に対応するため、土のう作成用の砂置き場を再整備しました。	
	整備 1か所(北)	
2	矢作川豊田防災ステーション費【(消)総務課】	3,399,068円
3	県水防管理団体連合会負担金【防災対策課】	25,100円

9- 1- 5目 災害対策費		
		(前年度)
当初予算額	678,992,000円 (	670,273,000円)
予算現額	665,768,375円 (	628,701,772円)
決算額	607,740,734円 (	597,771,058円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	58,027,641円 (	30,930,714円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要		
1 人件費(防災会議委員13人、一般職15人、非常勤一般職4人)		
【 防災対策課・人事課 】	151,973,902円	
2 非常勤一般職管理事務費【 人事課 】	427,540円	
3 災害対策事務費【 防災対策課・予防課 】	4,571,725円	
(1) 防災指導事務費	1,962,774円	
地震体験車(防サイ君) を適切に運用するため、起震装置等の修繕を行いました。		
地震体験車派遣 250回 体験者数 18,457人		
(2) 防災対策事務費	2,608,951円	
4 防災計画費【 防災対策課 】	1,003,248円	
(1) ハザードマップ作成費	504,108円	
(2) 帰宅困難者対策費	2,140円	
(3) 受援体制推進費	497,000円	
5 危機管理対策費【 防災対策課・警防救急課 】	79,159,040円	
(1) 災害対策本部運営費	26,102,945円	
大雨、台風等の災害に備えて、非常配備体制をとり、応急対策活動等を実施しました。		
準備体制	25回	
第1非常配備体制	3回	
第2非常配備体制	1回	
臨時災害対策本部(博物館) の電話機44台を整備しました。		
(2) 防災拠点施設維持管理費	406,847円	
(3) 災害用便槽整備費	35,977,700円	
避難所における避難者の健康と衛生環境の確保を図るため、災害用便槽(マンホールトイレ) 及び資機材を整備しました。		
下水道接続型災害用便槽の整備	2か所	
災害用マンホール直結型トイレ・テント(一般型)	5組	
災害用マンホール直結型トイレ・テント(車椅子対応型)	2組	

9款 消防費

- (4) 避難場所対策整備費 12,012,770円
避難所における安定的な通信環境の確保を図るため、モバイルWi-Fiルーターを整備しました。
- (5) 緊急救助費 2,804,326円
令和6年能登半島地震への緊急消防援助隊の派遣に伴い、必要となる食糧・消耗品・燃料を整備しました。
- (6) 災害ボランティア対策費 1,834,452円
災害時、ボランティアの受入れと活動支援を円滑に行うため、災害ボランティア支援センターの開設・運営に必要な資機材の整備及び災害ボランティアコーディネーターの育成を行いました。
養成講座修了者数 38人
- (7) 防災連携推進費 20,000円
- 6 防災設備費【防災対策課】 252,101,157円
- (1) 防災設備維持管理費 18,992,160円
- (2) 高度情報通信ネットワーク維持管理費 4,382,904円
- (3) 防災行政無線維持管理費 163,392,891円
- (4) 防災設備整備費 22,220,000円
震度ネットワークサーバ等の設備更新を行いました。
- (5) 防災行政無線整備費 23,210,000円
防災行政無線の直流電源装置蓄電池の交換等を行いました。
- (6) 災害時情報通信設備整備費 19,903,202円
市民販売用防災ラジオ221台を購入しました。また、防災行政無線と自治区放送施設の接続を新たに1か所行いました。
- 7 防災意識普及啓発費【防災対策課・建築相談課】 12,858,981円
- (1) 自主防災育成費 3,730,250円
共助の取組促進により地域防災力の強化を図るため、地域の防災活動を先導する自主防災リーダーの育成、自主防災会の実施する防災訓練に対し、指導員派遣、訓練用資機材貸出等の支援を行いました。
自主防災リーダー養成講座
育成数 107人
防災訓練支援
訓練実施回数 177回
訓練実施自主防災会数 181団体
訓練参加者数 26,524人
豊田市自主防災会連絡協議会事業
定期総会 1回

消防防災専門指導員

自主防災会の訓練等への派遣 87回

(2) 防災啓発費 6,520,731円

市民に対する防災・減災意識の啓発と防災教育の推進を図るため、とよた防災啓発推進協議会の実施する啓発事業及び小中学校における防災キャンプの実施支援等を行いました。

また、ラリージャパン2023の機会を捉えた防災普及啓発事業として、車中泊体験を実施したほか、地震対策の推進として家具固定冊子を作成しました。

とよた防災啓発推進協議会事業

事業概要 「親子で車中泊に挑戦しよう!」を開催

防災キャンプ

事業概要 小中学校で行う避難所生活体験

実施箇所 4校

参加者数 412人

(3) 企業防災推進費 830,000円

災害発生時に、市内の事業者が業務を継続していけるようBCP(事業継続計画)の作成支援を通じて企業防災力を強化しました。

「BCP作成セミナー」の入門編及び中級編を開催し、BCP作成に向けた支援の充実を図りました。

参加事業者数 入門編 10事業者 延べ15人

中級編 17事業者 延べ19人

(4) ブロック塀撤去奨励補助金(2/3) 1,778,000円

危険なブロック塀等の撤去費に対し補助金を交付しました。

補助件数 11件

8 国民保護計画費【防災対策課】 31,800円

9 震災対策消防施設設備整備費【警防救急課】70,296,541円

(1) 震災対策消防設備整備費 3,003,000円

震災時に防火水槽を効果的に活用するため、震災用可搬式小型動力ポンプを整備しました。

更新 堤町、保見出張所 2台

(2) 耐震性貯水槽整備費 67,293,541円

震災対応力の強化を図るため、耐震性貯水槽を設置しました。

耐震性貯水槽(40m³)

2基(舞木町、桂野町)

防火水槽の機能維持を図るため、修繕を実施しました。

長寿命化修繕 6か所

9款 消防費

	蓋板修繕	1 箇所
	フェンス修繕	1 箇所
	金網修繕	2 箇所
10	民間木造住宅耐震対策費【建築相談課】	30,837,800円
(1)	耐震診断費	10,100,800円
	昭和56年5月以前に着工された木造住宅の無料耐震診断を実施しました。	
	診断件数	214件
(2)	耐震補強工事費等補助金	20,737,000円
	木造住宅の無料耐震診断の結果、耐震性能が不足する住宅の改修工事等に対し補助を行いました。	
	補強計画・工事	14件 12,614,000円
	解体補助	41件 8,123,000円
11	民間建築物等耐震対策費【建築相談課】	4,479,000円
(1)	防災まちづくり啓発推進費	1,188,000円
	無料耐震診断の受診啓発等を行いました。	
	戸別訪問	1,021件
(2)	民間非木造建築物耐震化補助金	3,291,000円
	耐震診断の結果、耐震性能が不足する建築物の除却工事に対し補助を行いました。	
	除却工事	2件

10款 教育費

10款 教育費		
(前年度)		
当初予算額	28,993,795,000円	(26,694,423,000円)
予算現額	36,562,976,691円	(40,174,891,085円)
決算額	32,109,258,815円	(31,716,009,329円)
翌年度繰越額	2,726,378,460円	(6,650,501,806円)
不用額	1,727,339,416円	(1,808,379,950円)
10- 1- 1目 教育委員会費		
(前年度)		
当初予算額	6,536,000円	(6,435,000円)
予算現額	6,517,000円	(6,335,000円)
決算額	6,267,453円	(6,003,626円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	249,547円	(331,374円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(教育委員会委員5人)【教育政策課】	5,436,000円	
2 委員会事務費【教育政策課】	753,333円	
3 教育委員会交際費【教育政策課】	78,120円	
10- 1- 2目 事務局費		
(前年度)		
当初予算額	258,000,000円	(284,949,000円)
予算現額	254,518,000円	(4,251,304,000円)
決算額	252,602,122円	(4,243,851,727円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	1,915,878円	(7,452,273円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 人件費(特別職1人、一般職26人、非常勤一般職2人)【人事課】	243,709,664円	
2 非常勤一般職管理事務費【人事課】	77,520円	
3 事務局事務費【教育政策課】	7,386,635円	
4 教育行政計画策定費【教育政策課】	19,700円	
(仮)第5次豊田市教育行政計画に係る基礎調査及び計画策定業務委託のため、プロポーザル選考委員会を実施しました。		
5 教育行政外部評価費【教育政策課】	177,300円	

10款 教育費

外部の有識者委員を交えて、教育委員会点検・評価に係る事業説明会、現地視察、ヒアリングを実施しました。

6 教育施設整備基金積立金【教育政策課・学校づくり推進課】

1, 231, 303円

10- 1- 3目 奨学費

(前年度)

当初予算額	36,367,000円	(	32,618,000円)
予算現額	26,472,000円	(	24,953,000円)
決算額	26,471,624円	(	24,952,732円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	376円	(	268円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 人件費（奨学金審査委員会委員4人）【教育政策課】32,000円
- 私立高等学校授業料補助費【教育政策課】16,058,624円

	交付者数	補助額（定額）
区分Ⅰ	391人	30,000円
区分Ⅱ	216人	20,000円
- 奨学生交付金【教育政策課】10,281,000円

交付者数	94人（新規46人、継続48人）
------	------------------
- 奨学基金積立金【教育政策課】100,000円

10- 1- 4目 私学振興費

(前年度)

当初予算額	593,525,000円	(	577,420,000円)
予算現額	588,325,000円	(	577,420,000円)
決算額	518,684,579円	(	555,379,242円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	69,640,421円	(	22,040,758円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 私立幼稚園振興費【保育課】515,154,719円

職員の処遇向上、施設の運営改善、教育内容及び施設の充実を図るため、運営費等の一部を補助しました。

私立幼稚園 10園

園児数 1,427人（令和5年5月1日時点）

また、保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況等に

10款 教育費

応じて、給食費の減免を行いました。 給食費補足給付費対象児童数 179人 旧制度幼稚園における幼児教育・保育の無償化のための費用を支払いました。 授業料軽減給付費対象児童数 1,643人 2 多様な集団活動事業利用支援給付費【保育課】3,529,860円 自然保育活動や各種学校等の多様な集団活動事業の利用料に関する支援を行いました。 給付対象児童数 20人	
10- 2- 1目	学校管理費
(前年度) 当初予算額 1,561,629,000円 (1,444,160,000円) 予算現額 1,525,814,000円 (1,595,753,808円) 決算額 1,427,676,638円 (1,491,087,892円) 翌年度繰越額 0円 (0円) 不用額 98,137,362円 (104,665,916円)	
●執行経費（決算額の内訳）及び概要 1 人件費（一般職1人、非常勤一般職165人）【人事課】 239,526,265円 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 8,434,810円 3 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】 1,179,715,563円	
10- 2- 2目	教育振興費
(前年度) 当初予算額 366,432,000円 (395,248,000円) 予算現額 363,323,000円 (503,173,000円) 決算額 344,286,184円 (481,151,757円) 翌年度繰越額 0円 (0円) 不用額 19,036,816円 (22,021,243円)	
●執行経費（決算額の内訳）及び概要 1 教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】 272,576,387円 教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しま	

10款 教育費

した。

- | | | |
|---|----------------------|---------------|
| 2 | 学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】 | 7, 613, 448円 |
| 3 | 校長会等負担金【学校教育課】 | 3, 290, 610円 |
| 4 | 就学援助費【学校教育課】 | 60, 805, 739円 |

(1) 要保護準要保護就学援助費

教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和6年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、新入学学用品費等入学前支給を行いました。

認定児童数 1, 935人

入学前支給児童数 128人

(2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級等に在学している児童の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費、給食費等の扶助を行いました。

認定児童数 540人

10- 2- 3目 学校建設費

(前年度)

当初予算額	1,352,194,000円	(831,270,000円)
予算現額	3,264,295,000円	(4,277,698,192円)
決算額	1,799,913,541円	(2,327,370,355円)
翌年度繰越額	1,093,053,000円	(1,206,207,000円)
不用額	371,328,459円	(744,120,837円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	339,363,000円
中山小学校増築等事業	339,363,000円
☆繰越明許費☆	753,690,000円
トイレ再整備事業(寿恵野小学校外7校)	476,480,000円
バリアフリー化整備事業(花山小学校)	73,790,000円
屋外遊具整備事業(飯野小学校外10校)	144,500,000円
小学校受変電設備改修事業(市木小学校外2校)	58,920,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- | | | |
|---|-------------------|-------------------|
| 1 | 学校建設事務費【学校づくり推進課】 | 5, 157, 167円 |
| 2 | 施設整備費【学校づくり推進課】 | 1, 633, 946, 374円 |

(1) 施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるため、トイレ再整備及び屋根外壁改修の設計委託・工事を行いました。

〔保全改修費〕

トイレ再整備設計委託	青木小学校	ほか4校
トイレ再整備工事	朝日小学校	ほか10校
屋根外壁改修設計委託	青木小学校	ほか3校
屋根外壁改修工事	畝部小学校	ほか4校

(2) 近年の暑さ、雷雨などの天候への対応、プールの維持管理の負担軽減等を検証するため、元城小学校ほか8校で学校水泳授業の民間委託モデル事業を行いました。〔長寿命化改修費〕

(3) 肢体の不自由な児童や来校者が安心して利用できる施設の整備を進めるため、花山小学校のバリアフリー化整備設計委託及び久平小学校のバリアフリー化整備工事を行いました。
〔バリアフリー化整備費〕

(4) 小中学校の体育館・武道場における暑さ対策について検討するため、導入検討基礎調査業務を実施しました。
〔体育館等暑さ対策費〕

(5) 児童の安全安心の確保や運動能力向上を図るため、市木小学校ほか11校の屋外遊具整備工事を行いました。〔遊具整備費〕

(6) 環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、前山小学校ほか17校に緑のカーテンを設置しました。
〔緑のカーテン整備費〕

(7) 暑さ対策や砂埃防止効果を狙い、挙母小学校ほか2校の校庭・中庭の芝生を維持管理しました。〔学校芝生化整備費〕

(8) 児童の安全確保や学習環境の充実を図るため、工事・修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕

3 校舎建設費【学校づくり推進課】 160,810,000円

(1) 中山小学校の校舎増築等に係る修正設計を行いました。

(2) 中山小学校の体育館増築等工事に着手しました。

◆特記事項

・トイレ再整備事業、バリアフリー化整備事業及び屋外遊具整備事業において、国の補正予算(第1号)による交付金に対応するため、3月議会で694,770千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

・小学校受変電設備改修事業において、工事の平準化のため、9月議会で58,920千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。

【学校づくり推進課】

10款 教育費

10- 3- 1目 学校管理費			
			(前年度)
当初予算額	815,048,000円	(	750,672,000円)
予算現額	801,652,000円	(	848,184,823円)
決算額	762,104,817円	(	809,102,352円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	39,547,183円	(	39,082,471円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1	人件費（一般職3人、非常勤一般職62人）【人事課】		
	104,008,929円		
2	非常勤一般職管理事務費【人事課】		
	3,076,120円		
3	施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】		
	655,019,768円		
10- 3- 2目 教育振興費			
			(前年度)
当初予算額	240,024,000円	(	257,341,000円)
予算現額	238,738,000円	(	308,054,000円)
決算額	217,818,157円	(	294,252,078円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	20,919,843円	(	13,801,922円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要			
1	教材備品整備費【学校教育課・学校づくり推進課】		
	128,660,134円		
	教育内容の充実及び教育水準の向上のため、一般教材備品、理科等教育備品、音楽教材備品、コンピュータ機器及び図書を整備しました。		
2	学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】		
	2,845,728円		
3	校長会等負担金【学校教育課】		
	1,218,120円		
4	就学援助費【学校教育課】		
	85,094,175円		
(1)	要保護準要保護就学援助費		
	教育の機会均等を図り、義務教育の目的に沿うため、経済的に就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の扶助を行いました。また、令和6年度新入学予定の就学援助認定予定者に対し、新入学学用品費等入学前支給を行いました。		
	認定生徒数 1,242人		

10款 教育費

入学前支給生徒数		264人
(2) 特別支援教育就学奨励費		
特別支援学級等に在学している生徒の保護者で収入が一定水準以下の者に対して、学用品費、給食費等の扶助を行いました。		
認定生徒数		179人
10- 3- 3目 学校建設費		
(前年度)		
当初予算額	414,961,000円	(486,958,000円)
予算現額	1,527,919,000円	(2,011,585,777円)
決算額	830,504,309円	(1,036,103,786円)
翌年度繰越額	408,662,000円	(712,052,000円)
不用額	288,752,691円	(263,429,991円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		408,662,000円
トイレ再整備事業(下山中学校外5校)		310,635,000円
バリアフリー化整備事業(保見中学校)		98,027,000円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	学校建設事務費【学校づくり推進課】	293,038円
2	施設整備費【学校づくり推進課】	830,211,271円
(1) 施設の老朽化に対し、計画的に改修を進めるため、トイレ再整備及び屋根外壁改修の設計委託・工事を行いました。		
〔保全改修費〕		
	トイレ再整備設計委託	井郷中学校 ほか3校
	トイレ再整備工事	末野原中学校ほか2校
	屋根外壁改修設計委託	井郷中学校 ほか3校
	屋根外壁改修工事	末野原中学校ほか2校
(2) 肢体の不自由な生徒や来校者が安心して利用できる施設の整備を進めるため、保見中学校のバリアフリー化整備設計委託及び石野中学校ほか1校のバリアフリー化整備工事を行いました。		
〔バリアフリー化整備費〕		
(3) 環境教育への活用や地域とのつながりを深めることを狙い、高岡中学校ほか4校に緑のカーテンを設置しました。		
〔緑のカーテン整備費〕		
(4) 暑さ対策や砂埃防止効果を狙い、藤岡南中学校の中庭の芝生を維持管理しました。〔学校芝生化整備費〕		
(5) 生徒の安全確保や学習環境の充実を図るため、工事・修繕等を		

行いました。〔諸営繕工事〕

◆特記事項

トイレ再整備事業及びバリアフリー化整備事業において、国の補正予算（第1号）による交付金に対応するため、3月議会で408,662千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【学校づくり推進課】

10- 4- 1目 特別支援学校費

（前年度）

当初予算額	195,705,000円	（	149,635,000円）
予算現額	190,862,000円	（	188,257,998円）
決算額	177,296,336円	（	182,078,337円）
翌年度繰越額	0円	（	0円）
不用額	13,565,664円	（	6,179,661円）

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（一般職1人、非常勤一般職36人）【人事課】
75,712,132円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 1,775,780円
- 3 施設管理運営費【学校教育課・学校づくり推進課】
56,424,581円
- 4 教材備品整備費【学校教育課】 2,099,069円
- 5 学校図書館情報電子化事業費【学校教育課】 104,292円
- 6 通学バス運行費【学校教育課】 32,172,490円
 - （1）豊田特別支援学校運行費 23,949,220円
豊田特別支援学校の児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。
利用者数 7,207人
 - （2）岡崎特別支援学校運行費 8,223,270円
豊田市から岡崎聾学校及び岡崎盲学校に通学する児童生徒の通学の利便性の向上に努めました。
利用者数 871人
- 7 児童生徒対象事業費【学校教育課】 359,000円
豊田特別支援学校の児童生徒の社会的自立を支援するため、芸術鑑賞会を実施しました。
- 8 施設整備費【学校づくり推進課】 8,648,992円
児童生徒の安全確保や学習環境の充実を図るため、修繕等を行いました。〔諸営繕工事〕

10- 5- 1目 幼稚園費		
		(前年度)
当初予算額	661,482,000円 (	683,201,000円)
予算現額	566,998,000円 (	712,059,000円)
決算額	532,894,982円 (	665,252,619円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	34,103,018円 (	46,806,381円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 人件費（一般職33人、非常勤一般職39人）【人事課】

346,943,925円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】

1,089,375円

3 管理運営費【保育課】

44,921,235円

公立こども園 9園

園児数 200人（令和5年5月1日時点）

4 こども園給食運営費【保育課】

104,593,996円

公立こども園（幼稚園機能）、私立幼稚園の園児及び職員の給食等に要する費用を執行しました。

5 園児対象事業費【保育課】

1,594,252円

（1）自然とのふれあい事業（総合野外センター） 5歳児対象

（2）動物とのふれあい事業（移動動物園） 全園児対象（隔年）

6 施設保全費【建築予防保全課】

5,553,339円

高橋、野見こども園の小荷物専用昇降機修繕等を行いました。

7 施設整備費【保育課】

28,110,006円

（1）備品等整備費 292,050円

園の環境整備のため、テント等を購入しました。

（2）諸営繕工事 20,505,652円

保育所への認可変更のため、トヨタこども園ほか1園の改修工事設計を行いました。

（3）トイレ改修費 930,600円

洋式トイレの再整備として、トヨタこども園の設計を行いました。

（4）ICT推進費 6,381,704円

保育士、保護者の負担軽減及び幼児教育の質の向上を図るため、保育支援システム及びキャッシュレスサービスに要する費用を執行しました。

8 こども園地域活動費【保育課】

88,854円

こども園の専門機能を生かし、地域に開かれた施設として各種行

10款 教育費

事を実施しました。

(1)	子育てひろば利用者(公立こども園分)	8 2 8 人
(2)	老人福祉施設訪問等世代間交流事業	6 回
(3)	地域における異年齢児交流事業	1 5 回
(4)	保護者等への育児講座	9 回
(5)	郷土文化伝承活動	5 回
(6)	こども園退園児童との交流事業	5 回

10- 6- 1目 学校教育総務費

(前年度)

当初予算額	1,915,412,000円	(1,912,258,000円)
予算現額	1,908,565,000円	(1,826,733,737円)
決算額	1,760,614,783円	(1,696,375,717円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	147,950,217円	(130,358,020円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(一般職65人、非常勤一般職770人)【人事課】
1, 376, 315, 837円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 23, 257, 745円
- 3 学校教育総務事務費【学校教育課】 16, 048, 273円
- 4 就学事業費【学校教育課】 2, 174, 770円

入学指定通知等就学に係る事務費を執行しました。また、みよし市との規約に基づいて、教育事務を委託し、通学の利便を図りました。

対象者数 小学校20人 中学校1人

- 5 副読本・教師用教科書等購入費【学校教育課】
69, 917, 350円

小・中・特別支援学校の児童生徒用副読本及び教師用教科書・指導書を購入しました。

- 6 通学路整備費【学校教育課】 40, 182, 070円

児童生徒の通学途上の安全を確保するため、通学路整備推進会議を開催し、国・県・市の関係機関等と連携して通学路整備を行いました。

安全のみどり線設置工事 17校 L = 12, 644m

通学路標識 修繕 12か所 撤去 3か所

- 7 通学バス運行費【学校教育課】 108, 953, 117円

旭地区、足助地区、小原地区、石野地区、下山地区及び松平地区

10款 教育費

の学校統廃合等により、遠距離通学となった児童生徒をスクールバスで送迎し、通学の利便を図りました。

8 教職員会館費【学校教育課】 31,872,890円

(1) 施設管理運営費 27,778,690円

危険な樹木を伐採するなど、教職員会館の適切な維持管理に努めました。

施設利用者数 51,011人

(2) 長寿命化推進費 4,094,200円

教職員会館の長寿命化改修設計委託を行いました。

9 共働の学校づくり推進費【学校教育課】 91,039,731円

すべての小・中・特別支援学校に地域学校共働本部の設置が完了し、地域学校共働本部104か所及び全中学校の地域部活動の運営支援を行いました。

10 小中学校通学困難者支援費補助金(定額)【学校教育課】 53,000円

交付者数 2人

11 中学生通学困難者電動アシスト自転車購入補助金(1/2)【学校教育課】 50,000円

交付者数 1人

12 外国人学校教育推進費補助金(1/50)【教育政策課】 700,000円

交付学校数 各種学校 1校

13 私立幼稚園保護者の会連合会補助金(1/3)【保育課】 50,000円

幼稚園教育に関する進展活動を行い、幼児教育に対する意識向上を図るため、連合会に対して補助金を支出しました。

10- 6- 2目 教育指導費

(前年度)

当初予算額	755,634,000円	(	634,847,000円)
予算現額	522,398,000円	(	521,550,265円)
決算額	500,745,407円	(	492,243,811円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	21,652,593円	(	29,306,454円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(非常勤一般職28人)【学校教育課】 178,391,080円

- 2 教育指導事務費【学校教育課・保健給食課】 3, 253, 881円
- 3 児童生徒対象事業費【学校教育課】 270, 223, 527円
 - (1) 文化的部活動指導奨励費 3, 543, 000円
 文化的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。
 特別指導者 49人 実績時間 1, 771. 5時間
 - (2) 感動体験事業費 20, 097, 912円
 一流の文化、芸術に直接触れることで、豊かな心を育むため、コンサートホールで名古屋フィルハーモニー交響楽団の鑑賞会を実施しました。
 - (3) 自然体験等学習費 8, 088, 161円
 豊かな自然の中での集団宿泊生活を通じて、調和のとれた児童生徒の健全育成を図るため、六所山等で野外学習（小学5年生、中学1年生）を実施しました。
 - (4) 公共施設体験学習費 7, 020, 297円
 地域社会の構成員としての自覚や地域社会を大切にする気持ちを育てるため、公共施設見学（小学4年生）を実施しました。
 - (5) 児童生徒対象行事費 2, 047, 918円
 豊かな感性を育て、教育の向上を図るため、科学研究作品展、書き初め大会等各種行事を実施しました。
- 6) へき地小規模校教育推進費 2, 344, 180円
 へき地小規模校の児童に集団の中で学習する機会を与えるため、あすけ集合学習、都市体験学習及び芸術鑑賞会を実施しました。
- (7) 外国人講師費 146, 759, 700円
 外国人英語講師を小・中・特別支援学校へ配置し、小学校での外国語活動や外国語科の授業、中学校での英語科の授業の充実を図りました。
- (8) 特別支援教育推進費 32, 654, 562円
 特別支援教育を推進するため、就学支援、巡回相談活動等を実施しました。
 また、医療的ケアの必要な児童生徒に対して、学校へ看護師を派遣しました。
- (9) 生徒進路対策費 33, 822, 978円
 児童生徒の健全育成を図るため、学力検査、進路指導等を実施しました。
 知能検査（新入学児、小学5年生）、学力検査（小学5年生）
 クレバリン検査（中学2年生）、進路指導及び生徒指導（全中学生）

- (1 0) 外国人児童生徒教育推進費 5, 0 2 9, 0 0 2 円
外国人児童生徒の教育を推進するため、学校日本語指導員の派遣、ことばの教室の運営、プレスクール事業等を実施しました。
外国人児童生徒数 1, 2 8 3 人(令和5年5月1日現在)
- (1 1) 地域教育用副読本作成費 1, 7 9 1, 9 0 0 円
教科書改訂に伴う学習内容の変更に対応するため、社会科副読本の改訂を行いました。
- (1 2) 教育介護員派遣費 3 4 2, 1 5 0 円
肢体不自由、発達障がい等の児童生徒が、安全に修学旅行や自然教室に参加できるよう、教育介護員を派遣しました。
- (1 3) 校外学習活動費 4, 7 7 1, 8 0 0 円
交通不便、地域固有の条件等で教育活動に支障のある学校に対して、校外学習のためのバスを借りました。
- (1 4) 小中学校文化的大会選手派遣費補助金(1 0 / 1 0 ・ 5 / 1 0) 1, 9 0 9, 9 6 7 円
文化的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大会への参加費用を補助しました。
- 4 中高連携費【学校教育課】 8, 6 2 9, 2 0 0 円
市内にある県立高等学校、特別支援学校及び豊田工業高等専門学校15校の特色ある取組や教育課程等を、ステージ及び各校のブースにおいて発信する「豊田市高等学校魅力発見フェスタ」を開催しました。来場した中学生及び保護者等へ魅力をアピールする場となりました。
- 5 国際交流活動費【学校教育課】 1 3, 6 3 0, 2 8 9 円
国際感覚を身に付けるとともに、海外での生活体験の中で実際に見聞きし、学んだことを周囲の生徒に報告、広めるなど国際理解教育に役立てるため、イギリスへの派遣を実施しました。現地へ直接足を運び、見聞きした経験から、異文化理解を深めることができました。
- 6 教育問題研究費【学校教育課】 2 6, 0 5 6, 4 3 0 円
- (1) 教育指導研究費 2, 3 4 0, 5 8 3 円
教育行政計画推進のため、8つの委員会を設置し、具体的な事業遂行のための研究を行いました。また研究の振興のため、24の部会を設置し、各教科等の特性に応じた研究を行いました。
- (2) 帰国児童生徒教育推進費 2 0 7, 8 7 4 円
帰国児童生徒対策等の充実を図るため、教育国際化推進連絡協議会の事業を推進しました。
- (3) キャリア教育推進費 9 4 0, 0 0 0 円

10款 教育費

地域の教育力を最大限に生かし、子どもたちの職業観や勤労観を磨き、社会性やコミュニケーション能力を高めるため、職場体験学習等を実施しました。

(4) 教育研究指定校活動費 1,299,569円

教育の課題解決や地域に根ざした学校教育の充実を図るため、研究推進校・継続校を指定し、教育実践を行いました。

(5) 特色ある学校づくり推進費 18,681,591円

伝統や地域性を生かした教育活動を推進するため、小中学校103校で、学校の自由裁量による研究、活動を実践しました。また、都市(旧市内)と山間(旧町村)の学校間の教育交流や海外の学校と国際交流を行いました。

(6) 少人数教育対応費 2,198,438円

小学校1～3学年及び中学校2・3学年で市独自の少人数学級編制、小学校6学年及び中学校2・3学年で少人数指導授業を実施することにより、個に応じたきめ細かな指導を行いました。

(7) 学校図書館司書配置費 258,450円

学校図書館に司書を週1回程度配置し、児童生徒の読書活動、調べる学習の支援を行い、学校図書館の利用充実を図りました。

(8) 小規模特認校制度推進費 129,925円

小規模特認校制や特認校の魅力をPRするために、ポスター及びちらしを作成しました。

7 小・中学校講師向け新豊田市民応援補助金(1/2・定額)

【学校教育課】 561,000円

小中学校講師の人材確保のため、市内に転入してくる講師に対し転居に係る経費の一部を補助しました。

対象者数 3人

10- 6- 3目 教育センター費

(前年度)

当初予算額	440,408,000円	(	377,033,000円)
予算現額	440,408,000円	(	402,961,000円)
決算額	435,877,435円	(	397,967,843円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	4,530,565円	(	4,993,157円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(教育センター企画運営委員会委員3人)【学校教育課】

48,000円

10款 教育費

- | | | |
|---|--|----------------|
| 2 | 施設管理運営費【学校教育課】 | 2, 812, 444円 |
| 3 | コンピュータ等整備費【学校教育課】 | 602, 285円 |
| | 教育センターのコンピュータ機器の活用を図りました。 | |
| 4 | 学校情報化推進費【学校教育課】 | 411, 495, 024円 |
| | 学校の情報化を推進するため、学校のコンピュータ機器の円滑な運用を図りました。 | |
| | また、放課後児童クラブで学習用タブレットを使用するため、通信環境を整備しました。 | |
| 5 | I C T授業利活用推進事業費【学校教育課】 | 2, 133, 216円 |
| | I C Tを活用した授業を安定して行うため、データセンターネットワーク機器の維持管理を行いました。 | |
| 6 | 教職員研修費【学校教育課】 | 18, 786, 466円 |
| | 学校教育における教育目標を効果的に達成し、教職員の資質・能力の向上を図るため、専門職としての理論や技術の各種研修を実施しました。 | |

10- 6- 4目 学校保健費

		(前年度)
当初予算額	332,531,000円 (	354,701,000円)
予算現額	356,192,000円 (	378,567,000円)
決算額	330,996,771円 (	354,339,853円)
翌年度繰越額	10,470,000円 (	10,539,000円)
不用額	14,725,229円 (	13,688,147円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	10,470,000円
小中特別支援学校換気対策事業	10,470,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- | | | |
|-----|---|----------------|
| 1 | 人件費（こども園医8人、こども園歯科医8人、こども園薬剤師8人
学校医81人、学校歯科医98人、学校眼科医12人、学校
耳鼻咽喉科医18人、学校薬剤師58人） | |
| | 【保育課・保健給食課】 | 186, 414, 100円 |
| 2 | 学校保健衛生管理費【保健給食課】 | 125, 848, 114円 |
| (1) | 管理費 | 30, 616, 436円 |
| | 学校保健の円滑な運営のため、保健室の医薬材料・備品などの購入、機器の検査・修繕、環境衛生検査などを実施しました。 | |
| (2) | 結核予防費 | 4, 979, 500円 |
| | 感染症法・学校保健安全法による予防事業として、児童生徒及 | |

び教職員の結核の感染を防ぐため健康診断などを実施しました。

(3) 健康診査費 57,408,868円

学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図るため、各種健康診断を実施しました。

(4) 治ゆ証明費 887,810円

児童生徒が学校保健安全法に規定する感染症に感染した場合に出席停止の指示及び当該疾病に係る治ゆが確認できる証明書の交付業務を委託しました。

(5) 学校災害共済負担金 31,955,500円

学校管理下の災害における医療費等の給付を目的とする災害共済給付制度について、児童生徒の加入契約に係る共済掛金を負担しました。

3 学校保健特別対策事業費【保健給食課】 9,348,942円

新型コロナウイルス感染症対策のために必要な衛生材料、換気対策等に係る物品を購入し、学校に配付しました。

4 健康づくり推進費【保健給食課】 1,261,726円

新型コロナウイルス感染症の影響により、小児生活習慣病予防事業の一部を休止し、むし歯予防事業を実施しました。

5 学校プール管理費【保健給食課】 8,123,889円

◆特記事項

小中特別支援学校換気対策事業において、国の補正予算(第1号)の補助金に対応するため、3月議会で13,440千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【保健給食課】

10- 6- 5目 学校体育費

(前年度)

当初予算額 25,644,000円 (29,310,000円)

予算現額 21,110,000円 (23,933,000円)

決算額 16,090,503円 (18,889,050円)

翌年度繰越額 0円 (0円)

不用額 5,019,497円 (5,043,950円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 学校体育事務費【学校教育課】 2,099,173円

2 体育的部活動指導奨励費【学校教育課】 6,917,710円

体育的部活動等を奨励するため、部活動等の指導者へ謝礼を支払いました。

特別指導者 100人 実績時間 3,438時間

10款 教育費

3 体育大会開催費【学校教育課】 2,641,089円
 体力の向上を図るとともに、スポーツの推進を図るため、中学校
 総合体育大会を開催しました。

4 体育大会選手派遣費補助金（10／10）【学校教育課】 4,432,531円
 体育的部活動等の奨励及び保護者負担の軽減を図るため、各種大
 会への参加費用を補助しました。
 全国大会出場 弓道（4校）、水泳（2校）ほか

10- 6- 6目 学校給食費

		(前年度)
当初予算額	178,718,000円	(164,585,000円)
予算現額	169,075,000円	(162,907,553円)
決算額	162,384,107円	(161,582,757円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	6,690,893円	(1,324,796円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 学校給食運営費【保健給食課】 21,294,187円
 (1) 運営費 2,904,942円
 小・中学校における食の指導の推進のため、献立表等の発行を
 行いました。
 (2) 配膳費 18,389,245円

2 準要保護児童生徒給食援助費【保健給食課】 141,089,920円
 豊田市就学援助費事務取扱要綱に基づき、準要保護児童・生徒へ
 給食費を扶助しました。
 扶助対象 小学校児童 1,864人 中学校生徒 1,213人
 扶助対象食数 小学校児童 332,308食
 中学校生徒 207,189食

10- 6- 7目 給食センター費

(前年度)

当初予算額	4,492,423,000円	(4,465,455,000円)
予算現額	4,859,081,000円	(4,617,987,447円)
決算額	4,662,790,279円	(4,502,563,235円)
翌年度繰越額	86,144,000円	(105,676,000円)
不用額	110,146,721円	(9,748,212円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	86,144,000円
コンテナ消毒装置等修繕事業（中部給食センター外1施設）	11,715,000円
中部給食センターボイラー等改修事業	74,429,000円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（学校給食センター運営委員会委員9人）【保健給食課】

72,000円
- 2 給食業務管理運営費【保健給食課】 241,663,768円
 - (1) 管理費 25,614,488円

給食システムを活用し、献立作成、給食物資の発注、食数管理及び物資管理を行いました。
 - (2) 配送業務委託費 187,165,524円

配送実績（196日間）

小学校22校 中学校10校 こども園など56園
 - (3) 給食用食器整備費 28,883,756円
- 3 給食材料費【保健給食課】 900,918,152円

魅力ある給食を提供するため、地域で生産される食材を活用し、児童生徒の嗜好面、栄養面などを考慮しながら、安全で良質かつ安価な給食材料の購入に努めました。
- 4 学校給食協会委託費【保健給食課】 1,494,686,145円

（公財）豊田市学校給食協会に委託し、給食調理業務及び給食用物資の調達を行いました。

各給食センター年間調理実績

中部給食センター	1,213,359食
南部給食センター	1,638,019食
平和給食センター	1,436,691食
豊田特別支援学校	33,227食
- 5 施設管理運営費【保健給食課】 66,103,699円

給食センターの効率的な管理運営を図るため、施設設備等の維持管理に必要な業務を委託しました。
- 6 地域給食施設管理運営費【保健給食課】 52,926,104円

10款 教育費

(1)	足助地域給食施設管理運営費	36,635,871円
	年間調理実績	148,056食
(2)	旭地域給食施設管理運営費	8,368,465円
	年間調理実績	38,340食
(3)	稲武地域給食施設管理運営費	7,921,768円
	年間調理実績	30,338食
7	施設整備費【保健給食課】	165,725,999円
	中部給食センターの空調改修工事(第3期)を行いました。	
8	東部給食センター費【保健給食課】	680,447,879円
(1)	管理運営費	487,590,890円
	年間調理実績	2,125,781食
(2)	建設費	192,856,989円
	東部給食センター改築整備運営事業(PFI事業)契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。	
9	北部給食センター費【保健給食課】	529,653,629円
(1)	管理運営費	480,109,116円
	年間調理実績	1,553,877食
(2)	建設費	49,544,513円
	北部給食センター改築整備運営事業(PFI事業)契約に基づき施設設計費及び建設費を割賦料として執行しました。	
10	学校給食協会運営費補助金(10/10)【保健給食課】	530,592,904円

◆特記事項

中部給食センターボイラー等改修事業及びコンテナ消毒装置等修繕事業において、工事の平準化を図りながら、機器類の納品に必要な準備期間を確保するため、9月議会で92,381千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【保健給食課】

10- 7- 1目 社会教育総務費

		(前年度)
当初予算額	245,325,000円	(237,015,000円)
予算現額	242,084,000円	(432,264,000円)
決算額	231,595,999円	(410,764,542円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	10,488,001円	(21,499,458円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

- 1 人件費（生涯学習審議会委員9人、一般職5人、非常勤一般職58人）
【市民活躍支援課・人事課】 145,600,043円
- 2 非常勤一般職管理事務費【人事課】 2,414,145円
- 3 市民活躍支援総務事務費【市民活躍支援課】 667,605円
- 4 生涯学習推進費【スポーツ振興課】 2,852,000円
市民の多様な学習活動を奨励するため、体育・文化等に関する全国大会や国際大会の出場者に対し報奨金を交付しました。
個人 264人、団体 16団体
- 5 家庭教育費【こども・若者政策課】 345,110円
家庭教育の学習機会や情報取得機会を提供するため、家庭教育手帳「親ノート」の配布や家庭教育講座、親育ち交流カフェの開催を支援しました。
家庭教育講座 14か所 1,325人
親育ち交流カフェ 2か所 38人
- 6 子どもの生き抜く力を育む事業費【こども・若者政策課】 640,000円
様々な困難に立ち向かい乗り越えていく力を育むため、発想力、決める力及びコミュニケーション力を鍛えるワークショップを開催しました。
ワークショップ（11回） 707人
- 7 生涯学習事業費【市民活躍支援課】 170,000円
高校生を対象にアントレプレナーシップを育む取組として、1日体験講座を実施し、19名が参加しました。
- 8 PTA活動費【こども・若者政策課】 2,305,000円
PTA活動の推進と充実を図るため、豊田市PTA連絡協議会に補助対象経費の1/2を上限として、補助金を交付しました。
- 9 ものづくり科学創造推進費【市民活躍支援課】 53,913,958円
 - （1）企画運営費 44,864,458円
指定管理者（公財）豊田市文化振興財団
とよた科学体験館入場者数 187,879人
内訳 プラネタリウム入場者数 42,430人
サイエンスホール入場者数 145,449人
 - （2）科学技術教育推進費 1,049,500円
児童・生徒を対象とした科学講座、中学生による科学ものづくりイベントなど、9種の事業を開催しました。
 - （3）少年少女発明クラブ補助金（1/2） 8,000,000円

10款 教育費

10 ものづくり文化のまち推進費【市民活躍支援課】	
	15,907,692円
(1) ものづくり教育推進費	4,563,173円
ものづくり教育プログラムを小学校等70校で実施しました。	
ものづくりサポーター登録者数 113人	
(2) ものづくりサポートセンター管理運営費	2,904,943円
ものを作る仕事の魅力を学び体験する講座として、ミニタミ作り講座など3事業を開催し、54人が参加しました。	
豊田市名誉市民である藤嶋昭東京理科大学名誉教授から同氏の経験や発想を学ぶ「藤嶋塾」を4回開催し、212人が受講しました。	
(3) とよたものづくりフェスタ開催負担金	8,439,576円
11月26日にとよたものづくりフェスタ2023を開催しました。	
来場者数 14,000人 体験者数 8,421人	
11 ものづくりプロジェクト推進費【市民活躍支援課】	
	6,751,374円
(1) クルマづくり究めるプロジェクト負担金	6,751,374円
集大成企画、きんとうんの2コースに小学6年生以上49人、指導員(ボランティア)235人が参加しました。	
12 青少年ものづくり基金積立金【市民活躍支援課】	
	29,072円
10- 7- 2目 文化財保護費	
(前年度)	
当初予算額	416,901,000円 (3,949,986,000円)
予算現額	481,517,500円 (6,186,150,023円)
決算額	347,683,954円 (2,614,325,173円)
翌年度繰越額	124,864,400円 (3,546,181,500円)
不用額	8,969,146円 (25,643,350円)
●翌年度繰越額	
☆継続費☆	124,864,400円
旧鈴木家住宅保存整備事業(その4)	124,864,400円
●執行経費(決算額の内訳)及び概要	
1 人件費(文化財保護審議会委員17人、市史編さん専門委員会委員1人、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員9人、景観アドバイザー2人)【文化財課】	913,800円
2 文化財等保護保存費【文化財課】	76,408,776円

- (1) 指定文化財、史跡等の適切な保存管理に謝礼を支出しました。
史跡、天然記念物 21件
- (2) 史跡等の草刈りや台風被害復旧を行い、文化財保護と利用環境を整えました。
豊田大塚古墳支障木伐採、根川古墳法面草刈、天然記念物樹木現況調査の実施等
- (3) 老朽化した史跡説明看板を修繕しました。
谷耳太古墳始め6件
- (4) 史跡名勝等の保存・整備を行いました。
杉本の貞観スギ傾斜計測、曾根遺跡公園屋外トイレ修繕等
- (5) 埋蔵文化財の発掘調査、出土品整理、調査報告書の刊行を行いました。
発掘調査 舞木古窯、桜城跡
範囲確認調査等 林遺跡始め6件
埋蔵文化財工事立会 梅坪遺跡始め51件
報告書等刊行
「令和4年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書」 500部
- (6) 豊田市「綾渡の夜念仏と盆踊」保存活用推進協議会に負担金を交付し、活動を支援しました。
- (7) 有形文化財、有形・無形民俗文化財、伝統的郷土芸能の保存、伝承及び後継者育成に補助金を交付しました。
有形文化財 2件(足助八幡宮消防設備維持管理等)
有形民俗文化財 16団体(拳母神社の山車等)
無形民俗文化財 27団体(棒の手、はやし等)
伝統的郷土芸能 15団体(はやし、歌舞伎等)
- (8) 指定文化財の修理等補助金
猿投神社不動明王立像(猿投神社)
拳母神社の山車(西町)芯棒(西町山車保存会)
守綱寺太鼓堂(守綱寺)
松平東照宮史跡内修理・樹木伐採(松平東照宮)
高橋町の山車襖絵(高橋町山車保存会)
平井町の山車車輪(平井山車囃子保存会)
志賀町の山車車輪(志賀町山車保存会)
六所神社舞台の消防設備設置(吉木座会)
- (9) 伝統的郷土芸能保存修理費補助金
長胴太鼓新調(鴛鴦祭囃子保存会)
小締め太鼓修理(上郷大成町祭囃子保存会)

3 豊田市郷土資料館費【文化財課】 12,782,016円

旧郷土資料館及び文化財倉庫（旧図書館・保見文化財倉庫）の維持管理を行いました。

4 地域資料館費【藤岡支所・足助支所・旭支所・稲武支所】

5, 756, 908円

(1) 藤岡民俗資料館管理費

3, 158, 062円

年間入館者数 218人

(2) 足助資料館管理費

1, 019, 150円

年間入館者数 699人

(3) 旭郷土資料館管理費

1, 170, 747円

年間入館者数 73人

(4) 稲武郷土資料館管理費

408, 949円

年間入館者数 4, 040人

5 郷土史充実費【文化財課】

688, 000円

郷土ゆかりの人物等の事績を顕彰・紹介・研究するため、顕彰会に補助金を支出しました。

鈴木正三顕彰会始め3団体

6 新修豊田市史編さん費【文化財課】

47, 911, 328円

(1) 新修豊田市史を編さんするため、豊田市史資料調査会に委託して、本の執筆・編集、資料の調査等を行いました。

総集編会議 1回、事務打合せ 15回

資料整理・調査等50回

古文書デジタルスキャニング

17, 324コマ

古文書調査・目録作成

9, 946点

(2) 「新修豊田市史 総集編」を刊行しました。

900部

(3) 市史だより特別号を刊行しました。

1, 000部

(4) 市史完成記念イベントを開催しました。

講演会参加者 100人

歴史クイズ参加者 435人

7 歴史的町並み保存費【文化財課】

175, 002, 986円

(1) 重伝建地区内の建物の修理等に補助金を交付しました。

修理修景2件

(2) 旧鈴木家住宅主屋の部分公開を始めました。

入館者数（8月～3月・開館日数148日）21, 304人

(3) 旧鈴木家住宅に遺された民具等の展示、歴史や文化を学び楽しむ講座及びイベントなどを実施しました。

特別展「再び時計の針は動き出す」入場者数

740人

企画展「足助・紙屋鈴木家のおひなさま」

入場者数 9, 085人

10款 教育費

香木の香りを楽しむ聞香サロン	参加者数	19人
部分公開記念座談会	参加者数	79人
フラワーインスタレーション	入場者数	1,672人
(4) 旧鈴木家住宅保存修理工事第6・7期工事、防災対策第2期工事、活用整備第2期工事を行いました。		
(5) 旧鈴木家住宅保存修理の市民周知のため、修理現場見学を開催しました。		
修理現場見学4回	参加者数	17人
8 文化財施設費【文化財課】		18,129,608円
(1) 文化財施設の適切な管理運営に努めました。		
喜楽亭	年間入館者数	4,302人
松平郷館	年間入館者数	16,943人
旧松本家長屋門	年間入館者数	2,277人
(2) 文化財施設の修理を行いました。		
足助城物見櫓建替等		
9 地域文化財管理費【藤岡支所・小原支所・足助支所】		10,090,532円
(1) 藤岡地域文化財管理費		280,249円
県指定文化財である旧山内家住宅の適切な管理を行いました。		
(2) 小原地域文化財管理費		1,290,843円
市指定文化財である市場城跡等の適切な管理を行いました。		
(3) 足助地域文化財管理費		632,219円
県指定文化財である足助中馬館の適切な管理を行いました。		
年間入館者数		9,185人
(4) 城跡公園足助城管理費		7,887,221円
指定管理者	(株)三州足助公社	
年間入場者数		13,133人

10- 7- 3目 民芸館費

		(前年度)
当初予算額	68,661,000円	(54,019,000円)
予算現額	68,321,000円	(62,012,037円)
決算額	65,160,206円	(59,896,732円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	3,160,794円	(2,115,305円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 施設管理運営費【博物館】	23,269,753円
----------------	-------------

- (1) 民芸館年間入場者数 56,988人
- (2) 民芸の森年間入場者数 18,352人
- (3) 民芸館及び民芸の森の管理運営を行いました。
- (4) 「民芸館だより」を2回(1回2,500部)発行しました。
- 2 民芸の森普及推進費【博物館】 1,423,200円
 - 市民との共働による豊田らしい身近な民芸を展開する場として、イベントや体験ワークショップなどを実施しました。
 - (1) イベント
 - 「初夏、森の手ざわり」(5月)及び「観月会」(10月)を実施しました。
 - (2) 体験ワークショップ「貼り絵でミニ鯉のぼりを作ろう」
 - 始め9回 422人
 - (3) 民芸の森企画運営会議 3回 など
- 3 展覧会開催費【博物館】 18,918,934円
 - (1) 企画展
 - 「柳宗悦と愛知の民芸」
 - 7/1～9/24 観覧者数 6,823人
 - (2) 特別展
 - 「全国の郷土人形―祈り・願い・美しさのかたち」
 - 1/21～5/7(令和5年) 観覧者数 1,234人
 - 「沖縄の美」
 - 10/7～12/3 観覧者数 2,941人
 - 「河井寛次郎展 ―寛次郎の魅力は何ですか―」
 - 12/16～3/10 観覧者数 6,434人
- 4 民芸館講座開催費【博物館】 4,494,419円
 - ものづくりの各種講座を開催し、民芸の普及啓発を図りました。
 - 陶芸教室 39回 参加者 延べ 565人
 - 染織教室 140回 参加者 延べ1,093人
 - ガラス工芸教室 35回 参加者 延べ 354人
 - 民芸体験・体験講座 70回 参加者 延べ 877人
 - 合 計 284回 参加者 延べ2,889人
- 5 施設整備費【博物館】 16,497,404円
 - (1) 民芸館整備費 12,260,380円
 - 民芸館屋外サイン看板や第1、第2民芸館の壁紙の修繕を行いました。
 - (2) 民芸の森整備費 4,237,024円
 - 民芸の森松近亭屋根修繕を行いました。
- 6 資料購入費【博物館】 556,496円

10款 教育費

衣食住及び伝統的な手仕事に関する展示資料として、日本民藝館
展優秀作品3点を購入しました。

10- 7- 4目 図書館費

(前年度)

当初予算額	901,291,000円	(	914,326,000円)
予算現額	931,031,000円	(	948,194,000円)
決算額	922,504,768円	(	912,865,446円)
翌年度繰越額	0円	(	32,900,000円)
不用額	8,526,232円	(	2,428,554円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 人件費(図書館協議会委員7人)【図書館管理課】128,000円
- 2 図書館管理事務費【図書館管理課】687,758円
- 3 中央図書館費【図書館管理課】619,883,282円
指定管理者制度による図書館運営や各種修繕を行いました。
指定管理者 TRC・ホームックス共同企業体
施設利用者数 887,383人
- 4 こども図書室費【建築予防保全課】660,000円
こども図書室の空調設備修繕を行いました。
- 5 図書館システム費【図書館管理課】59,847,301円
- 6 豊田参合館運営費負担金【図書館管理課】241,298,427円
 - (1) 管理運営費 141,139,834円
 - (2) 施設整備費 100,158,593円
 豊田参合館の適正な維持管理のため、共用部の維持管理及び施設整備の費用を負担しました。また、豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業において、民間事業計画と合わせて実施しました。

10- 7- 5目 博物館費

当初予算額	3,022,738,000円
予算現額	6,186,936,000円
決算額	6,124,651,043円
翌年度繰越額	0円
不用額	62,284,957円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 博物館事務費【博物館】2,243,406円
博物館運営協議会準備会を開催しました。

- 2 博物館管理運営費【博物館】 45,048,155円
博物館開館準備作業に伴う施設管理を行いました。
- 3 みんなでつくる博物館費【博物館】 ※新規 10,476,101円
 - (1) 博物館で販売するエコバック、ポストカード等の作成を行いました。
 - (2) 自然標本あつめるプロジェクト・記憶あつめるプロジェクトの参加者を募集し、活動を行いました。
活動回数 38回 活動参加者数延べ 601人
とよはくパートナーの参加者を募集し、研修・活動を行いました。
個人パートナー 167人 団体パートナー 73団体
全体説明会 1回 全体研修 2回
博物館の楽しみ方ガイドグループ グループ別研修回数 5回
自然体験グループ グループ別研修回数 1回
博物館学習グループ グループ別研修回数 2回
博物館の環境維持グループ グループ別研修回数 2回
あつめるプロジェクトグループ グループ別研修回数 1回
 - (3) 子どもたちを中心に、市民が体験を通じて郷土の歴史に親しむことができるように、イベントを開催しました。
「君も武将になれる！七州城隅櫓でよろいを着てみよう！」
(鎧の衣装試着体験) 参加者数 45人 来場者 159人
 - (4) こどもはくぶつかんだよりを2回(1回5,500部)発行しました。
博物館の開館に向け、市民周知用動画を作成し、広報活動を行いました。
 - (5) 郷土資料や市内の文化財を学校教育で活用して、博物館学習事業を実施しました。
参加校延べ 313校 参加人数延べ 26,972人
市内小学生によるどんぐり植樹を行いました。
参加校延べ 62校 参加人数延べ 2,748人
- 4 展覧会開催費【博物館】 2,341,701円
開館後に開催予定の展覧会の調査を行いました。
- 5 地域施設管理運営費【博物館】 6,707,405円
地域施設の適切な管理運営に努めました。
歌舞伎伝承館 年間入館者数 8,611人
- 6 博物館建設費【博物館】 6,036,724,182円
 - (1) 建設費(単年度)

博物館開館に向けた各種備品の購入、来館者用Wi-Fi環境整備等を行いました。

(2) 建設費(継続費)

建築工事は2工事を行いました(令和3年度から継続)。

展示・収蔵環境等製作を行いました(令和3年度から継続)。

園路整備工事を行いました(令和4年度から継続)。

旧平岩家住宅及び東土蔵の移築工事を行いました(令和4年度から継続)。

EV充電器の設置を行いました。

桎尾1号墳の移築工事を行いました。

7 郷土史充実費【博物館】 12,420,716円

(1) 博物館で展示するための土器の修繕、地域資料館に収蔵されている民具資料の整理・調査等を行いました。

(2) 郷土資料の充実を図るため『和訳英語連珠』、松平親氏坐像複製等を購入しました。

8 資料管理費【博物館】 8,689,377円

所蔵資料の燻蒸、虫菌害対策のための保存環境整備等を行い、資料の適切な保存管理に努めました。

10- 8- 1目 文化体育総務費

(前年度)

当初予算額	2,400,639,000円	(2,325,462,000円)
予算現額	2,479,210,000円	(2,371,277,300円)
決算額	2,421,903,482円	(2,288,517,446円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	57,306,518円	(82,759,854円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(一般職86人、非常勤一般職135人)【人事課】

1,126,119,910円

2 非常勤一般職管理事務費【人事課】

10,190,940円

3 こどもの文化・スポーツ地域活動推進費【スポーツ振興課】

134,200円

有識者等で構成する協議会を開催し、部活動の地域移行の方向性等について議論しました。

4 文化振興財団運営費補助金(10/10)【文化振興課】

1,285,458,432円

派遣職員11人、正規職員69人、再任用職員6人、

特定業務職員203人、限定職員5人、臨時職員233人		
10- 8- 2目 文化活動費		
		(前年度)
当初予算額	193,519,000円	(190,711,000円)
予算現額	191,307,000円	(189,457,230円)
決算額	163,677,454円	(159,775,847円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	27,629,546円	(29,681,383円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1	文化活動事務費【文化振興課】	2,505,622円
2	文化芸術振興計画推進費【文化振興課】	195,270円
	文化芸術振興委員会 3回開催	
3	文化事業開催費【文化振興課】	22,915,314円
(1)	市民美術展	3,969,610円
	公募展・関連企画	
	入場者数 4,511人	
	応募点数 383点(うち入選点数 310点)	
(2)	文化事業負担金	18,945,704円
	市民が様々な文化に触れる機会を提供し、文化への興味や関心を高めるため、文化事業を開催しました。	
ア	市民アート展(4月/参加者数 1,489人)	
イ	小倉百人一首競技かるた全日本選手権大会	
	(4月/参加者数 551人)	
ウ	とよた将棋フェスタ(6月/参加者数 257人)	
エ	将棋王位戦(7月/参加者数 682人)	
オ	吹奏楽フェスティバル(11月/参加者数 1,000人)	
カ	秋季市民茶会(11月/参加者数 356人)	
キ	おいでんアート体験フェア(2月/参加者数 2,720人)	
ク	県文連西三河部芸能大会(2月/参加者数 1,234人)	
ケ	とよた囲碁まつり(2月/参加者数 63人)	
コ	とよた市民アートプロジェクト	
	(文化イベント等実施数 3事業 参加者数 3,648人)	
サ	とよたデカスプロジェクト	
	(応募 15件 採択 8件 参加者数 2,963人)	
4	青少年音楽活動費【文化振興課】	50,165,650円
	豊田市少年少女合唱団	

団員数 97人
 主な活動 定期演奏会1回 イベント参加12回 大会出場2回
 豊田市ジュニアマーチングバンド
 団員数 85人
 主な活動 定期演奏会1回 イベント参加8回 大会出場2回
 豊田市ジュニアオーケストラ
 団員数 54人
 主な活動 定期演奏会2回 イベント参加7回
 姉妹都市25周年記念として豊田市ジュニアマーチングバンドを
 ダービーシャーに派遣しました。

5 コンサートホール・能楽堂運営費【文化振興課】

77,547,714円

(公財)豊田市文化振興財団と共催し、コンサートホール・能楽
 堂等において、一流の奏者・演者による公演から幅広く親しみやす
 いプログラムまで、多様な芸術文化に触れる機会を提供しました。

ア 企画運営委員会 3回開催

イ クラシック音楽鑑賞会事業 20事業

名古屋フィルハーモニー交響楽団公演等

(入場者数 12,399人)

※出演者病気療養により1事業中止

ウ クラシック音楽市民参加事業 2事業

豊田市民クラシックコンサート等(入場者数2,074人)

エ クラシック音楽普及啓発事業 7事業

かーるくクラシック等(入場者数 7,282人)

オ 能楽鑑賞会事業 8事業

さつき能等(入場者数 2,359人)

カ 能楽市民参加事業 2事業

豊田市民演能会等(入場者数 293人)

キ 能楽普及啓発事業 5事業

能・狂言が見たくなる講座等(入場者数 1,814人)

ク 地域活性化事業 2事業

出前コンサート等(入場者数 4,003人)

6 郷土作家美術品収集費【文化振興課】 2,396,416円

(1) 郷土作家美術品管理費

市所蔵作品の修繕等、美術品の適正な維持管理に努めました。

7 文化芸術人材育成活用推進費【文化振興課】 7,566,468円

(1) 文化活動者派遣事業費

1,123,676円

文化芸術活動者を小中学校に派遣し、子どもたちが文化への興

10款 教育費

味や関心を高める機会を提供しました。

実施校 29回

参加者数 3,034人

(2) 舞台芸術人材育成活用・創造事業費 6,442,792円

舞台芸術(演劇)等への市民の関心を高めるとともに、支える人材の育成を図る事業を実施しました。

ア とよたこども創造劇場(参加者数 489人)

イ とよた演劇ファクトリー(参加者数 331人)

ウ 劇団四季こころの劇場

(実施校 41校 参加者数 1,814人)

8 文化ツーリズム推進費【文化振興課】 385,000円

民間事業者と共働して、農村舞台等を活用したモニターツアーの企画・募集を行いました。

10- 8- 3目 青少年活動費

(前年度)

当初予算額	185,903,000円	(	203,403,000円)
予算現額	199,974,093円	(	205,131,000円)
決算額	187,606,104円	(	182,909,733円)
翌年度繰越額	0円	(	12,046,000円)
不用額	12,367,989円	(	10,175,267円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 青少年活動事務費【こども・若者政策課】 628,384円

2 青少年センター費【こども・若者政策課】 20,215,800円

青少年センターについて適正な維持管理に努めました。

指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団

施設利用者数 延べ97,963人

登録団体 29団体

3 総合野外センター費【こども・若者政策課・建築予防保全課】 91,266,920円

(1) 管理費 77,307,489円

総合野外センターについて適正な維持管理に努めました。

指定管理者 (公財)豊田市文化振興財団

施設利用者数 延べ48,391人

(2) 施設保全費 105,952円

自然の家の浴室照明取替修繕を行いました。

(3) 施設整備費 13,853,479円

宿泊室への空調設置等の施設整備を行いました。

4 こども・若者支援対策費【こども・若者政策課】

32,755,150円

若者の社会的自立を支援する若者サポートステーションや若者が抱える課題に連携して支援を行うための若者支援地域協議会を運営しました。

若者サポートステーション登録者数 231人

若者支援地域協議会 2回開催

5 青少年健全育成費【こども・若者政策課】 29,332,850円

(1) 二十歳のつどい開催費 19,531,705円

各地区コミュニティ会議で二十歳のつどいを開催しました。

出席者数 3,626人(出席率70.0%)

(2) 青少年健全育成推進協議会負担金 4,771,339円

豊田市青少年健全育成推進協議会の活動に対し、負担金を支出しました。

(3) 青少年育成事業負担金 5,029,806円

(公財)豊田市文化振興財団に対し、青少年の社会参加、指導者育成等の事業を行うための負担金を支出しました。

25事業 延べ6,906人

6 地域子ども会活動費補助金(8/10・1/2)

【こども・若者政策課】 9,084,000円

子ども会及びジュニアクラブの活動に対し、補助金を交付しました。

単位子ども会 305団体

ジュニアクラブ 63団体

7 更生保護対策費【こども・若者政策課】 1,473,000円

(1) 更生保護対策費補助金(1/2) 1,285,000円

豊田市保護司会の活動に対し、補助金を交付しました。

(2) 更生保護女性会費補助金(1/2) 140,000円

豊田市更生保護女性会の活動に対し、補助金を交付しました。

(3) 更生保護における雇用及び就労支援対策費補助金(1/2)

48,000円

豊田保護区協力雇用主会の活動に対し補助金を交付しました。

8 青少年健全育成関連団体活動支援補助金(1/2)

【こども・若者政策課】 2,800,000円

豊田市子ども会育成連絡協議会を始め6団体の青少年健全育成関連団体の活動に対し、補助金を交付しました。

9 青少年健全育成基金積立金【こども・若者政策課】 50,000円

10款 教育費

青少年健全育成事業に対する1団体からの寄附金を積み立てました。

10- 8- 4目 青少年教育費

(前年度)

当初予算額	111,199,000円	(	71,794,000円)
予算現額	109,797,000円	(	74,023,000円)
決算額	102,331,434円	(	67,586,061円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	7,465,566円	(	6,436,939円)

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(いじめ防止対策委員会委員5人)【学校教育課】

213,000円

2 青少年非行化防止費【学校教育課】 2,000,000円

豊田少年補導委員会、足助少年補導委員会の活動に対して負担金を支出しました。

3 青少年相談センター費【学校教育課】 74,413,273円

(1) 管理運営費 17,219,759円

(2) 長寿命化推進費 2,847,900円

豊田市公共施設等総合管理計画に基づいた計画的な保全と、安全・安心で快適な施設環境を確保するための改修工事の設計を行いました。

(3) 相談活動費 54,280,394円

ア 相談指導事業

青少年や保護者の悩みに応じるため、関係機関と連携し、相談活動等を実施しました。

面接相談延べ回数 4,906回

サポートチーム会議(ケース会議)教職員 321回

関係機関 90回

スクールソーシャルワーカーによる延べ支援児童生徒数

11,518人

イ ユースワーカー事業

大学生を主としたユースワーカーが問題を抱えた青少年と心理学に基づいた自由遊び、面接を行い、青少年の問題行動の改善を図りました。

ユースワーカー 1人

活動の対象となる青少年 2人

10款 教育費

活動延べ回数		27回
ウ 電話相談「はあとラインとよた」事業		
青少年や保護者等に対する電話相談を実施しました。		
電話相談延べ回数		97回
(4) 公開セミナー費		65,220円
発達障がいや、いじめ・不登校等の諸問題に関するセミナーを開催しました。		
実施回数		7回
参加人数		322人
4 いじめ不登校問題対策費【学校教育課】		25,705,161円
(1) いじめ・不登校対策事業		
いじめ・不登校の未然防止のために、相談連絡先カードの更新と児童生徒への配布、hyper-QU検査(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)等を実施しました。		
(2) パルクはあとラウンジ(教育支援センター)事業		
登校できない児童生徒の社会的自立のために、集団生活や体験活動を通して「対人関係の改善」「自立性・自発性の育成」「基礎学力の補充」を目的にパルクはあとラウンジの運営を行いました。		
教育支援専門員		9人
ふれあい指導員		9人
パルクはあとラウンジ登録児童生徒		177人
10- 8- 5目 男女共同参画費		
(前年度)		
当初予算額	16,561,000円 (	12,503,000円)
予算現額	14,715,000円 (	10,844,000円)
決算額	13,983,094円 (	9,643,155円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	731,906円 (	1,200,845円)
●執行経費(決算額の内訳)及び概要		
1 男女共同参画センター費【市民活躍支援課】		3,830,669円
(1) 管理運営費		2,581,363円
利用者数		36,752人
(2) 相談費		1,249,306円
電話相談件数	クローバーコール(女性)	1,161件
	メンズコールとよた(男性)	64件

- 2 男女共同参画推進費【市民活躍支援課】 9, 452, 425円
- (1) 推進会議費 328, 900円
男女共同参画推進懇話会 委員10人 4回開催
- (2) 講座開講費 395, 118円
13講座 参加者数 385人
- (3) 啓発費 1, 002, 622円
男女共同参画社会実現に向け、情報誌の発行など啓発を行いました。
情報誌クローバー(2回発行) 29, 550部
配布先 自治区、市内事業所
- (4) 計画策定費 4, 232, 700円
(仮)第5次とよた男女共同参画プラン策定の基礎資料とするため市民意識調査を実施しました。
- (5) 子ども・若者啓発費 516, 000円
若者の固定的性別役割意識の解消を目的に、小学生を対象として、性別イメージにとらわれない職業選択を促進する「おシゴト体験ラボ」を企画しました。
10月8日 参加者数 50人
- (6) 女性団体育成推進費 133, 000円
団体が行う市民への啓発講座や研修会等にかかる講師料を助成しました。
- (7) 女性のライフプラン・キャリア形成支援費 2, 273, 050円
女性のためのスキル&マインドアップセミナーを開催しました。
25講座 参加者数 354人
- (8) 働き方改革推進費 48, 906円
ワーク・ライフ・バランスキャンペーンとして、事業所への定時退社協力依頼を実施しました。
キャンペーン実施期間 11月8日～15日
- (9) 性的少数者理解促進費 522, 129円
性的少数者に対する理解を深めるため、演劇ワークショップ、理解促進講座、生涯学習出前講座を実施しました。
9講座 参加者数 345人
- 3 女性労働能力活用費補助金(1/2)【市民活躍支援課】 700, 000円
豊田市ファミリー・サービス・クラブの運営に対し、補助金を交付しました。

10- 8- 6目 社会体育費			
			(前年度)
当初予算額	832,390,000円	(	521,717,000円)
予算現額	846,088,385円	(	600,071,829円)
決算額	825,073,875円	(	481,383,557円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	21,014,510円	(	118,688,272円)
●執行経費(決算額の内訳) 及び概要			
1	人件費(スポーツ推進審議会委員6人、スポーツ推進委員158人)		
	【スポーツ振興課】 6, 672, 200円		
2	社会体育事務費【スポーツ振興課】 711, 903円		
3	スポーツ推進委員活動費【スポーツ振興課】 1, 673, 348円		
4	アジア競技大会開催支援費【スポーツ振興課】 238, 339円		
5	スポーツ振興費【スポーツ振興課】 10, 559, 471円		
(1)	生涯スポーツ推進費 9, 855, 471円		
	第42回豊田マラソン 参加者 6, 021人		
(2)	スポーツボランティア推進費 704, 000円		
	ボランティア事務局の運営 登録者 2, 412人		
6	学校開放費【スポーツ振興課】 39, 698, 766円		
	＜学校数＞	＜開放校＞	＜利用回数＞
小学校	75	74	19, 878
中学校	28	28	16, 955
計	103	102	36, 833
			835, 488人
7	地域学校開放費 1, 066, 890円		
	【藤岡支所・足助支所・下山支所・旭支所・稲武支所】		
(1)	藤岡地域学校開放費 99, 550円		
(2)	足助地域学校開放費 543, 840円		
(3)	下山地域学校開放費 170, 500円		
(4)	旭地域学校開放費 121, 000円		
(5)	稲武地域学校開放費 132, 000円		
8	競技会誘致費【スポーツ振興課】 2, 100, 000円		
	＜大会・試合＞	＜観客数＞	
	女子ソフトボールリーグ(J Dリーグ)	8, 098人	
	女子バスケットボールリーグ(Wリーグ)	3, 728人	
	男子バスケットボールリーグ(Bリーグ)	8, 915人	
	日本バレーボールリーグ(Vリーグ・ファイナル)	5, 045人	
	U 25車いすバスケットボール大会	1, 211人	

	日本ハンドボールリーグ	551人
	ジャパンラグビーリーグワン	18,619人
9	ホームチーム応援費【スポーツ振興課】	11,103,838円
	＜参加者＞	
	豊田ジュニアラグビー	180人
	都市対抗野球大会市民応援	78人
10	夢の教室開催費【スポーツ振興課】	11,257,780円
	子どもたちに、夢を持つことや夢に向かって努力することの大切さを学ぶ機会を提供するため、小学5年生と中学2年生を対象に夢を実現したアスリート等を夢先生として派遣する「夢の教室」を開催しました。	
	＜実施校＞ 小学校65校135クラス、中学校6校14クラス	
11	スポーツ教室開催費【スポーツ振興課】	7,393,141円
	企業や大学と連携したスポーツ教室を開催しました。	
12	地域スポーツクラブ育成支援費【スポーツ振興課】	
		15,178,104円
(1)	育成支援事務費	1,159,859円
(2)	連携事業負担金	2,272,000円
(3)	活動費補助金(9/10・4/5・2/3・1/2)	
	補助金交付クラブ数 6クラブ	6,266,000円
(4)	集いの場創出事業費	2,760,000円
(5)	クラブハウス管理運営費	2,720,245円
13	Jリーグホームタウン推進費【スポーツ振興課】	
		5,652,996円
	名古屋グランパス2023シーズン開幕応援事業や名古屋グランパス指導者派遣事業を実施しました。	
14	子どもの体力向上推進費【スポーツ振興課】	67,100円
	保育士等にコーディネーショントレーニング研修を実施しました	
15	スポーツツーリズム推進費【スポーツ振興課】	
		11,854,147円
	全国のJリーグチームのアカデミー世代による交流大会「WE LOVE サッカー・豊田ゲームス2023」を実施しました。	
	サッカーの国際試合を誘致するとともに、開催に合わせてまちなかのシティドレッシング、スタジアム内のマスキング及び芝の緊急補修を行いました。また、J1リーグの開催日等に合わせて経済波及効果計測調査を実施しました。	
16	トップアスリート・スポーツチーム応援費【スポーツ振興課】	
		15,076,435円

わがまちアスリートの等身大パネルを作成するとともに、「とよたスポーツフェスティバル」を開催しました。

17 スポーツ協会負担金【スポーツ振興課】 7,478,926円

市民総合体育大会 42種目 参加者数 29,131人

スポーツ少年団 18種目 団員数 5,879人

18 世界ラリー選手権開催推進費 【ラリーまちづくり推進課】
677,290,491円

ラリージャパン2023の開催機運を高めるため、豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会による盛り上げや各種事業の実施のほか、ラリーに関するイベントを開催しました。

また、ラリージャパン2023の開催に向け、実行委員会に対して負担金及び出資金を支払いしたほか、ラリージャパン2024の開催準備に向け、同委員会に対して出資金を支払いました。

・豊田しもやまラリーの開催支援 5月21日

来場者数 800人

・シロキヤラリー in 稲武の開催支援 10月8日

来場者数 900人

・ラリージャパン2023の開催 11月16～19日

来場者数 536,900人

大会パートナー 27社

経済波及効果 約126億円

メディア露出価値 約104億円

ラリー観戦の満足度 76.7%

FIA環境認証プログラム三ツ星取得(最高ランク)

・TGRラリーチャレンジ in 豊田の開催 11月25～26日

来場者数 25,000人

・ラリー教室の開催 4回

・グッドドライバー・レッスンの開催 1回

10- 8- 7目 文化施設費

(前年度)

当初予算額 849,201,000円 (804,615,000円)

予算現額 937,549,365円 (854,849,760円)

決算額 836,848,666円 (814,717,953円)

翌年度繰越額 88,173,400円 (39,487,000円)

不用額 12,527,299円 (644,807円)

●翌年度繰越額

☆繰越明許費☆	88,173,400円
地域文化広場プール換気設備等改修事業	11,900,000円
公共下水道接続事業（平戸橋いこいの広場）	31,675,000円
路面舗装事業（市道神田2号線外1路線）	44,598,400円

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 市民文化会館費【文化振興課・建築予防保全課】

200,293,552円

(1) 管理運営費 186,416,755円

指定管理者（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数 241,557人

(2) 施設保全費 858,000円

市民文化会館展示室の空調設備修繕を行いました。

(3) 施設整備費 13,018,797円

旧豊田市民ギャラリーの原状回復修繕等を行いました。

2 コンサートホール・能楽堂費【文化振興課】

326,312,743円

(1) 管理運営費 223,524,080円

指定管理者（公財）豊田市文化振興財団

施設利用者数 73,358人

(2) 施設整備費 102,788,663円

豊田参合館長寿命化等改修設計負担事業及び豊田参合館の共用部に係る修繕費負担金を支出しました。

3 地域文化広場費【市民活躍支援課】 127,297,411円

(1) 管理運営費 126,291,365円

指定管理者 ホームメックスグループ共同企業体

施設利用者数 254,258人

(2) 施設整備費 1,006,046円

ロッカー等の備品を購入しました。

4 視聴覚ライブラリー費【文化振興課】 2,628,913円

施設廃止に伴う備品廃棄等を行いました。

5 猿投棒の手ふれあい広場費【文化財課】 52,128,209円

(1) 管理運営費 50,258,209円

指定管理者 ホームメックス（株）

施設利用者数 75,382人

(2) 施設整備費 1,870,000円

棒の手会館の展示リニューアルの調査を実施しました。

6 平戸橋いこいの広場費【博物館・建築予防保全課】

27,700,536円

指定管理者 (株)技研サービス

施設利用者数 85,322人

平戸橋いこいの広場多目的室等の空調設備修繕を行いました。

7 文化ゾーン費【文化振興課】 100,487,302円

豊田市博物館の開館に向け、サイン整備工事等を行いました。

◆特記事項

- ・地域文化広場プール換気設備等改修事業において、事業の平準化を図るため、9月議会で11,900千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【市民活躍支援課】
- ・公共下水道接続事業(平戸橋いこいの広場)において、事業の平準化を図るため、9月議会で31,675千円を増額補正し、翌年度へ繰り越しました。【博物館】
- ・路面舗装事業(市道神田2号線外1路線)において、他工事との調整等により年度内の完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【文化振興課】

10- 8- 8目 体育施設費

(前年度)

当初予算額	4,065,712,000円	(3,065,915,000円)
予算現額	5,055,629,348円	(4,444,787,306円)
決算額	4,116,568,053円	(3,460,523,919円)
翌年度繰越額	723,289,660円	(948,893,306円)
不用額	215,771,635円	(35,370,081円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆	258,000,000円
豊田スタジアム長寿命化改修事業(その3)	258,000,000円
☆繰越明許費☆	465,289,660円
総合体育館放水銃設備保全事業	3,795,000円
総合体育館長寿命化改修事業	461,494,660円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

- 1 体育施設事務費【スポーツ振興課】 25,330,283円
- 2 豊田市運動公園費【スポーツ振興課・建築予防保全課】
 - (1) 管理運営費 135,050,952円

指定管理者 (公財)豊田市スポーツ協会

施設利用者数 311,429人
 - (2) 施設保全費 748,000円

野球場屋外トイレ扉修繕を行いました。

(3) 施設整備費 3,259,300円

ソフトボール場防球ネット張替え修繕等を行いました。

3 五ヶ丘運動広場費【スポーツ振興課】 25,580,862円

(1) 管理運営費 25,244,592円

指定管理者 (公財) 豊田市スポーツ協会

施設利用者数 38,725人

(2) 施設整備費 336,270円

電動ラインカー等を購入しました。

4 運動広場費【スポーツ振興課】 25,917,406円

(1) 管理運営費 20,599,466円

石野運動広場ほか4施設

指定管理者 (公財) 豊田市文化振興財団

施設利用者数 71,933人

(2) 施設整備費 5,317,940円

土橋公園野球場バックネット修繕等を行いました。

5 保見マレットゴルフ場費【スポーツ振興課】 1,520,893円

(1) 管理運営費

施設利用者数 15,641人

6 勘八漕艇庫費【スポーツ振興課】 1,855,639円

(1) 管理運営費

7 東山体育センター費【スポーツ振興課】 44,314,342円

(1) 管理運営費 31,295,842円

指定管理者 (特非) 美里スポーツクラブ

施設利用者数 111,260人

(2) 施設整備費 13,018,500円

東山体育センター駐車場舗装修繕等を行いました。

8 毘森公園費【スポーツ振興課】 25,011,330円

(1) 管理運営費 23,240,000円

指定管理者 (公財) 豊田市スポーツ協会

施設利用者数 41,011人

(2) 施設整備費 1,771,330円

野球場バックネット修繕等を行いました。

9 高岡公園費【スポーツ振興課】 45,024,922円

(1) 管理運営費 43,269,322円

指定管理者 ホーメックス(株)

施設利用者数 155,483人

(2) 施設整備費 1,755,600円

臨時駐車場排水整備修繕等を行いました。

10 柳川瀬公園費【スポーツ振興課】 64,073,253円

(1) 管理運営費 59,427,513円

指定管理者 (特非)かみごうスポーツクラブ

施設利用者数 237,397人

(2) 施設整備費 4,645,740円

バスケットゴール等を購入しました。

11 井上公園費【スポーツ振興課・建築予防保全課】

121,476,096円

(1) 管理運営費 109,288,008円

指定管理者 (特非)いさとスポーツクラブ 水泳場除く

施設利用者数 39,432人

指定管理者 井上公園水泳場運営企業体 水泳場部分

施設利用者数 115,777人

(2) 施設保全費 9,460,000円

水泳場サッシボルト不具合修繕を行いました。

(3) 施設整備費 2,728,088円

電話機器の購入、支障木剪定等を行いました。

12 中央公園費【スポーツ振興課・建築予防保全課】

2,035,572,435円

(1) 管理運営費 789,278,707円

指定管理者 (株)豊田スタジアム

施設利用者数 1,650,274人

(2) 施設保全費(単年度) 115,980,458円

航空障害灯交換修繕等を行いました。

(3) 施設保全費(継続費) 1,081,911,950円

豊田スタジアムの長寿命化改修工事等を行いました。

(4) 長寿命化推進費 28,420,700円

豊田スタジアムの長寿命化改修工事(第二期)設計委託業務等
を行いました。

(5) 施設整備費 19,980,620円

フォークリフト等を購入しました。

13 総合体育館費【スポーツ振興課・建築予防保全課】

1,146,003,168円

(1) 管理運営費 186,595,906円

指定管理者 (公財)豊田市スポーツ協会

施設利用者数 277,177人

(2) 施設保全費 144,923,900円

駐車場舗装修繕等を行いました。

(3) 長寿命化推進費 799,655,340円

総合体育館の長寿命化改修工事を行いました。

(4) 施設整備費 14,828,022円

バスケットゴール等を購入しました。

14 西部体育館・逢妻運動広場費【スポーツ振興課】

23,969,580円

(1) 管理運営費 23,478,155円

指定管理者 ハマダスポーツ企画(株)

施設利用者数 106,485人

(2) 施設整備費 491,425円

ジュニアサッカーゴール等を購入しました。

15 梅坪浄水運動広場費【スポーツ振興課】 20,958,000円

(1) 管理運営費

指定管理者 (一社)梅坪・浄水スポーツクラブ

施設利用者数 25,100人

16 松平体育館費【スポーツ振興課】 55,999,357円

(1) 管理運営費 49,812,000円

指定管理者 (一社)松平スポーツクラブ

施設利用者数 117,201人

(2) 施設整備費 6,187,357円

松平体育館集水桝及び排水管修繕等を行いました。

17 藤岡地域体育施設費【藤岡支所】 18,637,482円

(1) 管理運営費

ア 藤岡体育センターほか3施設

指定管理者 (株)都市環境サービス

施設利用者数 41,931人

イ 藤岡山村広場

指定管理者 藤岡石畳地区地域づくり協議会

施設利用者数 2,471人

18 小原地域体育施設費【小原支所】 22,807,271円

(1) 管理運営費

緑の公園、小原トレーニングセンター

指定管理者 (公社)豊田市シルバー人材センター

施設利用者数 30,034人

19 足助地域体育施設費【足助支所】 28,060,209円

(1) 管理運営費 26,074,709円

ア 足助グラウンドほか3施設

	指定管理者（公財）豊田市文化振興財団	
	施設利用者数	37,917人
イ	足助プール	
	指定管理者（株）メイガードサービス	
	施設利用者数	4,816人
ウ	ふれあいセンター萩野	
	施設利用者数	6,816人
(2)	施設整備費	1,985,500円
	足助グラウンド西側排水修繕を行いました。	
20	下山地域体育施設費【下山支所・建築予防保全課】	
		18,226,669円
(1)	管理運営費	18,070,821円
ア	下山トレーニングセンターほか1施設	
	指定管理者 しもやまスポーツクラブ	
	施設利用者数	14,041人
イ	下山西部プール	
	指定管理者（株）日本クリーナー	
	施設利用者数	1,338人
(2)	施設保全費	155,848円
	下山トレーニングセンター照明取替修繕を行いました。	
21	旭地域体育施設費【旭支所】	15,789,166円
(1)	管理運営費	
	旭総合体育館ほか3施設	
	指定管理者（公社）豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数	16,059人
22	稲武地域体育施設費【稲武支所】	5,410,345円
(1)	管理運営費	
	稲武夏焼グラウンド	
	指定管理者（公社）豊田市シルバー人材センター	
	施設利用者数	6,237人
23	河川敷スポーツ施設費【スポーツ振興課】	4,056,919円
(1)	管理運営費	3,733,299円
	川田公園、白浜公園、平井公園始め10施設	
	施設利用者数	253,149人
(2)	施設整備費	323,620円
	新生公園ジュニアサッカーゴールを購入しました。	
24	体育施設予約システム管理開発費【スポーツ振興課】	
		20,286,354円

10款 教育費

(1) T O S S システム管理運営費

市外利用者割増料金制度に関するシステム改修を行いました。

25 スポーツ協会運営費補助金(10 / 10) 【スポーツ振興課】

185,635,120円

◆特記事項

・総合体育館放水銃設備保全事業において、機器納期の延伸により年度内の完了が困難となったため、12月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【建築予防保全課】

・総合体育館長寿命化改修事業において、適正な工期を確保するため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

【スポーツ振興課】

10- 8- 9日 美術館費

(前年度)

当初予算額	1,041,082,000円	(504,861,000円)
予算現額	1,186,555,000円	(556,411,000円)
決算額	983,650,656円	(512,550,996円)
翌年度繰越額	191,722,000円	(36,520,000円)
不用額	11,182,344円	(7,340,004円)

●翌年度繰越額

☆継続費☆ 191,722,000円

高橋節郎館改修事業 191,722,000円

●執行経費(決算額の内訳)及び概要

1 人件費(美術館運営協議会委員6人)【美術館】 103,400円

2 美術館事務費【美術館】 6,781,810円

3 美術館施設管理費【美術館】 283,666,706円

美術館総利用者数 284,795人

展覧会観覧者数 203,046人

開館日 245日

ギャラリー利用 17展覧会

ギャラリー入場者数 16,806人

レストラン利用者数 16,573人

講堂利用者数 2,499人

ワークショップルーム利用者数 208人

庭園利用者数 10,207人

4 付属施設管理運営費【美術館】 5,538,649円

(1) 童子苑

	利用者数	11,503人
(2)	七州城・又日亭	
	利用者数	810人
5	美術館施設保全費【建築予防保全課】	37,789,400円
	空調設備部品等修繕等を行いました。	
6	美術館施設整備費【美術館】	108,952,692円
	一般駐車場用地を取得しました。	
7	美術館運営費【美術館】	4,018,142円
(1)	ミュージアムショップ	
	利用者数	17,608人
8	展覧会開催費【美術館】	128,713,191円
(1)	常設特別展	
	「ねこのほそ道」展	
	会期 令和5年4月1日～5月21日(45日間)	
	観覧者数	12,338人
	「杵と波」展	
	会期 令和5年6月27日～9月24日(81日間)	
	観覧者数	19,985人
(2)	常設展	
	年3回の展示替えを実施しました。	
	観覧者数	79,346人
(3)	企画展調査費	
	次年度以降に開催予定の展覧会の調査を行いました。	
(4)	「吹けば風」展	
	会期 令和5年6月27日～9月24日(81日間)	
	観覧者数	19,734人
(5)	「フランク・ロイド・ライト 世界を結ぶ建築」展	
	会期 令和5年10月21日～12月24日(56日間)	
	観覧者数	35,004人
(6)	「未完の始まりー未来のヴァンダーカンマー」展	
	会期 令和6年1月20日～3月31日(63日間)	
	観覧者数	12,108人
9	教育普及活動費【美術館】	10,484,420円
	展覧会記録ビデオや作品音声ガイドの作成、広報活動、庭園活用事業(マルシェ)、ホームページ管理等を行いました。	
10	美術図書室活動費【美術館】	3,345,525円
	展覧会調査研究用資料等の購入を行いました。	
	ライブラリーの利用者数	5,603人

10款 教育費

- | | | |
|-----|---|-----------------------|
| 1 1 | 作品管理費【美術館】
所蔵品の調査研究、額装、修復等の保存処置、収蔵庫、展示室等の環境整備などを行い、所蔵品の適切な保存管理に努めました。 | 11,287,836円 |
| 1 2 | 作品収集費【美術館】
美術品収集委員会を開催し、収集候補作品（寄贈）の審査を行いました。 | 490,806円 |
| 1 3 | 高橋節郎館活動費【美術館】
常設展を2回開催しました。
観覧者数 | 2,496,710円
24,531人 |
| 1 4 | 高橋節郎館改修費【美術館】
増築ほか空調・管工事及び電気工事を行いました。 | 79,750,000円 |
| 1 5 | 高橋節郎館活動基金積立金【美術館】
美術館と博物館の結節点となる高橋節郎館を活性化し、事業の充実を図るとともに施設間連携、回遊性を向上させるため、基金に積み立てました。 | 300,231,369円 |

11款 災害復旧費

11 款 災害復旧費		
		(前年度)
当初予算額	235,660,000円 (	234,000,000円)
予算現額	1,245,657,400円 (	373,955,860円)
決算額	1,020,608,983円 (	318,370,606円)
翌年度繰越額	53,212,000円 (	20,000,000円)
不用額	171,836,417円 (	35,585,254円)

11- 1- 1 目 農林施設災害復旧費		
		(前年度)
当初予算額	118,160,000円 (	116,500,000円)
予算現額	562,460,000円 (	137,422,300円)
決算額	404,791,773円 (	131,567,099円)
翌年度繰越額	0円 (	0円)
不用額	157,668,227円 (	5,855,201円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 農業施設現年災害復旧事業費【農地整備課】

292,125,043円

令和5年度の台風及び大雨により被災した農地及び農業施設の災害復旧を実施しました。

施設災害 179件

農地災害 119件

2 林業施設現年災害復旧事業費【森林課】 109,795,730円

令和5年度の台風及び大雨により被災した林道施設の災害復旧を実施しました。

林道災害 93件

3 農業施設過年災害復旧事業費【農地整備課】 2,871,000円

令和4年度の大雨により被災した農地の災害復旧を実施しました。

農地災害 1件

11款 災害復旧費

11- 1- 2目 土木施設災害復旧費		
		(前年度)
当初予算額	99,500,000円 (	99,500,000円)
予算現額	627,000,000円 (	217,213,560円)
決算額	573,640,710円 (	178,886,807円)
翌年度繰越額	43,848,000円 (	20,000,000円)
不用額	9,511,290円 (	18,326,753円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		43,848,000円
土木施設災害復旧事業		43,848,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 土木施設現年災害復旧事業費	573,640,710円	
	【道路維持課・土木課・地域建設課・河川課】	
(1) 道路施設	188,145,496円	
	令和5年6月等の大雨により被災した市道広久手下細谷線始め 175か所の道路災害復旧を実施しました。	
(2) 地域道路施設	152,204,690円	
	令和5年6月等の大雨により被災した市道旭町有林線始め 205か所の道路災害復旧を実施しました。	
(3) 河川施設	149,507,877円	
	令和5年6月等の大雨により被災した普通河川田粳川始め78 か所の河川災害復旧を実施しました。	
(4) 地域河川施設	83,782,647円	
	令和5年6月等の大雨により被災した準用河川野林川始め27 か所の河川災害復旧を実施しました。	
◆特記事項		
土木施設災害復旧事業において、関係機関との協議に時間を要し、年度 内完了が困難となったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰 り越しました。【地域建設課】		

11款 災害復旧費

11- 1- 3目 都市施設災害復旧費			
			(前年度)
当初予算額	2,000,000円 (	2,000,000円)	
予算現額	2,000,000円 (	2,000,000円)	
決算額	1,697,300円 (	0円)	
翌年度繰越額	0円 (	0円)	
不用額	302,700円 (	2,000,000円)	
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 公園施設現年災害復旧事業費【公園緑地つかう課】			
		1,697,300円	
令和5年6月の大雨により被災した河川敷公園及び平芝公園の災害復旧を実施しました。			
公園施設災害	2か所		
11- 1- 4目 公営住宅災害復旧費			
			(前年度)
当初予算額	1,000,000円 (	1,000,000円)	
予算現額	1,000,000円 (	1,000,000円)	
決算額	0円 (	0円)	
翌年度繰越額	0円 (	0円)	
不用額	1,000,000円 (	1,000,000円)	
11- 1- 5目 文教施設災害復旧費			
			(前年度)
当初予算額	12,000,000円 (	12,000,000円)	
予算現額	22,802,100円 (	12,000,000円)	
決算額	20,780,100円 (	6,596,700円)	
翌年度繰越額	0円 (	0円)	
不用額	2,022,000円 (	5,403,300円)	
●執行経費(決算額の内訳)及び概要			
1 文教施設現年災害復旧事業費			
		20,780,100円	
【文化財課・スポーツ振興課・学校づくり推進課】			
旧山内家住宅、曽根遺跡公園、五ヶ丘運動広場、河川敷公園(白浜公園ほか6施設)及び花山小学校において、令和5年6月の大雨の影響による災害復旧を実施しました。			

11款 災害復旧費

11- 1- 6目 その他施設災害復旧費		
		(前年度)
当初予算額	3,000,000円 (	3,000,000円)
予算現額	30,395,300円 (	4,320,000円)
決算額	19,699,100円 (	1,320,000円)
翌年度繰越額	9,364,000円 (	0円)
不用額	1,332,200円 (	3,000,000円)
●翌年度繰越額		
☆繰越明許費☆		9,364,000円
地域振興施設災害復旧事業		9,364,000円
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 普通財産現年災害復旧事業【財産管理課】	2, 1 9 0, 1 0 0円	
深見町地内における市有地法面の崩壊箇所の修繕を行いました。		
2 地域振興施設現年災害復旧事業 【藤岡支所、小原支所、旭支所】	1 1, 5 8 0, 0 0 0円	
令和5年6月の大雨により被災した川見四季桜の里始め5か所の復旧修繕等を行いました。		
3 観光施設現年災害復旧事業費【商業観光課】	5, 9 2 9, 0 0 0円	
王滝溪谷龍門園地遊歩道及びそのまんま公園法面の修繕及び松平郷天下池浚渫を実施しました。		
◆特記事項		
地域振興施設災害復旧事業において、関係機関との協議に時間を要し、年度内完了が困難になったため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。【小原支所】		

12款 公債費

12款 公債費		
(前年度)		
当初予算額	7,659,907,000円	(7,821,588,000円)
予算現額	7,658,934,000円	(7,783,410,000円)
決算額	7,653,340,298円	(7,777,799,783円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	5,593,702円	(5,610,217円)
12- 1- 1目 元金		
(前年度)		
当初予算額	7,541,475,000円	(7,668,626,000円)
予算現額	7,542,814,633円	(7,658,734,000円)
決算額	7,542,814,633円	(7,658,733,914円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	0円	(86円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 元金【財政課】	7, 5 4 2, 8 1 4, 6 3 3円	
建設事業等に充当した市債の元金を償還しました。		
＊ 資料編「地方債現在高の状況」参照		
12- 1- 2目 利子		
(前年度)		
当初予算額	118,432,000円	(152,962,000円)
予算現額	116,119,367円	(124,676,000円)
決算額	110,525,665円	(119,065,869円)
翌年度繰越額	0円	(0円)
不用額	5,593,702円	(5,610,131円)
●執行経費（決算額の内訳）及び概要		
1 利子【財政課】	1 1 0, 5 2 5, 6 6 5円	
建設事業等に充当した市債の利子を償還しました。		
＊ 資料編「地方債現在高の状況」参照		

13款 諸支出金

13款 諸支出金			
(前年度)			
当初予算額	30,000,000円	(	30,000,000円)
予算現額	0円	(	0円)
決算額	0円	(	0円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	0円	(	0円)
13- 1- 1目 土地取得費			
(前年度)			
当初予算額	30,000,000円	(	30,000,000円)
予算現額	0円	(	0円)
決算額	0円	(	0円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	0円	(	0円)

14款 予備費

14款 予備費			
(前年度)			
当初予算額	500,000,000円	(	600,000,000円)
予算現額	121,155,295円	(	278,002,211円)
決算額	0円	(	0円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	121,155,295円	(	278,002,211円)

14- 1- 1目 予備費			
(前年度)			
当初予算額	500,000,000円	(	600,000,000円)
予算現額	121,155,295円	(	278,002,211円)
決算額	0円	(	0円)
翌年度繰越額	0円	(	0円)
不用額	121,155,295円	(	278,002,211円)

●執行経費（決算額の内訳）及び概要

1 予備費【財政課】

378,844,705円

キャッシュレスポイント還元事業（7款1項2目）、宿泊事業者等支援事業（7款1項6目）、令和5年6月の大雨に関する災害復旧事業（11款1項2目ほか）などの経費として、充用しました。

第14表 主要工事実績表

※ (1) 支出額 30,000千円以上を掲載
 (2) 請負金額の() 書は契約総額、外書は本年度執行額

挙母地域振興費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
西部コミュニティセンター 長寿命化改修空調工事	本新町	5. 2. 10 6. 1. 26	30,822 (51,722)	三河商事	空気調和設備 一式 自動制御設備 一式 (R4年度 繰越明許費)
西部コミュニティセンター 長寿命化改修電気工事	本新町	5. 2. 10 6. 2. 19	73,249 (73,249)	豊田電気	電灯設備、動力設備、 舞台照明設備、 舞台音響設備、拡声設備、 火災報知器設備 一式 (R4年度 繰越明許費)
西部コミュニティセンター 長寿命化改修工事	本新町	5. 2. 10 5. 8. 8	73,194 (73,194)	マルコオ・ ポーロ化工	屋上防水改修工事 一式 外壁改修工事 一式 舞台装置改修工事 一式 特定天井改修工事 一式 (R4年度 繰越明許費)

障がい者福祉施設費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
障がい者福祉会館 長寿命化改修設備工事	西山町	5. 1. 20 5. 8. 31	75,680 (126,280)	桶兼住設	空調・衛生設備、電気設備 改修工事 一式 (R4年度 繰越明許費)

清掃工場費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
渡刈クリーンセンター ごみ移送コンベヤ等 火災対策工事	渡刈町	5. 8. 26 6. 1. 31	90,200	日立造船	消防散水装置 一式 消防監視装置 一式 ステージ 一式
渡刈クリーンセンター 基幹的設備改良工事	渡刈町	4. 9. 30 9. 2. 26	1,325,554 (6,914,160)	日立造船	機械設備工事 一式 土木建築工事 一式 (R4～8年度 継続費)

農地施設整備費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
9号放水工ゲート整備工事	小坂本町 ほか	5. 9. 22 6. 3. 15	104,500	三基工業	2段式スライドゲート 1基 転倒ゲートユニット取替 一式 電気通信設備 一式

林業費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
野入立野線林道開設工事	野入町	5. 6. 16 6. 1. 26	37, 105	青木建設	工事延長 L =130m 補強土壁、法面工、 排水工、防護柵工 一式
尾根線ほか1路線 林道舗装工事	阿蔵町	5. 6. 16 6. 2. 22	44, 275	ヤハギ道路	工事延長 L =1, 345m 舗装面積 A =5, 729. 2㎡
臼木2号線林道改良工事	上八木町	5. 6. 16 6. 1. 17	30, 821	成瀬組	工事延長 L =189m 法面吹付工 A =1, 396. 2㎡ 岩接着工 A =33. 8㎡

建築審査費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
後退用地内整備工事 (その1)	高岡本町 ほか	5. 4. 14 5. 10. 27	30, 006	シラカワ ドケン	工事延長 L =655m 道路土工 一式 排水構造物工 L =350m 舗装工 A =930㎡
後退用地内整備工事 (その3)	田代町ほか	5. 4. 21 5. 10. 27	34, 939	山二建設	工事延長 L =438m 道路土工 一式 排水構造物工 L =492m 舗装工 A =897㎡

道路橋りょう維持費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道宮口郷中2号線ほか 道路修繕工事	宮口町ほか	5. 3. 31 6. 3. 15	80, 566 (80, 566)	浜田建設	側溝延長 L =1, 017m 舗装面積 A =2, 604㎡ (R5年度 債務負担行為)
市道小原喜佐平瑞浪線ほか 道路修繕工事	喜佐平町 ほか	5. 6. 23 6. 1. 19	47, 809	エイディー グリーン	側溝延長 L =592m 舗装面積 A =843㎡
市道豊田則定2号線ほか 舗装修繕工事	日南町ほか	5. 3. 10 5. 8. 25	93, 830 (93, 830)	ヤハギ道路	舗装面積 A =5, 751㎡ (R4年度 緑越明許費)
市道環状6号線ほか 舗装修繕工事	渡刈町ほか	5. 3. 3 5. 7. 21	76, 397 (76, 397)	三栄工業	舗装面積 A =5, 124㎡ (R4年度 緑越明許費)
市道長興寺今線ほか 舗装修繕工事	トヨタ町 ほか	5. 3. 3 5. 7. 28	125, 976 (125, 976)	太啓建設	舗装面積 A =5, 610㎡ (R4年度 緑越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道駕鴨永覚愛宕線ほか 舗装修繕工事	駕鴨町ほか	5. 9. 8 6. 1. 30	91, 084	ヤハギ道路	舗装面積 A=8, 011㎡
市道京町梅坪1号線ほか 舗装修繕工事	梅坪町ほか	5. 9. 8 6. 2. 16	139, 366	太啓建設	舗装面積 A=8, 160㎡
市道豊田環状1号線 舗装修繕工事	水源町ほか	5. 10. 13 6. 2. 29	67, 378	太啓建設	舗装面積 A=6, 690㎡
市道旧名岡線舗装修繕工事	高岡町	5. 10. 13 6. 2. 29	73, 207	藤和アスコン	舗装面積 A=4, 302㎡
市道七壳林添線ほか 道路防災対策工事	林添町ほか	5. 10. 27 6. 3. 22	81, 287	豊緑化技研	植生工 A=122㎡ 斜面浸食防止工 A=831㎡ 法面吹付工 A=607㎡ 覆式落石防止工 N=1か所
市道下山ウツキフ 子切山線ほか道路修繕工事	花沢町ほか	5. 2. 10 5. 7. 28	37, 122 (37, 122)	菊池建設	工事延長 L=440m 排水構造物工 L=434m 舗装工 A=1303㎡ (R5年度 債務負担行為)
市道下山神殿立岩線ほか 舗装修繕工事	神殿町ほか	5. 6. 16 5. 11. 10	45, 967	ヤハギ道路	工事延長 L=542m 舗装工 A=3350㎡
市道旭中央線舗装修繕工事	加塩町	5. 8. 4 5. 12. 5	44, 994	ヤハギ道路	工事延長 L=551m 舗装工 A=3950㎡
市道足助佐切国閑平折線 道路防災対策工事	国閑町ほか	5. 6. 23 5. 11. 9	32, 628	豊緑化技研	法枠工 A=591㎡ 落石防止工 N=1か所
伊保原第3跨線 道路橋ほか8橋 定期点検・補修工事協定	浄水町ほか	5. 7. 12 6. 3. 14	38, 085	名古屋鉄道	土木工事 一式 電気工事 一式
岩倉橋ほか橋りょう補修工事	築平町ほか	4. 11. 25 5. 5. 31	107, 938 (107, 938)	ショーボンド 建設	橋梁塗装工 N=2橋 橋梁補修工 N=2橋 橋梁付属物工 N=2橋 (R4年度 繰越明許費)
加納橋ほか橋りょう補修工事	加納町ほか	4. 11. 11 6. 1. 26	64, 471 (92, 917)	豊清建設	橋梁補修工 N=10橋 橋梁付属物工 N=4橋 舗装工 N=2橋 (R4年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
大橋ほか橋りょう補修工事	稲武町ほか	5. 1. 27 5. 6. 30	46, 198 (73, 478)	ソトムラ	橋梁塗装工 N=2橋 橋梁補修工 N=3橋 橋梁付属物工 N=1橋 舗装工 N=1橋 (R4年度 繰越明許費)
両国橋ほか橋りょう補修工事	島崎町ほか	4. 10. 21 5. 5. 31	79, 718 (129, 702)	ソトムラ	橋梁塗装工 N=2橋 橋梁補修工 N=2橋 舗装工 N=2橋 (R4年度 繰越明許費)
伊保原第3跨線道路橋ほか 橋りょう補修工事	浄水町ほか	5. 5. 19 6. 3. 15	68, 283 (68, 283)	近藤商事土木	橋梁補修工 N=6橋 橋梁塗装工 N=1橋 橋梁付属物工 N=2橋 舗装工 N=2橋 (R4年度 繰越明許費)
渋川橋ほか橋りょう補修工事	広川町ほか	5. 9. 8 6. 2. 29	69, 166	安山建設	橋梁補修工 N=4橋 橋梁付属物工 N=3橋 舗装工 N=1橋
(都) 高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その3)	竜宮町ほか	3. 12. 21 6. 3. 15	78, 994 (130, 000)	前田・ 太啓建設 共同企業体	橋梁塗装工 N=1橋 (R3~5年度 継続費) (合併施行)
ひらち跨道橋ほか 重要法定外道路橋 耐震補強工事	勘八町ほか	5. 3. 31 6. 3. 15	139, 981 (139, 981)	中部化工建設	耐震補強工 N=2橋 (R5年度 債務負担行為)

道路新設改良費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道林添九久平1号線 道路改良工事(その2)	九久平町	5. 7. 21 6. 2. 29	91, 749	市川土木	工事延長 L=333m 道路土工 V=3, 250m ³ 排水構造物工 L=241m 舗装工 A=907m ²
市道堤駒場線ほか1路線 道路改良工事(その1)	生駒町ほか	4. 11. 18 6. 1. 31	85, 399 (96, 131)	近藤工業	工事延長 L=585m 道路土工 V=2, 370m ³ 排水構造物工 L=560m 舗装工 A=1, 487m ² (R4~6年度 継続費)
市道堤駒場線ほか1路線 道路改良工事(その2)	生駒町ほか	5. 1. 27 6. 2. 29	101, 690 (107, 501)	松尾組	工事延長 L=516m 道路土工 V=2, 810m ³ 排水構造物工 L=718m 舗装工 A=1, 743m ² (R4~6年度 継続費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道堤駒場線ほか1路線 道路改良工事（その3）	生駒町ほか	5. 7. 21 6. 4. 19	44,422 (128,040)	小野組	工事延長 L=1,037m 道路土工 V=1,910m ³ 排水構造物工 L=77m 舗装工 A=2,924m ² (R4～6年度 継続費)
市道堤駒場線ほか1路線 道路改良工事（その4）	生駒町ほか	5. 11. 17 6. 9. 30	38,522 (96,305)	松尾組	工事延長 L=664m 道路土工 V=1,116m ³ 排水構造物工 L=709m 舗装工 A=2,538m ² (R4～6年度 継続費)
市道堤駒場線ほか1路線 道路改良工事（その5）	生駒町ほか	6. 2. 2 6. 10. 31	42,478 (106,197)	沖土木建設	工事延長 L=323m 道路土工 V=2,060m ³ 排水構造物工 L=540m 舗装工 A=1,577m ² (R4～6年度 継続費)
市道力石中金線ほか1路線 道路改良工事	力石町ほか	5. 7. 21 6. 2. 22	65,022	近藤商事土木	工事延長 L=482m 道路土工 V=1,160m ³ 排水構造物工 L=462m 舗装工 A=2,580m ²
市道松平足助線 道路改良工事（その4）	豊松町	5. 8. 11 6. 2. 16	41,958	島村工務店	工事延長 L=236m 道路土工 V=3,450m ³ 排水構造物工 L=179m 舗装工 A=84m ²
市道小原築平川下線 道路改良工事（その2）	築平町	5. 7. 21 6. 2. 16	41,622	中澤建設	工事延長 L=194m 道路土工 V=646m ³ 排水構造物工 L=124m 舗装工 A=508m ²
市道三好知立線ほか4路線 道路改良工事	前林町ほか	5. 7. 21 6. 2. 22	36,786	シラカワ ドケン	工事延長 L=436m 道路土工 V=670m ³ 排水構造物工 L=264m 舗装工 A=1,500m ²
市道新生鴻ノ巣線ほか1路線 歩道設置工事	鴻ノ巣町 ほか	5. 6. 16 6. 1. 19	4,312	浜田建設	若石山住宅5号線 工事延長 L=23m 道路土工 一式 排水構造物工 L=56m 舗装工 A=108m ² (合併施行)
市道松平日影線ほか1路線 歩道設置工事	滝脇町ほか	5. 7. 28 6. 2. 9	5,705	菊池建設	市道泉山田住宅7号線 工事延長 L=22m 道路土工 V=70m ³ 排水構造物工 L=35m 舗装工 A=134m ² (合併施行)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道西野酒呑線ほか 1 路線 道路改良工事	穂積町ほか	5. 8. 11 6. 3. 22	49,716	テクナス	市道西野酒呑線 工事延長 L=275m 道路土工 V=1,300m ³ 法面工 A=730m ² 舗装工 A=428m ² (合併施行)
市道豊田西部 2 号線 道路新設工事 (その 1)	大池町	6. 3. 15 6. 12. 13	32,344 (82,651)	ヤハギ道路	工事延長 L=160m (R5年度 緑越明許費)

歩道等整備費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道御立野見線ほか 1 路線 歩道設置工事	御立町ほか	5. 9. 22 6. 6. 7	31,548 (89,986)	東工建設	工事延長 L=330m 道路土工 V=1,131m ³ 排水構造物工 L=256m 舗装工 A=3,270m ² (R6年度 債務負担行為)
市道六ツ木岩倉線 歩道設置工事 (その 8)	松平志賀町	4. 8. 16 5. 4. 28	53,345 (84,972)	原田工務店	工事延長 L=108m 道路土工 V=2,994m ³ 排水構造物工 L=182m 舗装工 A=179m ² (R4年度 緑越明許費)
市道六ツ木岩倉線 歩道設置工事 (その 9)	松平志賀町	5. 7. 21 6. 3. 21	76,921	原田工務店	工事延長 L=151m 道路土工 V=1,408m ³ 排水構造物工 L=162m 舗装工 A=987m ²
市道新生鴻ノ巣線ほか 1 路線 歩道設置工事	鴻ノ巣町 ほか	5. 6. 16 6. 1. 19	38,888	浜田建設	市道新生鴻ノ巣線 工事延長 L=142m 道路土工 一式 排水構造物工 L=127m 舗装工 A=1,353m ² (合併施行)
市道松平日影線ほか 1 路線 歩道設置工事	滝脇町ほか	5. 7. 28 6. 2. 9	33,572	菊池建設	市道松平日影線 工事延長 L=138m 道路土工 V=518m ³ 排水構造物工 L=24m 舗装工 A=863m ² (合併施行)
市道西野酒呑線ほか 1 路線 道路改良工事	穂積町ほか	5. 8. 11 6. 3. 22	35,082	テクナス	市道旧加茂川志賀 2 号線 工事延長 L=105m 道路土工 V=757m ³ 排水構造物工 L=144m 舗装工 A=855m ² (合併施行)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道藤池線ほか1路線 歩道設置工事	吉原町ほか	5. 8. 23 6. 2. 15	30,892	矢野建設土木	工事延長 L=447m 道路土工 V=90m ³ 排水構造物工 L=109m 舗装工 A=321m ²
市道小坂若林1号線 自転車通行空間整備工事	小坂町	5. 7. 7 6. 3. 15	36,523	シラカワ ドケン	工事延長 L=500m 区画線工 L=450m 縁石工 L=206m 舗装工 A=541m ²

河川総務費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
(仮)水辺ふれあいプラザ 築堤護岸工事	亀首町	4. 9. 30 5. 6. 30	100,490 (143,195)	近藤商事土木	法覆護岸工 L=154m 控え壁式擁壁工 L=21.5m (R4年度 繰越明許費)
(仮)水辺ふれあいプラザ 河床整備工事	亀首町	5. 9. 22 6. 6. 28	41,272 (109,852)	今井組	床止工 L=31.5m 修景工 一式 (R6年度 債務負担行為)

河川改良費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
準用河川大見川河川改良工事 ※R5年度発注分	室町ほか	5. 9. 8 6. 8. 30	56,623 (102,676)	テクナス	護岸工 L=93m もたれ式擁壁 一式 橋台工 一式 (R6年度 債務負担行為)
(都)高橋細谷線長興寺 第1工区道路改良工事 (その2)	秋葉町ほか	2. 12. 22 5. 6. 30	153,846 (766,148)	前田・ 太啓建設 共同企業体	護岸工 L=159m (R2~7年度 継続費) (合併施行)
(都)高橋細谷線長興寺 第1工区道路改良工事 (その4)	秋葉町ほか	5. 3. 17 8. 3. 20	151,600 (733,521)	前田・ 太啓建設 共同企業体	管渠工 L=120m (R2~7年度 継続費) (合併施行)
準用河川大見川河川改良工事 ※R4年度発注分	室町ほか	4. 9. 2 5. 8. 18	53,439 (89,331)	テクナス	護岸工 L=84m 根固工 A=715m ² (R4~5年度 継続費)
ゆたか台団地調整池 流域貯留施設整備工事	千足町	4. 9. 30 5. 5. 31	53,868 (83,514)	三登建設	貯留施設工 V=891m ³ 排水構造物工 L=14m (R4年度 繰越明許費)
川端公園園路整備工事	落合町ほか	5. 9. 22 6. 3. 15	103,476 (103,476)	ヤハギ道路	舗装工 A=7,400m ² 縁石工 L=3,570m (R4年度 繰越明許費)

排水路費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
扶桑町排水路排水路改良工事	扶桑町ほか	4. 9. 30 5. 9. 29	56, 539 (66, 407)	小野組	排水構造物工 L=58m 法覆護岸工 L=14m (R4～5年度 継続費)
鵜ヶ瀬町排水路改良工事	鵜ヶ瀬町	4. 11. 8 5. 6. 30	56, 231 (67, 229)	コメジ・ ソシオ	排水構造物工 L=76m 排水路土工 V=5, 100m ³ (R4～5年度 継続費)

特定道路費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
(都) 高橋細谷線 竜宮橋橋りょう整備工事 (その8)	竜宮町ほか	5. 6. 30 6. 7. 31	550, 470 (930, 401)	前田・ 太啓建設 共同企業体	根固め工 A=1, 500m ² (P3橋脚部) (H29～R6年度 継続費)
(都) 高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その2)	秋葉町ほか	2. 12. 22 5. 6. 30	246, 479 (653, 177)	前田・ 太啓建設 共同企業体	工事延長 L=200m 門型カルバート工 L=23m 橋りょう上下部工 1橋 (R2～R7年度 継続費) (合併施行)
(都) 高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その3)	竜宮町ほか	3. 12. 21 6. 3. 15	683, 543 (1, 067, 507)	前田・ 太啓建設 共同企業体	工事延長 L=460m 擁壁工 L=84m、舗装工一式 下部工拡幅 N=2基 上部工拡幅 L=43m 上部工改築 L=300m (R2～R7年度 継続費) (合併施行)
(都) 高橋細谷線 長興寺第1工区 道路改良工事(その4)	秋葉町ほか	5. 3. 17 8. 3. 20	265, 600 (2, 025, 150)	前田・ 太啓建設 共同企業体	工事延長 L=360m 道路改良工 N=一式 門型カルバート工 L=116m (R2～R7年度 継続費) (合併施行)
(都) 高橋細谷線 野見御立工区 道路改良工事(その2)	野見町	5. 1. 20 5. 10. 13	120, 828 (136, 536)	中部産業	工事延長 L=190m 道路土工 N=一式 地盤改良工 A=768m ² 擁壁工 N=一式 舗装工 A=891m ² (R3～5年度 継続費)
(都) 高橋細谷線 野見御立工区舗装工事	野見町	5. 9. 22 6. 3. 18	62, 182	太啓建設	工事延長 L=280m 道路土工 一式 舗装工 A=2, 857m ² 排水構造物工 L=221m (R3～5年度 継続費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道沢口半ノ木線ほか1路線 道路改良工事	越戸町	4. 8. 19 5. 5. 31	66,021 (100,473)	河木興業	市道沢口半ノ木線 L=54m 市道青木上能田線 L=47m (R4年度 緑越明許費)
市道四郷西山1号線 道路改良工事	上原町	5. 8. 23 6. 2. 28	47,478	天野建設工業	工事延長 L=155m

公園費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
寺部小跡地公園整備工事 (その2)	高橋町ほか	5. 9. 1 6. 2. 29	44,352 (44,352)	豊田ガーデン	A=0.39ha 敷地造成工 一式 植栽工 一式 照明灯 N=5基 遊具組立設置工ほか (R4年度 緑越明許費)
高岡公園拡張区域整備工事 (その1)	高丘新町 ほか	5. 8. 4 6. 3. 22	63,692	松尾組	A=1.5ha 敷地造成工 一式 排水構造物工 L=169m 仮設工 一式
枝下緑道園路復旧整備工事	月見町ほか	5. 8. 4 6. 3. 8	52,382	加藤造園	工事延長 L=308m 敷地造成工 一式 照明灯 N=14基 舗装工 A=1,340㎡
虹のかけ橋橋りょう補修工事	矢並町	5. 9. 29 6. 2. 29	34,704	ヤハギ道路	伸縮装置取替工 一式 橋面防水工 一式 舗装打換工 一式 表面保護工 一式

自然保全費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
自然観察の森 ネイチャーセンター 施設修繕工事	東山町	5. 6. 30 6. 2. 26	168,630	マルコオ・ ポーロ化工	屋上防水改修工事、外壁改修工事、 軒裏・階段等改修工事 一式

都心整備費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市道西町若宮線 電線共同溝整備工事	西町	5. 9. 22 6. 3. 22	61,369	今井組	電線共同溝 L=107m 管路工 L=95m プレキャストボックス工 N=6か所 構造物撤去工 N=一式
豊田市駅西口 ペDESTロリアンデッキ Dブロック改築工事	若宮町	5. 6. 30 7. 7. 11	60,990 (748,000)	矢作建設・ ヤハギ道路 建設共同 企業体	ペDESTロリアンデッキ改築 L=10.5m W=24.5m (R4～7年度 継続費)

住宅管理費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
市営住宅等工事代行業務委託	広久手町 ほか	5. 4. 1 6. 3. 22	231,517	愛知県 住宅供給公社	電気設備改修工事（流田住宅） 住戸内給排水管改修工事 （朝日ヶ丘住宅始め2住宅） 外部鉄部塗装工事（水源町住宅始め3住宅） 給水設備取替工事（東山住宅） エレベーター改修工事（東山住宅） 外壁改修工事（おちべ住宅始め3住宅） 屋上防水改修工事（おちべ住宅始め3住宅）

常備消防費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
中消防署訓練棟ほか1施設 長寿命化改修工事	長興寺	4. 11. 25 5. 4. 14	33,077 (33,077)	マルコオ ・ポーロ化工	中消防署訓練棟（主・副）、 消防本部北車庫 外壁改修工事 一式 (R4年度 繰越明許費)
畝部小学校ほか1施設 トイレ改修ほか工事	畝部西町 ほか	5. 6. 2 5. 11. 30	12,323 (12,323)	天野建設工業	南消防署末野原分署 女性用施設改修工事 浴室、洗面室、脱衣所 (合併施行)

非常備消防費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
消防団小原詰所 格納庫改修ほか工事	小原町	5. 9. 22 6. 2. 29	39,050	宮川建設	小原詰所格納庫整備 ホース乾燥塔整備 旧小原格納庫改修

災害対策費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
耐震性貯水槽設置工事	桂野町ほか	5. 9. 1 6. 3. 22	39, 317	加藤土木	耐震性貯水槽 設置2基 防火水槽 撤去3基

小学校費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
中山小学校 屋内運動場増築ほか建築工事	西中山町	5. 6. 30 6. 7. 31	158, 390 (572, 000)	太啓建設	屋内運動場増築 鉄骨造平屋 1, 288. 06㎡ 上記に係る建築工事 一式 (R5～8年度 継続費)
畝部小学校ほか1施設 トイレ改修ほか工事	畝部西町 ほか	5. 6. 2 5. 11. 30	55, 052 (55, 052)	天野建設工業	畝部小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 屋内運動場 (R4年度 繰越明許費) (合併施行)
古瀬間小学校 トイレ改修工事	志賀町	5. 4. 28 5. 11. 15	84, 920 (84, 920)	小原 ハウジング	トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R4年度 繰越明許費)
四郷小学校 トイレ改修ほか工事	四郷町	5. 9. 1 6. 3. 25	92, 642 (92, 642)	三濃建設	トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 屋内運動場 (R4年度 繰越明許費)
西保見小学校 トイレ改修工事	保見ヶ丘	5. 5. 9 5. 11. 15	75, 713 (75, 713)	神谷組工業	トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R4年度 繰越明許費)
東保見小学校ほか1校 トイレ改修ほか工事	保見ヶ丘 ほか	5. 6. 16 5. 12. 14	105, 545 (105, 545)	岡田工務店	東保見小学校 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 屋内運動場 加納小学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R4年度 繰越明許費)

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
山之手小学校ほか1校 トイレ改修工事	山之手 ほか	5. 6. 30 6. 1. 10	89,353 (89,353)	小原 ハウジング	山之手小学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 朝日小学校 トイレ1系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 (R4年度 繰越明許費)
若園小学校 トイレ改修ほか工事	中根町	5. 8. 11 6. 1. 17	103,147 (103,147)	白武	トイレ3系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 屋内運動場 (R4年度 繰越明許費)
九久平小学校 バリアフリー化整備ほか工事	九久平町	5. 6. 2 6. 1. 31	132,990 (132,990)	大幸	バリアフリー化整備工事 エレベーター・多目的トイレ棟 増築工事 鉄骨造 3階 68.05㎡ 段差解消工事 トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 屋内運動場 (R4年度 繰越明許費)
大畑小学校ほか3校 学校遊具更新工事	大畑町 ほか	5. 6. 9 6. 2. 22	64,584 (64,584)	三共造園	大畑、西保見、東保見、 伊保小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R4年度 繰越明許費)
古瀬間小学校ほか3校 学校遊具更新工事	志賀町 ほか	5. 6. 9 6. 2. 22	64,632 (64,632)	加納造園	古瀬間、九久平、東山、 土橋小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R4年度 繰越明許費)
平井小学校ほか3校 学校遊具更新工事	百々町 ほか	5. 6. 9 6. 2. 2	65,181 (65,181)	鈴鍵	平井、加納、東広瀬、 市木小学校 遊具組立設置、構造物取壊し (R4年度 繰越明許費)

中学校費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
末野原中学校 トイレ改修ほか工事	豊栄町	5. 4. 28 5. 11. 15	98, 054 (98, 054)	藤本建設	トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 武道場ほか (R4年度 繰越明許費)
豊南中学校 トイレ改修ほか工事	水源町	5. 4. 28 5. 11. 15	77, 682 (77, 682)	斎藤組建設	トイレ2系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 武道場 (R4年度 繰越明許費)
益富中学校 トイレ改修ほか工事	志賀町	5. 4. 28 5. 11. 15	133, 540 (133, 540)	神谷組工業	トイレ3系統改修工事 便器洋式化、床乾式化等 屋根及び外壁改修工事 武道場 (R4年度 繰越明許費)
足助中学校 バリアフリー化整備工事	足助町	5. 6. 2 6. 1. 31	69, 300 (69, 300)	三濃建設	エレベーター棟増築工事 鉄骨造 3階 45. 14㎡ 段差解消工事 (R4年度 繰越明許費)
石野中学校 バリアフリー化整備工事	力石町	5. 6. 2 6. 1. 31	134, 530 (134, 530)	白武	エレベーター・多目的トイレ棟 増築工事 鉄骨造 3階 69. 07㎡ 段差解消工事 (R4年度 繰越明許費)

給食センター費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
中部給食センター 洗浄室換気改修工事	栄生町	4. 12. 23 5. 9. 29	70, 950 (118, 250)	森島設備管工	洗浄室換気改修工事 一式 (R4年度 繰越明許費)

文化財保護費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
重要文化財 旧鈴木家住宅保存修理工事 (第6期工事)	足助町	4. 7. 1 7. 3. 14	67, 447 (148, 735)	魚津社寺 工務店	主屋ほか9棟の修理 (木、屋根、左官) (R4～7年度 継続費)

博物館費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
博物館整備建築工事	小坂本町	3. 12. 21 6. 3. 8	2, 413, 336 (3, 831, 354)	清水・トヨタ T & S・三栄 建設共同 企業体	建築工事 一式 (R3～5年度 継続費)
博物館整備空調・管工事	小坂本町	3. 12. 21 6. 3. 8	766, 424 (1, 021, 900)	三建・三河 建設共同 企業体	空調・管工事 一式 (R3～5年度 継続費)
博物館整備電気工事	小坂本町	3. 12. 21 6. 3. 8	596, 472 (795, 300)	東光・小野 建設共同 企業体	電気工事 一式 (R3～5年度 継続費)
旧平岩家住宅・東土蔵 移築工事	陣中町ほか	4. 9. 16 6. 3. 15	132, 825 (151, 825)	魚津社寺 工務店	旧平岩家・東土蔵移築工事 一式 (R3～5年度 継続費)
博物館園路整備工事	小坂本町	4. 9. 30 6. 3. 8	419, 496 (499, 400)	ヤハギ道路・ 藤本建設 共同企業体	園路整備工事 一式 (R4～5年度 継続費)

体育施設費

工 事 名	場 所	工 期	請負金額	請負業者名	摘 要
豊田スタジアム 長寿命化改修工事その 1	千石町	3. 6. 29 5. 4. 28	659, 136 (2, 512, 400)	清水・トヨタ T & S 建設 共同企業体	屋上防水改修工事 一式 塗装改修工事 一式 (R2～5年度 継続費)
豊田スタジアム 長寿命化改修工事その 3	千石町	4. 11. 8 6. 3. 20	88, 704 (98, 560)	ニッタン	防災設備改修工事 一式 (R4～5年度 継続費)
豊田スタジアム 長寿命化改修工事その 4	千石町	4. 12. 22 6. 3. 20	131, 106 (183, 150)	桶兼住設	プールろ過設備改修工事 一式 (R4～5年度 継続費)
豊田スタジアム プール改修工事	千石町	5. 3. 31 6. 3. 20	127, 380 (127, 380)	トヨタ T & S 建設	採暖室改修 一式 長寿命化改修（空調、照明）一式 (R4～5年度 継続費)
総合体育館 （スカイホール豊田） 長寿命化改修電気設備工事	八幡町	5. 6. 30 6. 4. 24	114, 400 (286, 000)	小野電気	サブホール非常用照明等更新、 メインアリーナ競技用照明更新等 (R5年度 繰越明許費)
総合体育館 （スカイホール豊田） 長寿命化改修機械設備工事	八幡町	5. 6. 30 6. 4. 24	685, 255 (869, 000)	三建・三河 建設共同 企業体	空調・換気機器、自動制御装置、 給排水ポンプ、給湯器及び 雨水ろ過装置等工事 (R5年度 繰越明許費)

第 15 表 土地取得実績表（補償費を除く。）

区分	取得の目的	場 所	面 積	金額（円）
地域振興	香嵐溪観光センター	足助町	262.57	9,943,352
	地域振興 計		262.57	9,943,352
市道	藪下沢通常砂防関連（公共補償）	市場町	23.58	37,728
	若石山住宅5号線	花園町	310.44	37,976,274
	藤岡西中山藤宮線	西中山町	30.36	1,962,760
	林添九久平1号線（九久平工区）	九久平町ほか	922.05	6,169,085
	堤駒場線外1路線	駒場町ほか	2,614.32	74,762,710
	歌石拳母線	鍋田町	121.89	1,122,382
	篠原田初線	篠原町	241.85	3,907,211
	高原梅坪1号線	西山町	19.45	950,055
	三好知立線	前林町	183.25	5,589,125
	乙尾深田山2号線	田代町ほか	158.44	1,311,883
	旧加茂川志賀2号線	大見町	92.71	2,054,987
	豊田西部2号線	大池町	2,093.54	52,497,408
	国道473号（公共補償）	神殿町	65.55	186,818
	下山下平入り坂線	黒坂町	103.44	285,495
	下山下田上平線	黒坂町	329.33	855,527
	下山上根引勘松線	花沢町	104.32	317,827
	旭八幡牧場線	旭八幡町	66.53	20,624
	土橋竜神1号線	曙町	370.27	45,209,967
	豊田北高校線	千石町	22.62	839,202
	市道 計		7,873.94	236,057,068

区分	取得の目的	場 所	面 積	金額（円）
安全対策	御立野見 1 号線外 2 路線	御立町	121. 58	3, 428, 556
	藤岡飯野広瀬線	藤岡飯野町	137. 43	5, 854, 518
	六ツ木岩倉線	松平志賀町	623. 95	4, 161, 227
	安全対策 計		882. 96	13, 444, 301
河川等	飯野川第 1 3 支川通常砂防関連（公共補償）	北曾木町	316. 59	528, 894
	準用河川大見川	大見町	405. 84	3, 569, 508
	四郷町排水路	四郷町	87. 72	9, 973, 764
	河川等 計		810. 15	14, 072, 166
街路	西岡吉原 1 号線	前林町	711. 08	25, 341, 976
	名古屋鉄道三河線（若林駅付近）	若林東町ほか	181. 80	9, 764, 622
	若林高架側道 3 号線外 9 路線	若林東町ほか	4, 541. 25	1, 190, 869, 568
	街路 計		5, 434. 13	1, 225, 976, 166
特定道路	市道高橋細谷線（長興寺第 1 工区）外 2 路線	秋葉町	111. 49	21, 275, 282
	市道堤環状 1 号線外 1 路線	本田町	621. 98	200, 587, 901
	市道豊田刈谷 6 号線外 2 路線	西岡町ほか	2, 097. 15	294, 604, 107
	国道 1 5 3 号（豊田北バイパス）関連	上原町	1, 154. 62	48, 038, 973
	特定道路 計		3, 985. 24	564, 506, 263
公園	中央公園	広川町	16, 306. 37	567, 000, 957
	公園 計		16, 306. 37	567, 000, 957
都心	豊田市駅東口駅前広場	喜多町ほか	2, 037. 91	532, 795, 934
	西町若宮線	西町	157. 52	32, 466, 426
	都心 計		2, 195. 43	565, 262, 360
消防	若林詰所	若林西町	285. 24	36, 725, 345
	浄水詰所	浄水町	300. 00	28, 500, 000
	消防 計		585. 24	65, 225, 345
災害対策	耐震性貯水槽	国閑町	93. 27	2, 650, 441
	災害対策 計		93. 27	2, 650, 441
美術館	豊田市美術館一般駐車場	小坂本町	1099. 78	108, 952, 692
	美術館 計		1099. 78	108, 952, 692

Ⅲ 特別会計

国民健康保険特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	36,697,401 千円	(37,030,014 千円)
歳出総額	36,109,965 千円	(36,479,856 千円)
歳入歳出差引額	587,436 千円	(550,158 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	587,436 千円	(550,158 千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 国民健康保険税	7,166,872	7,254,692	(7,534,171)	19.8
2 国庫支出金	696	721	(0)	0.0
3 県支出金	23,521,427	23,129,642	(23,155,179)	63.0
4 財産収入	644	644	(12)	0.0
5 繰入金	5,757,671	5,684,530	(4,579,424)	15.5
6 繰越金	550,157	550,158	(1,655,215)	1.5
7 諸収入	76,309	77,014	(106,013)	0.2
歳入合計	37,073,776	36,697,401	(37,030,014)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	357,986	343,620	(373,442)	1.0
2 保険給付費	23,622,173	22,747,448	(22,930,733)	63.0
3 国民健康保険事業費納付金	10,942,689	10,942,688	(10,598,988)	30.3
4 保健事業費	357,021	304,450	(333,959)	0.8
5 基金積立金	1,748,905	1,748,905	(2,219,100)	4.8
6 諸支出金	40,002	22,854	(23,634)	0.1
7 予備費	5,000	0	(0)	—
歳出合計	37,073,776	36,109,965	(36,479,856)	100.0

2 事業の概要

国民健康保険は、被用者保険等に属さない全ての人が加入し、国民皆保険の最後の砦として、地域医療や市民の健康増進に寄与しています。

国民健康保険特別会計の主な財源は、県支出金(63.0%)、国民健康保険税(19.8%)で、国民健康保険税については、前年度比3.7%の減少となりました。主な歳出は保険給付費(63.0%)で、前年度比0.8%の減少となりました。

平成30年度に財政運営が都道府県単位化された影響による国民健康保険税の急激な負担増に対応するため、令和2年度以降、市独自の激変緩和措置を講じてきました。その財源として17億4千万円余を一般会計から繰り入れ、基金利子60万円余と合わせて基金に積み立てました。

これにより、保険税率の引上げと並行して被保険者の負担の平準化を図っていますが、県に支払う国民健康保険事業費納付金の伸びが続いており、依然として財政運営は厳しい状況にあります。

被保険者数や保険給付費、収納率の動向に加え、保険税水準の県内統一の影響を注視し、引き続き健全な財政運営に努めます。

(1) 加入状況

(単位：世帯、人)

区 分	4年度 末現在	5年度 末現在	(再掲) 未就学児	(再掲) 前期高齢者	(再掲) 70歳以上一般	(再掲) 70歳以上現役並所得者	5年度 年度平均
世帯数	44,750	43,127					44,117
被保険者数	68,502	64,973	1,046	32,306	17,347	2,085	66,987
退職被保険者等	0	0	0				0
一般被保険者	68,502	64,973	1,046	32,306	17,347	2,085	66,987

(2) 被保険者異動状況

(単位：件)

5年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢者離脱	その他	計
	1,960	10,771	135	118	17	1,330	14,331
5年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢者加入	その他	計
	2,221	8,752	265	419	5,532	671	17,860

(3) 保険税の課税状況(現年)

(単位：千円)

保険税算定額及び割合				減免	保険税 軽減額	限度 超過額	月割 減額	調定額
所得割 ①	均等割 ②	平等割 ③	合計 ④=①+②+③	⑤	⑥	⑦	⑧	④-⑤-⑥ -⑦-⑧
6,289,362	3,020,633	1,609,830	10,919,825	17,693	1,013,856	822,730	1,729,250	7,336,296
57.60%	27.66%	14.74%	100%					

※税率及び課税限度額

	所得割率	均等割額	平等割額	課税限度額
医療分	5.85%	26,100円	22,000円	650,000円
後期支援分	1.90%	9,000円	6,500円	220,000円
介護分	1.84%	9,400円	5,800円	170,000円

・各区分の所得割、均等割、平等割の合計が国民健康保険税額になる。

(4) 保険給付費支払状況 (単位：千円)

区 分	支払額
療 養 給 付 費	19,635,932
療 養 費	147,103
高 額 療 養 費	2,809,478
高額介護合算療養費	2,795
出 産 育 児 一 時 金	72,455
葬 祭 費	19,550
審 査 支 払 手 数 料	60,059
移 送 費	0
傷 病 手 当 金	76
計	22,747,448

(5) 収納率 (現年分)

4 年度 ①	5 年度 ②	増減 ②-①
96.58%	96.27%	△0.31%

(滞納繰越分)

4 年度 ①	5 年度 ②	増減 ②-①
25.84%	25.13%	△0.71%

(6) 経理関係 (被保険者1人当たり)

(単位：円)

歳 入	4 年度 ①	5 年度 ②	増減 ②-①
国 民 健 康 保 険 税	105,996	108,300	2,304
国 庫 支 出 金	0	11	11
県 支 出 金	325,762	345,286	19,524
財 産 収 入	0	10	10
繰 入 金	64,426	84,860	20,434
繰 越 金	23,287	8,213	△15,074
諸 収 入	1,491	1,149	△342
合 計	520,962	547,829	26,867

歳 出	4 年度 ①	5 年度 ②	増減 ②-①
総 務 費	5,254	5,130	△124
保 険 給 付 費	322,605	339,580	16,975
国 民 健 康 保 険 事 業 費 納 付 金	149,114	163,355	14,241
保 健 事 業 費	4,698	4,545	△153
基 金 積 立 金	31,220	26,108	△5,112
諸 支 出 金	332	341	9
予 備 費	0	0	0
合 計	513,223	539,059	25,836

※各年度の1人当たりの額は、決算額を年度平均被保険者数で除したもの
 令和4年度 71,080人 令和5年度 66,987人

都市計画事業土地区画整理特別会計

（土橋土地区画整理事業）

1 歳入歳出決算額			（前年度）
歳 入 総 額	731,363 千円	（	1,095,764 千円）
歳 出 総 額	462,327 千円	（	836,596 千円）
歳入歳出差引額	269,036 千円	（	259,168 千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	267,172 千円	（	254,275 千円）
（継続費繰越し	267,172 千円）		
実 質 収 支 額	1,864 千円	（	4,893 千円）

（歳 入）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 事 業 収 入	229,243	229,244	（ 1,200）	31.3
2 負 担 金	180,280	126,280	（ 209,320）	17.3
3 使用料及び手数料	60	73	（ 84）	0.0
4 繰 入 金	116,489	116,489	（ 49,471）	15.9
5 繰 越 金	259,168	259,168	（ 810,947）	35.4
6 諸 収 入	109	109	（ 24,742）	0.0
歳 入 合 計	785,349	731,363	（ 1,095,764）	100.0

（歳 出）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 土橋土地区画整理費	785,349	462,327	（ 836,596）	100.0
歳 出 合 計	785,349	462,327	（ 836,596）	100.0

2 事業の概要

(1) 公共施設整備工事及び宅地造成工事を実施し、事業の推進を図りました。

・ 道路築造工事、宅地造成工事等

163,285 千円

(2) 建物等移転補償、上水道整備費負担金等を執行し、事業の推進を図りました。

・ ガス本支管埋設工事、上水道整備費負担金、建物等移転補償等

218,347 千円

(3) 事業の推進を図るため、土橋土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

80,695 千円

都市計画事業土地区画整理特別会計

（花園土地区画整理事業）

1 歳入歳出決算額		（前年度）
歳 入 総 額	2,765,413 千円	（ 2,223,542 千円）
歳 出 総 額	2,136,637 千円	（ 1,649,095 千円）
歳入歳出差引額	628,776 千円	（ 574,447 千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	624,132 千円	（ 570,189 千円）
（継続費繰越し	624,132 千円）	
実 質 収 支 額	4,644 千円	（ 4,258 千円）

（歳 入）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 事 業 収 入	206,340	208,239	（ 20,953）	7.5
2 負 担 金	957,100	957,100	（ 667,832）	34.6
3 使用料及び手数料	70	82	（ 98）	0.0
4 繰 入 金	1,024,991	1,024,991	（ 522,434）	37.1
5 繰 越 金	574,446	574,447	（ 1,010,834）	20.8
6 諸 収 入	153	554	（ 1,391）	0.0
歳 入 合 計	2,763,100	2,765,413	（ 2,223,542）	100.0

（歳 出）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 花園土地区画整理費	2,763,100	2,136,637	（ 1,649,095）	100.0
歳 出 合 計	2,763,100	2,136,637	（ 1,649,095）	100.0

2 事業の概要

(1) 公共施設整備工事等を実施し、事業の推進を図りました。

・ 道路築造工事、大切川護岸整備工事

846,432 千円

(2) 建物等移転補償、移転物件調査及び移転者用仮住居・仮倉庫賃貸借等を実施し、事業の推進を図りました。

・ 物件移転補償、移転物件調査、仮住居・仮倉庫賃貸借等

1,211,204 千円

(3) 事業の推進を図るため、花園土地区画整理審議会を開催するとともに、総務管理費（職員人件費、事務所管理費等）の適正な執行に努めました。

79,001 千円

分譲住宅建設事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	15,068 千円	(15,915 千円)
歳出総額	12,872 千円	(14,854 千円)
歳入歳出差引額	2,196 千円	(1,061 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	868 千円	(0 千円)
実質収支額	1,328 千円	(1,061 千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	17,829	0	(0)	—
2 使用料及び手数料	30	30	(31)	0.2
3 繰入金	13,976	13,976	(13,656)	92.8
4 繰越金	1,061	1,061	(2,228)	7.0
5 諸収入	2	1	(0)	0.0
歳入合計	32,898	15,068	(15,915)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 宅地造成費	14,969	12,872	(14,854)	100.0
2 予備費	100	0	(0)	—
3 諸支出金	17,829	0	(0)	—
歳出合計	32,898	12,872	(14,854)	100.0

2 事業の概要

移住人口の増加を図るため、小原町に所在する市の未利用財産を活用した定住促進事業を推進しています。

また、過去に分譲を行った団地の残地維持管理業務を行っています。

なお、令和5年度における主な執行経費は次のとおりです。

(1) 豊田市土地開発基金により取得した事業用地の買戻し及び登記等の事務を行いました。

・基金買戻用地費	3,361 千円
・登記等事務費	1,519 千円

(2) 残地維持管理業務を行い、かつ、適正な職員人件費の執行に努めました。

7,992 千円

◆特記事項

分譲申込受付前に実施した物件の最終確認において埋設物を確認し、募集開始時期の延期をしたため、3月議会で繰越明許費補正し、翌年度へ繰り越しました。

卸 売 市 場 特 別 会 計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳 入 総 額	241,762 千円	(245,487 千円)
歳 出 総 額	209,649 千円	(226,539 千円)
歳入歳出差引額	32,113 千円	(18,948 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実 質 収 支 額	32,113 千円	(18,948 千円)

(歳 入)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 使用料及び手数料	86,421	89,537	(91,821)	37.0
2 繰 入 金	66,210	66,210	(48,864)	27.4
3 繰 越 金	18,948	18,948	(16,831)	7.8
4 諸 収 入	65,204	66,933	(87,971)	27.7
5 財 産 収 入	133	134	(0)	0.1
歳 入 合 計	236,916	241,762	(245,487)	100.0

(歳 出)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決算構成比
1 卸 売 市 場 費	236,416	209,649	(226,539)	100.0
2 予 備 費	500	0	(0)	—
歳 出 合 計	236,916	209,649	(226,539)	100.0

2 事業の概要

豊田市及び周辺地域の生鮮食料品の供給基地として、荷揃えの充実等により生鮮食料品の安定供給に努めました。

取扱数量は、青果で減少し、水産物で増加しました。原因は、青果では価格高騰等による販売低迷、水産物では出荷者等との連携強化の推進などの影響が考えられます。また、取扱金額は、青果、水産物ともに増加しました。原因は、天候不順などによる野菜や不漁などによる鮮魚の価格高騰等の影響が考えられます。

市場機能の維持及び安全・安心に対応するため、施設の修繕等に努めました。

(1) 取扱実績

年度 区分	4 年 度		5 年 度		前年度対比(%)	
	数量(t)	金 額(千円)	数量(t)	金 額(千円)	数 量	金 額
青 果	25,789	7,276,278	25,174	7,644,417	97.6	105.1
水 産 物	2,639	2,459,874	2,793	2,548,614	105.8	103.6
計	28,428	9,736,152	27,967	10,193,031	98.4	104.7

(2) コンテナ利用実績

(単位：個、%)

年 度 区 分	4 年度	5 年度	前年度対比
利 用 個 数	160,516	152,801	95.2

(3) 主な執行経費

○ 市場光熱水費（水道・電気・ガス）	51,813 千円
○ 警備・清掃・電気等管理業務委託	35,727 千円
○ 市場業務委託（市場協会）	13,566 千円
○ コンテナ還付金	18,530 千円

3 他会計繰入金（不課税・対価外収入）の用途特定について

一般会計繰入金 66,210 千円については、一般職給料等（特定収入以外）に充当しました。

水道水源保全事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	76,486 千円	(71,544 千円)
歳出総額	75,018 千円	(67,221 千円)
歳入歳出差引額	1,468 千円	(4,323 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	1,468 千円	(4,323 千円)

(歳入)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 負担金	43,835	43,735	(44,073)	57.2
2 財産収入	394	395	(281)	0.5
3 寄附金	1	0	(0)	—
4 繰入金	28,030	28,030	(23,813)	36.6
5 繰越金	4,322	4,323	(3,376)	5.7
6 諸収入	4	3	(1)	0.0
歳入合計	76,586	76,486	(71,544)	100.0

(歳出)

(単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 水道水源保全費	76,586	75,018	(67,221)	100.0
歳出合計	76,586	75,018	(67,221)	100.0

2 事業の概要

平成6年度から「水道使用量1立方メートル(トン)当たり1円」を、水資源の保全、水源かん養事業及び水質保全の環境整備のため「豊田市水道水源保全基金」として積み立てています。この基金は、将来にわたり安全でおいしい水を提供するためには、水源の保全が必要であることから、水源かん養事業や水質保全の環境整備などを進めるため、学識経験者や市民代表で構成された豊田市水道事業審議会の答申を受けて、平成6年4月に全国に先駆け設立されたものです。

事業としては、平成18年度までは間伐を中心とした森林の水源かん養機能の維持向上に取り組んできました。平成19年度からは、矢作ダム上流域の森林を恒久的に保全し、必要な水量確保を目的とする「水源の森事業」と水道原水取水口上流域の水道原水の水質保全を目的とした「水質保全対策事業」に事業転換し、現在に至っています。また、平成27年度からは、新たに「水道水源林間伐事業」、「水道水源林確保事業」及び「水道水源林モニタリング事業」をスタートしました。継続事業を含む全5事業を展開し、水道水源の積極的かつ恒久的な保全に取り組んでいます。

母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	31,936 千円 (	40,096 千円)
歳出総額	21,421 千円 (	19,978 千円)
歳入歳出差引額	10,515 千円 (	20,118 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円 (	0 千円)
実質収支額	10,515 千円 (	20,118 千円)

(歳入) (単位:千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 事業収入	9,366	10,908	(8,552)	34.2
2 繰入金	898	898	(3,746)	2.8
3 繰越金	20,118	20,118	(27,797)	63.0
4 諸収入	2	12	(1)	0
歳入合計	30,384	31,936	(40,096)	100.0

(歳出) (単位:千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 貸付事業費	12,998	4,036	(8,612)	18.8
2 公債費	10,211	10,211	(6,676)	47.7
3 諸支出金	7,175	7,174	(4,690)	33.5
歳出合計	30,384	21,421	(19,978)	100.0

2 事業の概要

母子父子寡婦福祉資金貸付事業は、20歳未満の児童を養育している配偶者のいない者及びこれに準ずる者並びに配偶者のない女子であって、かつて配偶者のない女子として民法第877条の規定により児童を扶養していたことのある者に対し、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせて、その扶養している児童の福祉を増進するため、資金を貸し付けるものです。

本年度は、児童を学校に入学させるための就学支度資金を4人、授業料等のための修学資金を3人（新規2人、継続1人）、住居移転に伴う敷金等のための転宅資金を1人に貸し付けました。

母子父子寡婦福祉資金貸付状況

区分	資金名	令和5年度	
		件数	金額(円)
母子	就学支度資金	4	1,720,000
	修学資金	3	1,257,600
	転宅資金	1	260,000
	合計	8	3,237,600

介護保険事業特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	26,822,728千円	(26,095,201千円)
歳出総額	26,424,659千円	(25,578,640千円)
歳入歳出差引額	398,069千円	(516,561千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0千円	(0千円)
実質収支額	398,069千円	(516,561千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 保険料	7,199,166	7,195,719	(7,147,601)	26.8
2 手数料	1,570	1,815	(1,470)	0.0
3 国庫支出金	4,878,807	4,964,463	(4,856,339)	18.5
4 支払基金交付金	6,860,675	6,631,847	(6,413,345)	24.7
5 県支出金	3,629,516	3,588,736	(3,471,861)	13.4
6 財産収入	3,090	3,090	(1,870)	0.0
7 寄附金	1	0	(0)	—
8 繰入金	4,069,233	3,910,441	(3,828,409)	14.6
9 繰越金	516,561	516,562	(340,985)	1.9
10 諸収入	8,225	10,055	(33,321)	0.0
歳入合計	27,166,844	26,822,728	(26,095,201)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	646,022	590,106	(625,537)	2.2
2 保険給付費	24,635,796	23,975,255	(23,098,632)	90.7
3 地域支援事業費	1,316,508	1,304,255	(1,241,613)	4.9
4 基金積立金	229,346	229,346	(442,950)	0.9
5 諸支出金	329,172	325,697	(169,908)	1.2
6 予備費	10,000	0	(0)	—
歳出合計	27,166,844	26,424,659	(25,578,640)	100.0

2 事業の概要

介護保険事業は、介護を社会全体で支えるための制度として平成 12 年度から開始されました。65 歳以上の第 1 号被保険者と 40 歳から 64 歳までの第 2 号被保険者のうち要介護（要支援）認定を受けた人を対象に介護保険給付を行いました。また、平成 29 年度から地域支援事業が見直され、要支援者に対する予防給付のうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護が地域支援事業の総合事業に移行するなど再編されました。

財源は令和 3～令和 5 年度の 3 年間の第 8 期介護保険事業計画に基づいて、居宅サービスについては第 1 号被保険者保険料 28%、第 2 号被保険者保険料 27%、国 20%（施設サービス等は 15%）、県 12.5%（施設サービス等は 17.5%）、市 12.5%で賄っています。このうち、第 1 号被保険者の保険料は所得により 13 段階に分かれており、その基準額は月額 5,500 円となっています。

（１）認定者数（令和 6 年 3 月末現在）

（単位：人）

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
第 1 号被保険者	2,271	2,858	3,206	2,711	1,770	1,901	1,266	15,983
75 歳以上	1,973	2,478	2,983	2,456	1,581	1,713	1,087	14,271
65 歳以上 75 歳未満	298	380	223	255	189	188	179	1,712
第 2 号被保険者	43	78	26	58	44	61	57	367
合 計	2,314	2,936	3,232	2,769	1,814	1,962	1,323	16,350

（２）主な執行経費

（単位：円、％）

区 分			前年度支出額	本年度支出額	保険給付 構成比
1	総	務 費	625,537,091	590,106,264	—
2	介護サー ビス等諸費	居宅介護サービス等給付費	8,989,727,812	9,452,785,622	39.4
		地域密着型介護サービス等給付費	4,228,841,277	4,406,179,575	18.4
		施設介護サービス等給付費	6,758,964,283	6,886,385,704	28.7
		居宅介護福祉用具購入費	28,321,206	29,562,950	0.1
		居宅介護住宅改修費	62,651,229	74,163,703	0.3
		居宅介護サービス計画等給付費	1,193,838,388	1,236,295,110	5.2
	介護予防サ ービス等諸費	介護予防サービス等給付費	513,360,166	521,209,199	2.2
		地域密着型介護予防サービス等給付費	17,077,835	20,364,726	0.1
		介護予防福祉用具購入費	12,061,233	14,329,954	0.1
		介護予防住宅改修費	52,441,472	56,734,372	0.2
		介護予防サービス計画等給付費	142,410,752	146,081,223	0.6
	審査支払諸費	介護報酬審査支払等手数料	13,654,790	14,148,552	0.1
	高額介 護サ ー ビ ス 等 費	高額介護サービス費	540,804,572	573,047,909	2.4
		高額介護予防サービス費	845,466	883,742	0.0
		高額医療合算介護サービス費	79,739,787	89,043,619	0.4
		高額医療合算介護予防サービス費	678,849	659,081	0.0
		特定入所者介護サービス等費	337,954,797	323,748,922	1.4
		特定入所者介護予防サービス等費	486,670	480,560	0.0
	特別給付費	特別給付費	124,771,110	129,150,879	0.5
合 計			23,098,631,694	23,975,255,402	100.0
3	地 域 支 援 事 業 費		1,241,612,740	1,304,254,524	—
4	基 金 積 立 金		442,950,000	229,346,000	—
5	諸 支 出 金		169,908,194	325,696,418	—
総 計			25,578,639,719	26,424,658,608	—

財 産 区 特 別 会 計

（盛岡財産区）

1 歳入歳出決算額			(前年度)
歳 入 総 額	5,040 千円	(	5,631 千円)
歳 出 総 額	4,765 千円	(	5,245 千円)
歳入歳出差引額	275 千円	(	386 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(	0 千円)
実 質 収 支 額	275 千円	(	386 千円)

(歳 入)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決 算 構 成 比
1 財 産 収 入	3,844	3,843	(3,838)	76.3
2 繰 入 金	780	780	(1,013)	15.5
3 繰 越 金	385	386	(751)	7.7
4 諸 収 入	29	31	(29)	0.6
歳 入 合 計	5,038	5,040	(5,631)	100.0

(歳 出)

(単位：千円、%)

款	予 算 現 額	決 算 額	(前年度)	決 算 構 成 比
1 総 務 費	3,104	2,831	(3,658)	59.4
2 基 金 積 立 金	1,934	1,934	(1,587)	40.6
歳 出 合 計	5,038	4,765	(5,245)	100.0

2 事業の概要

管理委員の任期満了に伴う改選を実施しました。

例年どおり財産区区有林保育作業管理委託で区有林の草刈りを行いました。また、管理委員による林道、作業道の維持管理、区有林内見回りを実施しました。

区有林保育業務委託

2,114 千円

財 産 区 特 別 会 計

（賀茂財産区）

1 歳入歳出決算額			（前年度）
歳 入 総 額	28,370 千円	（	7,143 千円）
歳 出 総 額	21,719 千円	（	6,892 千円）
歳入歳出差引額	6,651 千円	（	251 千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	（	0 千円）
実 質 収 支 額	6,651 千円	（	251 千円）

（歳 入）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決 算 構 成 比
1 財 産 収 入	10,087	9,175	（ 85）	32.3
2 繰 入 金	12,149	12,149	（ 6,469）	42.8
3 繰 越 金	251	252	（ 554）	0.9
4 諸 収 入	2	6,794	（ 35）	23.9
歳 入 合 計	22,489	28,370	（ 7,143）	100.0

（歳 出）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決 算 構 成 比
1 総 務 費	13,442	12,672	（ 3,004）	58.3
2 基 金 積 立 金	9,047	9,047	（ 3,888）	41.7
歳 出 合 計	22,489	21,719	（ 6,892）	100.0

2 事業の概要

管理委員の任期満了に伴う改選を実施しました。

例年どおり財産区区有林保育作業管理委託で区有林や作業道の維持管理を行いました。

また、令和5年度は利用間伐を実施して5,751千円の収益を得ました。

区有林保育業務委託

11,579 千円

後期高齢者医療特別会計

1 歳入歳出決算額		(前年度)
歳入総額	6,788,808 千円	(6,446,391 千円)
歳出総額	6,715,241 千円	(6,380,109 千円)
歳入歳出差引額	73,567 千円	(66,282 千円)
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	(0 千円)
実質収支額	73,567 千円	(66,282 千円)

(歳入) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 後期高齢者医療保険料	5,831,986	5,833,934	(5,544,028)	85.9
2 繰入金	880,282	880,282	(839,705)	13.0
3 繰越金	66,282	66,282	(55,832)	1.0
4 諸収入	12,576	8,310	(6,826)	0.1
歳入合計	6,791,126	6,788,808	(6,446,391)	100.0

(歳出) (単位：千円、%)

款	予算現額	決算額	(前年度)	決算構成比
1 総務費	134,479	130,959	(142,033)	2.0
2 広域連合納付金	6,644,786	6,576,055	(6,231,479)	97.9
3 諸支出金	11,861	8,227	(6,597)	0.1
歳出合計	6,791,126	6,715,241	(6,380,109)	100.0

2 事業の概要

平成 20 年度から後期高齢者医療制度が開始され、75 歳以上又は 65 歳以上の障がい要件の認められた高齢者を対象として、被保険者証の引渡し、保険料の賦課徴収、給付申請受付等を行いました。

本事業の保険者は、愛知県後期高齢者医療広域連合であり、広域連合が資格管理・保険料の決定・医療の給付業務を行い、市が受付業務、保険料の徴収業務を行いました。

(1) 被保険者数の推移

区分	令和 5 年 3 月	令和 6 年 3 月
75 歳以上	51,640 人	54,861 人
65 歳以上の障がい認定者	2,002 人	1,915 人
計	53,642 人	56,776 人

(5.8%増)

(2) 主な制度の概要

○ 保険料率等（2年ごとに改定）

	令和 2、3 年度	令和 4、5 年度
均 等 割 額	48,765 円	49,398 円
所 得 割 率	9.64 %	9.57 %

保険料（年額）＝ 均等割額 ＋ 所得割額（賦課のもととなる所得金額×所得割率）

○ 保険料の納付方法と徴収金額

- ・ 特別徴収（年金からの天引き）
- ・ 普通徴収（窓口払・口座振替）

保険料の納付方法は、原則、特別徴収ですが、年金額の年額が 18 万円未満の場合や、介護保険料との合計額が年金額の 2 分の 1 を超えてしまう場合等は普通徴収になります。

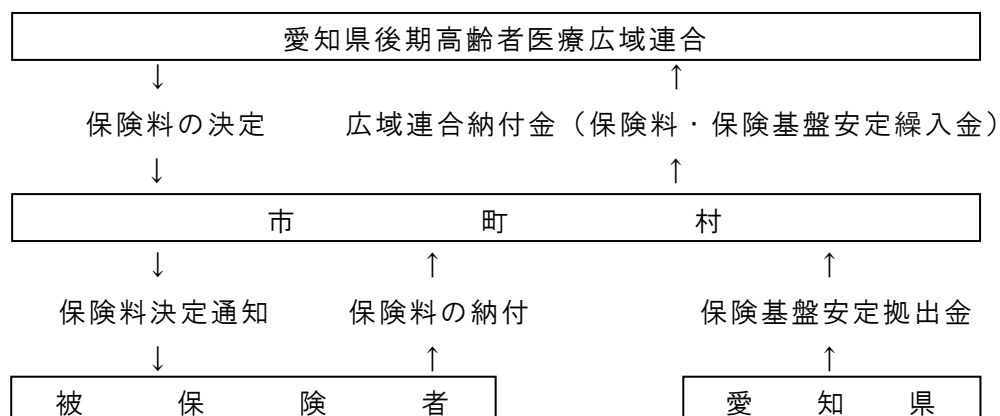
また、特別徴収対象者でも、口座振替に変更することで納付方法を普通徴収にすることができます。

（納付方法別徴収金額等）

納 付 方 法	徴 収 金 額	収 納 率
特 別 徴 収	3,289,173,600 円	100.00%
普 通 徴 収（現年度分）	2,537,129,784 円	99.42%
普 通 徴 収（過年度分）	7,630,123 円	46.33%
計	5,833,933,507 円	99.59%

（R4：99.68%）

(3) 広域連合との関係



産業用地造成事業特別会計

（豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業）

1 歳入歳出決算額			（前年度）
歳 入 総 額	27,112 千円	（	69,909 千円）
歳 出 総 額	26,947 千円	（	57,601 千円）
歳入歳出差引額	165 千円	（	12,308 千円）
翌年度へ繰り越すべき財源	0 千円	（	0 千円）
実 質 収 支 額	165 千円	（	12,308 千円）

（歳 入）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 繰 入 金	21,647	14,800	（ 15,303）	54.6
2 繰 越 金	12,308	12,309	（ 54,605）	45.4
3 諸 収 入	2	3	（ 1）	0.0
歳 入 合 計	33,957	27,112	（ 69,909）	100.0

（歳 出）

（単位：千円、％）

款	予 算 現 額	決 算 額	（前年度）	決算構成比
1 産業用地造成費	33,957	26,947	（ 57,601）	100.0
歳 出 合 計	33,957	26,947	（ 57,601）	100.0

2 事業の概要

豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業は、産業誘導拠点と位置付けている豊田東インターチェンジ北側の地区を産業用地として開発する事業です。企業投資の受皿となる産業用地を整備することで、企業の新規立地や事業拡大の促進及び市内企業の市外流出防止を図ります。

なお、令和5年度における主な執行経費は次のとおりです。

（１）設計等業務委託を実施し、事業の推進を図りました。

・設計測量調査業務委託（東工区） 17,635 千円

（２）事業用地取得に必要な図書を作成し、事業の推進を図りました。

・用地図面作成業務（東工区） 381 千円

（３）職員人件費の適正な執行に努めました。

8,931 千円

IV 基金の運用状況

豊田市土地開発基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増 加 高	減 少 高	
土 地	(1,268,909,579)	(394,220,103)	(345,970,224)	(1,317,159,458)
	1,243,912,702	357,146,725	345,970,224	1,255,089,203
補 償	(270,418,693)	(66,989,963)	(229,062,963)	(108,345,693)
	220,307,388	93,081,561	229,062,963	84,325,986
貸付金	(7,240,611,136)	(0)	(2,500,000,000)	(4,740,611,136)
	7,240,611,136	0	2,500,000,000	4,740,611,136
預金等	(6,220,060,592)	(3,075,033,187)	(461,210,066)	(8,833,883,713)
	6,295,168,774	3,075,033,187	450,228,286	8,919,973,675
基金の額 (合計)	15,000,000,000	(3,536,243,253)	(3,536,243,253)	15,000,000,000
		3,525,261,473	3,525,261,473	

() 上段……支出負担行為(差引簿)ベース

下段……現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位：円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
28,549,358	0	4,134,017	32,683,375

1 本年度の取得及び処分の状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

ア 取 得

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約額	支払額	未払額	備 考
市道高橋細谷線（長興寺第1工区）外2路線道路改良事業	62.45	3,734,510	2,614,000	1,120,510	
市道西岡吉原1号線道路新設事業	1,350.86	41,336,316	41,336,316	0	
市道乙尾深田山2号線	37.36	309,341	309,341	0	
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	479.96	2,529,389	2,529,389	0	
市道歌石拳母線道路改良工事	212.09	2,162,607	2,016,615	145,992	
市道若石山住宅5号線道路改良事業	48.24	6,333,912	6,333,912	0	
市道林添九久平1号線（九久平工区）道路改良事業	10.14	25,046	25,046	0	
市道堤駒場線外1路線 道路改良事業	180.78	4,887,126	4,887,126	0	
市道小原築平川下線 道路改良工事（その2）	9.66	49,556	0	49,556	
市道小峯広瀬線歩道設置事業	315.20	2,507,624	1,683,000	824,624	
市道乙尾深田山2号線道路改良事業	121.08	1,002,542	1,002,542	0	
市道旧坂上大内線道路改良事業	405.39	2,797,409	2,460,401	337,008	
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	182.16	12,587,256	8,808,000	3,779,256	
市道上原11号線道路新設事業	773.95	24,147,240	24,147,240	0	
市道豊田西部2号線道路新設事業（2工区）	12,297.01	191,471,043	149,771,408	41,699,635	
市道桜町線道路改良事業	7.08	1,994,436	0	1,994,436	
準用河川 大見川	405.84	3,569,508	3,569,508	0	
四郷町排水路整備事業	87.72	9,973,764	9,973,764	0	
矢作緑地用地取得事業	8,109.37	36,279,770	36,279,770	0	
市道下山下田上平線道路改良事業	377.04	996,272	996,272	0	
市道下山上根引勘松線道路改良事業	104.32	317,827	317,827	0	
市道足助摺月原線道路改良事業	214.68	893,069	893,069	0	
市道土橋竜神1号線 道路新設事業	279.50	34,602,100	24,221,000	10,381,100	
市道浄水駅南通り2号線 道路新設事業	422.28	9,712,440	9,712,440	0	
計	26,494.16	394,220,103	333,887,986	60,332,117	

イ 処 分

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約額	収入額	未収入額	備 考
市道乙尾深田山 2 号線	37.36	309,341	309,341	0	0
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	623.95	4,161,227	4,161,227	0	3,822,577
市道御立野見 1 号線外 2 路線歩道設置事業	121.58	3,428,556	3,428,556	0	3,428,556
市道歌石拳母線道路改良工事	121.89	1,122,382	1,122,382	0	0
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	3.44	243,552	243,552	0	243,552
市道若石山住宅 5 号線道路改良事業	310.44	37,976,274	37,976,274	0	31,642,362
市道旧加茂川志賀 2 号線道路改良事業	92.71	2,054,987	2,054,987	0	2,054,987
市道林添九久平 1 号線（九久平工区）道路改	922.05	6,169,085	6,169,085	0	6,144,039
市道高原梅坪 1 号線 道路改良事業	19.45	950,055	950,055	0	950,055
市道堤駒場線外 1 路線 道路改良事業	2,614.32	74,762,710	74,762,710	0	70,159,504
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	137.43	5,854,518	5,854,518	0	5,854,518
市道三好知立線道路改良事業	183.25	5,589,125	5,589,125	0	5,589,125
市道篠原田粉線道路改良事業	241.85	3,907,211	3,907,211	0	3,907,211
市道藤岡西中山藤宮線交差点改良事業	26.92	1,719,208	1,719,208	0	1,719,208
市道乙尾深田山 2 号線道路改良事業	121.08	1,002,542	1,002,542	0	0
市道名鉄豊田新線側道 3 号線道路改良事業	264.89	21,615,024	21,615,024	0	21,615,024
市道豊田西部 2 号線道路新設事業（2 工区）	2,936.80	77,429,670	77,429,670	0	24,932,262
市道四郷西山 1 号線道路改良事業	46.47	1,491,687	1,491,687	0	1,491,687
準用河川 大見川	405.84	3,569,508	3,569,508	0	0
四郷町排水路整備事業	87.72	9,973,764	9,973,764	0	0
市道下山下平入り坂線道路改良事業	103.44	285,495	285,495	0	285,495
市道旭八幡牧場線道路改良事業	66.53	20,624	20,624	0	20,624
市道下山下田上平線道路改良事業	329.33	855,527	855,527	0	0
市道下山上根引勘松線道路改良事業	104.32	317,827	317,827	0	0
市道土橋竜神 1 号線 道路新設事業	370.27	45,209,967	45,209,967	0	45,209,967
市道豊田北高校線交差点改良	22.62	839,202	839,202	0	839,202
小原町分譲事業	168.95	3,361,484	3,361,484	0	3,361,484
代替地	488.80	31,749,672	31,749,672	0	31,749,672
計	10,973.70	345,970,224	345,970,224	0	265,021,111

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

(2) 補 償
ア 取 得

(単位：円)

区 分	契約額	支払額	未払額	備 考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	555,280	555,280	0	
市道若石山住宅 5 号線道路改良事業	1,045,857	1,045,857	0	
市道小峯広瀬線歩道設置事業	620,242	431,000	189,242	
市道乙尾深田山 2 号線道路改良事業	305,480	305,480	0	
市道旧坂上大内線道路改良事業	2,456,868	1,718,000	738,868	
市道福谷一色線外 1 路線道路改良事業	38,189,286	25,459,000	12,730,286	
市道藤岡西中山猿投線道路改良事業	861,238	0	861,238	
準用河川 大見川	4,250,590	4,250,590	0	
市道下山下田上平線道路改良事業	621,051	621,051	0	
市道土橋竜神 1 号線 道路新設事業	18,084,071	12,656,000	5,428,071	
計	66,989,963	47,042,258	19,947,705	

イ 処 分

(単位：円)

区 分	契約額	収入額	未収入額	備 考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	1,904,005	1,904,005	0	1,348,725
市道藤岡西中山藤宮線道路改良事業	297,282	297,282	0	297,282
市道若石山住宅 5 号線道路改良事業	85,734,846	85,734,846	0	84,688,989
市道林添九久平 1 号線 (九久平工区) 道路改	7,220,886	7,220,886	0	7,220,886
市道高原梅坪 1 号線 道路改良事業	856,505	856,505	0	856,505
市道堤駒場線外 1 路線 道路改良事業	23,577,419	23,577,419	0	23,577,419
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	30,395,835	30,395,835	0	30,395,835
市道乙尾深田山 2 号線道路改良事業	305,480	305,480	0	0
市道名鉄豊田新線側道 3 号線道路改良事業	35,815,782	35,815,782	0	35,815,782
準用河川 大見川	4,250,590	4,250,590	0	0
市道下山下平入り坂線道路改良事業	5,699,075	5,699,075	0	5,699,075
市道旭八幡牧場線道路改良事業	27,005	27,005	0	27,005
市道下山下田上平線道路改良事業	621,051	621,051	0	0
市道土橋竜神 1 号線 道路新設事業	32,357,202	32,357,202	0	32,357,202
計	229,062,963	229,062,963	0	222,284,705

※備考欄の数字は、過年度取得分に係る収入額を示す。

2 過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

(単位：円)

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	3,822,577	3,822,577	0	
市道御立野見1号線外2路線歩道設置事業	347,200	347,200	0	
市道旧加茂川志賀2号線道路改良事業	611,968	611,968	0	
市道林添九久平1号線(九久平工区)道路改良事業	5,664,221	3,926,083	1,738,138	
市道高原梅坪1号線 道路改良事業	286,055	286,055	0	
市道堤駒場線外1路線 道路改良事業	3,537,456	3,537,456	0	
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	6,205,398	6,205,398	0	
市道三好知立線道路改良事業	1,677,125	1,677,125	0	
市道篠原田粉線道路改良事業	1,301,211	1,301,211	0	
市道四郷西山1号線道路改良事業	447,687	447,687	0	
市道下山下平入り坂線道路改良事業	86,495	86,495	0	
小原町分譲事業	1,009,484	1,009,484	0	
計	24,996,877	23,258,739	1,738,138	

(2) 補 償

(単位：円)

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	1,348,725	1,348,725	0	
市道林添九久平1号線(九久平工区)道路改良事業	6,926,749	2,854,747	4,072,002	
市道高原梅坪1号線 道路改良事業	258,505	258,505	0	
市道堤駒場線外1路線 道路改良事業	6,773,358	6,773,358	0	
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	33,091,893	33,091,893	0	
市道下山下平入り坂線道路改良事業	1,712,075	1,712,075	0	
計	50,111,305	46,039,303	4,072,002	

3 本年度豊田市土地開発公社に対する貸付け及び償還の状況は、次のとおりです。

(1) 貸 付

0円

(2) 償 還

2, 5 0 0, 0 0 0, 0 0 0円

4 令和6年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
豊田刈谷線・大洞筋違橋線	172.69	12,295,528	12,295,528	0	-
小坂若林線・山之手第37号線	257.16	27,258,960	27,258,960	0	-
豊田北バイパス	187.73	12,503,484	12,503,484	0	-
衣浦豊田線	2,483.45	62,079,248	62,079,248	0	-
室町細川線	371.99	16,330,361	16,330,361	0	-
豊田西部線	47.93	1,433,107	1,433,107	0	-
市道高橋細谷線（長興寺第1工区）外2路線道路改良事業	62.45	3,734,510	2,614,000	1,120,510	-
市道西岡吉原1号線道路新設事業	1,350.86	41,336,316	41,336,316	0	-
市道六ツ木岩倉線歩道設置事業	415.70	2,190,739	2,190,739	0	-
市道歌石拳母線道路改良工事	90.20	1,040,225	894,233	145,992	-
市道林添九久平1号線（九久平工区）道路改良事業	1,692.93	12,684,182	10,946,044	1,738,138	-
市道堤駒場線外1路線道路改良事業	10.92	283,920	283,920	0	-
市道小原築平川下線 道路改良工事（その2）	9.66	49,556	0	49,556	-
市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	34.40	350,880	350,880	0	-
市道小峯広瀬線歩道設置事業	315.20	2,507,624	1,683,000	824,624	-
市道旧坂上大内線道路改良事業	405.39	2,797,409	2,460,401	337,008	-
市道福谷一色線外1路線道路改良事業	182.16	12,587,256	8,808,000	3,779,256	-
市道上原11号線道路新設事業	1,080.68	31,570,106	31,570,106	0	-
市道名鉄豊田新線側道3号線道路改良事業	299.91	7,257,822	7,257,822	0	-
市道豊田西部2号線道路新設事業（2工区）	10,203.47	138,973,635	97,274,000	41,699,635	-
市道桜町線道路改良事業	7.08	1,994,436	0	1,994,436	-
矢作緑地用地取得事業	8,109.37	36,279,770	36,279,770	0	-
市道下山下田上平線道路改良事業	47.71	140,745	140,745	0	-
市道足助摺月原線道路改良事業	214.68	893,069	893,069	0	-
足助バイパス残土処理地	45,978.42	55,709,644	55,709,644	0	-
旧いこいの村	829,709.98	121,209,328	121,209,328	0	-
市道土橋竜神1号線 道路新設事業	279.50	34,602,100	24,221,000	10,381,100	-
市道浄水駅南通り2号線 道路新設事業	422.28	9,712,440	9,712,440	0	-
代替地	9,953.89	667,353,058	667,353,058	0	-
計	914,397.79	1,317,159,458	1,255,089,203	62,070,255	

区分		面 積	契約金額	支払済額	未払額	預金残高
補償	市道林添九久平 1 号線（九久平工区）道路改良事業	-	15,842,863	11,770,861	4,072,002	-
	市道藤岡飯野広瀬線歩道設置事業	-	2,696,058	2,696,058	0	-
	市道小峯広瀬線歩道設置事業	-	620,242	431,000	189,242	-
	市道旧坂上大内線道路改良事業	-	2,456,868	1,718,000	738,868	-
	市道福谷一色線外 1 路線道路改良事業	-	38,189,286	25,459,000	12,730,286	-
	市道藤岡西中山猿投線道路改良事業	-	861,238	0	861,238	-
	足助バイパス残土処理地	-	29,595,067	29,595,067	0	-
	市道土橋電神 1 号線 道路新設事業	-	18,084,071	12,656,000	5,428,071	-
	計	-	108,345,693	84,325,986	24,019,707	-
	貸付金	-	4,740,611,136	4,740,611,136	0	-
預金等		-	-	-	-	8,919,973,675
合計		914,397.79	6,166,116,287	6,080,026,325	86,089,962	8,919,973,675

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

（単位：㎡）

宅 地	田	畑	山 林	その他	計
3,708.81	17,947.77	2,368.10	873,742.36	16,630.75	914,397.79

豊田市都心整備基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位:円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土 地	(1, 016, 733, 352) 1, 008, 215, 480	(537, 794, 266) 546, 312, 138	(565, 262, 360) 565, 262, 360	(989, 265, 258) 989, 265, 258
補 償	(174, 492, 701) 133, 544, 103	(7, 962, 678) 48, 911, 276	(182, 455, 379) 182, 455, 379	(0) 0
貸付金	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
預金等	(3, 123, 901, 942) 3, 173, 368, 412	(747, 717, 739) 747, 717, 739	(545, 756, 944) 595, 223, 414	(3, 325, 862, 737) 3, 325, 862, 737
基金の額 (合計)	4, 315, 127, 995	(1, 293, 474, 683) 1, 342, 941, 153	(1, 293, 474, 683) 1, 342, 941, 153	4, 315, 127, 995

() 上段…支出負担行為(差引簿)ベース
下段…現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位:円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	1, 500, 037	1, 500, 037

1 本年度の取得及び処分の状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

令和5年度

ア 取 得

区 分	面 積	契約額	支払額	未払額	備 考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	25.58	4,998,332	4,998,332	0	
豊田都市計画道路事業3・4・110号昭和町線外1路線整備事業	2,037.91	532,795,934	532,795,934	0	
計	2,063.49	537,794,266	537,794,266	0	

イ 処 分

区 分	面 積	契約額	収入額	未収入額	備 考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	157.52	32,466,426	32,466,426	0	
豊田都市計画道路事業3・4・110号昭和町線外1路線整備事業	2,037.91	532,795,934	532,795,934	0	
計	2,195.43	565,262,360	565,262,360	0	

(2) 補 償

ア 取 得

区 分	契約額	支払額	未払額	備 考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	3,816,231	3,816,231	0	
豊田都市計画道路事業3・4・110号昭和町線外1路線整備事業	4,146,447	4,146,447	0	
計	7,962,678	7,962,678	0	

イ 処 分

区 分	契約額	収入額	未収入額	備 考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	178,308,932	178,308,932	0	
豊田都市計画道路事業3・4・110号昭和町線外1路線整備事業	4,146,447	4,146,447	0	
計	182,455,379	182,455,379	0	

2 過年度取得に係る未払金額の支払状況は、次のとおりです。

(1) 土 地

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	7,930,380	7,930,380	0	
市道薬師1号線道路改良事業	587,492	587,492	0	
計	8,517,872	8,517,872	0	

(2) 補 償

区 分	前年度末未払額	支払額	本年度末未払額	備 考
市道西町若宮線歩車共存道路整備事業	40,948,598	40,948,598	0	

3 本年度豊田土地開発公社に対する貸付及び償還の状況は、次のとおりです。

(1) 貸 付

該当なし

(2) 償 還

該当なし

4 令和6年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)					
区分		面積	契約額	支払済額	未払額
土地	都心活性化用地	774.07	980,132,140	980,132,140	0
	市道薬師1号線道路改良事業	42.01	9,133,118	9,133,118	0
	計	816.08	989,265,258	989,265,258	0
補償		-	0	0	0
貸付金		-	0	0	0
預金等		-	-	-	-
合計		816.08	989,265,258	989,265,258	0

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

(単位：㎡)					
宅地	田	畑	山林	その他	計
816.08	0.00	0.00	0.00	0.00	816.08

豊田市産業振興基金運用状況に関する調書

運用状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	本年度中増減高		本年度末現在高
		増加高	減少高	
土 地	(163, 157, 399) 163, 157, 399	(0) 0	(0) 0	(163, 157, 399) 163, 157, 399
補 償	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
貸付金	(168, 901, 143) 168, 901, 143	(0) 0	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(126, 678, 143) 126, 678, 143
預金等	(1, 267, 941, 458) 1, 267, 941, 458	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(0) 0	(1, 310, 164, 458) 1, 310, 164, 458
基金の額 (合計)	1, 600, 000, 000	(42, 223, 000) 42, 223, 000	(42, 223, 000) 42, 223, 000	1, 600, 000, 000

() 上段…支出負担行為(差引簿)ベース
下段…現金(出納簿)ベース

収益金及び利子の内訳

(単位：円)

土地処分に係る収益金	預金利子	資金運用利子	計
0	0	2, 554, 224	2, 554, 224

1 本年度の公益財団法人豊田加茂環境整備公社の償還の状況は、次のとおりです。

(単位：円)

貸付目的	償還額	償還日	貸付日	備考
産業廃棄物処分場建設事業費	42, 223, 000	R6. 3. 25	H4. 3. 31	
計	42, 223, 000			

2 令和6年3月31日の現在高は、次のとおりです。

(単位：円、㎡)

区 分	面 積	契約額	支払済額	未払額	預金残高
土 地	19,708.00	163,157,399	163,157,399	0	-
補 償	-	0	0	0	-
貸付金	-	126,678,143	126,678,143	0	-
預金等	-	-	-	-	1,310,164,458
合 計	19,708.00	289,835,542	289,835,542	0	1,310,164,458

※預金残高（＝預金等）には、未払額を含む。

土地の地目別内訳

(単位：㎡)

宅地	田	畑	山林	その他	計
0.00	0.00	0.00	19,708.00	0.00	19,708.00

V 資 料



令和5年度 豊田市当初予算編成方針

1 市を取り巻く環境

新型コロナウイルス感染症は世界を一変させ、市民の生活様式や働き方は大きく変化しています。また頻発する自然災害や人口減少など市を取り巻く環境はこれまでの延長線上とは全く異なってきています。

我が国経済の動向をみると景気は緩やかに持ち直していますが、世界的な金融引締めによる金融資本市場の変動や物価上昇、供給面での制約等を背景とした海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、市税収入への影響について十分注意する必要があります。

このような状況であるからこそ、柔軟な発想による施策・制度の見直しや民間活力を含めた多くの知見を生かした前向きな変革を積極的に進めることが必要です。

2 予算編成の基本方針

本市では、これまでのコロナ禍の経験を踏まえ、ウィズコロナの取組を実施する中で、新たな希望や可能性に向けて変わる社会・変えるミライへ挑戦しています。

令和5年度は全国初となる自治体主催のFIA 世界ラリー選手権の開催も予定しており、ポストコロナ社会を見据えた上で、市民、地域、企業それぞれの主体が、更なる活気に溢れ、安全・安心な生活をおくることができるよう、元気で明るいまちづくりを進めることを目指し、以下の4点を基本として予算編成します。

- (1) ポストコロナ社会を見据え「第8次総合計画後期実践計画」を着実に推進します。
- (2) 市民生活の「安全・安心」を高める取組を的確に推進します。
- (3) 将来を見据えた「まちづくりへの投資・人への投資」を推進します。
- (4) 歳入の積極的な確保、歳出の適正化を進め、「財務体質の強化」を図ります。

3 具体的な取組

(重点的に取り組む施策)

基本方針に基づき、以下の項目に重点的に予算を配分します。

- (1) 第8次総合計画後期実践計画 重点施策事業
 - ア 超高齢社会への適応
 - イ 「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資
 - ウ まちの課題解決力の強化

- (2) 社会保障等に係る経費、自然災害や感染症への対応、公共施設の保全など市民生活の「安全・安心」のために必要な施策
- (3) FIA 世界ラリー選手権の開催に関する施策 及び 山村地域の活性化、交通安全の推進、産業振興を図るための施策
- (4) カーボンニュートラル、デジタル化など市民、企業等と連携して重点的に取り組むことで社会課題解決を図る施策
- (5) 子どものための施策や、誰もがより一層活躍できるための学びへの支援・環境整備など、変化する社会を見据えて人への投資を行う施策

(歳出の適正化、歳入の確保)

- (1) 地方交付税の合併特例措置の終了や法人市民税の一部国税化に伴う恒久的な歳入減は今後も継続することを再認識し、最少の経費で最大の効果を挙げるために、実施効果を見極めた事業の見直しを徹底して行います。
- (2) 効率的かつ効果的に公共サービスを提供するため、公民連携を推進し、柔軟な発想で市と民間の役割分担や、民間活力導入による事業手法の見直しを行います。
- (3) 新規事業、拡大事業は特定財源の確保や既存事業のスクラップ等を徹底して行います。
- (4) 国県補助制度の情報収集を行うとともに、採択を受けるための事業手法への検討と調整を進め、積極的に確保します。その他市有財産の貸付・売却、広告事業、未収債権の削減、ふるさと寄附金等を始めとする歳入確保に積極的に取り組みます。

(投資的経費の確保)

- (1) 未来への投資である普通建設事業費は、300億円以上を確保します。
- (2) 市債や基金は、まちづくりに必要な投資や市民サービスの提供のため、必要に応じて有効活用します。

(特別会計、企業会計、協会公社等への対応)

- (1) 特別会計及び企業会計は、一般会計から繰出金等を支出していることから本方針を周知徹底した予算編成を行います。
- (2) 協会公社等に対する補助金や委託料等についても本方針を周知徹底した予算計上を行います。

地方債現在高の状況

(1) 地方債事業別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	4 年度末 現在高 (A)	5 年度 発行額 (B)	5 年度元利償還金			差引現在高 (A)+(B)-(C)
			元金 (C)	利 子	計	
公 共 事 業 等 債	15,730,240	2,719,600	2,256,998	33,832	2,290,830	16,192,842
防 災 ・ 減 災 ・ 国 土 強 靱 化 緊 急 対 策 事 業 債	2,208,100	143,300	30,687	5,441	36,128	2,320,713
一 般 単 独 事 業 債	7,274,106	240,700	1,092,093	17,657	1,109,750	6,422,713
公 営 住 宅 建 設 事 業 債	620,278	0	124,580	1,938	126,518	495,698
学 校 教 育 施 設 等 整 備 事 業 債	11,115,253	72,900	1,922,564	30,633	1,953,197	9,265,589
一 般 廃 棄 物 処 理 事 業 債	580,588	559,800	81,415	3,188	84,603	1,058,973
減 収 補 填 債	2,527	0	2,527	5	2,532	0
減 税 補 填 債	1,105,501	0	454,851	1,115	455,966	650,650
臨 時 財 政 対 策 債	5,917,208	0	773,262	8,883	782,145	5,143,946
災 害 復 旧 事 業 債	259,300	0	32,413	50	32,463	226,887
社 会 福 祉 施 設 整 備 事 業 債	576,102	0	160,162	873	161,035	415,940
過 疎 対 策 事 業 債	1,155,820	97,800	291,350	508	291,858	962,270
一 般 補 助 施 設 整 備 等 事 業 債	370,875	0	49,972	511	50,483	320,903
施 設 整 備 事 業 債 (一般財源化分)	137,894	0	89,495	131	89,626	48,399
全 国 防 災 事 業 債	131,523	0	97,499	310	97,809	34,024
(旧) 緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	419,568	0	55,815	5,450	61,265	363,753
そ の 他	197,456	0	27,132	0	27,132	170,324
合 計	47,802,339	3,834,100	7,542,815	110,525	7,653,340	44,093,624

(2) 地方債借入先別現在高の状況

(単位：千円)

区分 借入先		4年度末 現在高 (A)	5年度 発行額 (B)	5年度 償還元金 (C)	差引現在高 (A)+(B)-(C)
政 府 資 金		29,119,628	3,755,900	3,591,296	29,284,232
内 訳	財 政 融 資 資 金	27,782,338	3,755,900	3,018,234	28,520,004
	うち 旧資金 運用部資金	71,982	0	20,735	51,247
	旧 郵 貯 資 金	46,226	0	30,794	15,432
	旧 簡 保 資 金	1,291,064	0	542,268	748,796
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構		75,783	0	33,736	42,047
市 内 金 融 機 関		16,966,788	0	3,654,688	13,312,100
共 済 組 合		1,442,684	78,200	235,963	1,284,921
そ の 他		197,456	0	27,132	170,324
合 計		47,802,339	3,834,100	7,542,815	44,093,624

※地方公共団体金融機構は旧公営企業金融公庫

基金残高の状況

(単位：千円)

（単位：千円）

基 金 名	会計区分	令和4年度末	令和5年度増減		令和5年度末
		残 高	積 立	取 崩	残 高
資 金 積 立 基 金					
財 政 調 整 基 金		34,900,000	6,100,000	4,200,000	36,800,000
減 債 基 金		2,160,369	1,668		2,162,037
足 助 観 光 施 設 整 備 基 金		284,487	111		284,598
介 護 予 防 事 業 推 進 基 金		444,243	343	67,862	376,724
幹 線 道 路 建 設 基 金		960,000			960,000
教 育 施 設 整 備 基 金		9,547,962	1,231		9,549,193
公 共 施 設 安 全 安 心 基 金		13,600,000	300,000	2,000,000	11,900,000
青 少 年 活 動 施 設 整 備 基 金		320,000			320,000
青 少 年 も の づ く り 基 金		38,033	29	6,751	31,311
総 合 運 動 公 園 建 設 基 金		75,000			75,000
高 橋 節 郎 館 活 動 基 金		-	300,231	2,497	297,734
脱 炭 素 社 会 推 進 基 金		737,456	1,089	54,872	683,673
地 域 づ く り 振 興 基 金		589,962		200,000	389,962
都 市 高 速 鉄 道 整 備 基 金		4,300,000		1,000,000	3,300,000
都 心 環 境 計 画 推 進 基 金		1,000,000			1,000,000
博 学 未 来 創 造 基 金		200,000		51,955	148,045
ふ る さ と ・ 水 と 土 保 全 基 金		60,244	47		60,291
保 健 医 療 福 祉 基 金		7,900,000			7,900,000
緑 の 推 進 基 金		393,572	314		393,886
も の づ く り 未 来 創 造 基 金		445,312	344	17,309	428,347
森 づ く り 基 金		934,000			934,000
国民健康保険事業財政調整基金	特	2,242,356	1,748,905	1,647,388	2,343,873
水 道 水 源 保 全 基 金	特	511,154	395	28,030	483,519
介 護 給 付 費 準 備 基 金	特	4,002,195	229,346		4,231,541
盛 岡 財 産 区 基 金	特	20,652	1,934	780	21,806
賀 茂 財 産 区 基 金	特	95,746	9,047	12,149	92,644
小 計		85,762,743	8,695,034	9,289,593	85,168,184
うち一般会計分		78,890,640	6,705,407	7,601,246	77,994,801

(単位：千円)

基 金 名	会 計 区 分	令和4年度末	令和5年度増減		令和5年度末
		残 高	積 立	取 崩	残 高
財 産 維 持 基 金					
ク リ エ イ テ ィ ブ 基 金		20,500			20,500
交 通 安 全 基 金		126,687			126,687
社 会 福 祉 基 金		512,344	29,342		541,686
奨 学 基 金		150,837	100		150,937
ス ポ ー ツ 振 興 基 金		4,781			4,781
青 少 年 健 全 育 成 基 金		58,276	50		58,326
民 芸 ・ 猿 投 古 窯 基 金		40,000			40,000
矢 並 小 学 校 教 育 振 興 基 金		18,430			18,430
小 計		931,855	29,492	0	961,347
資 金 運 用 基 金					
産 業 振 興 基 金		1,600,000			1,600,000
都 心 整 備 基 金		4,315,128			4,315,128
土 地 開 発 基 金		15,000,000			15,000,000
小 計		20,915,128	0	0	20,915,128
合 計		107,609,726	8,724,526	9,289,593	107,044,659

※会計区分の空欄は一般会計、「特」は特別会計です。

